
令和5年度
「東区民意識調査」調査結果報告書

令和6年2月

東区自治協議会

東 区 役 所

< 目 次 >

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 集計・分析にあたって	3
4. 回収結果	3
II 調査結果	5
1. 『あなたご自身』について	7
2. 『自治会・町内会活動』について	21
3. 『防犯・防災』について	45
4. 『あなたの居場所』について	67
5. 『多世代交流』について	78
6. 『日常の助け合い』について	87
7. 『こども食堂』について	107
8. 『住みやすさ（住環境）』について	116
9. 『買い物のしやすさ』について	134
10. 『お出かけ』について	136
11. 『公園』について	153
12. 『未来の東区』について	157
III 調査票様式	163

I 調 査 概 要

1. 調査の目的

東区のまちづくりや暮らしやすさに対する意識を調査し、区政運営の参考にすることを目的として実施する。

2. 調査の設計

- (1) 調査対象：新潟市東区に住民登録されている満15歳以上の区民
- (2) 標本数：3,000名（無作為抽出）
- (3) 調査方法：郵送方式
- (4) 調査期間：令和5年11月15日（水）～11月30日（木）

3. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 結果は百分率（%）で表示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した結果、個々の比率が合計100%にならないことがある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。
- (4) 職業別の分析において「農林水産業」は母数が少ないため除外している。

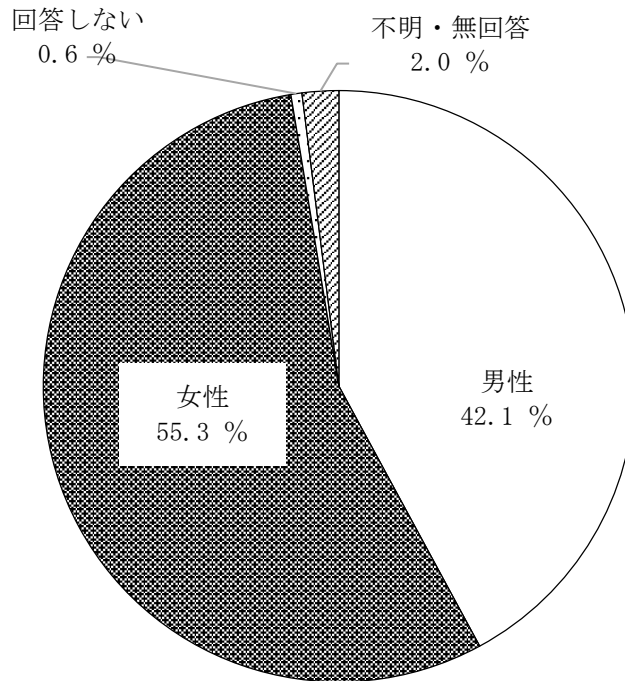
4. 回収結果

回収数=1,336件、有効回収数=1,336件、有効回収率=44.5%。

II 調查結果

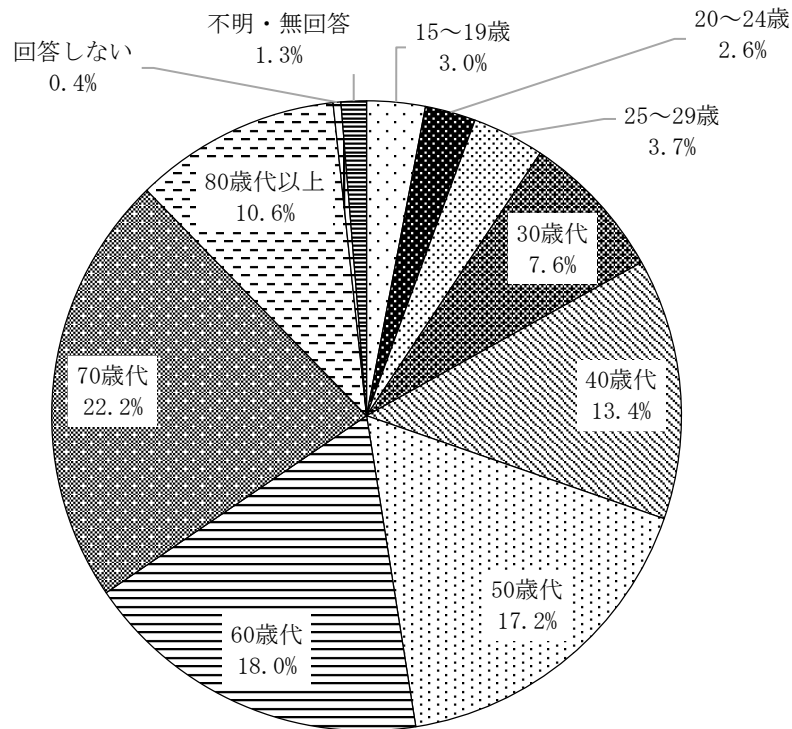
1. 『あなたご自身』について

Q1：性別



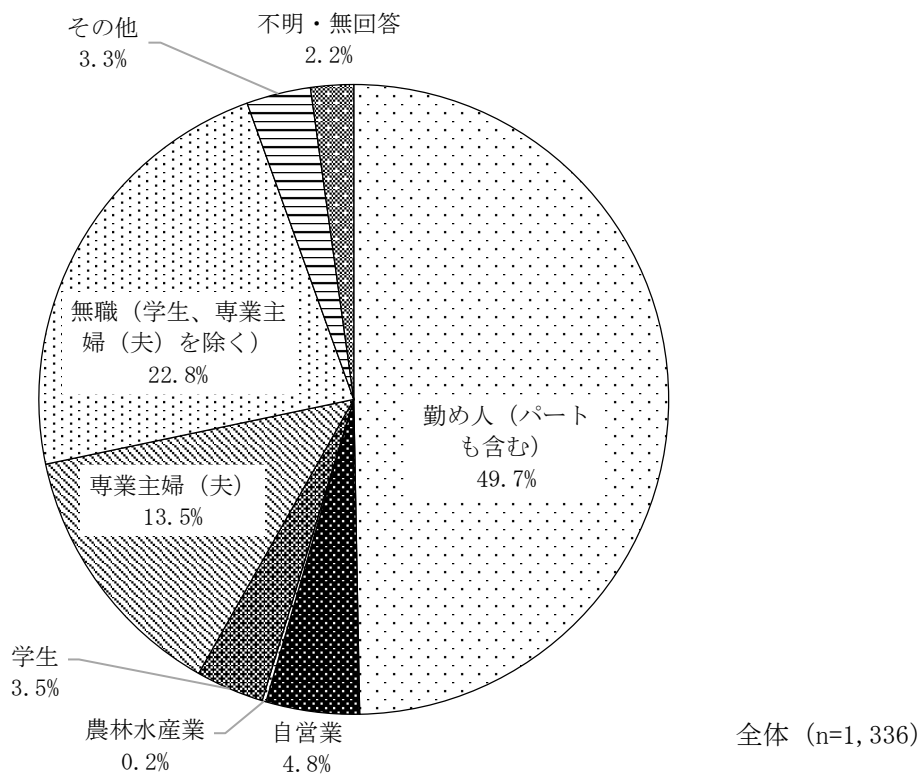
全体 (n=1,336)

Q2：年齢

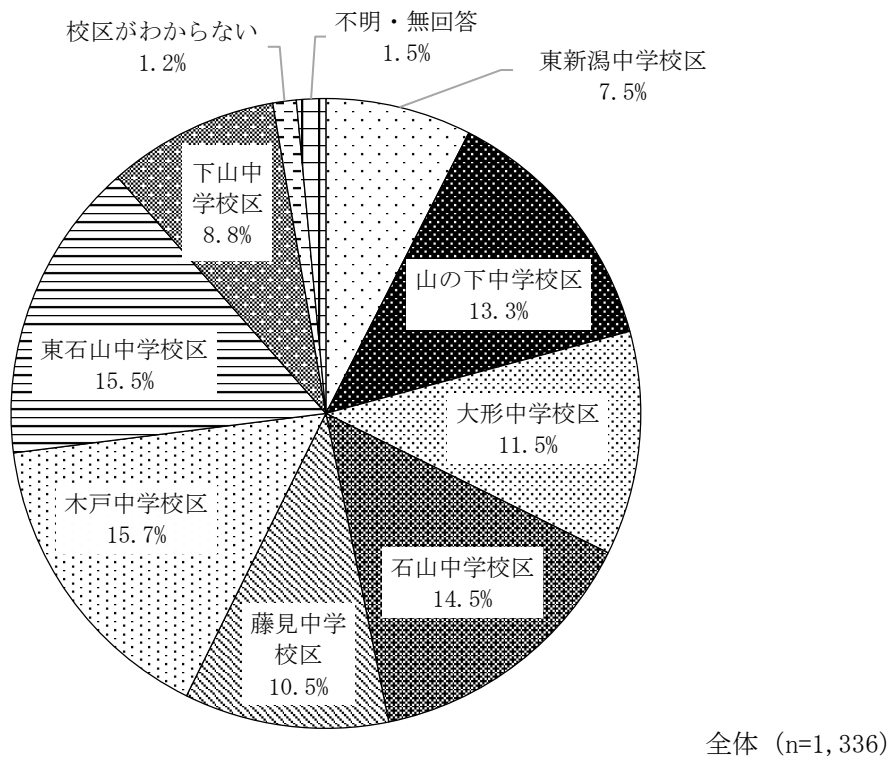


全体 (n=1,336)

Q3：職業

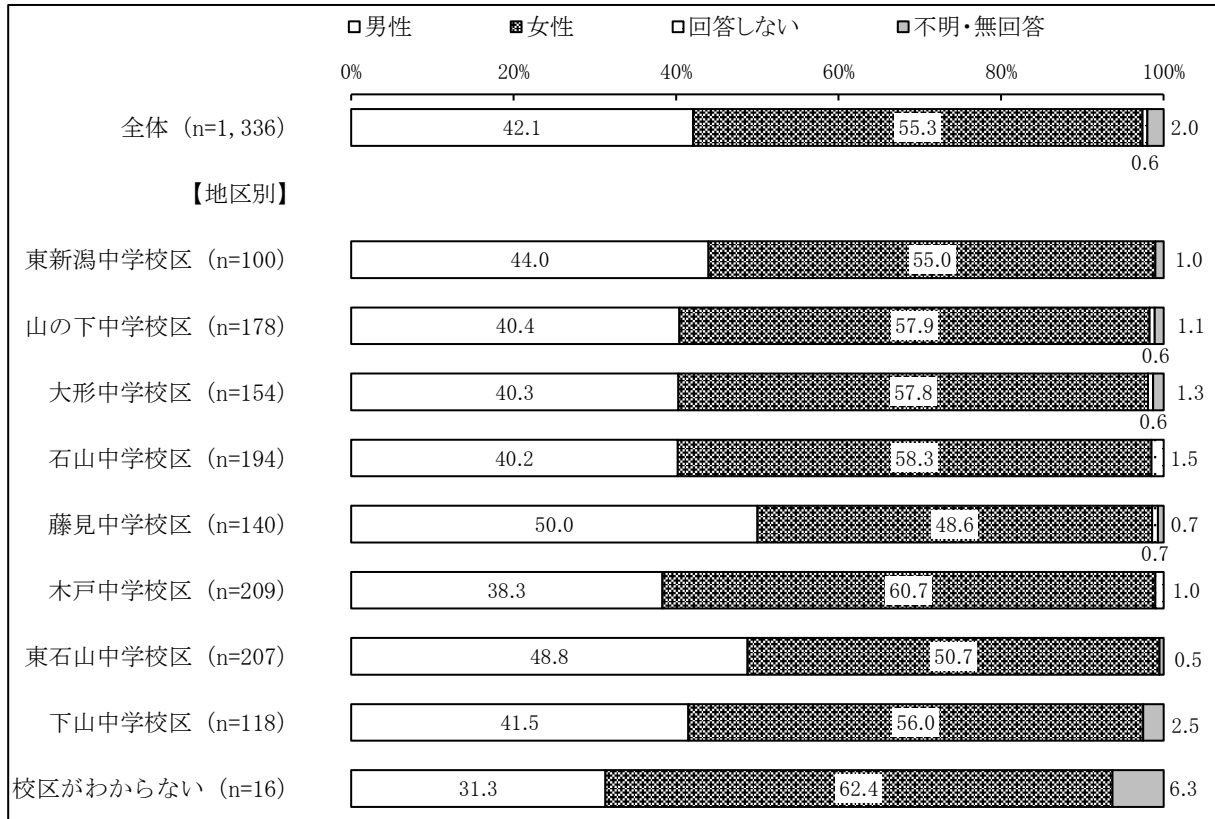


Q4：居住地区

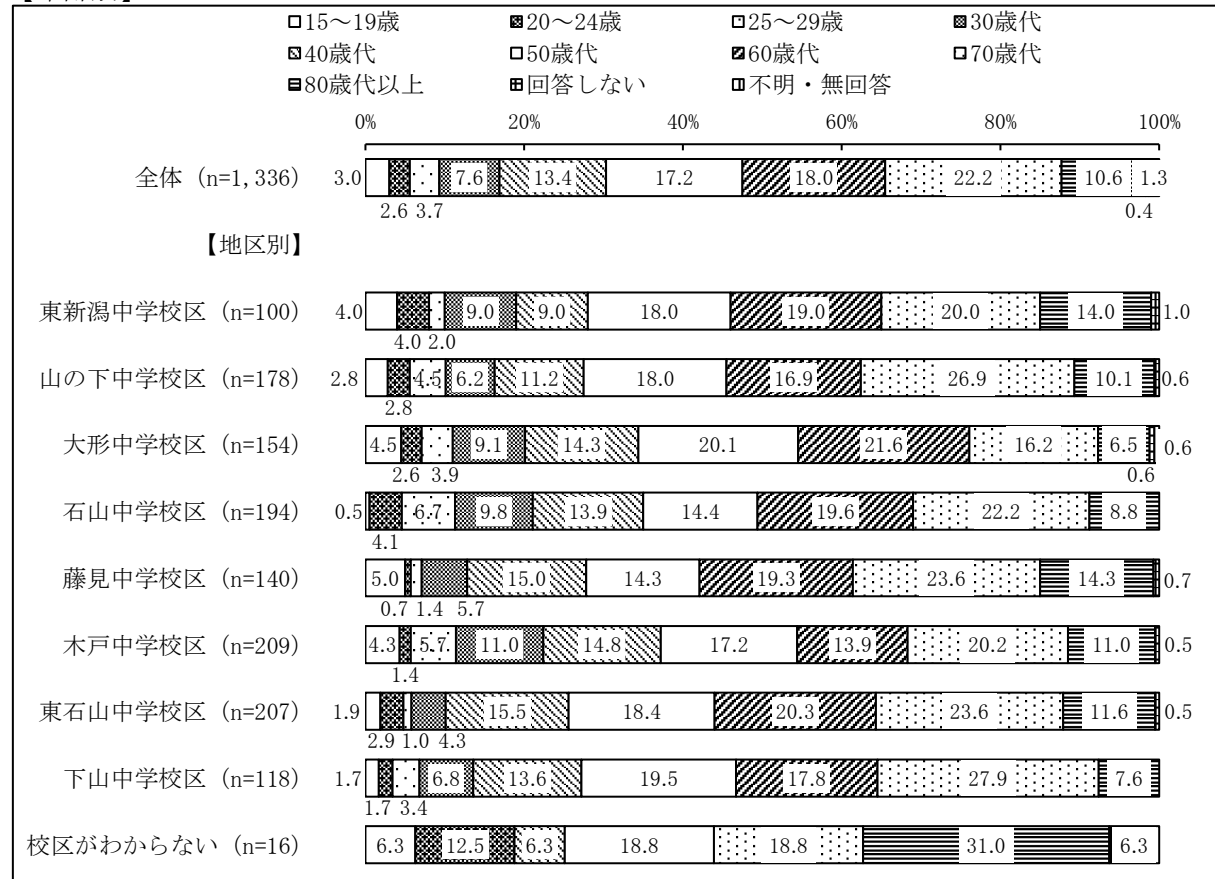


回答者の特性（校区別集計）

【性別】

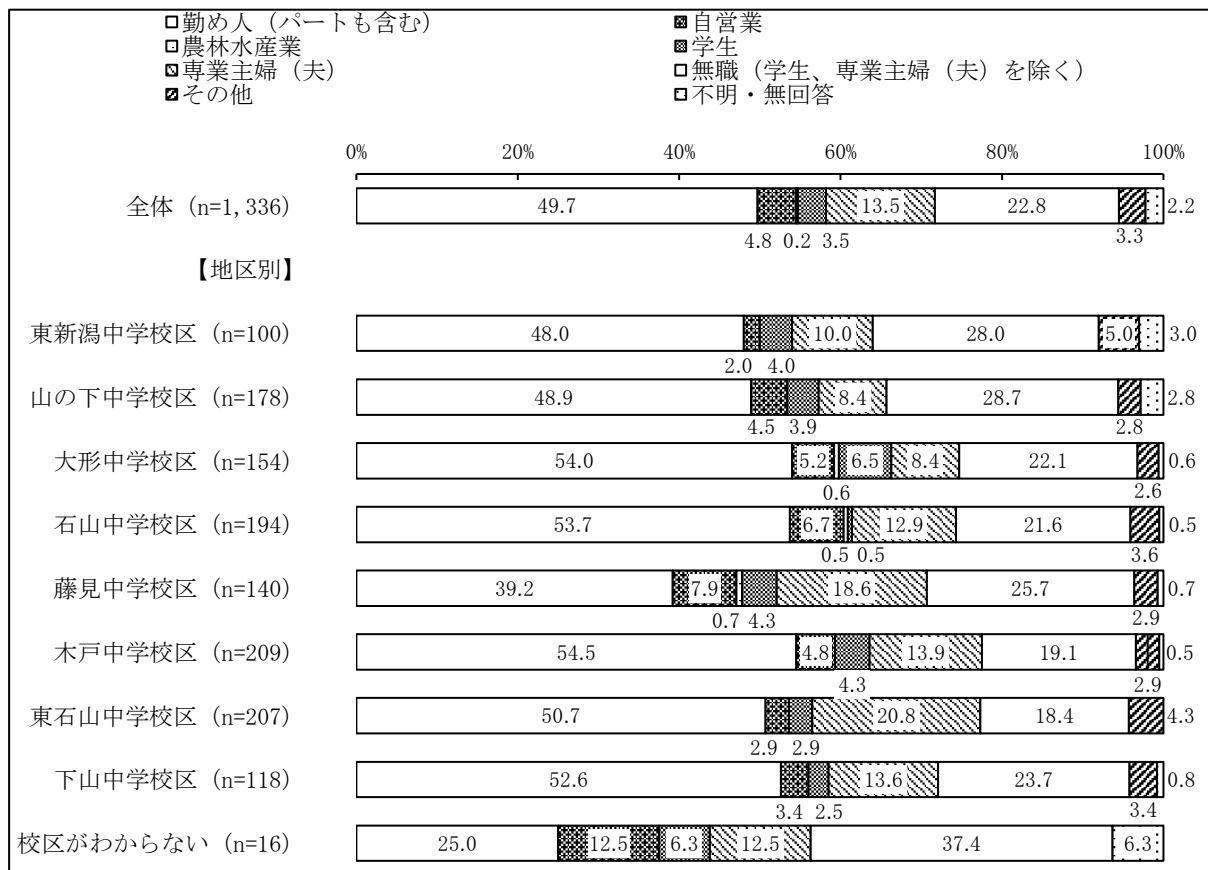


【年齢別】

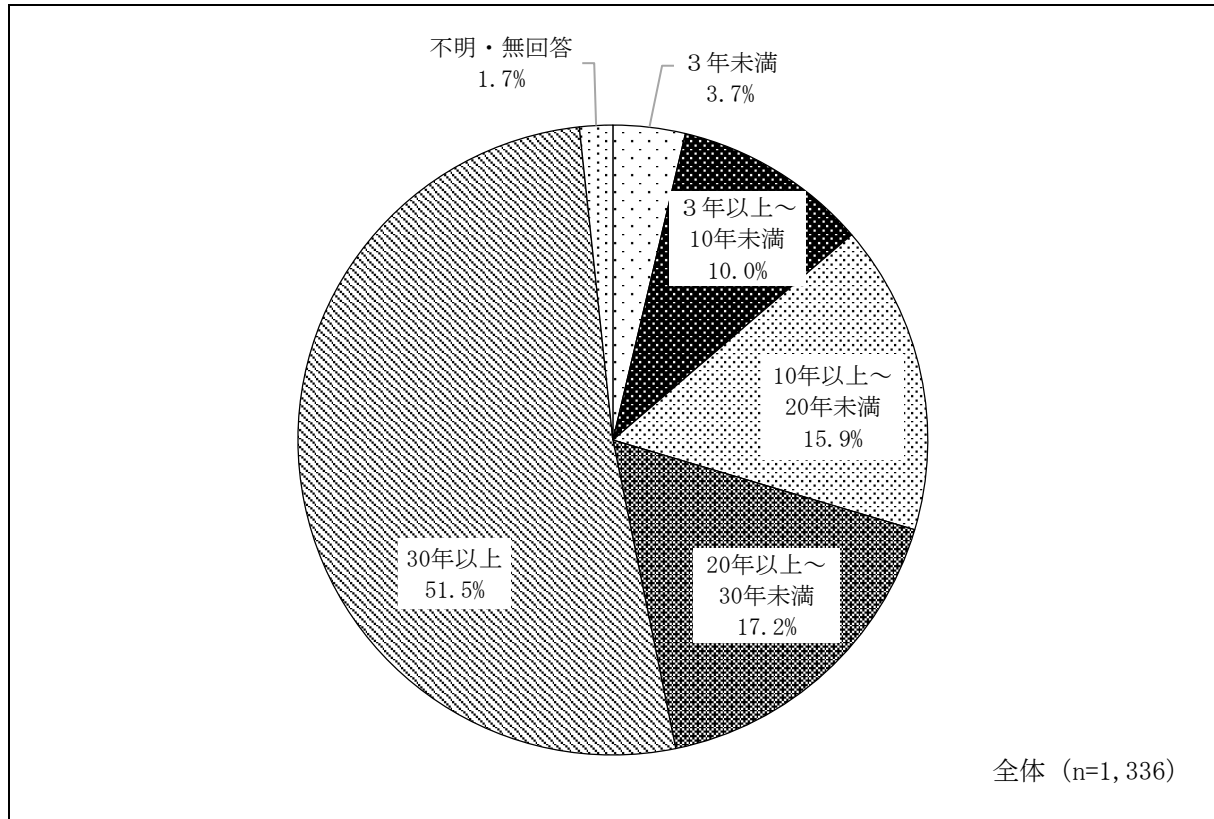


Ⅱ 調査結果

【職業別】



Q5：東区内での居住年数



【全体結果】

「30年以上」住まれている方が51.5%で半数以上の割合を占めている。一方「3年未満」が3.7%と一番少なかった。

【属性別結果】

① 性別

「30年以上」居住者の男性52.5%と女性51.3%とほぼ同率、「10年以上～20年未満」「20年以上～30年未満」では女性が多く、「10年未満」では男性が多い傾向にある。

② 年齢別

30歳代から年齢を重ねるごとに「30年以上」の割合が高くなっている。60歳代は65.0%、70歳代は74.8%、80歳代以上となると85.8%と他の年数より圧倒的に多い。

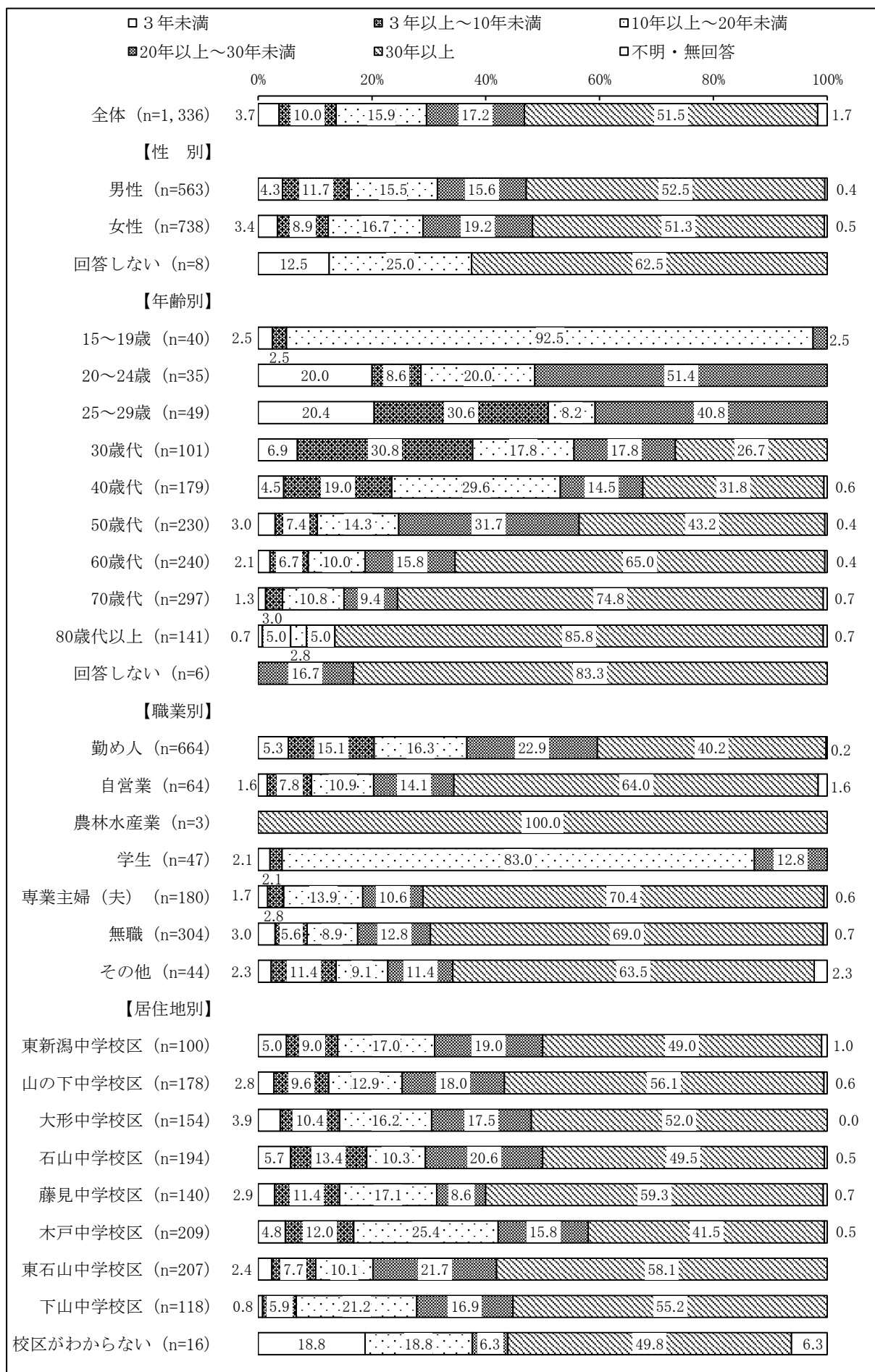
③ 職業別

「30年以上」の居住者が全体の半数以上を占める中、勤め人は40.2%に留まっている。学生については年齢が低いことから83.0%が「10年以上20年未満」である。

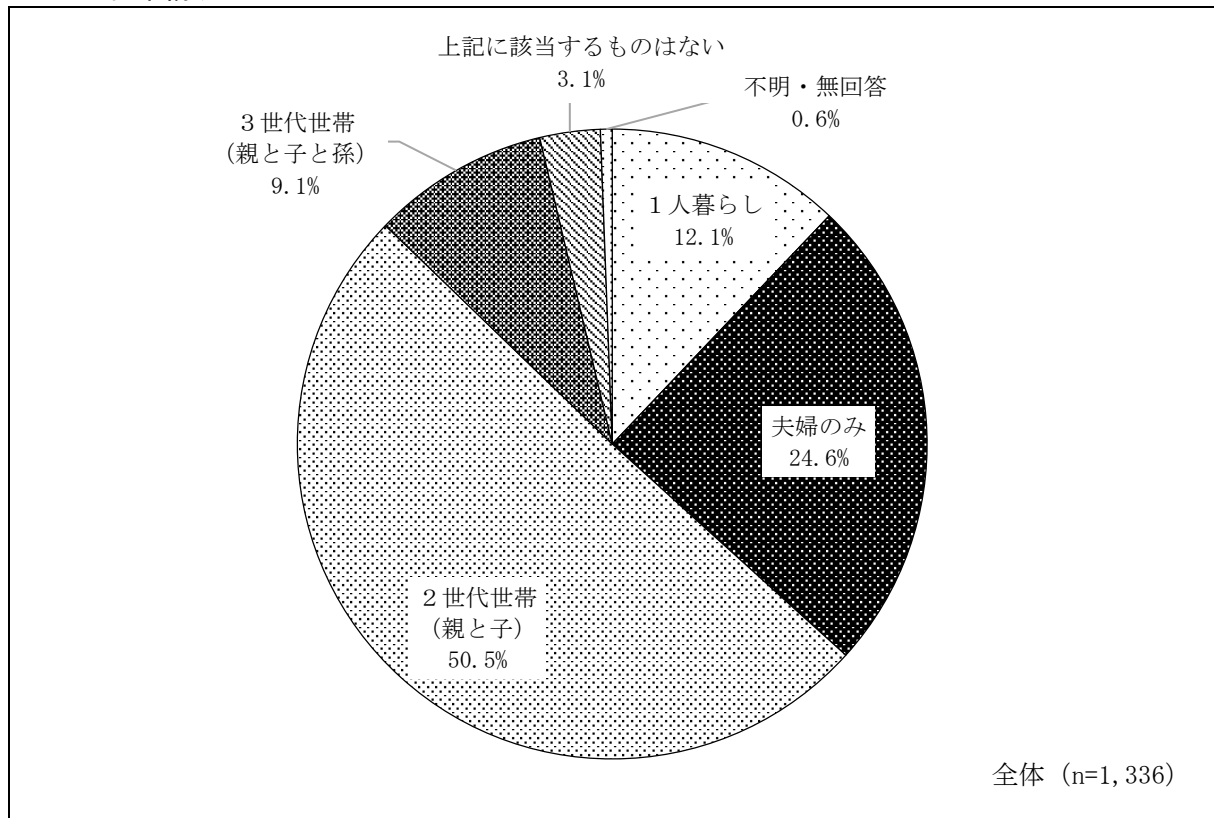
④ 居住地別

各居住地とも「30年以上」が40～50%台を占め、次いで「20年以上～30年未満」、「10年以上～20年未満」と続く居住地が多いが、藤見中学校区、木戸中学校区、下山中学校区では、「10年以上～20年未満」の割合が「20年以上～30年未満」よりも多い。

II 調査結果



Q6：世帯構成



【全体結果】

親と子の「2世代世帯」が半数を占める。次いで「夫婦のみ」が24.6%となった。

【属性別結果】

① 性別

男女とも「2世代世帯」が5割前後と多いが、男性が48.5%、女性が53.1%で男女比では女性の方が4.6%多い。「1人暮らし」は男女とも約12%と同じだった。

② 年齢別

60歳代までは「2世代世帯」の割合が多いが、70歳代、80歳代以上は「夫婦のみ」が「2世代世帯」をわずかに超えている。年齢別から垣間見えることは、20代後半で結婚により夫婦2人の生活が始まり、子育て世代を経て子どもが巣立つあたりの50歳代から「夫婦のみ」「1人暮らし」の割合が高くなっている。

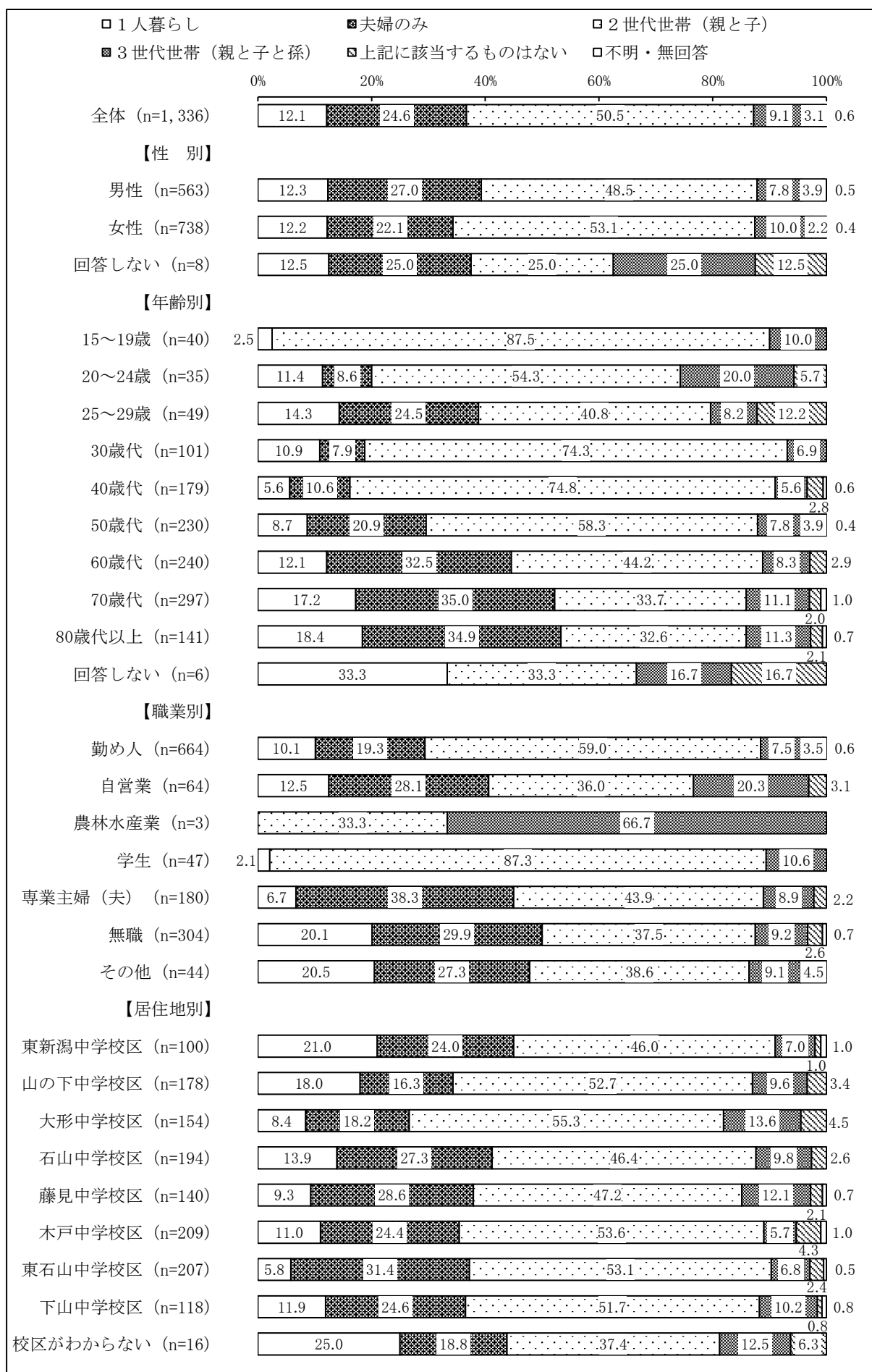
③ 職業別

各職業とも「2世代世帯」の割合が、学生は87.3%、勤め人は59.0%と半数以上を占めている。

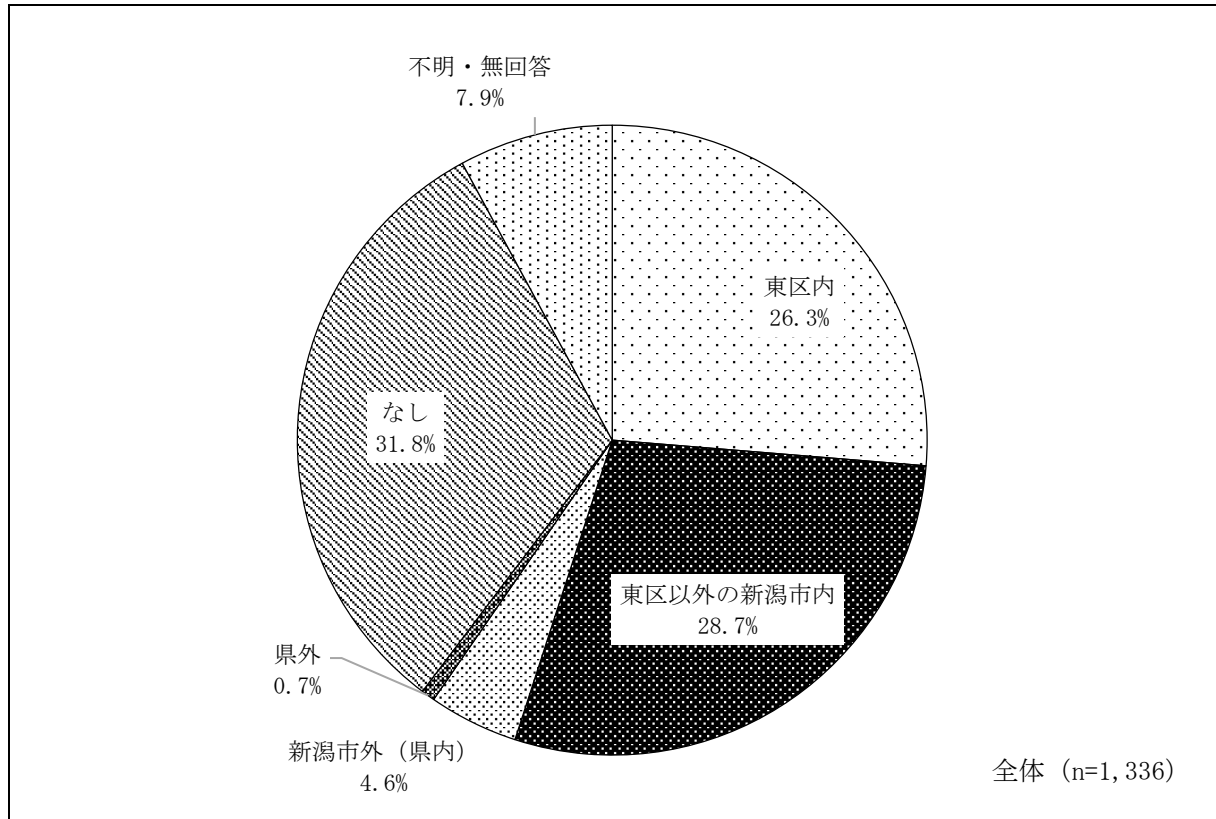
④ 居住地別

各居住地とも「2世代世帯」が46.0%～55.3%と5割前後を占める。次いで「夫婦のみ」に続くが、山の下中学校区では「1人暮らし」が2番目に多い。

II 調査結果



Q7：通勤・通学先



【全体結果】

通勤・通学先は「なし」と回答した方が31.8%となり、「東区以外の新潟市内」が28.7%、「東区内」が26.3%と、東区内外ではほぼ差はない結果となった。

【属性別結果】

① 性別

男性は「東区以外の新潟市内」の通勤や通学者が31.4%、「東区内」が23.3%と少ない。女性は「東区以外の新潟市内」の通勤や通学者27.2%、「東区内」の通勤や通学者が28.9%と「東区内」が僅差で多い。通勤や通学なしの割合は男性30.4%、女性が32.8%と女性がわずかに多い。

②年齢別

30歳代を除く50歳代までは、「東区以外の新潟市内」の通勤通学者が多い。30歳代は「東区内」の通勤者が多くなっている。

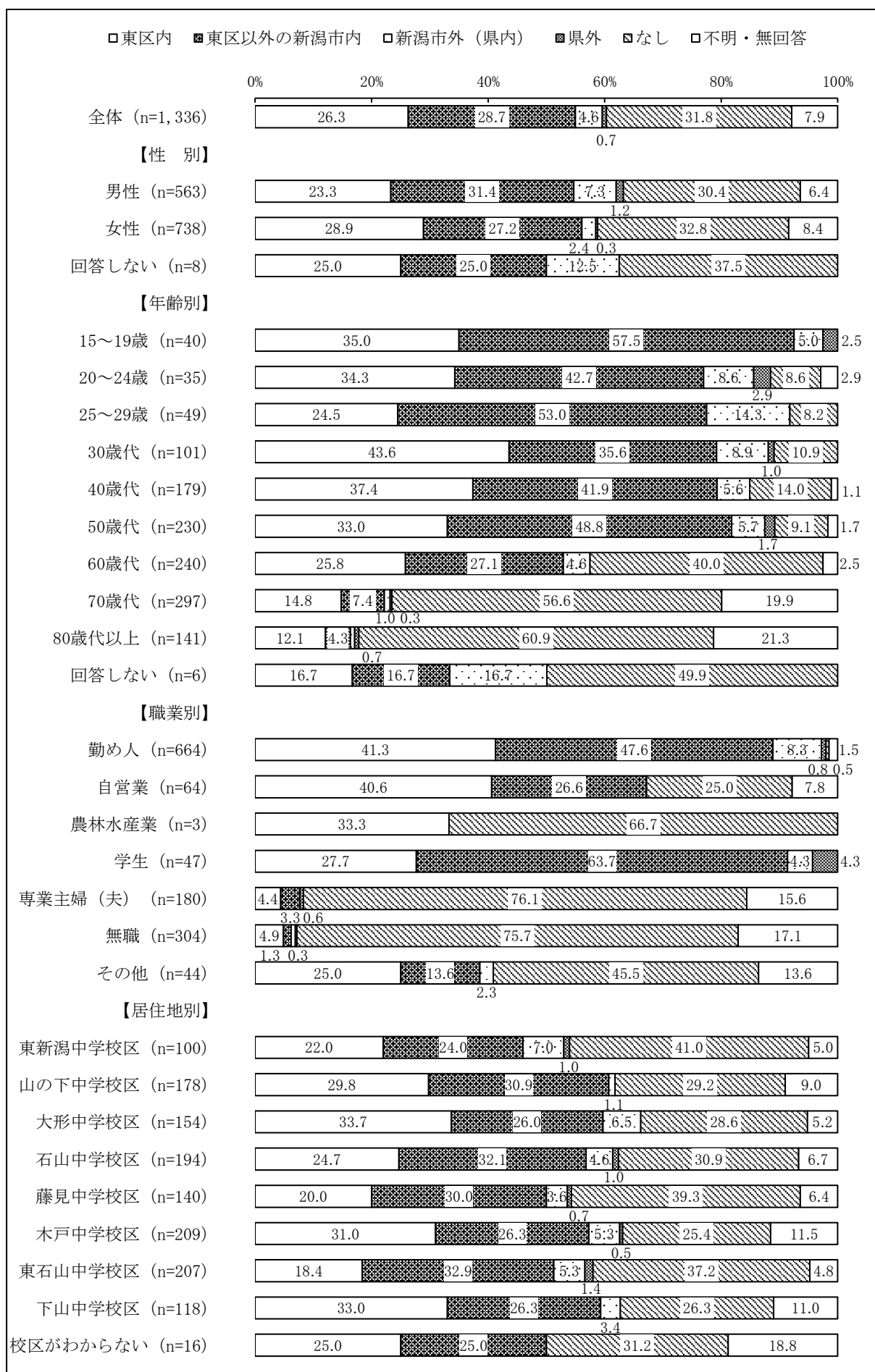
③職業別

勤め人や学生は「東区以外の新潟市内」の通勤や通学が多い。

④居住地別

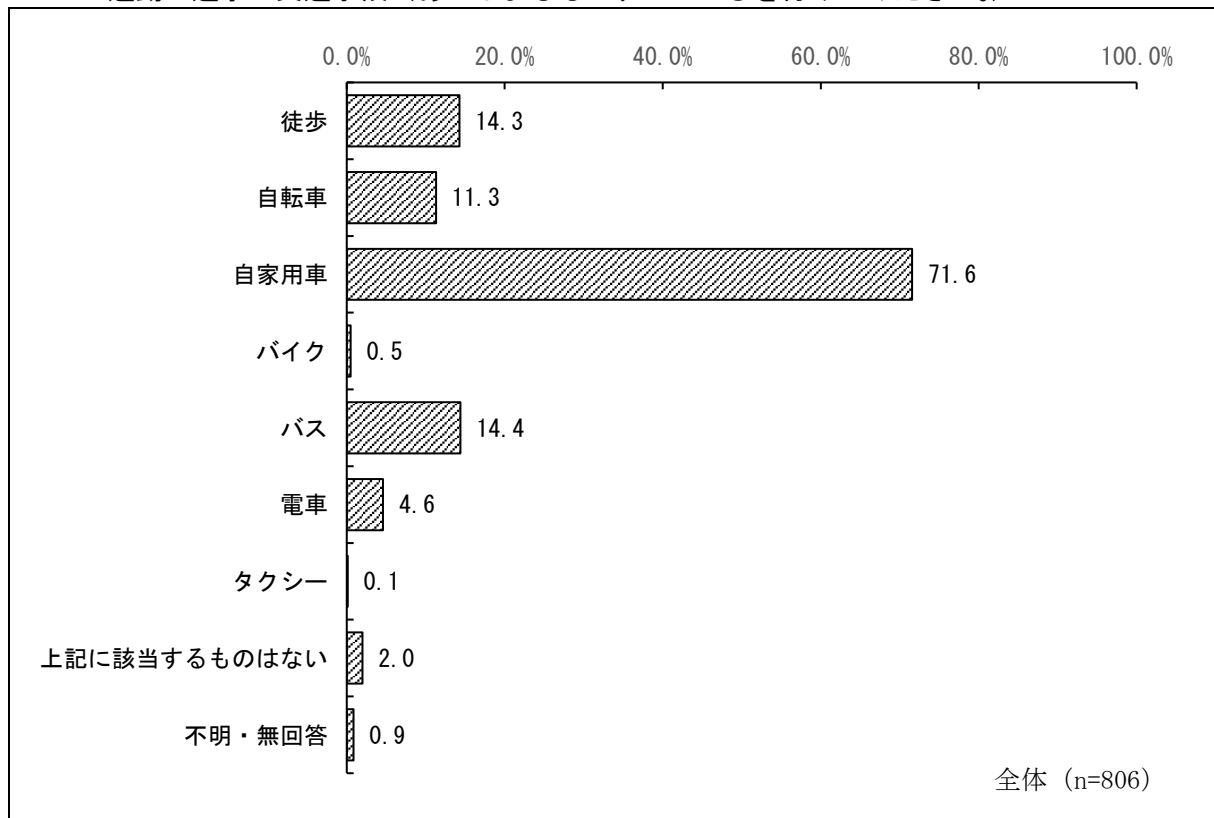
各居住地とも「東区内」と「東区以外の新潟市内」の通勤通学はほぼ拮抗している。

II 調査結果



Q8 : (Q7で「1」～「4」を回答した方にお聞きします)

通勤・通学の交通手段 (あてはまるものすべてに○を付けてください。)



【全体結果】

「自家用車」での通勤が7割以上を占めている。

【属性別結果】

① 性別

「自家用車」「バイク」「電車」利用は女性より男性が多い傾向。「徒歩」「自転車」「バス」の利用は男性より女性が多い傾向にある。

② 年齢別

15～19歳では「徒歩」「自転車」は4割強、「バス」は57.5%と半数を超えている。20歳～24歳より上の年代では圧倒的に「自家用車」の利用が多い。

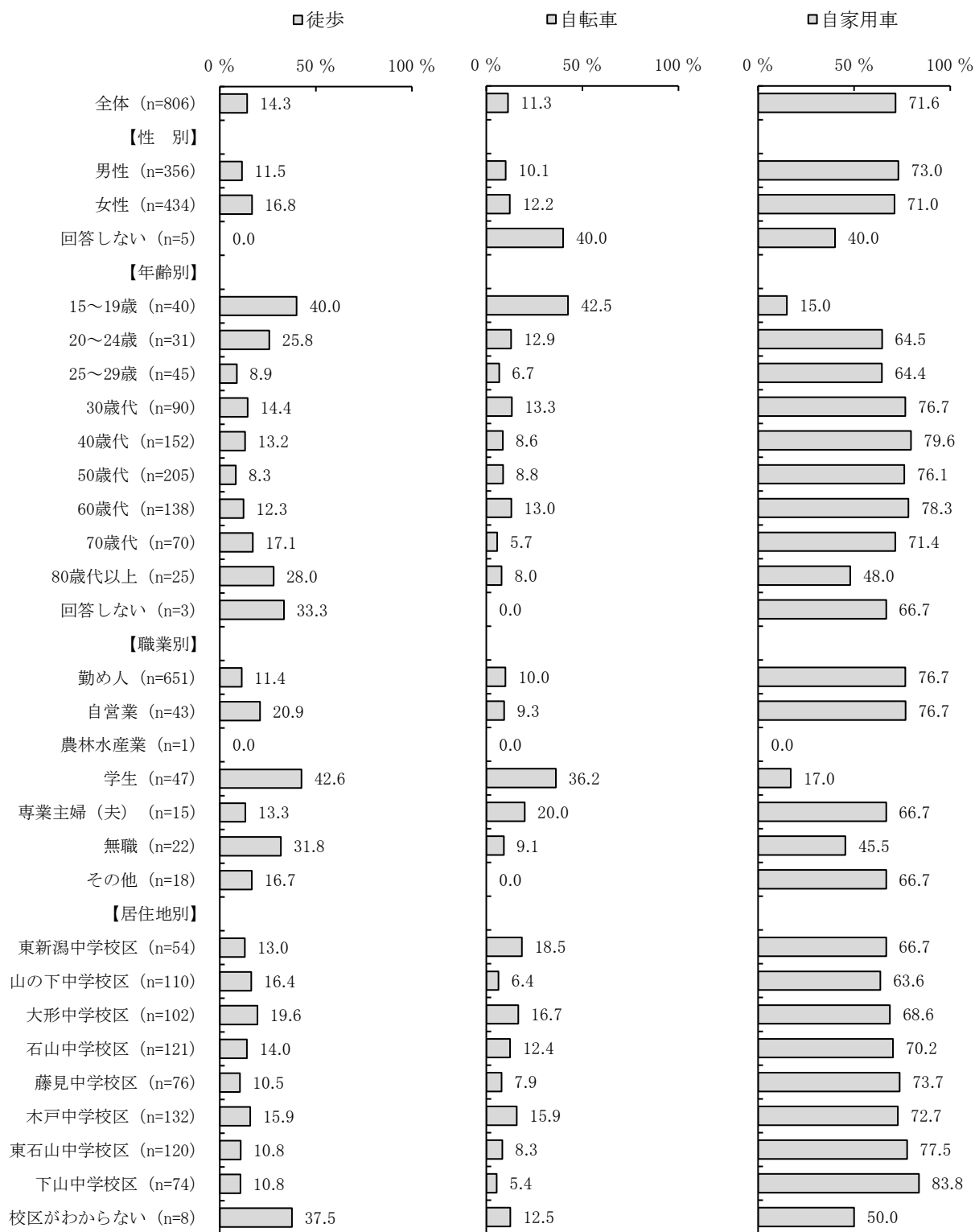
③ 職業別

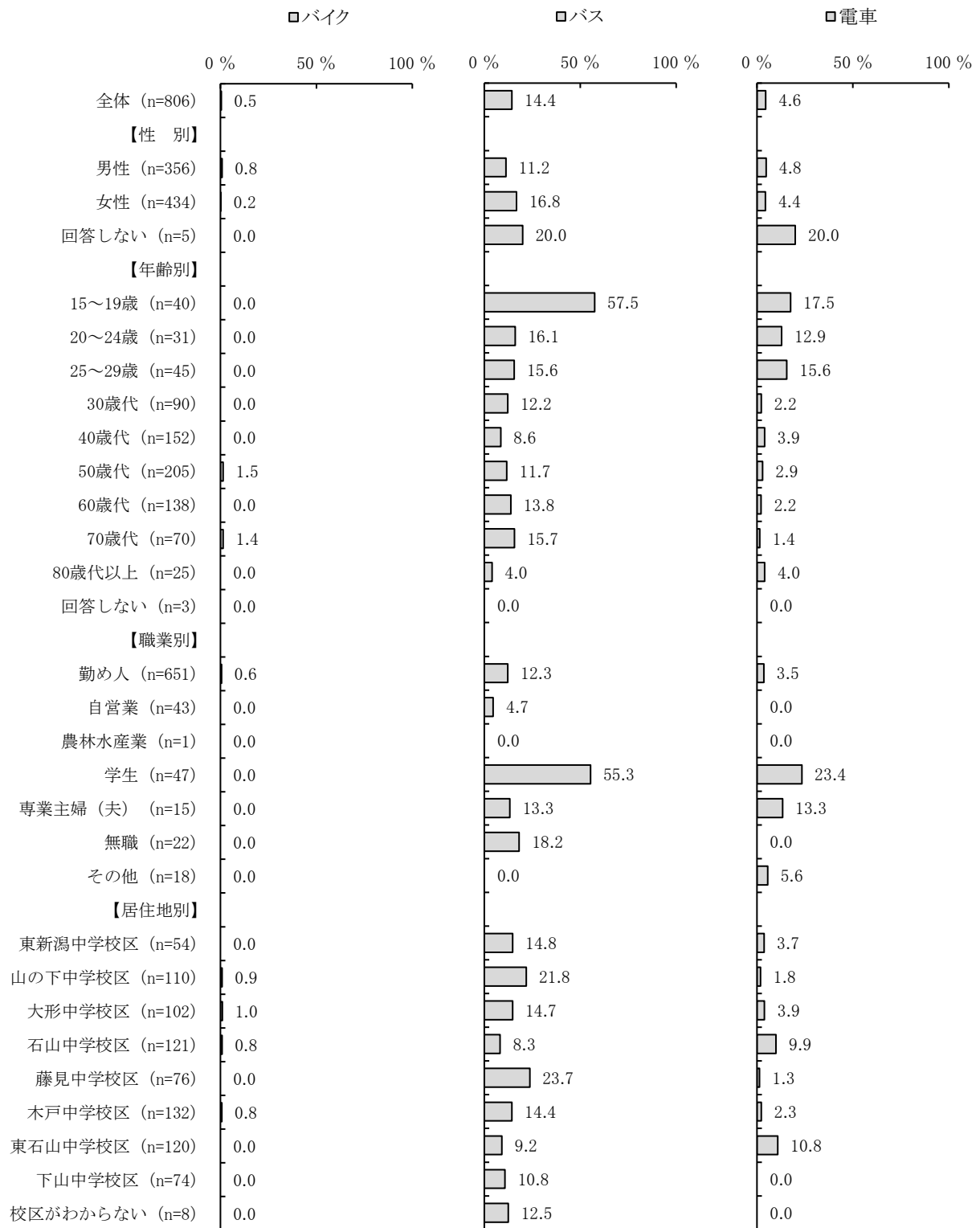
年齢別の結果を裏付けるように、学生の「徒歩」「自転車」「バス」「電車」利用は多くなる傾向。勤め人や自営業は「自家用車」の利用が多い。

④ 居住地別

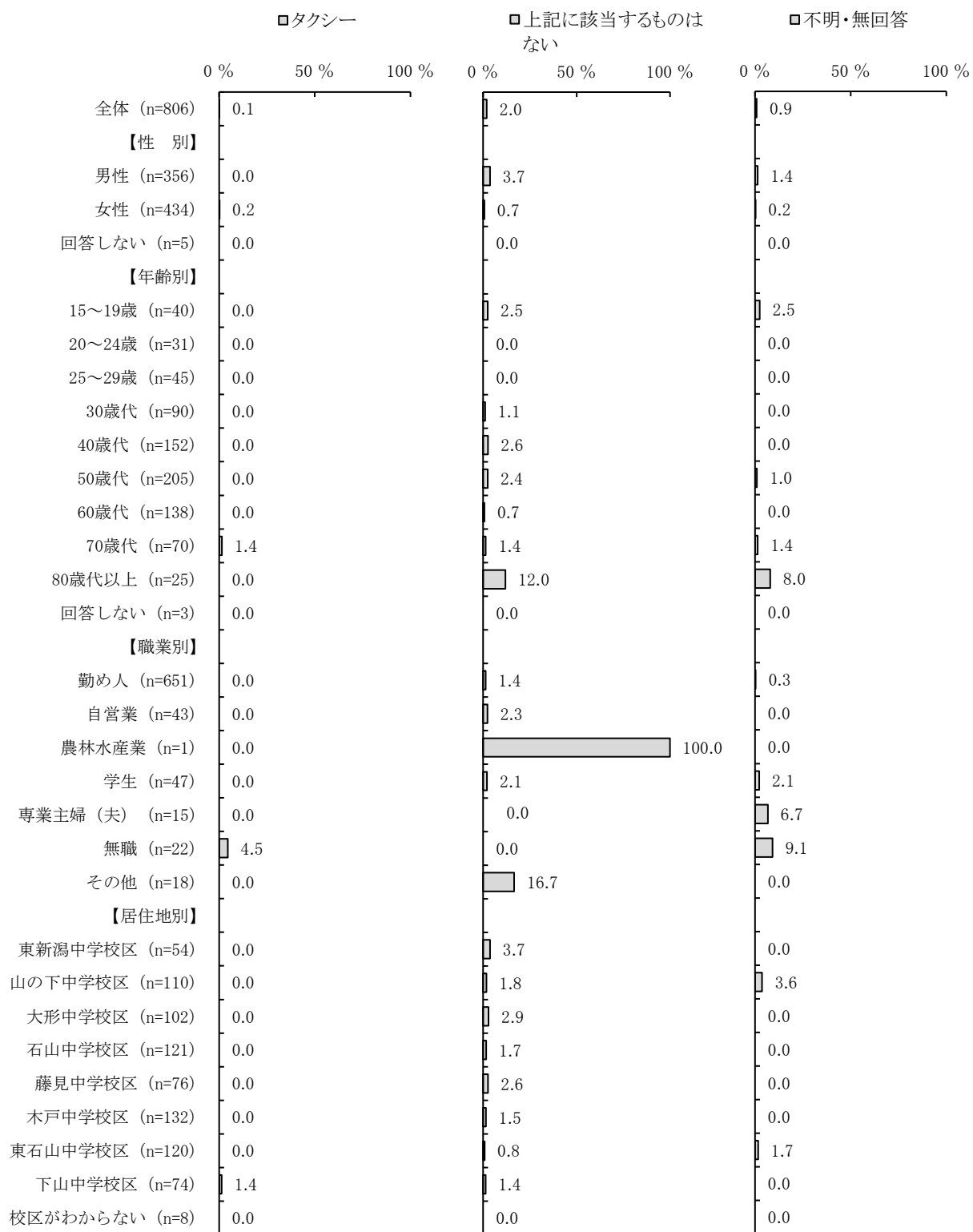
各居住地とも「自家用車」の利用が圧倒的に高い。公共交通機関の「電車」と「バス」を比較すると、JRの駅に近い石山中学校区、東石山中学校区では「電車」の方が僅かながら多い。

II 調査結果



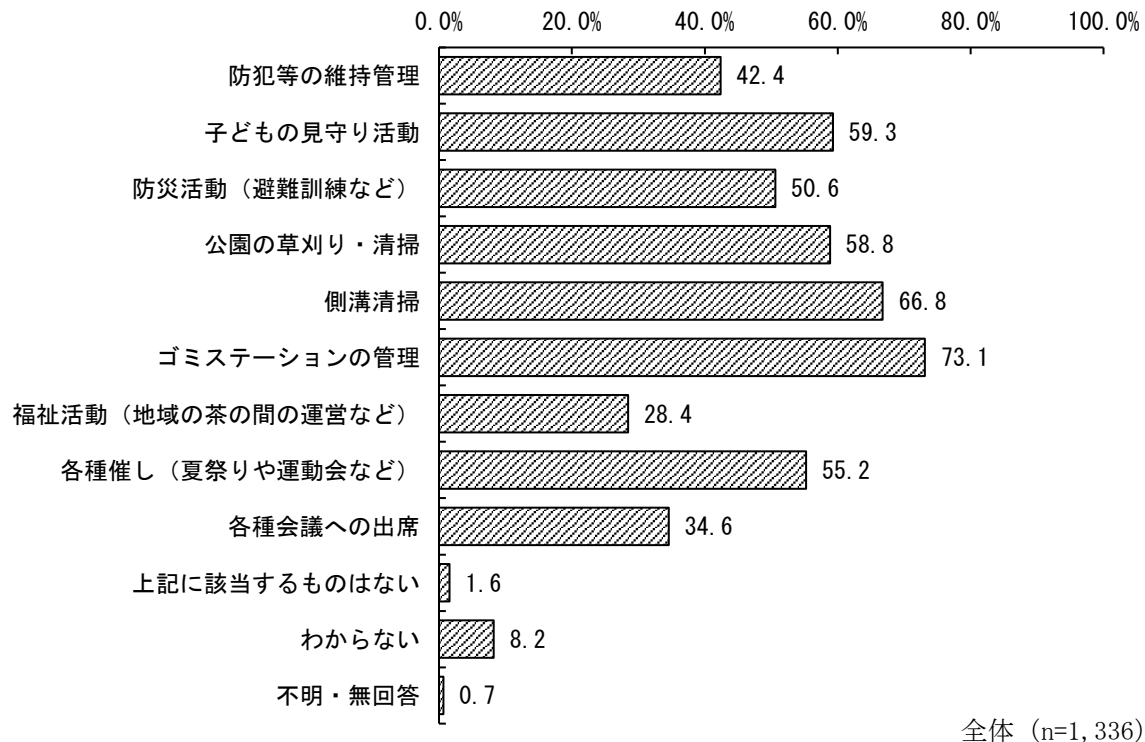


II 調査結果



2. 『自治会・町内会活動』について

Q9：あなたが知っている自治会・町内会活動は何ですか？
(あてはまるものすべてに○を付けてください。)



【全体結果】

「ゴミステーションの管理」が7割を超え、次いで「側溝清掃」が66.8%で地域の衛生管理につながる活動の意識が高い。一方「福祉活動」が28.4%と低い結果となった。

【属性別結果】

① 性別

「ゴミステーションの管理」「側溝清掃」は男女ともに高い。「子どもの見守り」や「防災活動」は女性が高くなっている。

② 年齢別

「ゴミステーション管理」「側溝清掃」「公園の草刈り・清掃」は30歳代から意識が高まる傾向。15歳～19歳は「子どもの見守り活動」が62.5%と他の活動より高い。

③ 職業別

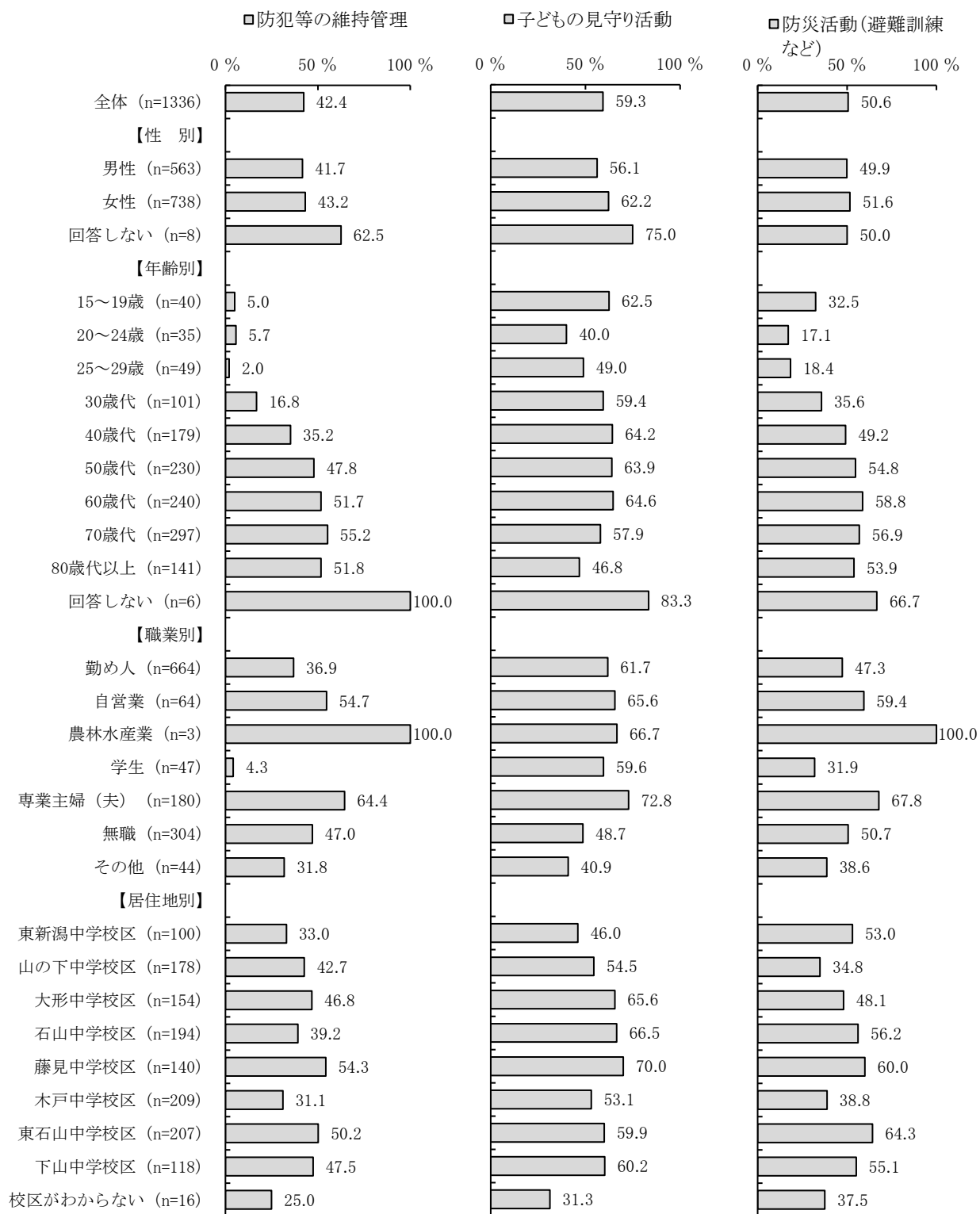
いずれの活動においても、専業主婦(夫)は他の職業に比べると比較的高い割合で自治会・町内会の活動内容を知っている。

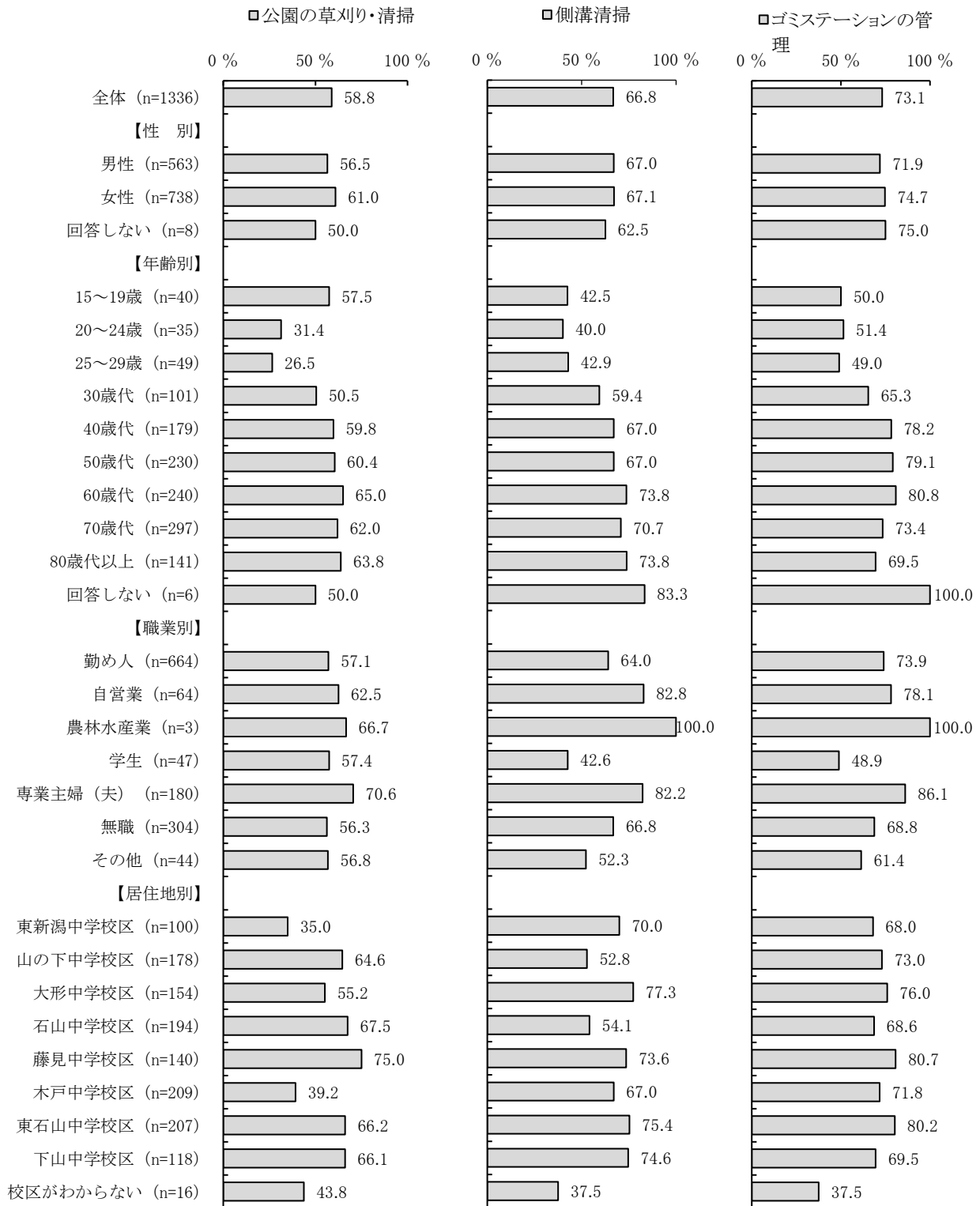
「福祉活動」や「各種会議への出席」については、勤め人や自営業は30～40%程度で、自治会・町内会の活動としてあまり知られていないようである。

④ 居住地別

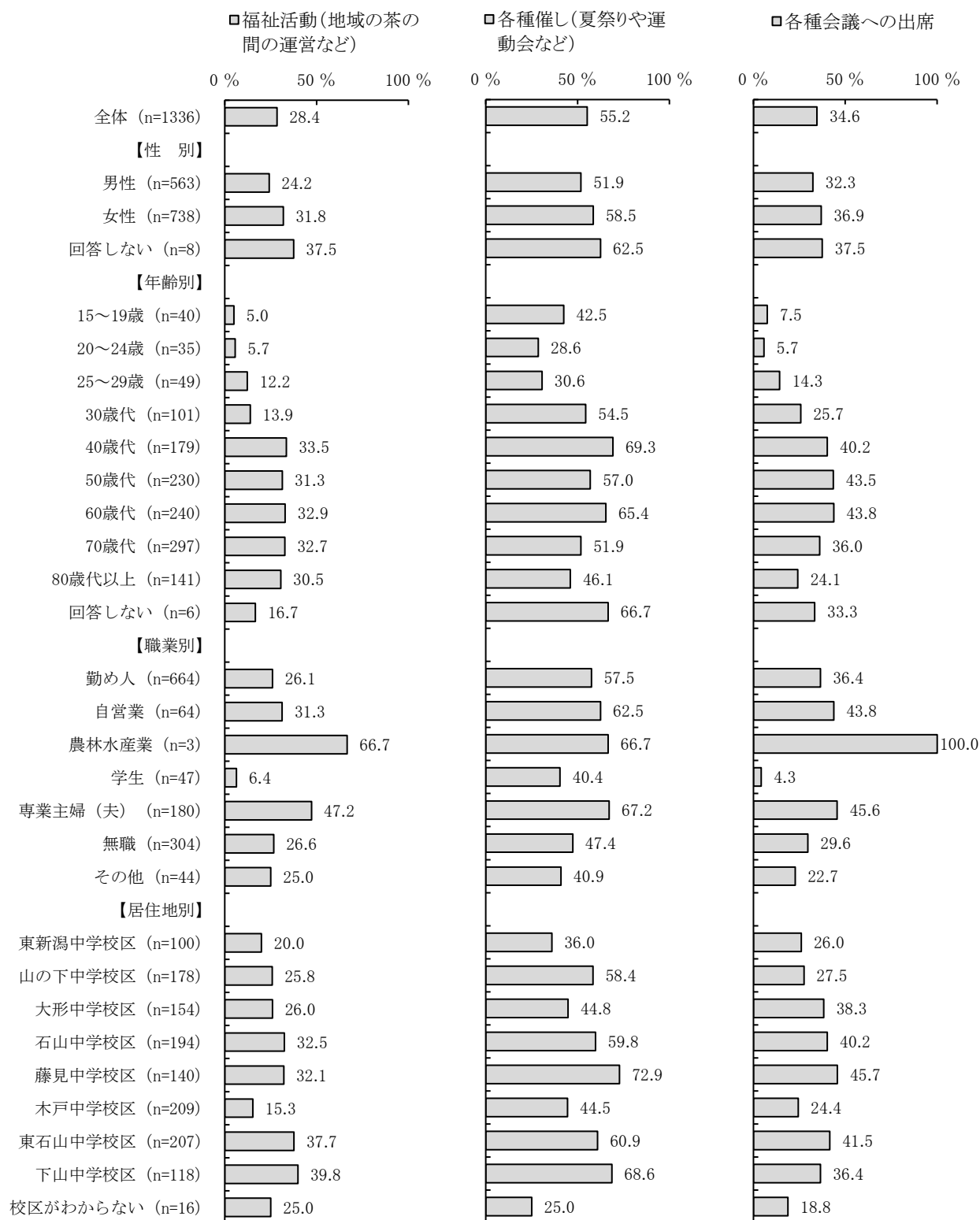
藤見中学校区が自治会・町内活動の全体で上位を占める。一方、木戸中学校区では活動の認知度が低い傾向にある。

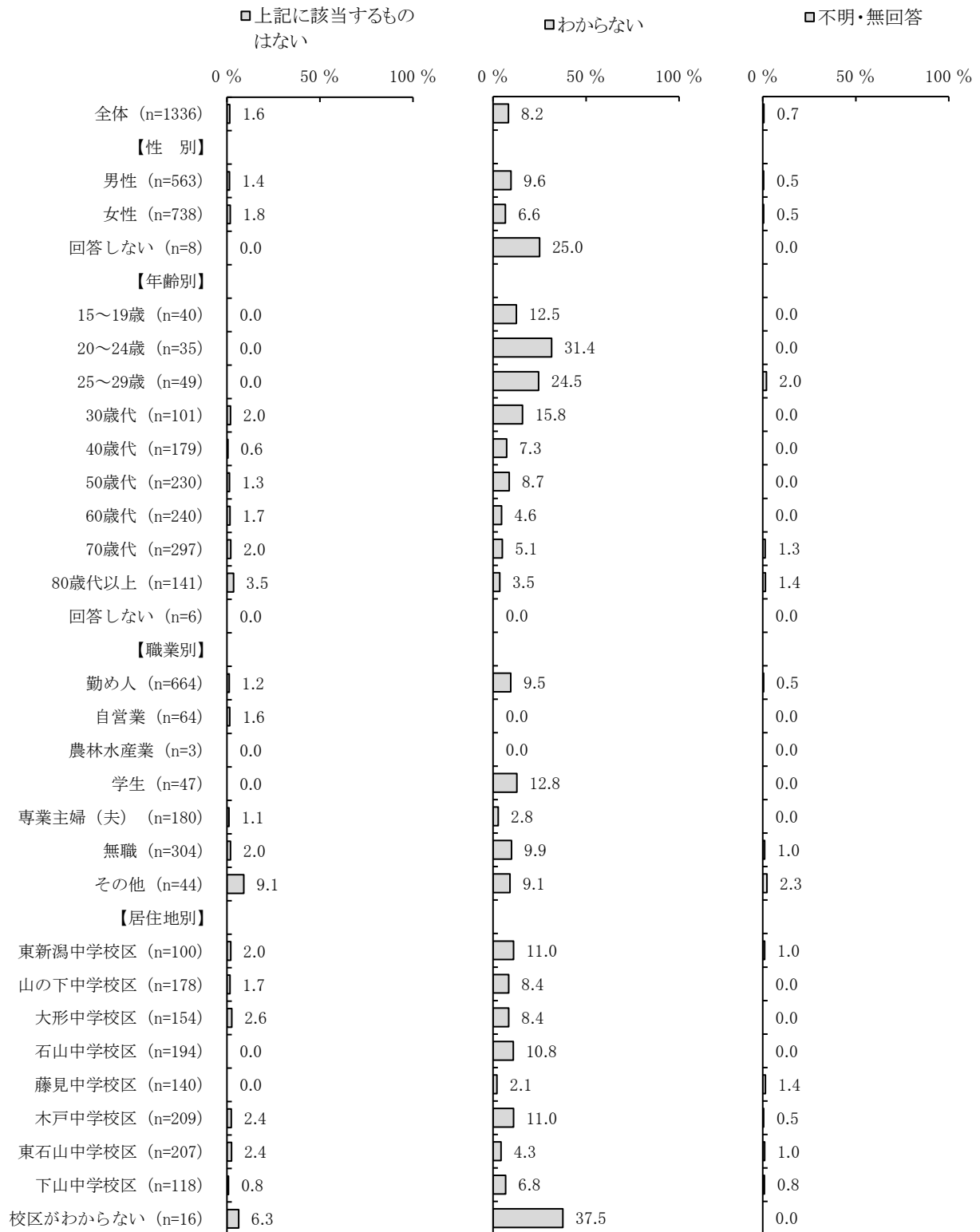
II 調査結果



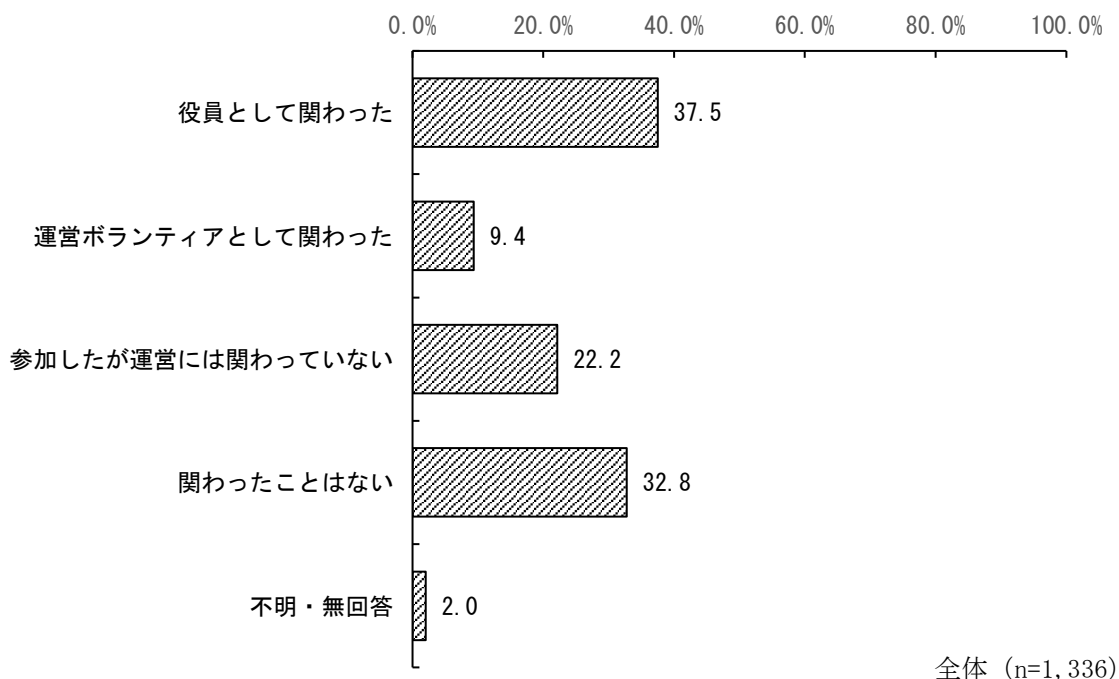


II 調査結果





Q10：あなたはどの立場で自治会・町内会活動に関わったことがありますか？
 (あてはまるものすべてに○を付けてください。)



【全体結果】

「役員として関わった」が37.5%、「関わったことはない」32.8%と続く。一方、「運営ボランティアとして関わった」は9.4%と低かった。

【属性別結果】

① 性別

男女差はいずれの選択肢も大差がなく、「役員として関わった」「運営ボランティアとして関わった」「参加したが運営には関わっていない」では女性の方がわずかに多いが、「関わったことはない」は男性が6.8%多い。

② 年齢別

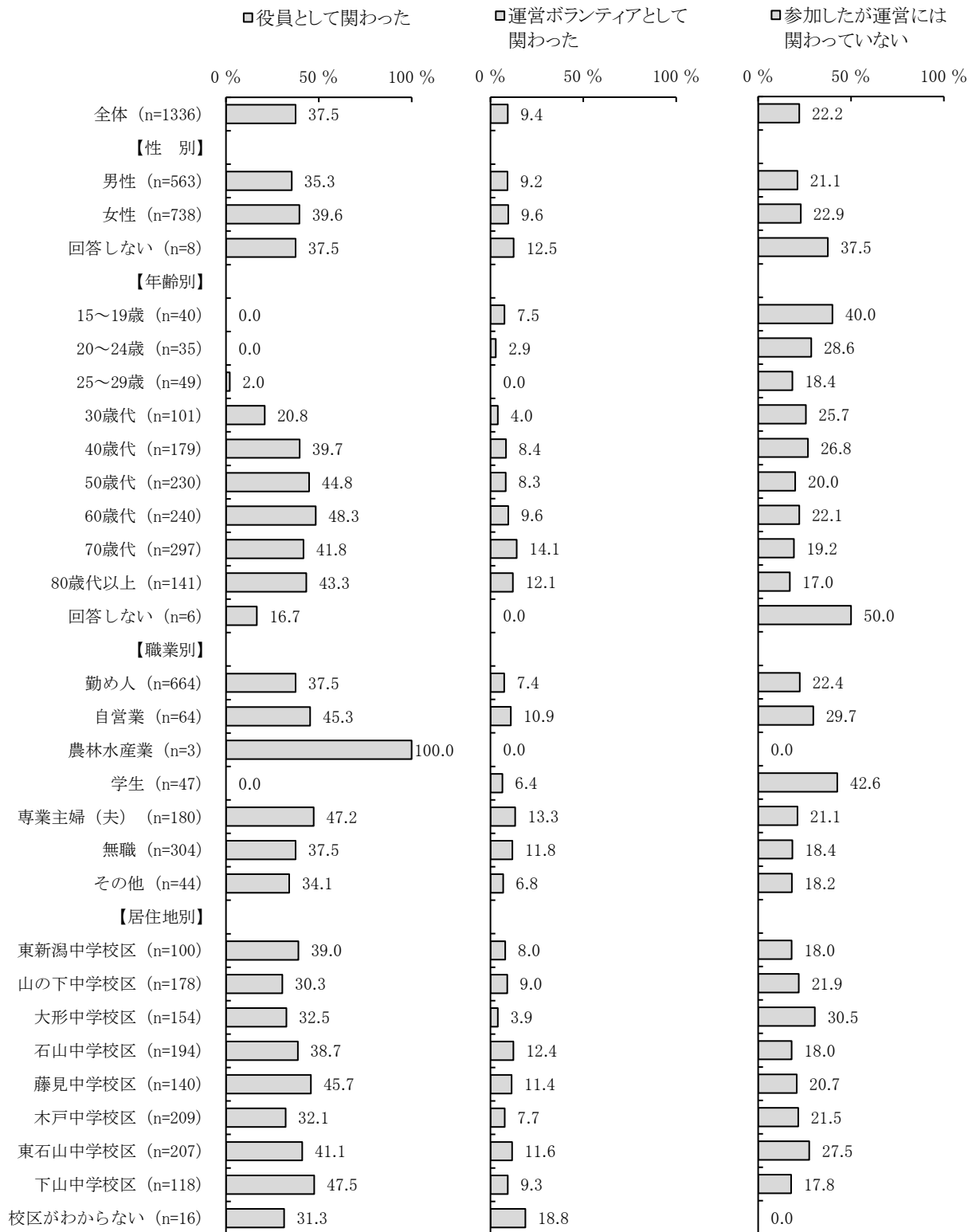
30歳代から役員として関わるが増える傾向。「関わったことはない」は25～29歳が顕著で、15～24歳も「関わったことがない」の割合は高い。

③ 職業別

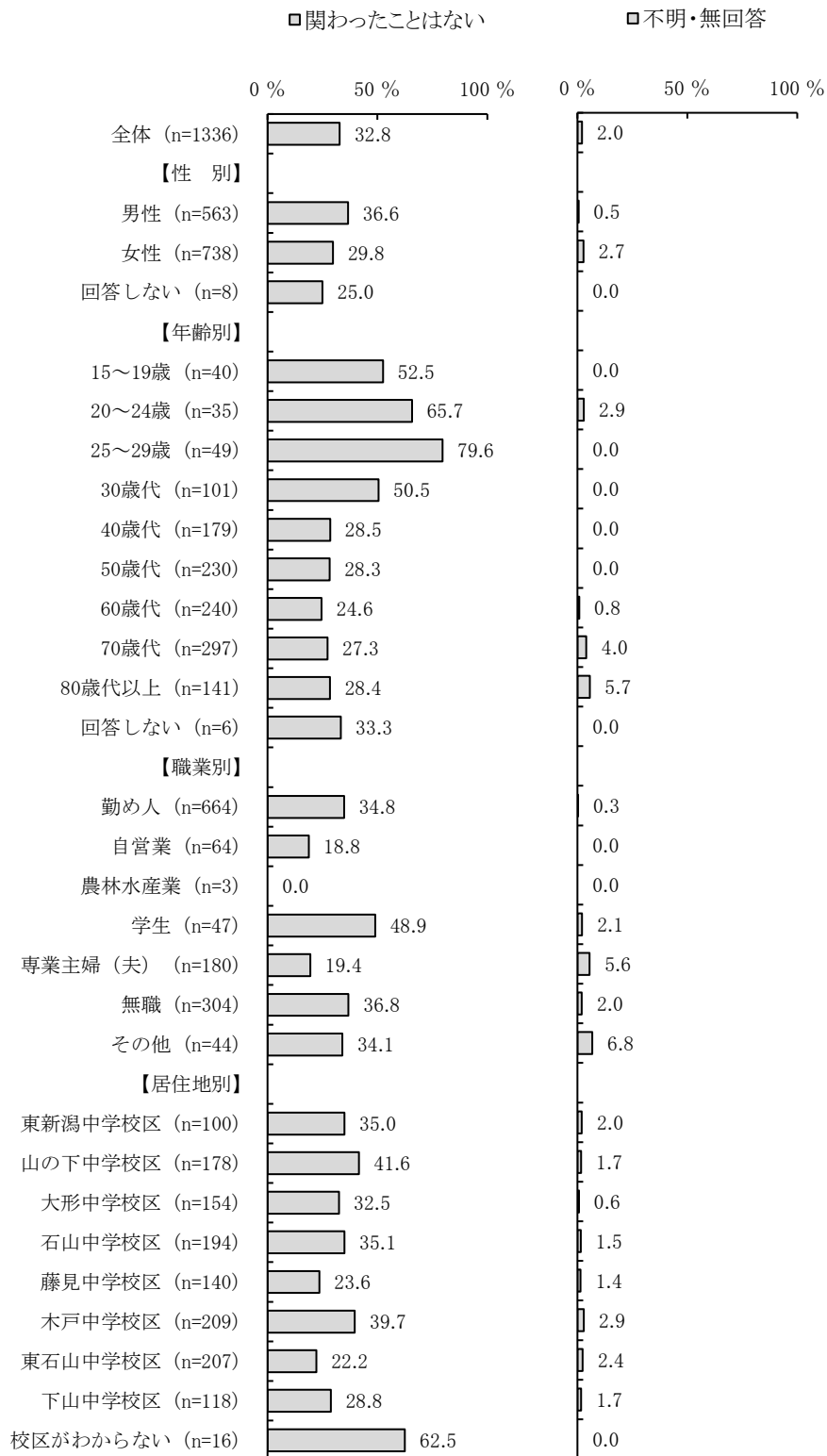
「役員として関わった」「運営ボランティアとして関わった」など運営側としての関わりは専業主婦(夫)が多く、学生については「参加したが運営には関わっていない」が42.6%、「関わったことがない」が48.9%で運営側としての関わりが少ない。

④ 居住地別

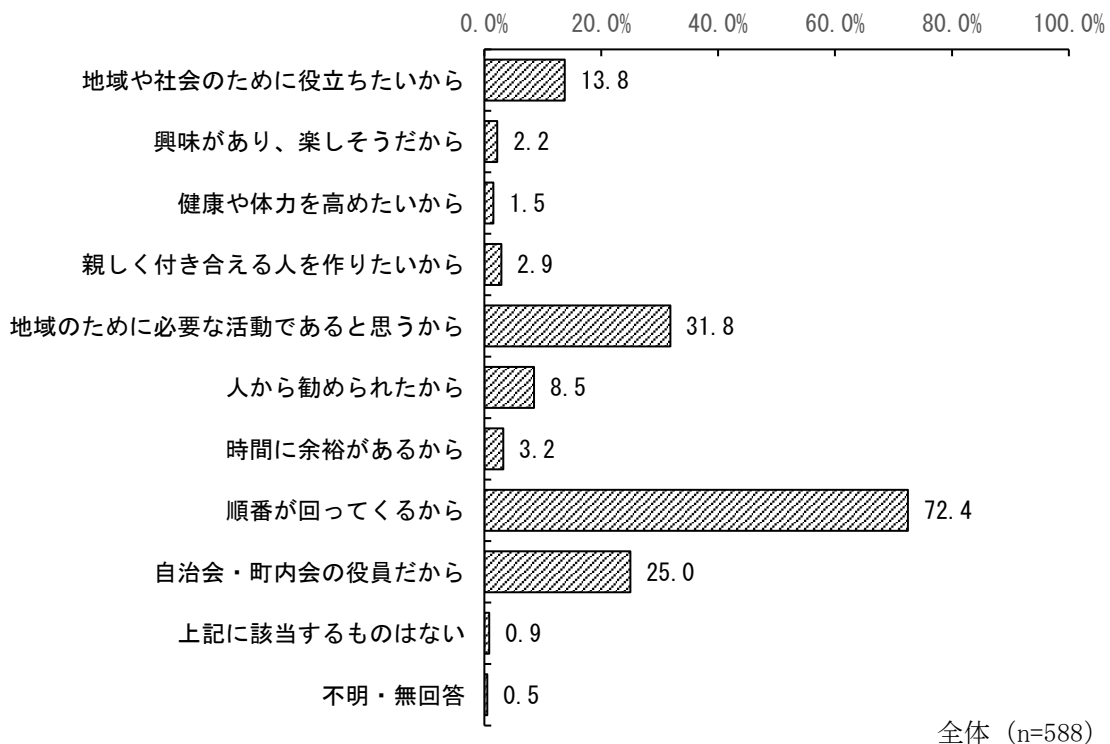
「役員として関わった」「運営ボランティアとして関わった」という運営側としての関わりが多かった上位3居住地は、藤見中学校区57.1%、下山中学校区56.8%、東石山中学校区52.7%であり、この3居住区については運営側としての関わりが高いということに反比例して、「関わったことがない」の回答割合が、藤見中学校区23.6%、下山中学校区28.8%、東石山中学校区22.2%といずれも3割に満たなかった。



II 調査結果



Q11：(Q10で「1」「2」と回答した方にお聞きします)
 あなたが関わった理由は何ですか？
 (主にあてはまるものに3つまで○を付けてください。)



【全体結果】

町内会・自治会への関わった理由として、「順番が回ってくるから」が72.4%と7割以上を占め、逆に「健康や体力を高めたいから」という積極的理由が1.5%と低い。

【属性別結果】

① 性別

男女共「順番が回ってくるから」が最も多い。女性77.4%が男性65.4%より12.0%多い。次いで「地域のために必要な活動であると思うから」では男性が36.3%、女性が28.8%で、男性の方が7.5%高い。

② 年齢別

各年齢層でも「順番が回ってくるから」が多くを占める。その中では70歳代58.6%、80歳代以上55.6%は、他の年齢層よりも低い。

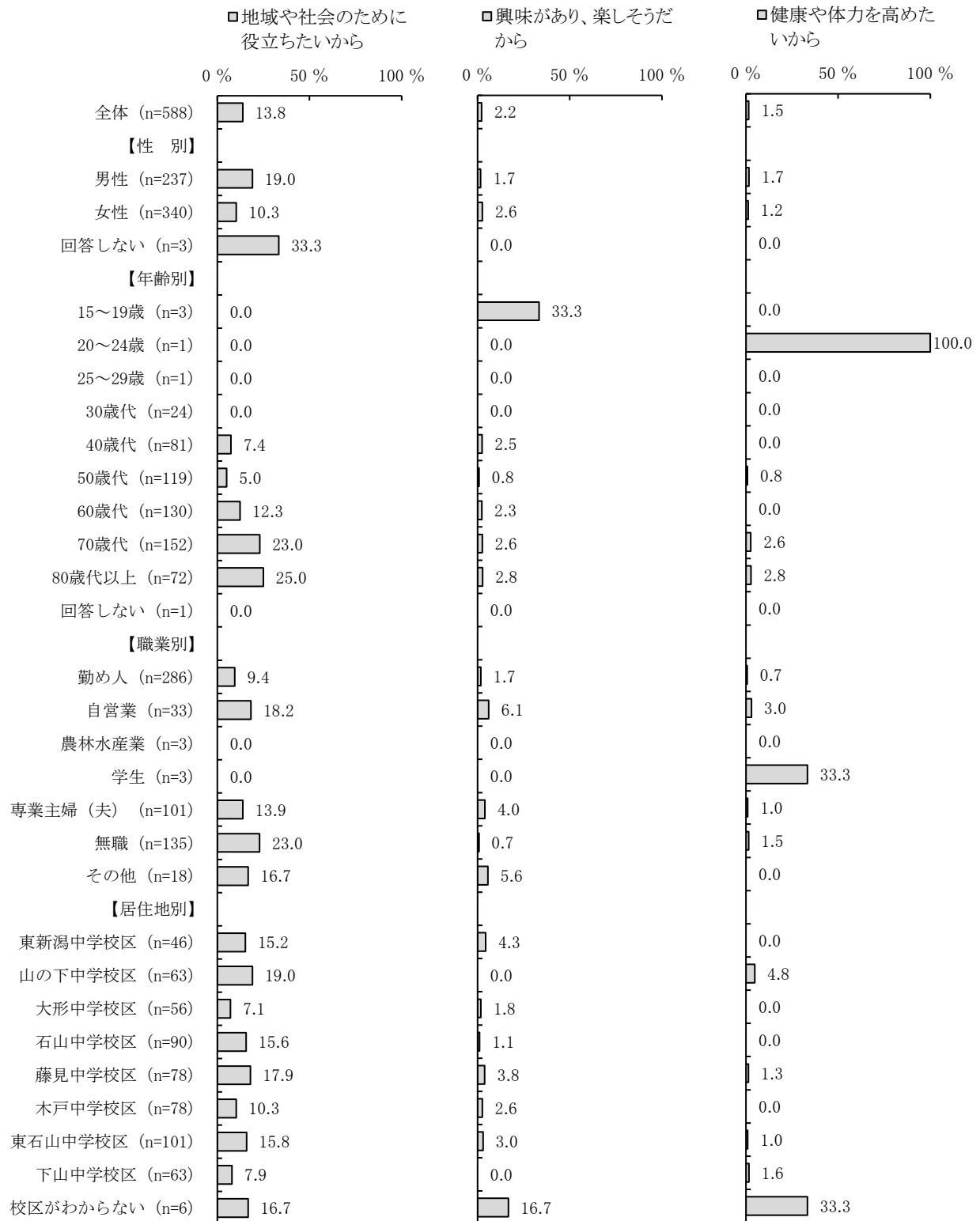
③ 職業別

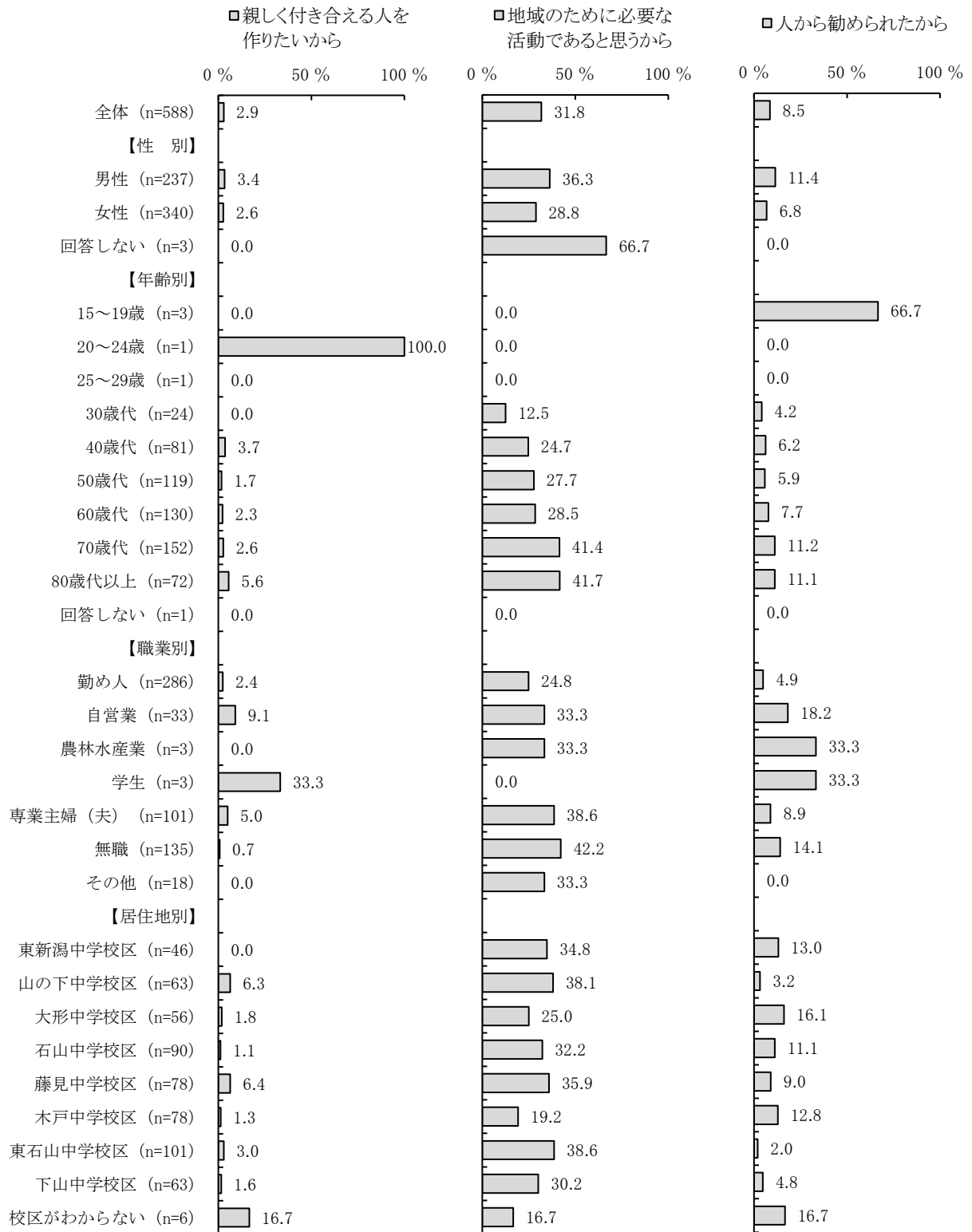
「順番が回ってくるから」という理由は、どの職業でも最も高い割合で選ばれたが、その中でも勤め人が81.8%と8割超えとなっている。

④ 居住地別

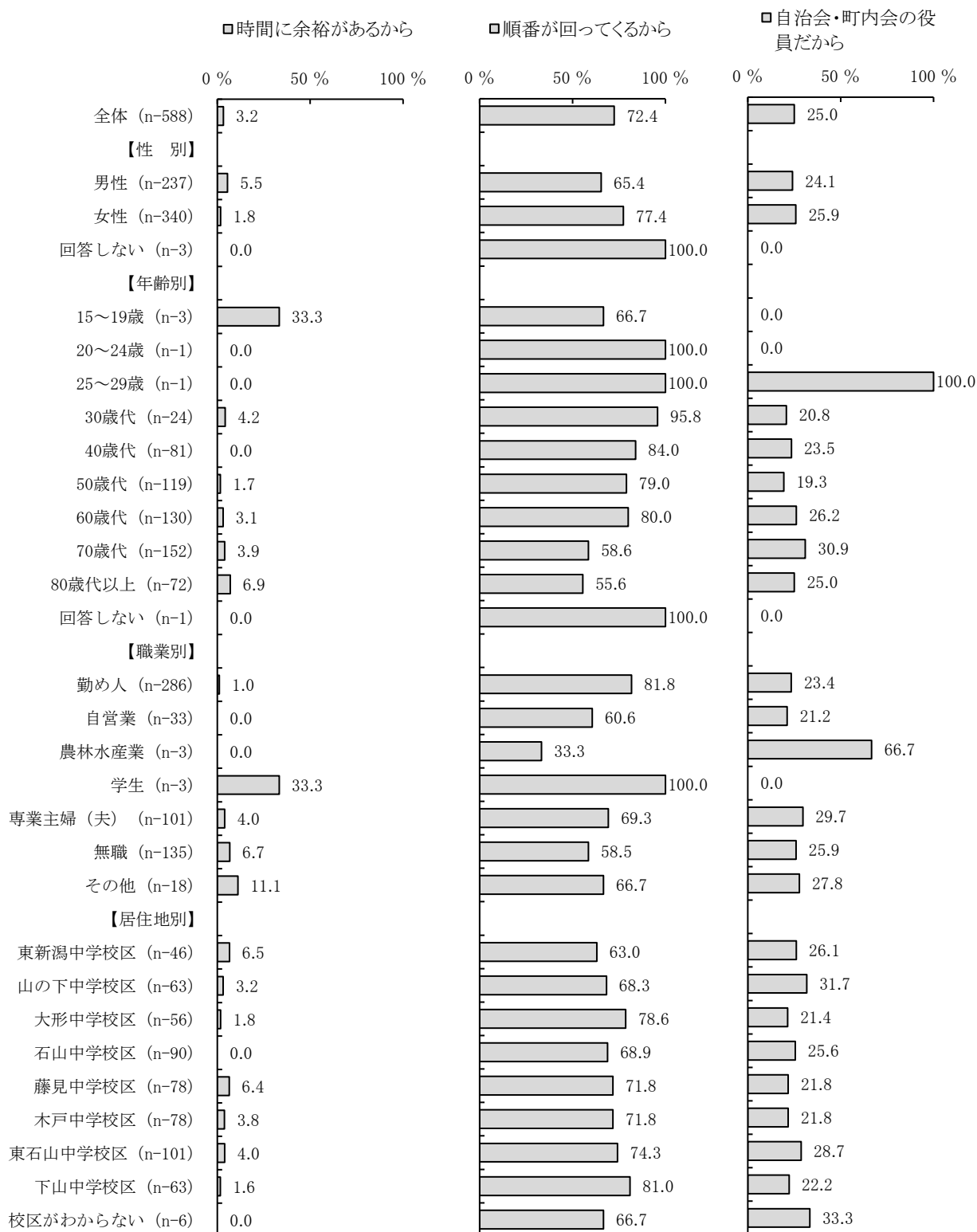
各居住地とも「順番が回ってくるから」が最も高く、その中でも下山中学校区は81.0%と高い。次に大形中学校区が78.6%。

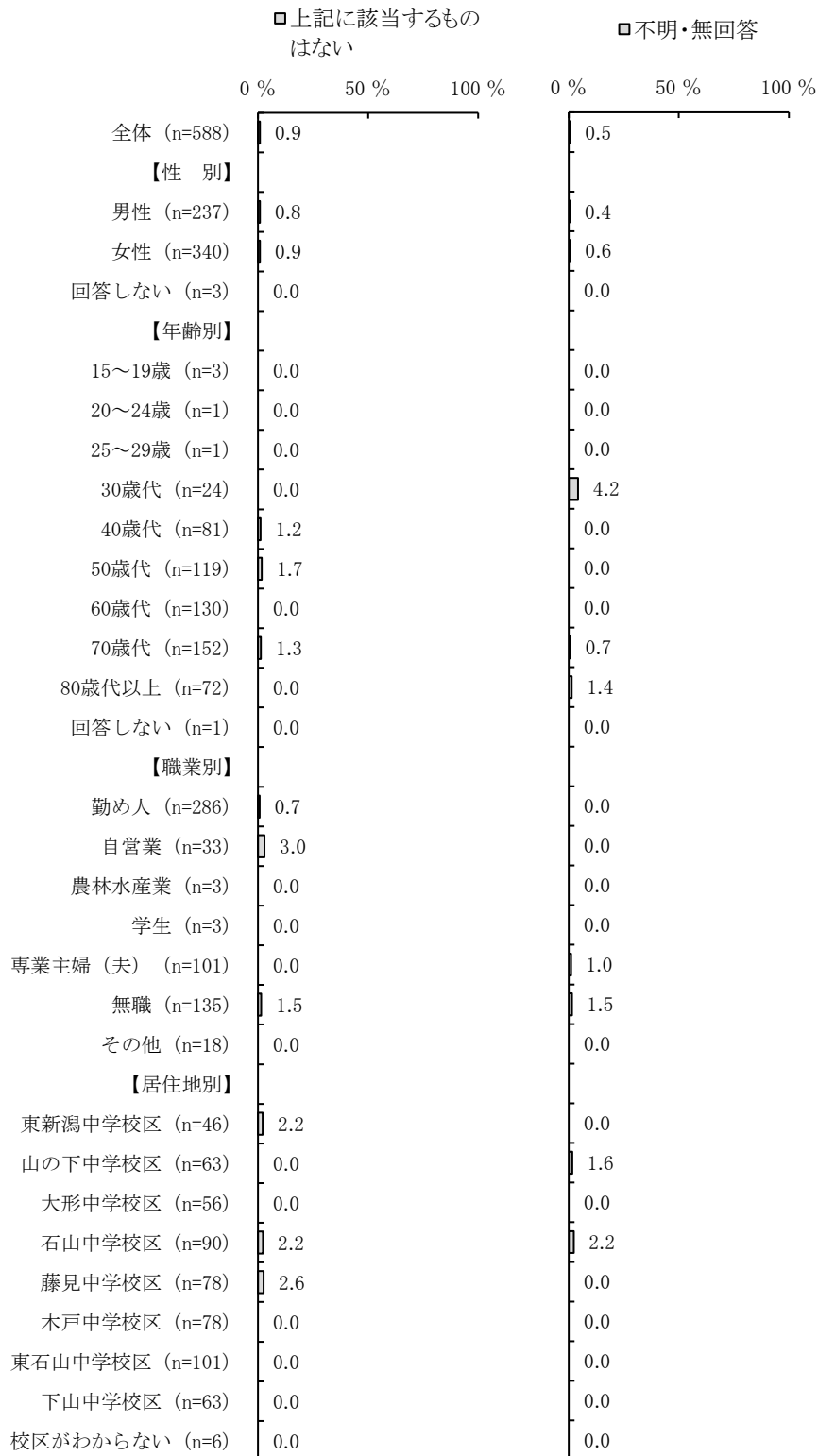
II 調査結果





II 調査結果



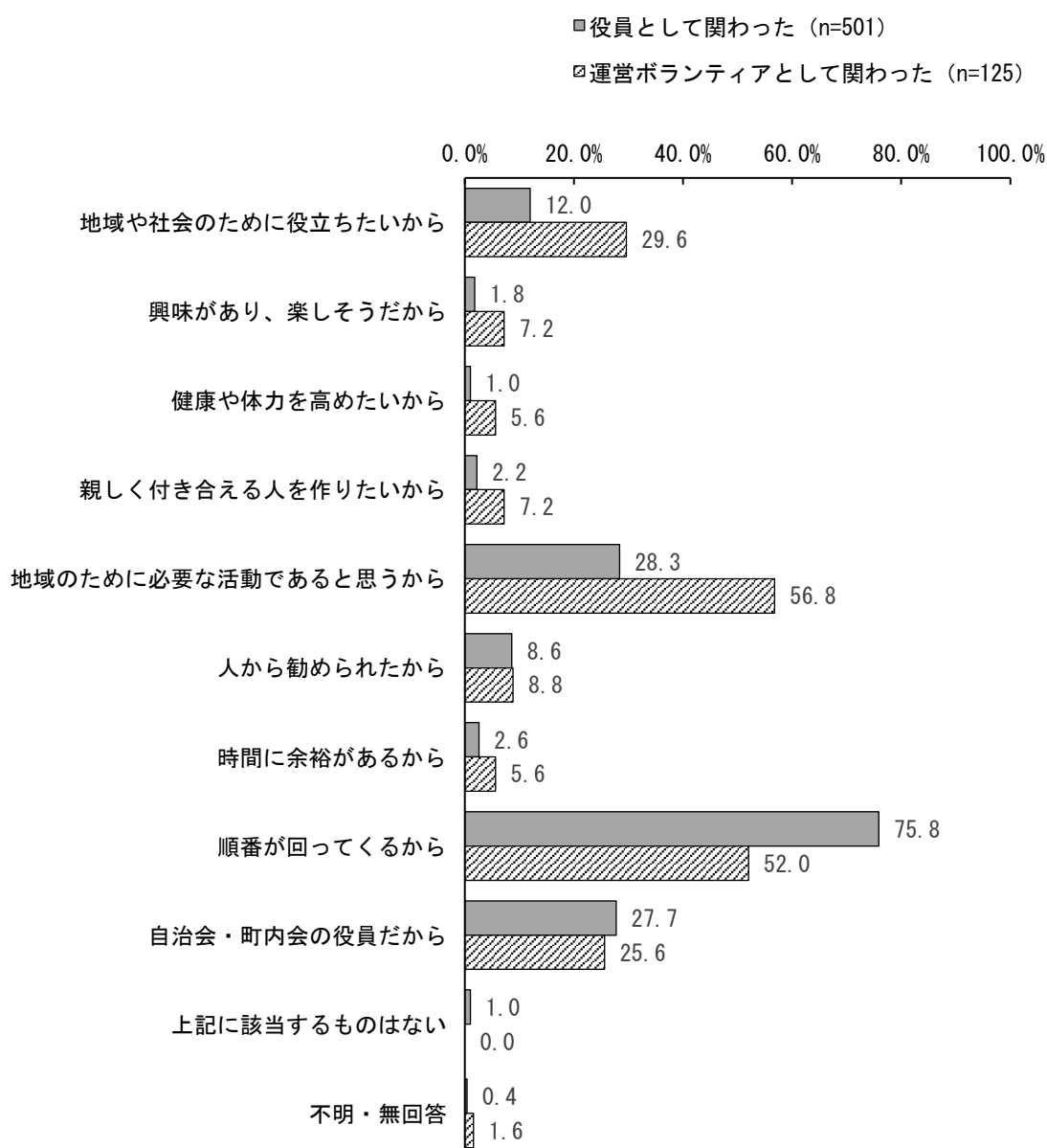


○立場別の関わり方の理由

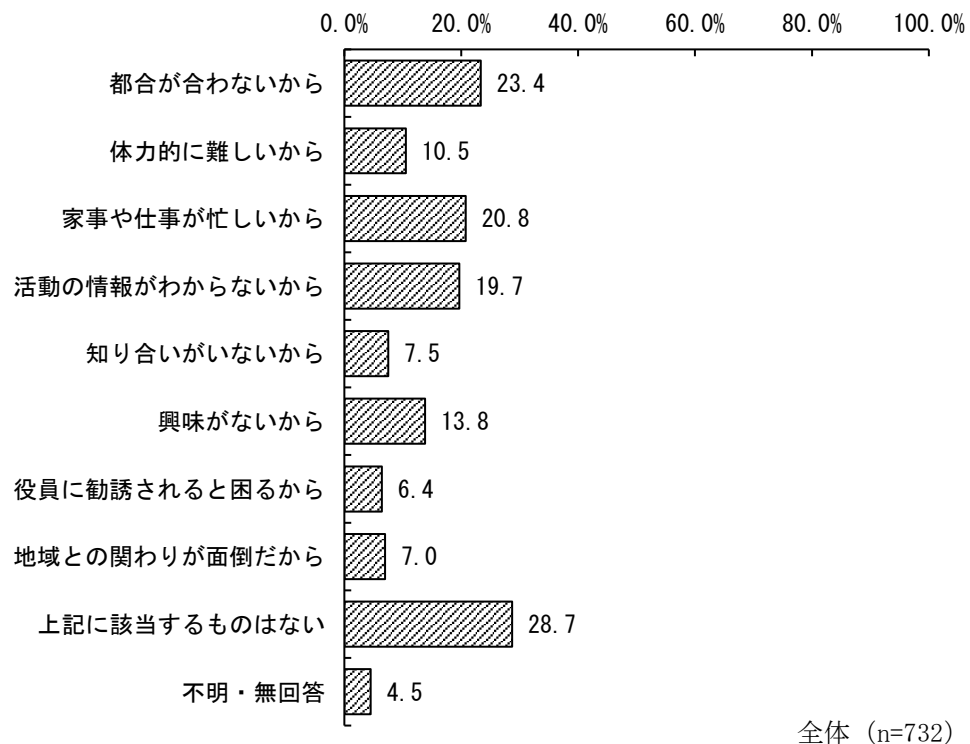
「Q10：あなたはどの立場で自治会・町内会活動に関わったことがありますか？」の回答のうち、運営側で関わった方を限定に、「Q11：あなたが関わった理由は何ですか？」の分布を計る。

役員としての関わりは、「順番が回ってくるから」を選んだ方が75.8%と7割以上を占め、他の選択肢に比べ圧倒的に多い。

運営ボランティアは、「地域のために必要な活動であると思うから」56.8%、次いで「順番が回ってくるから」52.0%の2つが主な理由となっている。



Q12：(Q10で「3」「4」と回答した方にお聞きします)
 あなたが関わったことがない理由は何ですか？
 (主にあてはまるものに2つまで○を付けてください。)



【全体結果】

「上記に該当するものはない」が28.7%で最も多いが、それを除いた中では「都合が合わないから」が23.4%、「家事や仕事が忙しいから」が20.8%と、時間的な理由を選ばれた方が多い。一方、「役員に勧誘されると困るから」の理由は6.4%と低い。

【属性別結果】

① 性別

男性は「都合が合わないから」が27.2%と最も多く、女性は、「上記に該当するものはない」が31.7%と高かった。

② 年齢別

20歳代では「活動の情報がわからない」が33.3%~39.6%と最も多く選ばれているが、30歳代~60歳代では「都合が合わないから」「家事や仕事が忙しいから」のいずれかを選んでいる。

③ 職業別

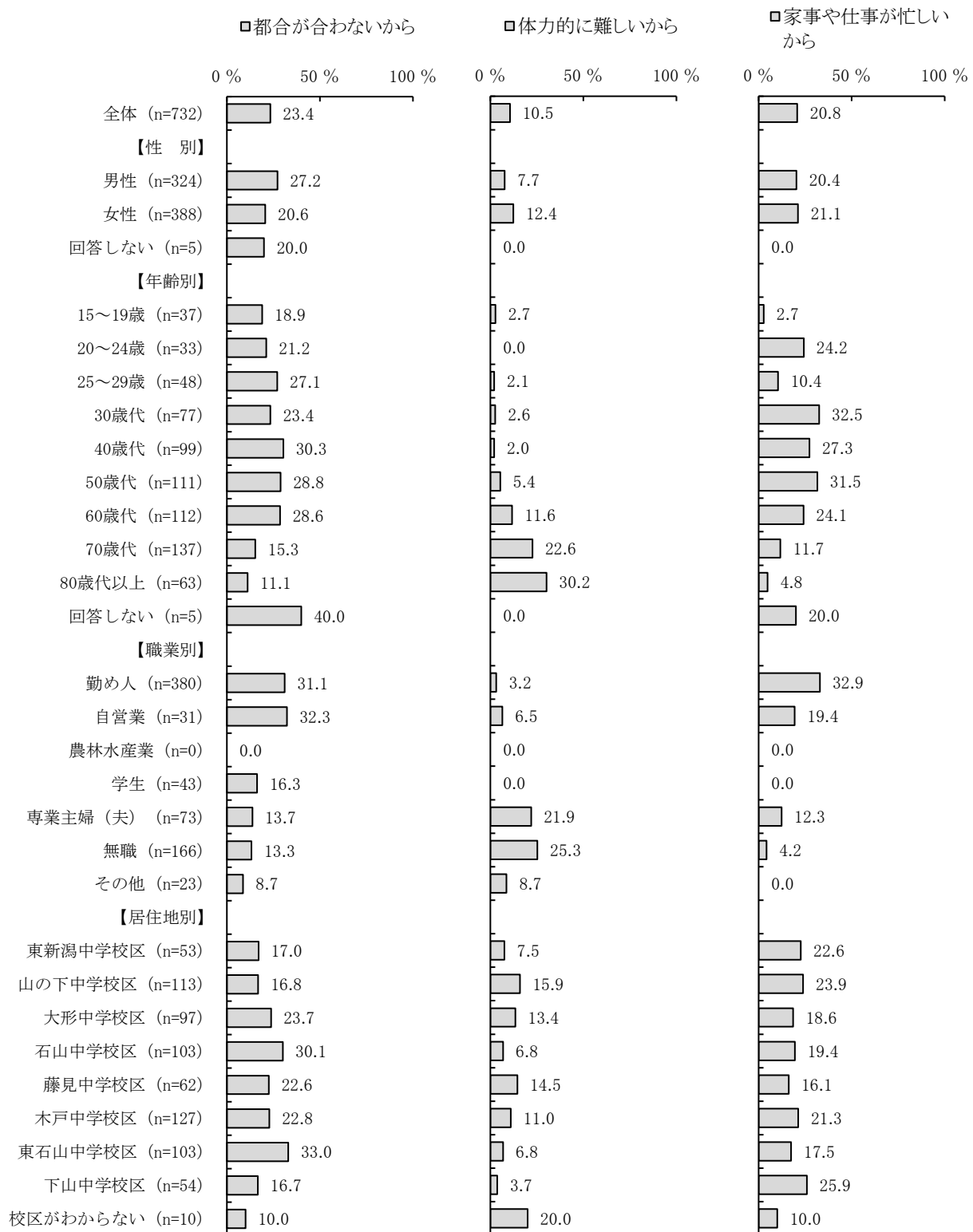
学生は「興味がない」が23.3%と多いが、それ以外の職業では「都合が合わないから」「家事や仕事が忙しいから」が多い理由となっている。

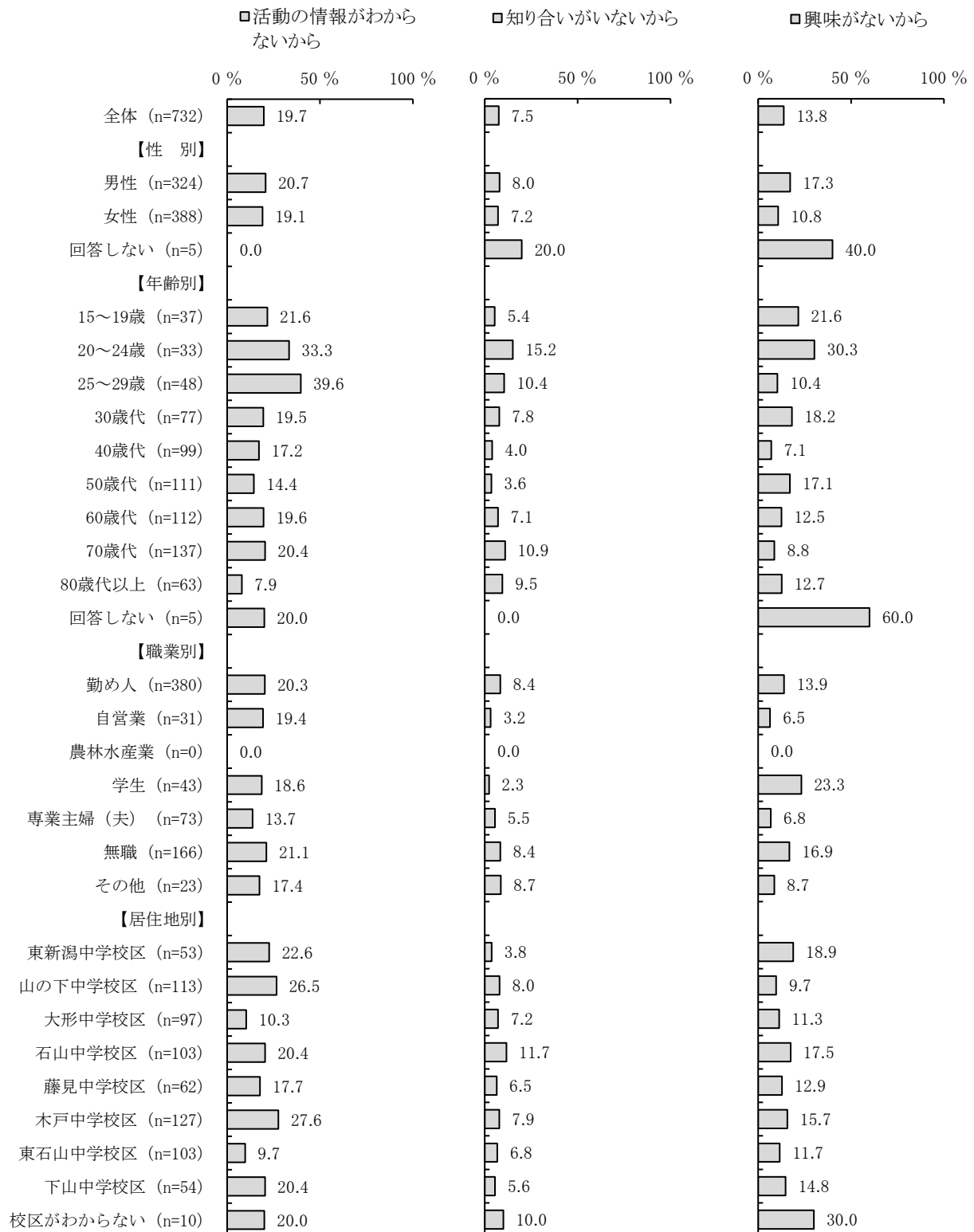
④ 居住地別

石山中学校区30.1%、東石山中学校区33.0%は、「都合が合わないから」という理由が3割を超えている。

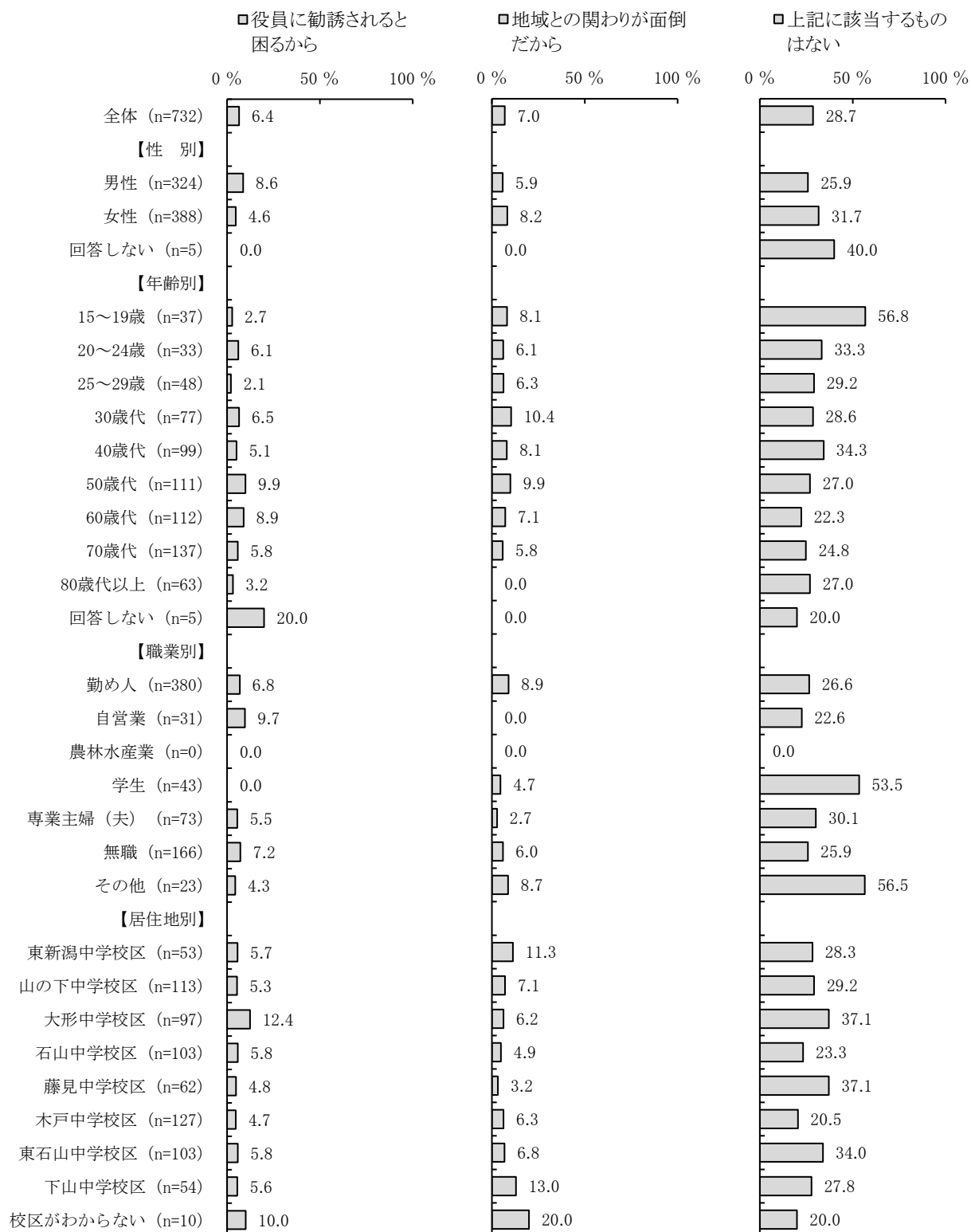
木戸中学校区27.6%、山の下中学校区26.5%では、「活動の情報がわからない」が多い理由となっている。

II 調査結果



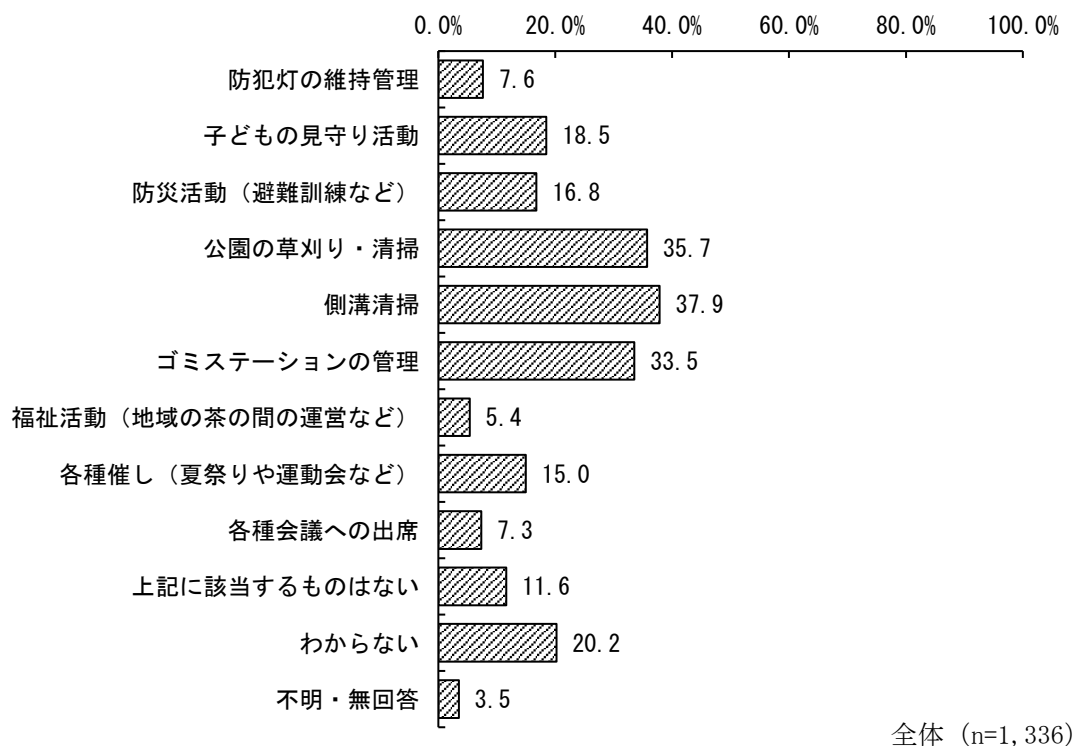


II 調査結果





Q13：あなたが役員や運営ボランティアとして協力できる自治会・町内会活動は何ですか？
 (あてはまるもの全てに○を付けてください。)



【全体結果】

「側溝清掃」37.9%、「公園の草刈り・清掃」35.7%、「ゴミステーションの管理」33.5%の衛生面の管理活動が上位を占めている。次いで、安全面の「子どもの見守り活動」18.5%、「防災活動 (避難訓練)」16.8%が続く。

【属性別結果】

① 性別

安全面の「子どもの見守り活動」や「公園の草刈り・清掃」「福祉活動」は男性より女性が高い。

② 年齢別

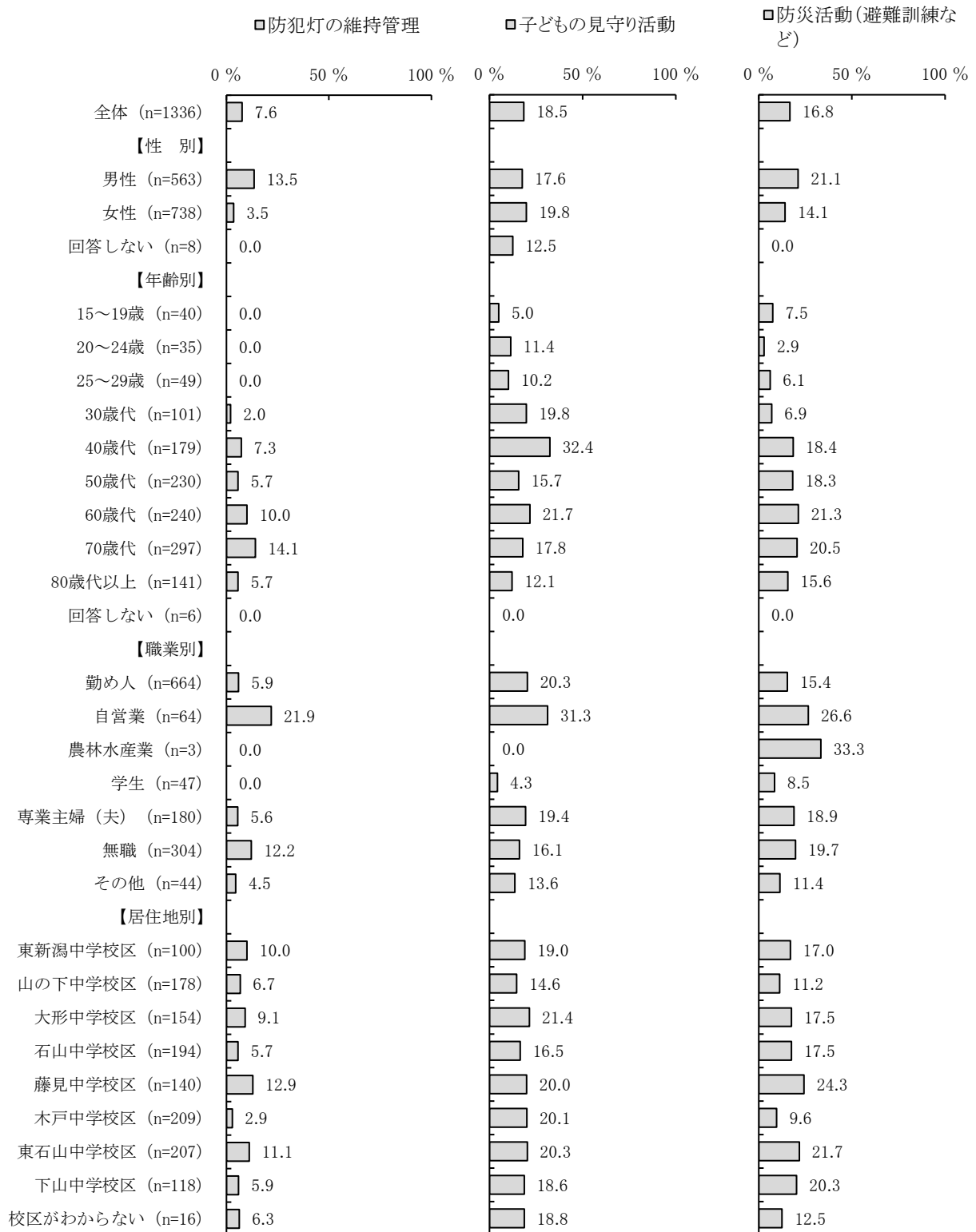
「側溝清掃」「公園の草刈り・清掃」「ゴミステーションの管理」は30～70歳が上位を占める。「子どもの見守り活動」「各種催し (夏祭りや運動会など)」は40歳代をピークに若年層側、高年齢層へ下降する傾向。「防災活動 (避難訓練)」については40歳代から上の年齢層に意識の高さが見られる。

③ 職業別

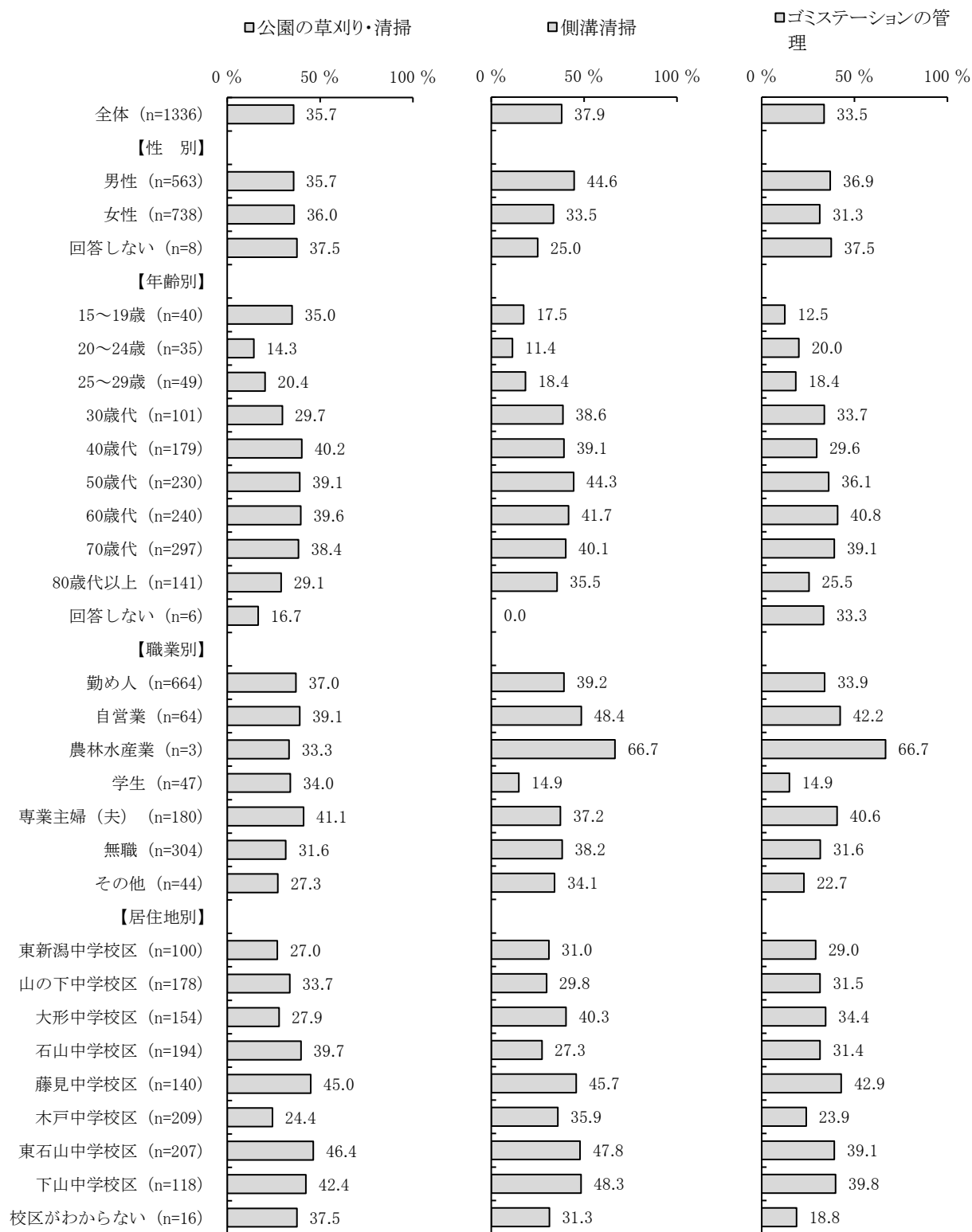
「側溝清掃」は自営業、勤め人、専業主婦 (夫)、「ゴミステーションの管理」は自営業、専業主婦 (夫)、勤め人、「公園の草刈り・清掃」は専業主婦 (夫)、自営業、勤め人の順で高い。「子どもの見守り活動」は自営業が高く、次に勤め人となっている。

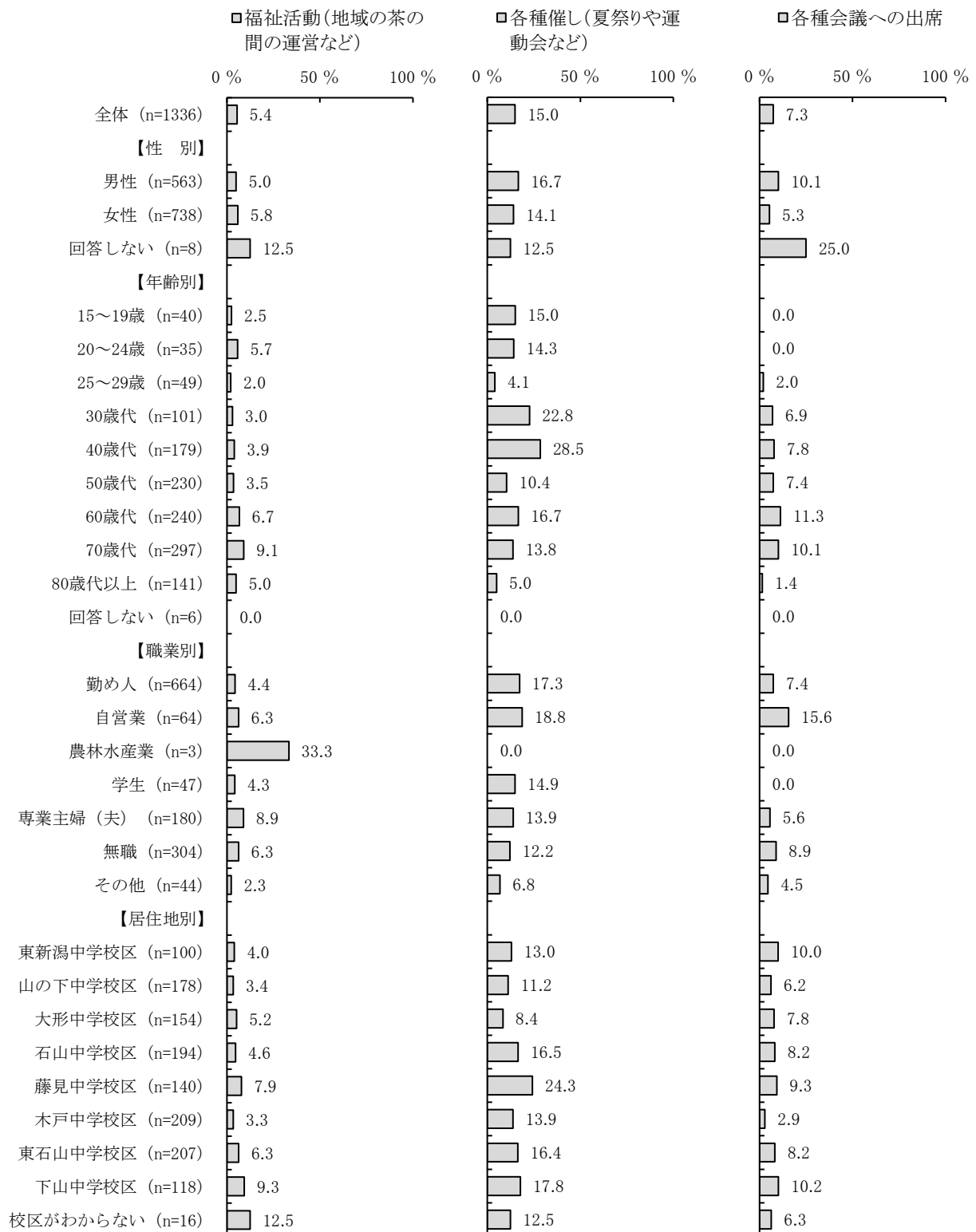
④ 居住地別

「側溝清掃」「公園の草刈り・清掃」「ゴミステーションの管理」は全居住地で高い割合、次いで「子どもの見守り活動」「防災活動 (避難訓練)」と続く。

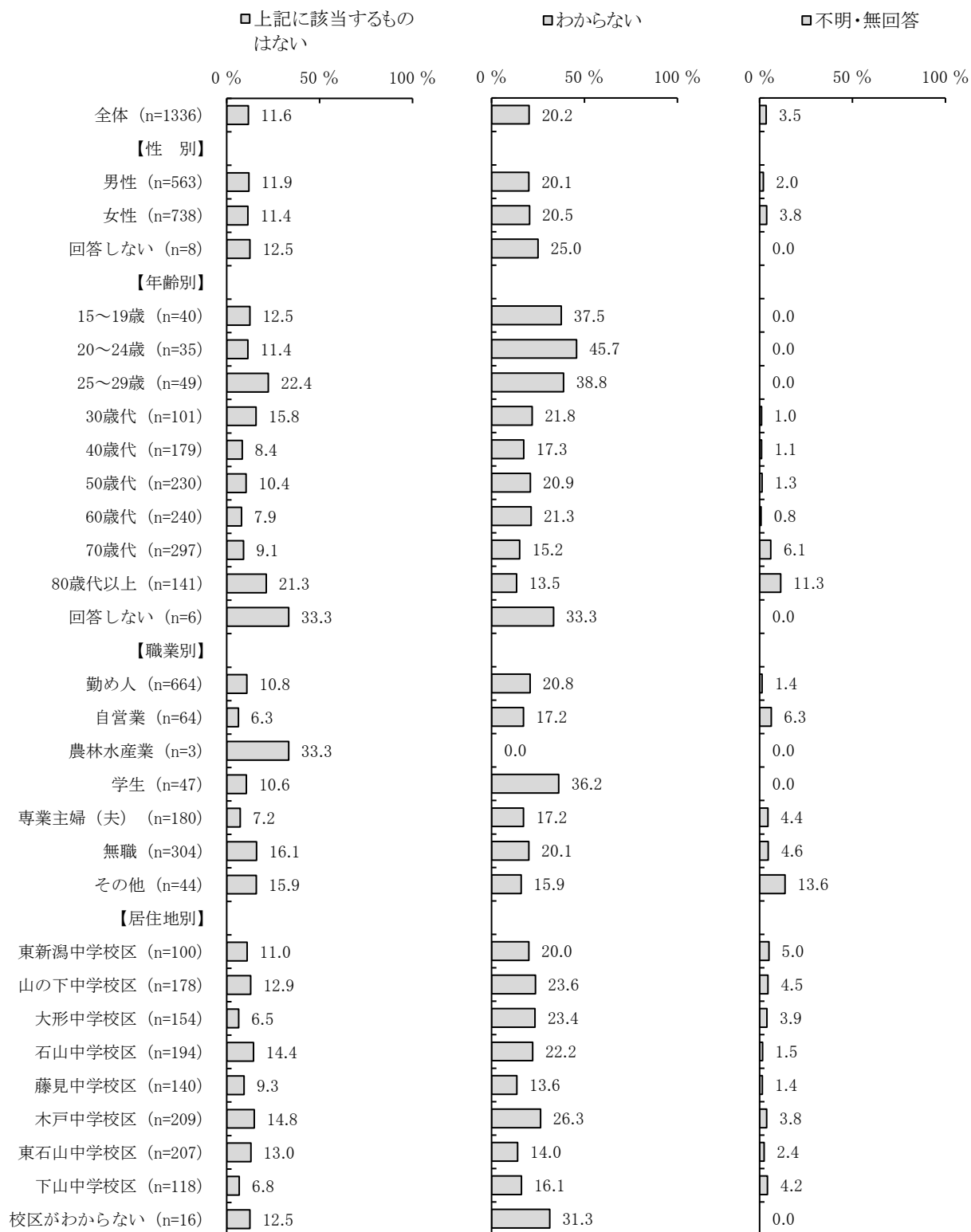


II 調査結果



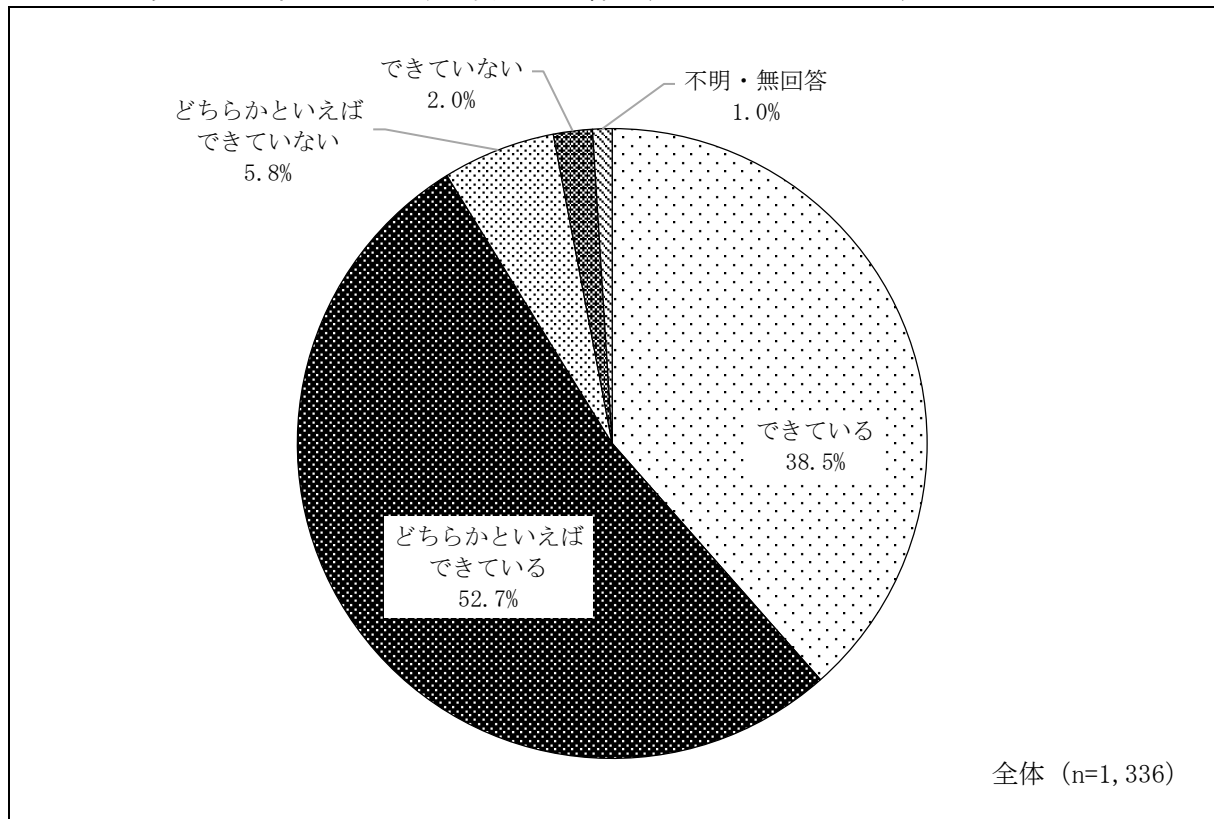


II 調査結果



3. 『防犯・防災』について

Q14：あなたは住まいの地域で安心して暮らすことができますか？



【全体結果】

「できる」「どちらかといえばできる」を合わせると91.2%、安心して暮らすことができる方が9割を超えている。

【属性別結果】

① 性別

「できる」「どちらかといえばできる」を合わせると男性が91.0%、女性が92.1%と女性がわずかに高い。

② 年齢別

全年齢層で「できる」「どちらかといえばできる」を合わせると80歳以上で88.7%と低く、15～19歳で97.5%と高い。

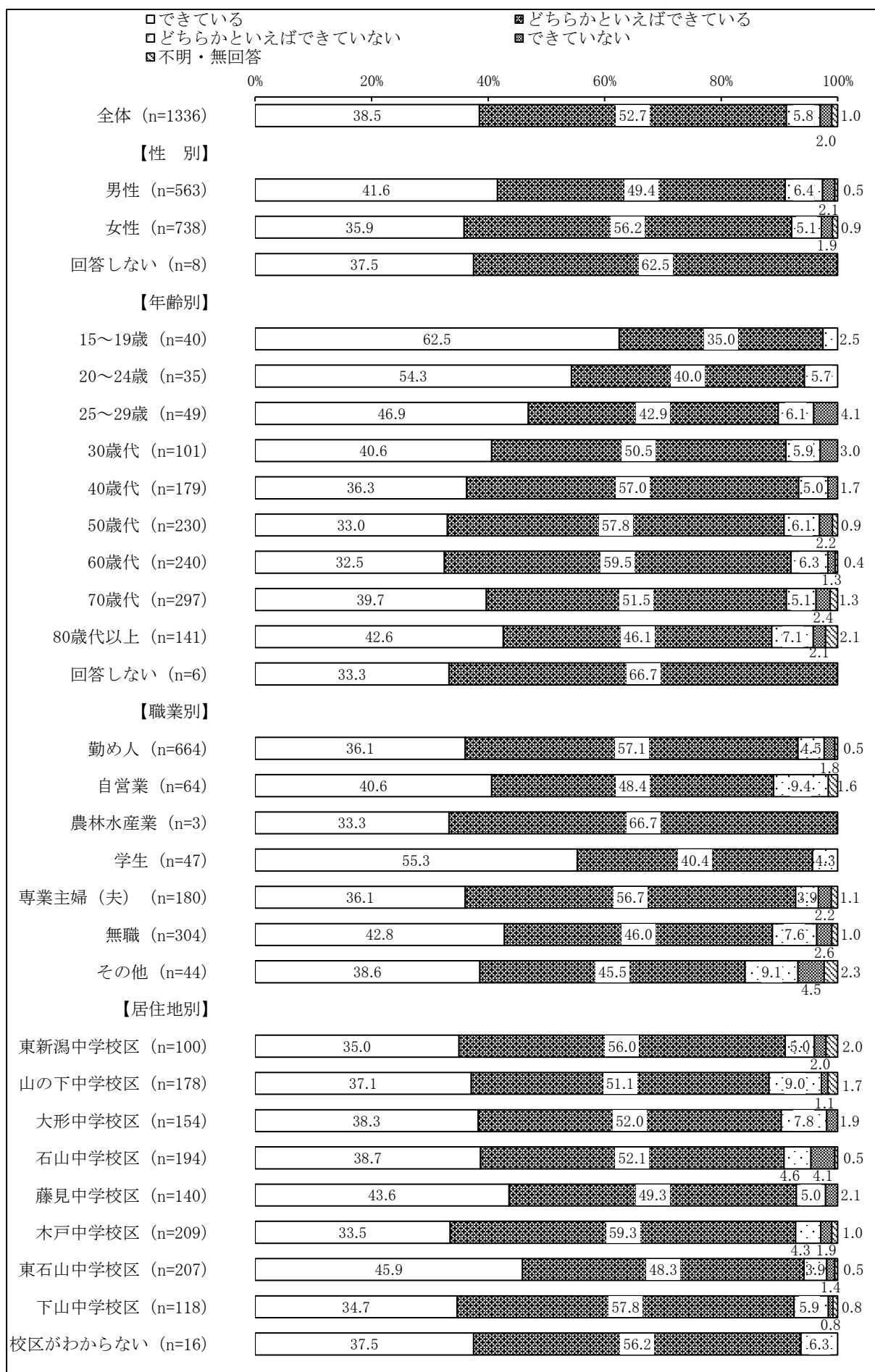
③ 職業別

「できる」「どちらかといえばできる」を合わせると、無職が88.8%と低く、学生が95.7%と高い。

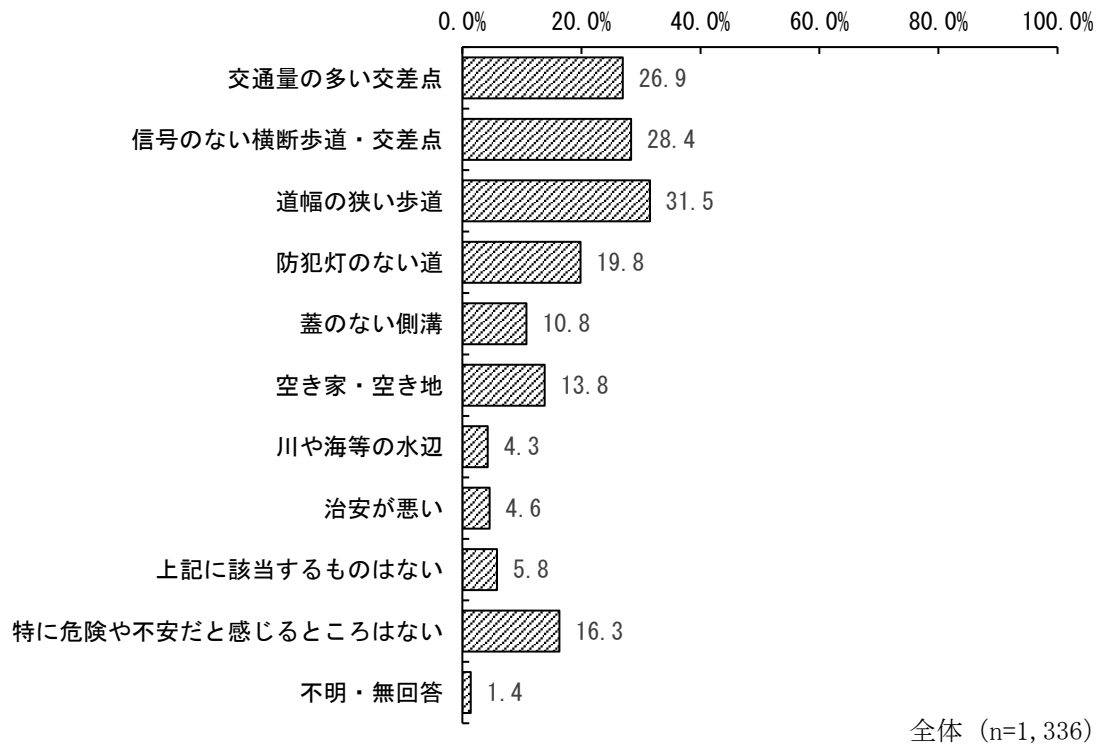
④ 居住地別

「できる」「どちらかといえばできる」を合わせると、山の下中学校区で88.2%、東石山中学校区で94.2%。全居住地で9割弱～9割強の評価となっている。

II 調査結果



Q15：あなたは住まいの地域に関してどのようなところに危険や不安を感じますか？
 (あてはまるものに2つまで○を付けてください。)



【全体結果】

「道幅の狭い歩道」31.5%、「信号のない横断歩道・交差点」28.4%「交通量の多い交差点」26.9%「防犯灯のない道」19.8%で、交通面での不安が上位を占めている。

【属性別結果】

① 性別

上位を占める不安材料の中で「道幅の狭い歩道」のみ男性が高く、他は女性が高い。

② 年齢別

「道幅の狭い歩道」「信号のない横断歩道・交差点」は40歳代がいずれも39.7%で高い傾向にある。「交通量の多い交差点」は30歳代が42.6%と高い。「防犯灯のない道」は15～19歳が40.0%と高くなっている。

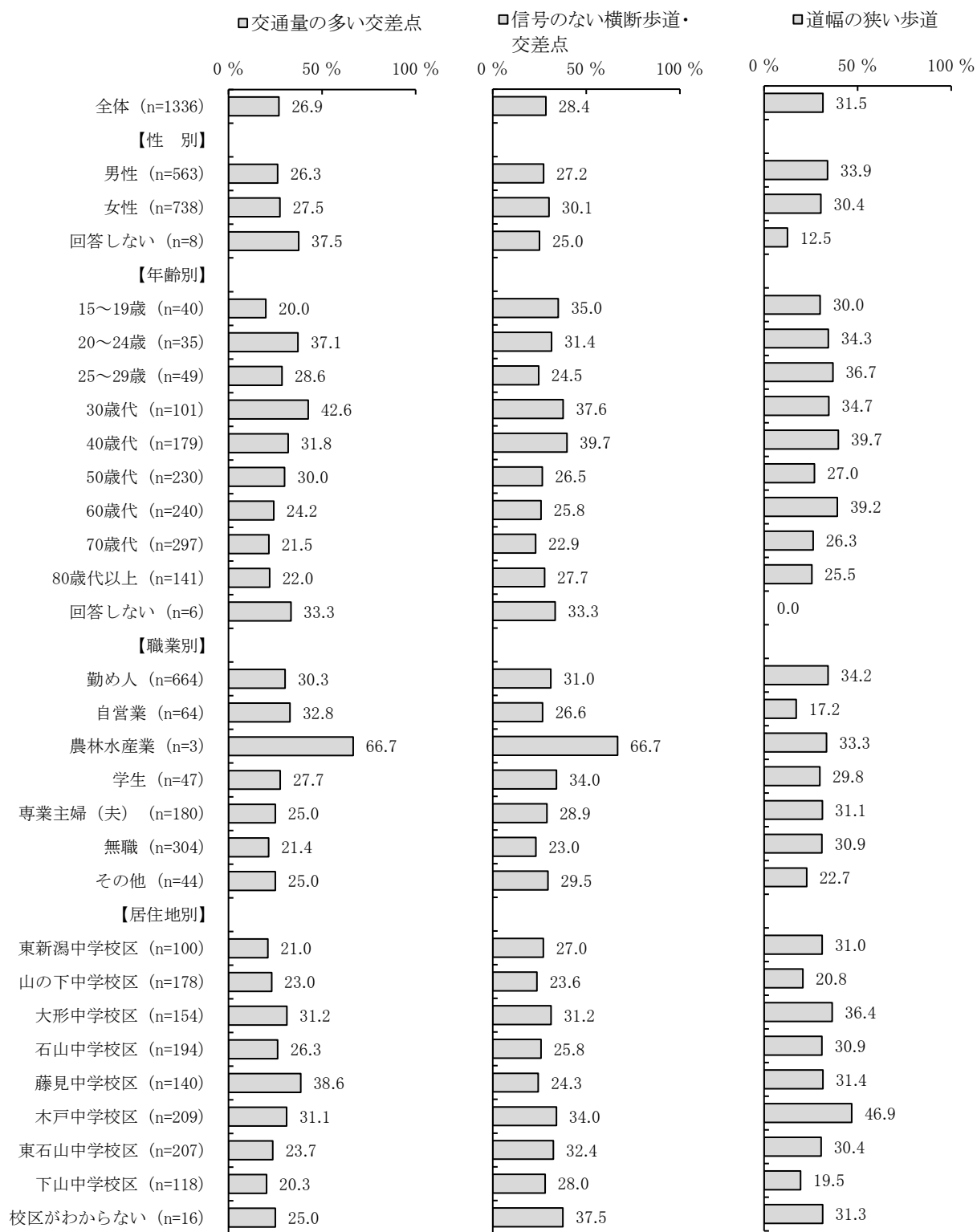
③ 職業別

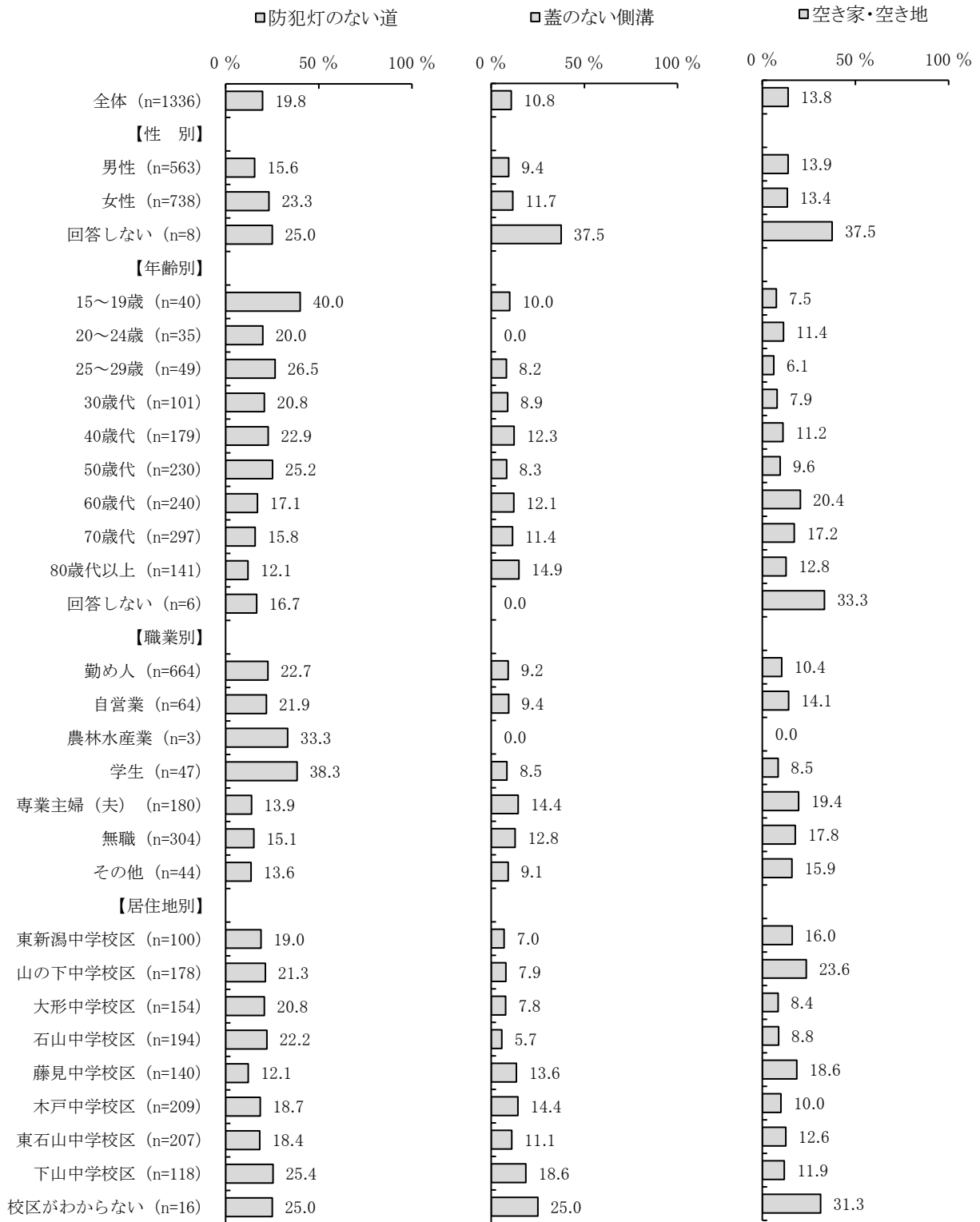
「交通量の多い交差点」は自営業32.8%、勤め人30.3%の順で高く「信号のない横断歩道・交差点」が学生34.0%、勤め人31.0%の順で、「道幅の狭い歩道」は勤め人34.2%、専業主婦(夫)31.1%の順で高い。「防犯灯のない道」は学生が38.3%と最も高い。

④ 居住地別

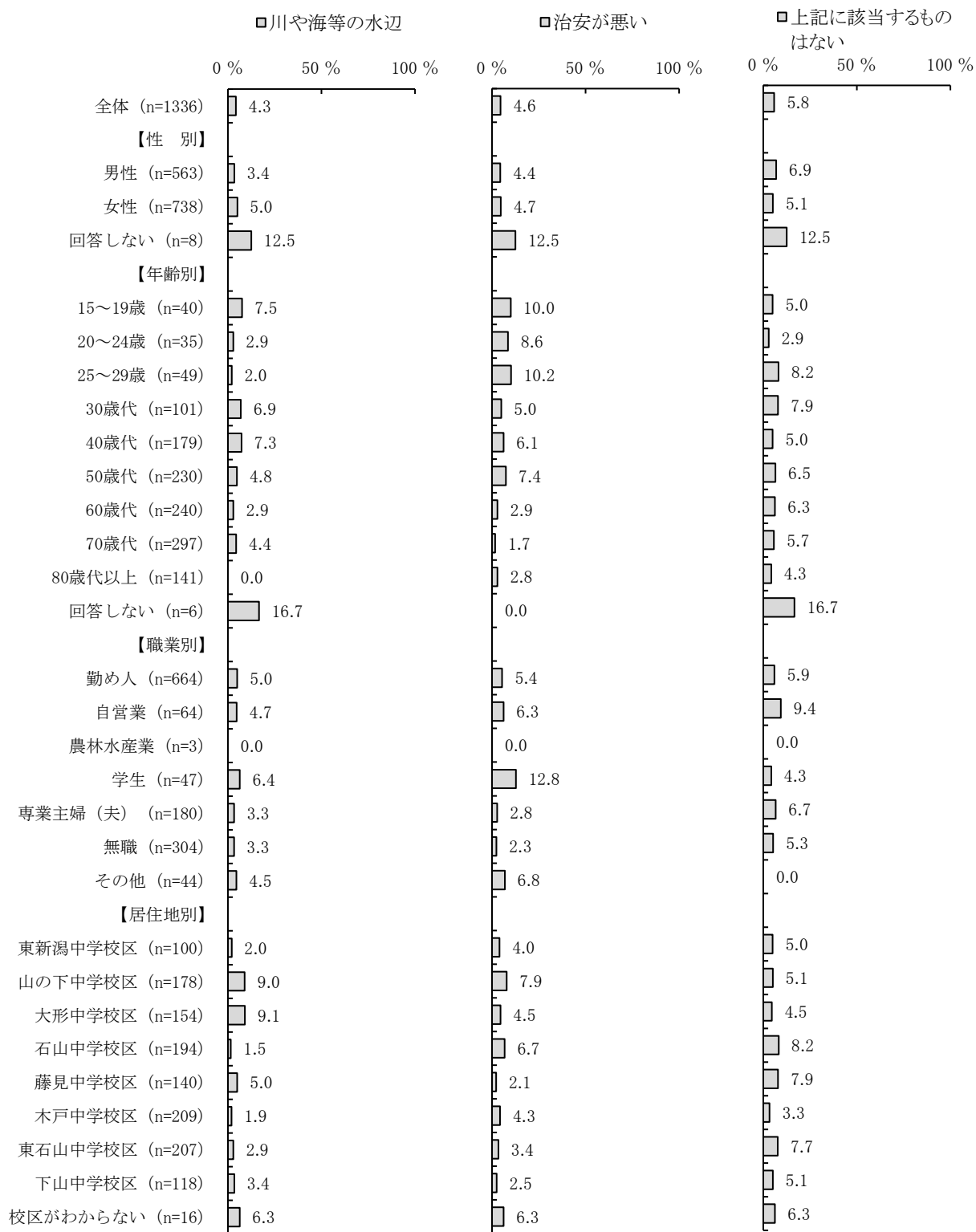
「交通量の多い交差点」は藤見中学校区38.6%、「信号のない横断歩道・交差点」は木戸中学校区34.0%、「道幅の狭い歩道」は木戸中学校区46.9%。「防犯灯のない道」は下山中学校区25.4%がそれぞれ最も高くなっている。

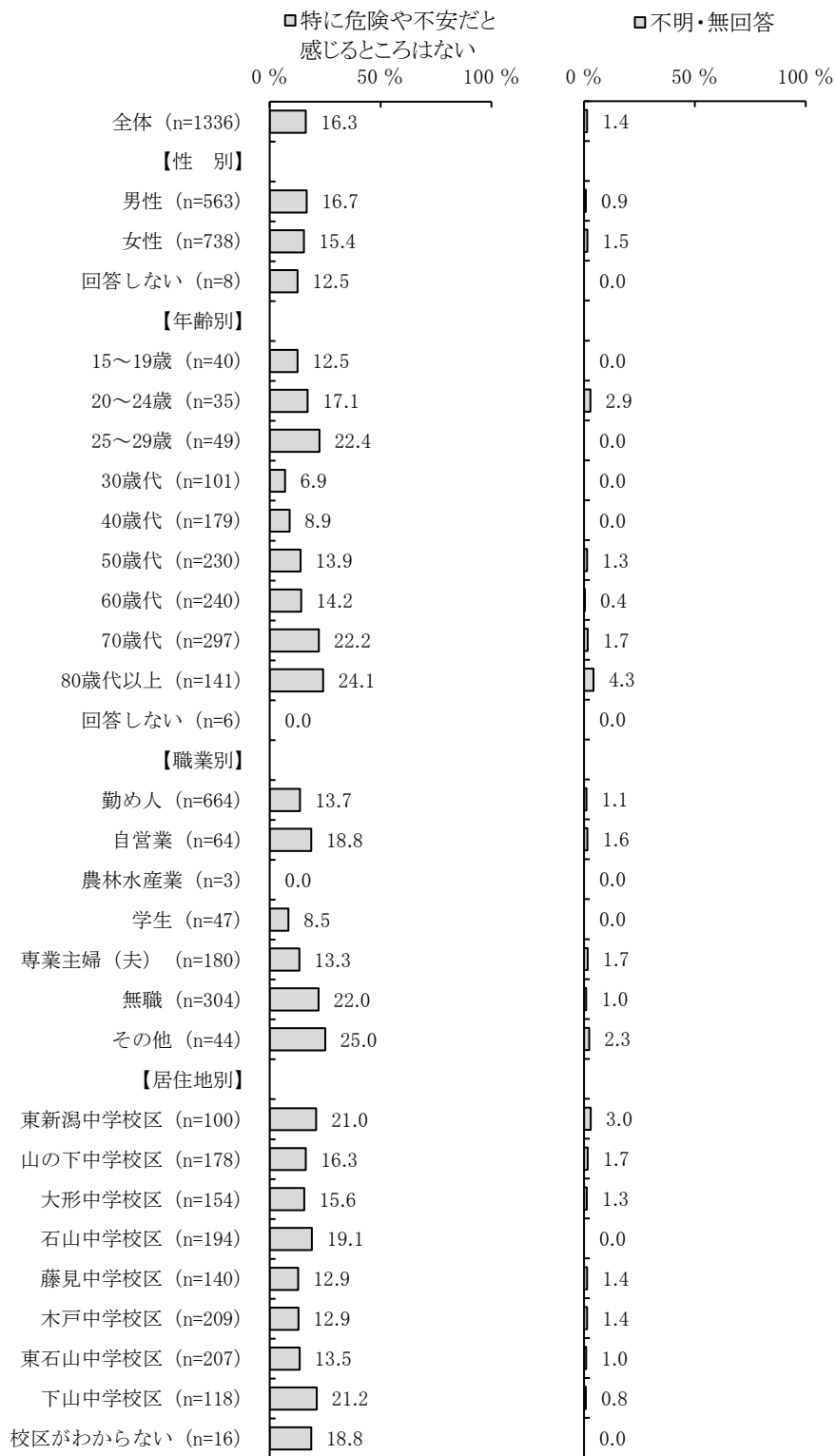
II 調査結果





II 調査結果



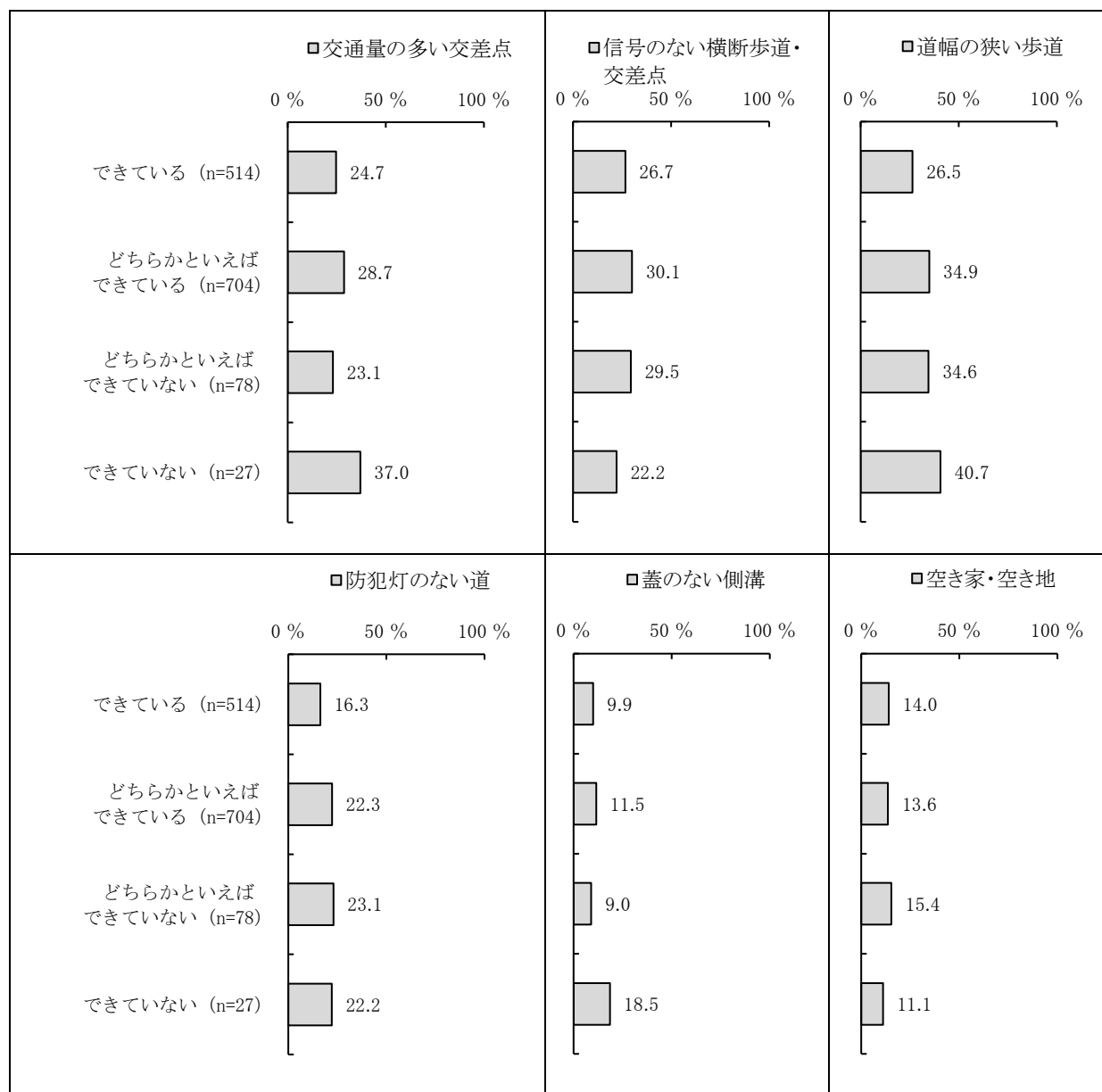


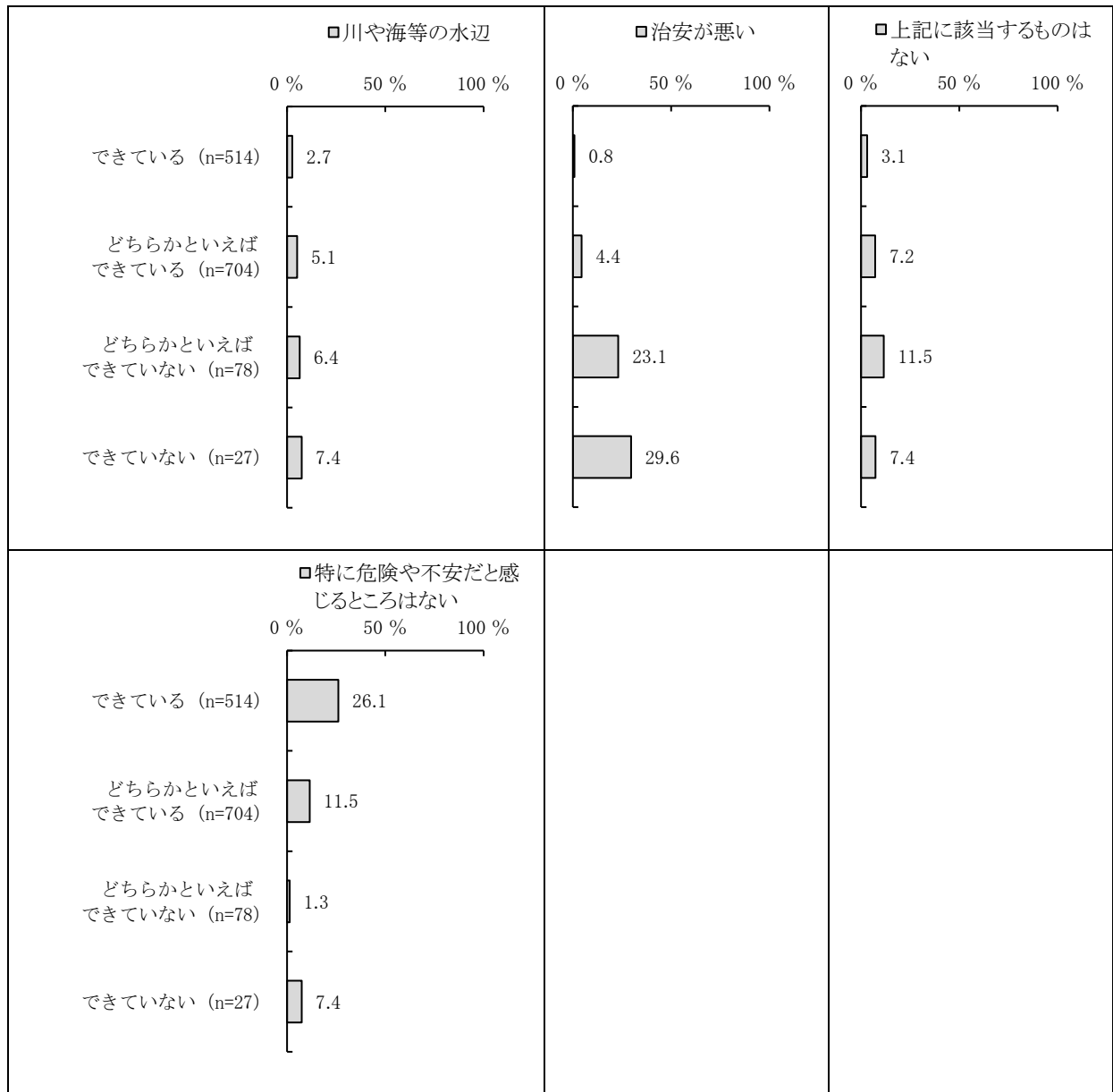
○暮らしの安心と地域の危険（不安）事項

「Q15：あなたはお住まいの地域に関してどのようなところに危険や不安を感じますか？」の危険（不安）箇所別に「Q14：あなたはお住まいの地域で安心して暮らすことができますか？」の住民の安心度を比較

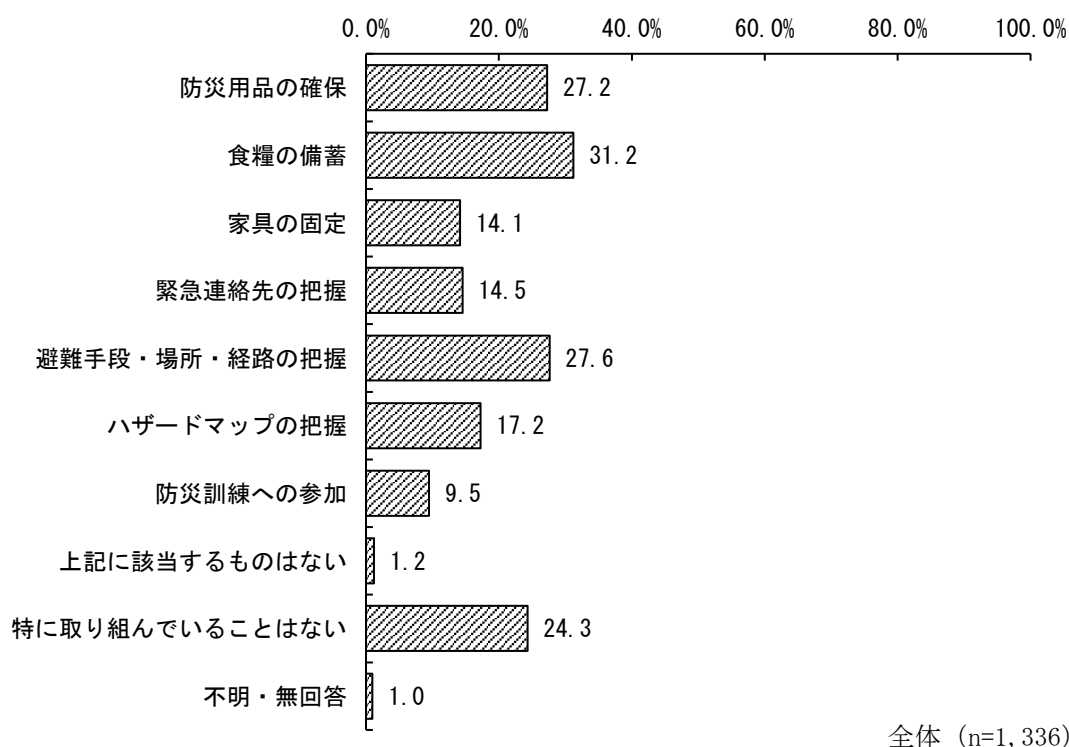
「交通量の多い交差点」、「道幅の狭い歩道」、「防犯灯のない道」、「蓋のない側溝」、「川や海等の水辺」、「治安が悪い」については、安全対策ができていないと感じている割合が多い。

「信号のない横断歩道・交差点」や「空き家・空き地」はわずかながら安全対策ができていていると感じている人が多い。





Q16：災害に備え、あなたが防災や減災に取り組んでいることは何ですか？
 (あてはまるものに2つまで○を付けてください。)



【全体結果】

「食糧の備蓄」が31.2%、「避難手段・場所・経路の把握」が27.6%、「防災用品の確保」が27.2%であるが、「特に取り組んでいることはない」が24.3%と準備不足の不安材料もある。

【属性別結果】

① 性別

「食糧の備蓄」「避難手段・場所・経路の把握」「防災用品の確保」は女性がほとんどの項目で高い、「特に取り組んでいることはない」については女性が20.9%、男性が28.2%と高く、男性の防災に関する意識改革が必要に思える。

② 年齢別

「食糧の備蓄」「避難手段・場所・経路の把握」「防災用品の確保」はいずれも40歳代の意識が最も高く、若年層や高齢層へ進むほど下降する。「特に取り組んでいることはない」については40歳代の16.8%と比べて、20～24歳では48.6%と、年齢層の半数が取り組んでいない。

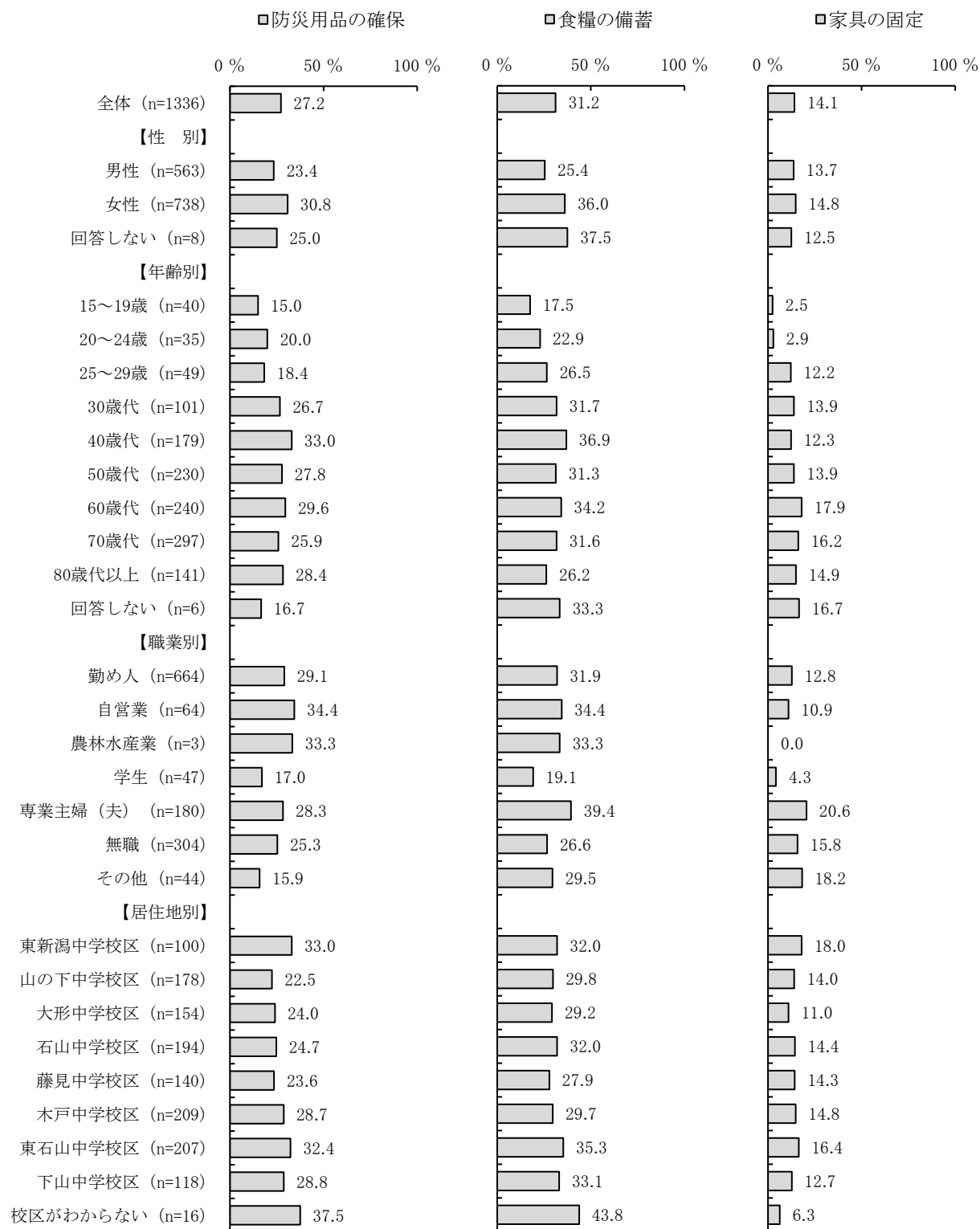
③ 職業別

「食糧の備蓄」が31.2%と全体の3割を超えて他の取り組みより高く、専業主婦(夫)39.4%、勤め人31.9%は他の取り組みより重点を置いている。「特に取り組んでいることはない」は24.3%と全体の2割半ばを占め、学生、無職の割合が高い。

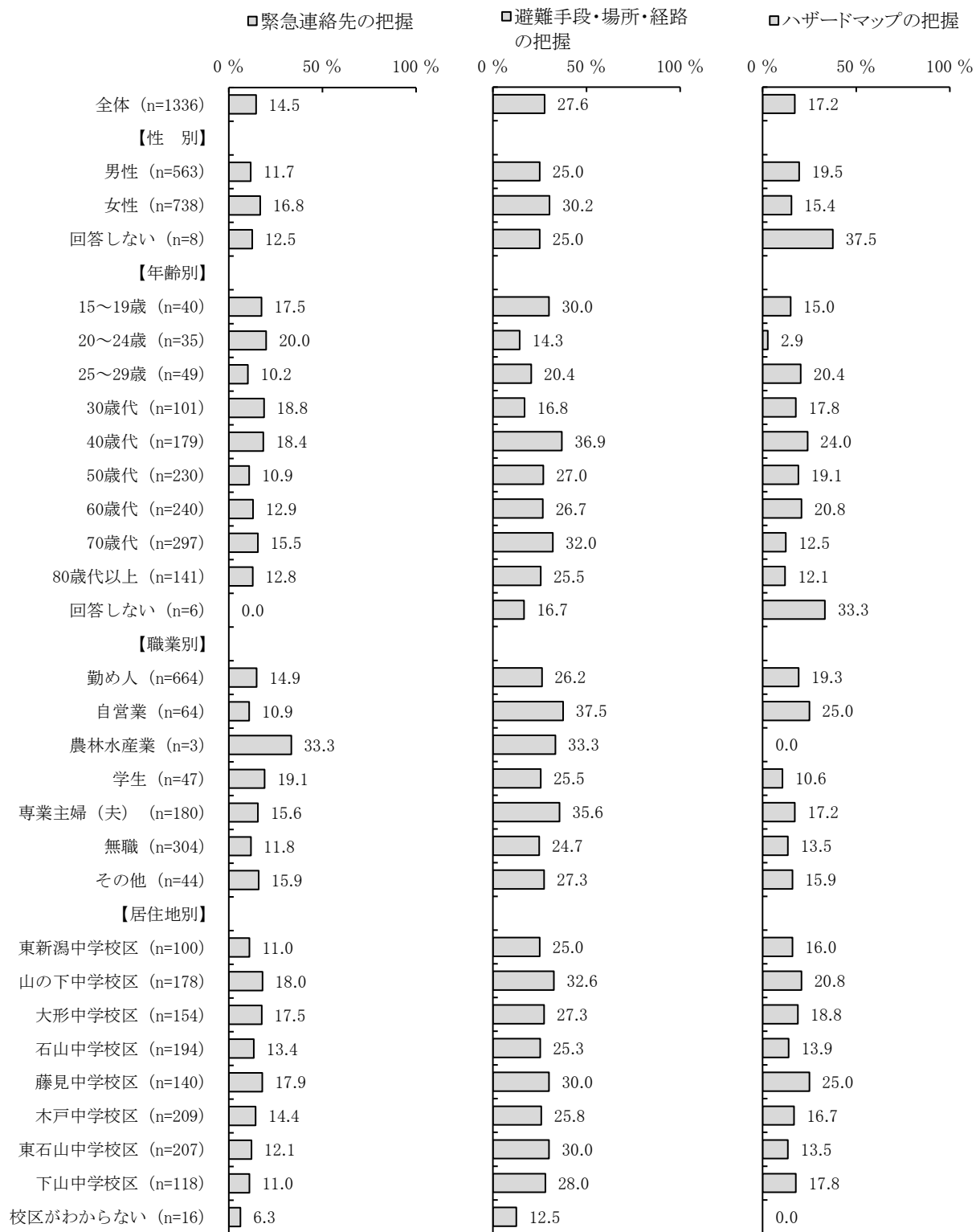
④ 居住地別

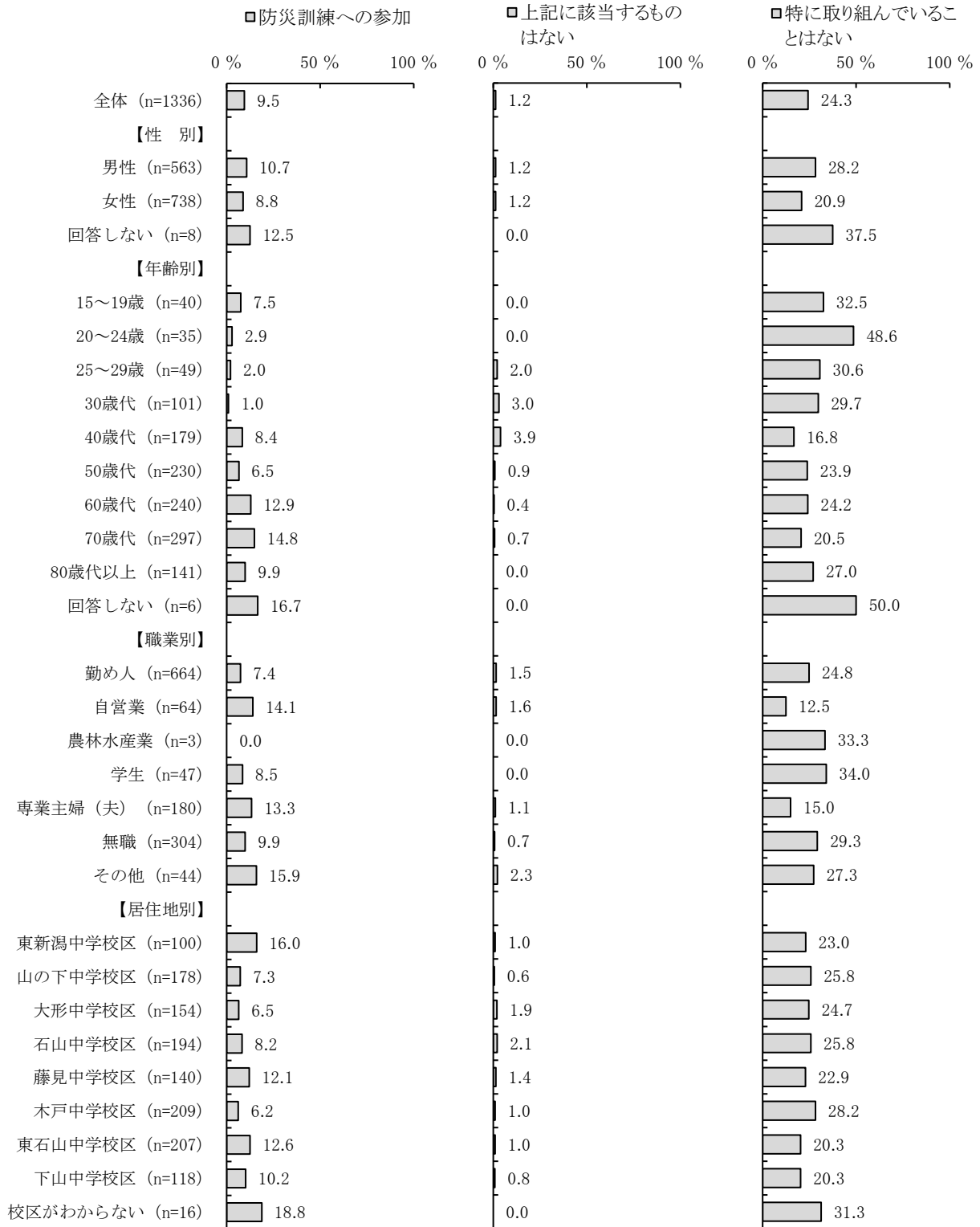
「食糧の備蓄」「避難手段・場所・経路の把握」「防災用品の確保」は全居住地で22.5%～

35.3%準備があるが、「特に取り組んでいることはない」も全居住地で20.3%~28.2%であることから、防災準備の意識を高める啓蒙が必要である。

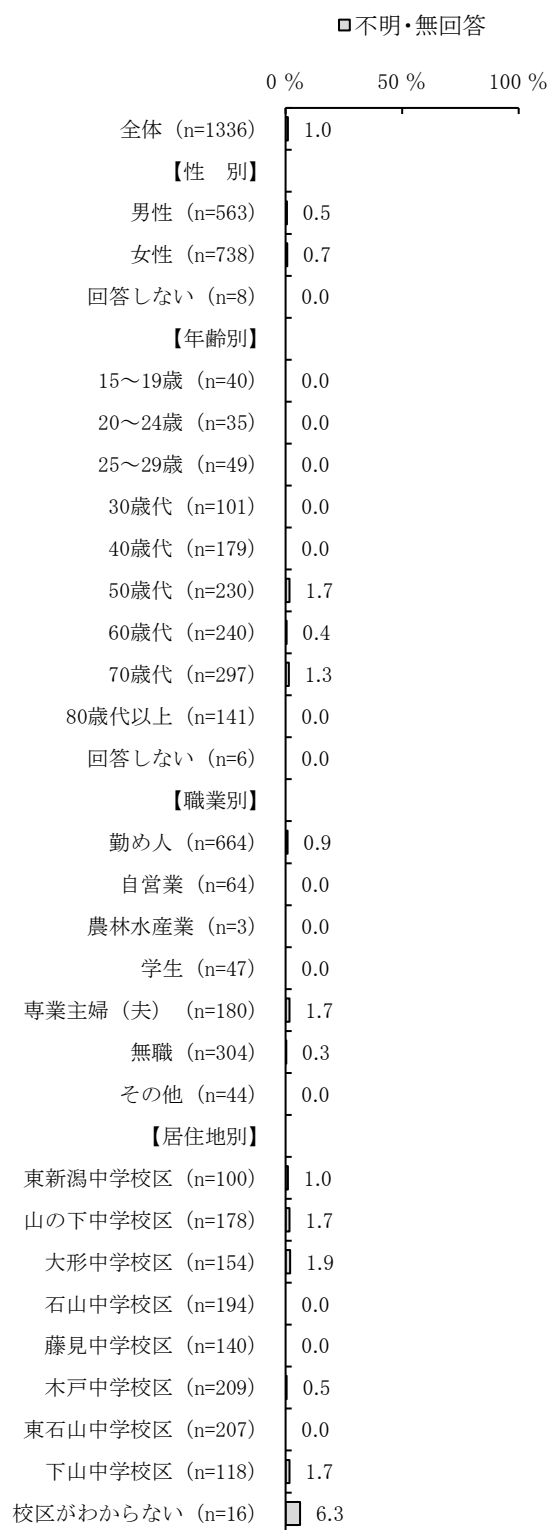


II 調査結果





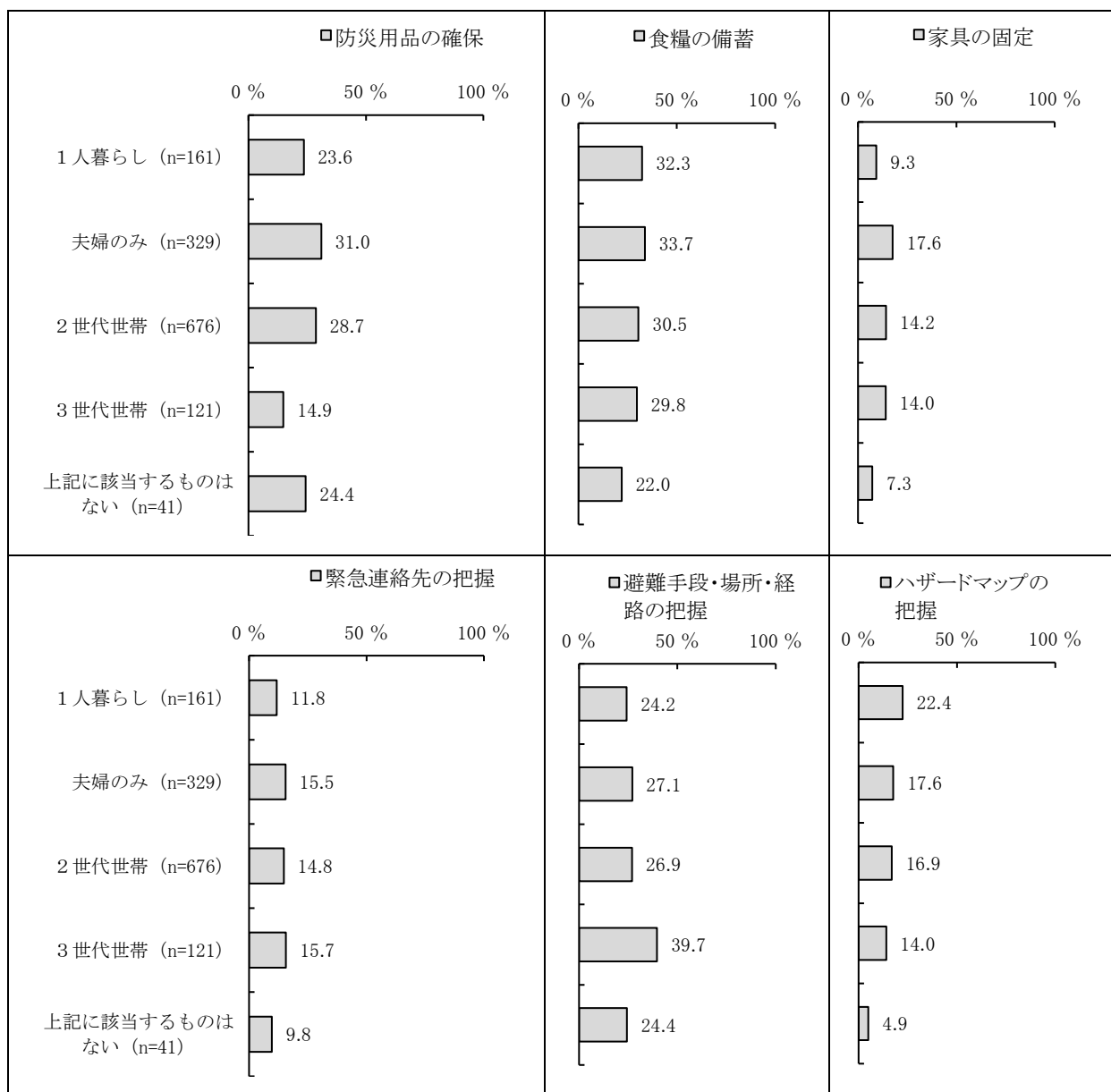
II 調査結果



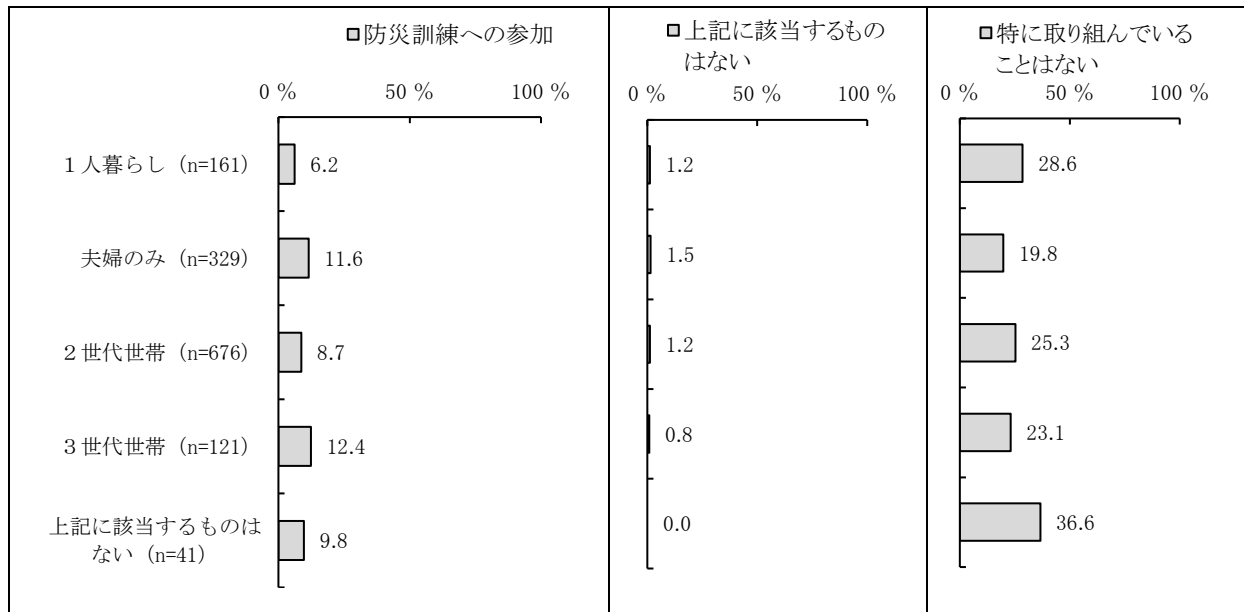
○世帯構成別にみる災害への防災取り組み

「Q6：世帯構成別」にみる「Q16：災害に備え、あなたが防災や減災に取り組んでいることは何ですか？」の取り組みの違いを計る。

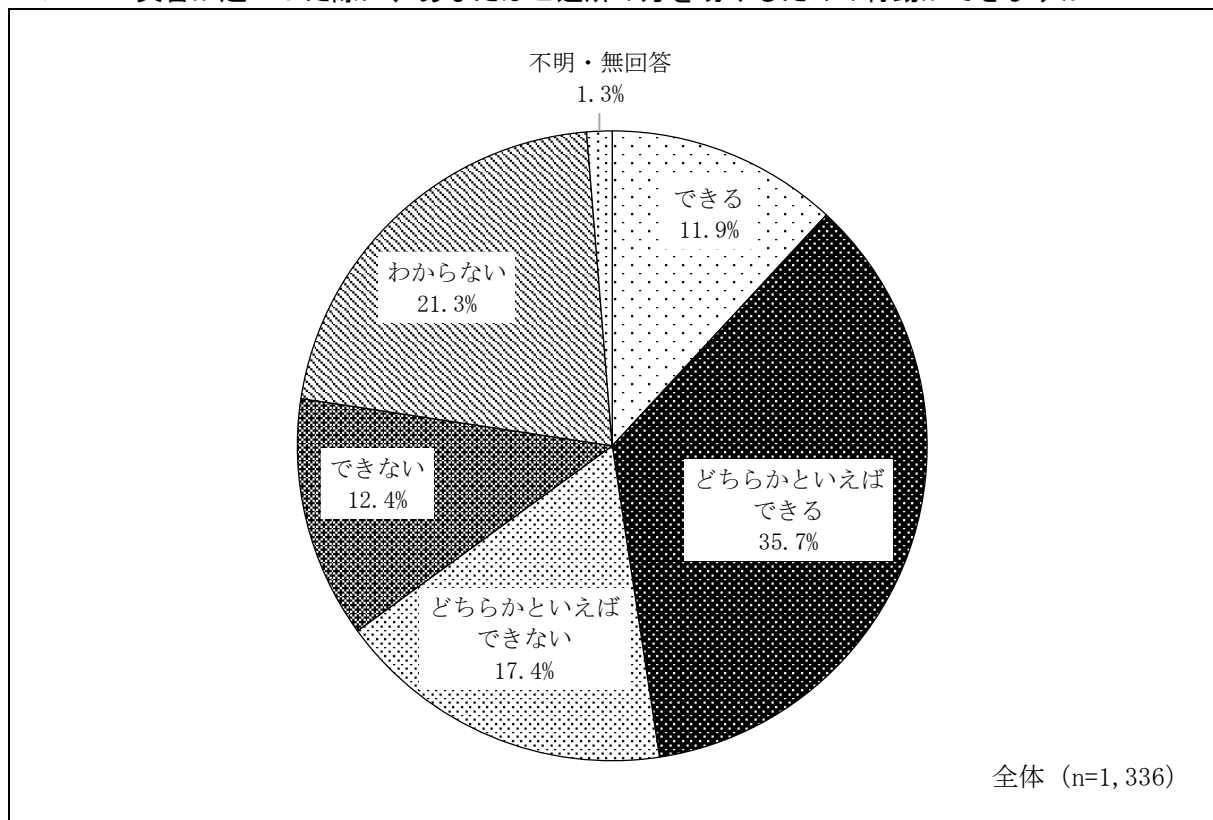
世帯構成で見ると、「防災用品の確保」は夫婦のみと2世代世帯が28.7%～31.0%、「食糧の備蓄」は全世帯で29.8%～33.7%、「家具の固定」は最も高い割合の夫婦のみでも17.6%で2割に届かない。「緊急連絡先の把握」は全世帯で11.8%～15.7%、「避難手段・場所・経路の把握」は3世代世帯で39.7%で4割に近いが、他世帯では24.2%～27.1%と3割に届かない。「ハザードマップの把握」は1人暮らしが22.4%と2割をわずかに超えるが、他世帯では14.0%～17.6%と2割を下回る。「防災訓練への参加」は3世代世帯12.4%、夫婦のみが11.6%と1割をわずかに超えるが、他世帯では6.2%～8.7%と1割に満たない。



II 調査結果



Q17：災害が起こった際に、あなたはご近所の方を助けるための行動ができますか？



【全体結果】

「できる」「どちらかといえばできる」を合わせて47.6%。「どちらかといえばできない」「できない」を合わせて29.8%。できる割合が5割弱の結果となった。

【属性別結果】

① 性別

「できる」「どちらかといえばできる」を合わせた“できる割合”は、男性が54.5%。女性が43.1%と男性の方が高かった。

② 年齢別

「できる」「どちらかといえばできる」を合わせた“できる割合”は、40歳代が最も高く58.2%。最も低い割合は80歳代以上の20.6%。

③ 職業別

「できる」「どちらかといえばできる」を合わせた“できる割合”は、自営業は62.5%、次に勤め人は52.9%、学生44.7%と続く。

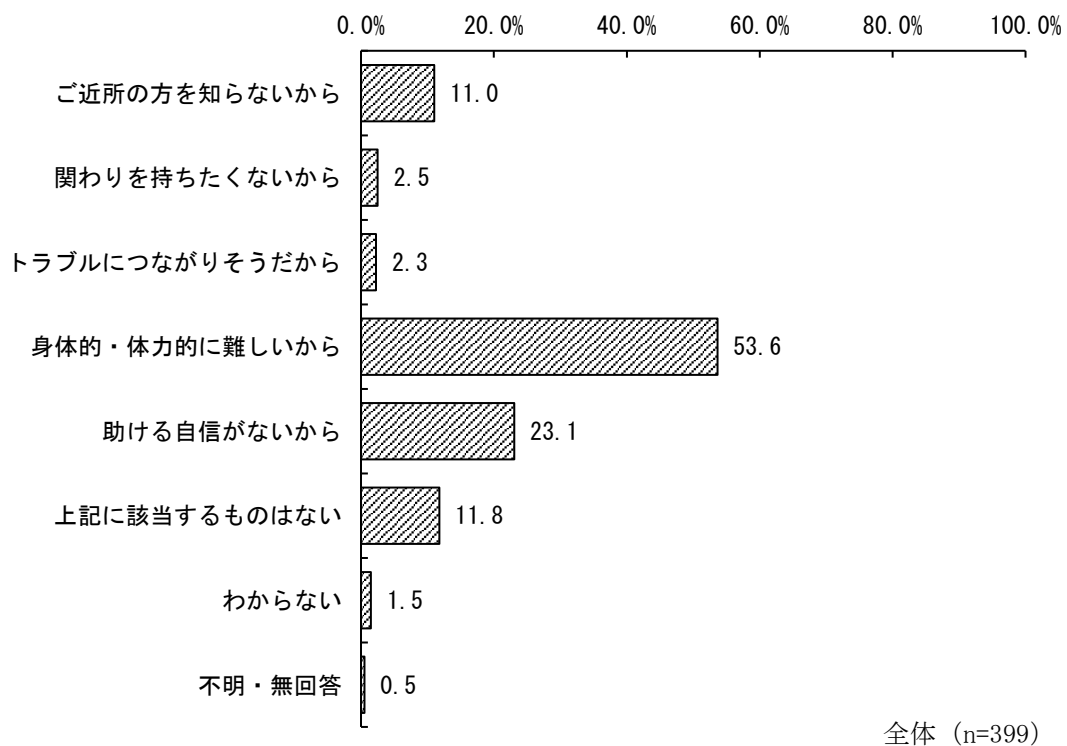
④ 居住地別

“できる割合”は藤見中学校区が最も高く52.2%、山の下中学校区が最も低く43.9%となった。

II 調査結果



Q18：(Q17で「3」「4」と回答した方にお聞きします)
あなたが助けるための行動ができない理由は何ですか？



【全体結果】

「身体的・体力的に難しいから」が53.6%と5割を超えている。次に「助ける自信がないから」23.1%が続く。

【属性別結果】

① 性別

「身体的・体力的に難しいから」は女性が57.0%と高く、男性は49.0%。「助ける自信がないから」は女性が21.9%、男性が25.2%。

② 年齢別

70歳代で78.8%、80歳代以上で94.5%となり高齢者になるほど「身体的・体力的に難しいから」が多くを占めている。「助ける自信がないから」は15～19歳で46.2%、20～24歳で44.4%と低年齢層ほど高い。

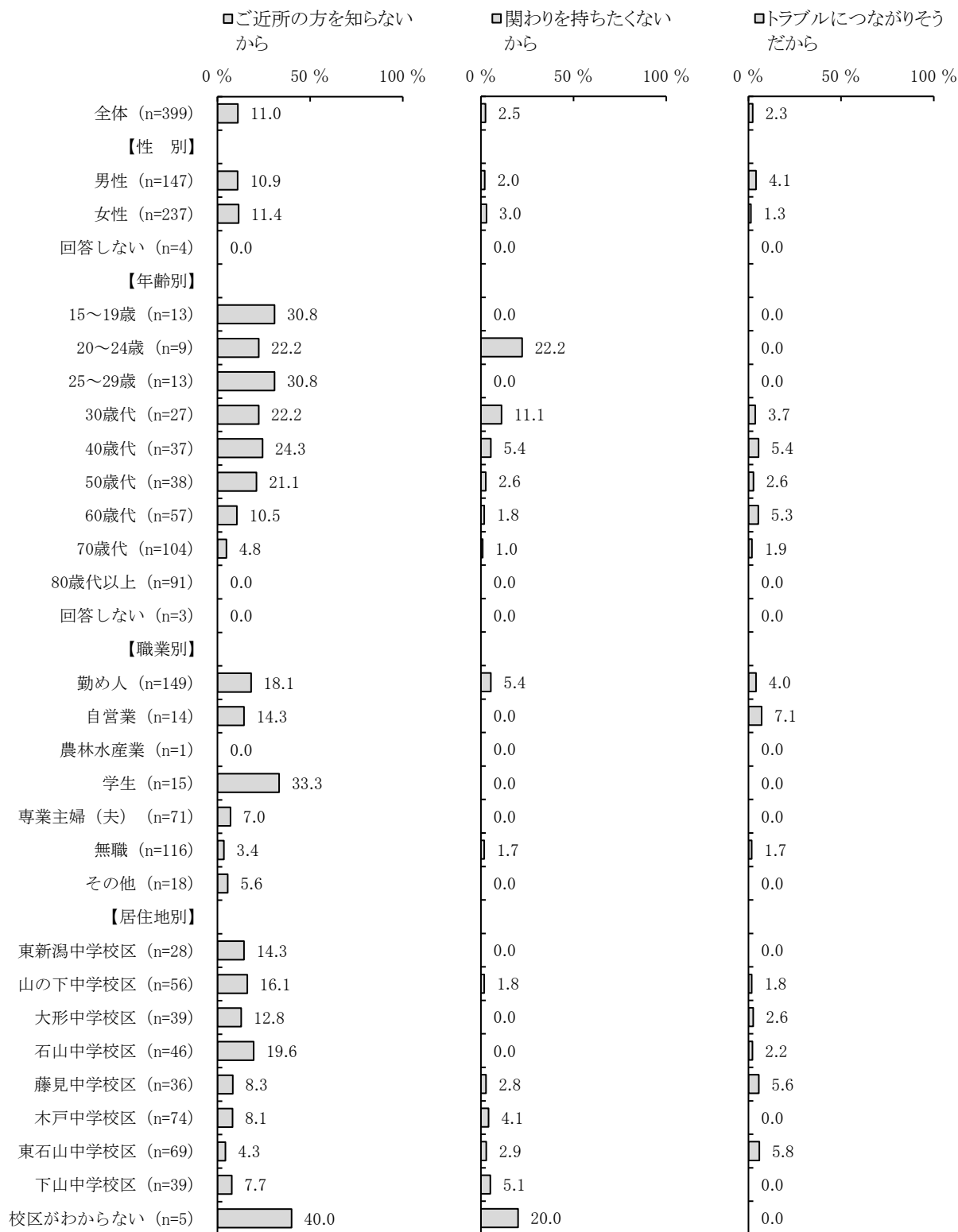
③ 職業別

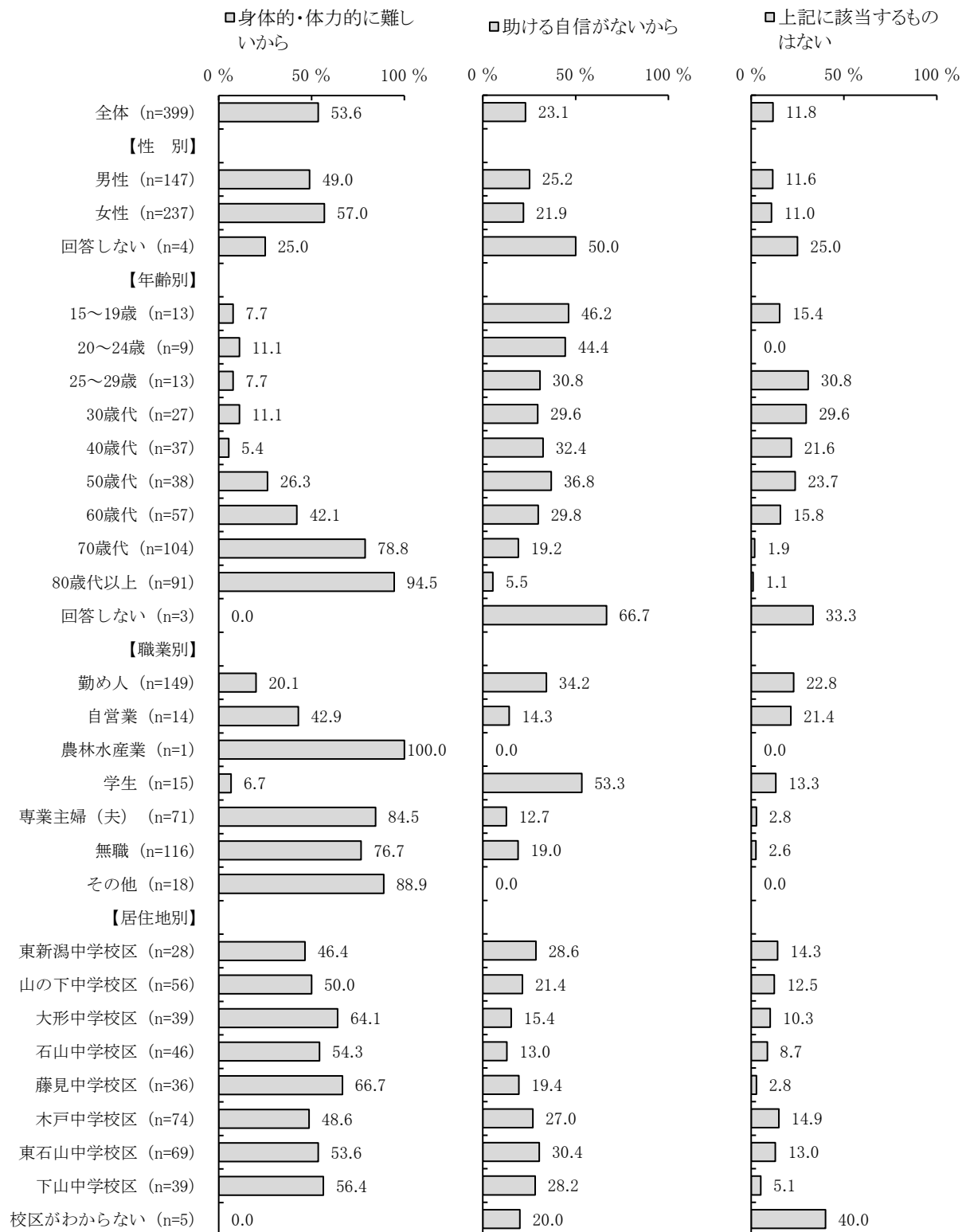
「身体的・体力的に難しいから」は、専業主婦(夫)が84.5%、無職が76.7%と高い割合。「助ける自信がないから」は、学生が53.3%、勤め人は34.2%。

④ 居住地別

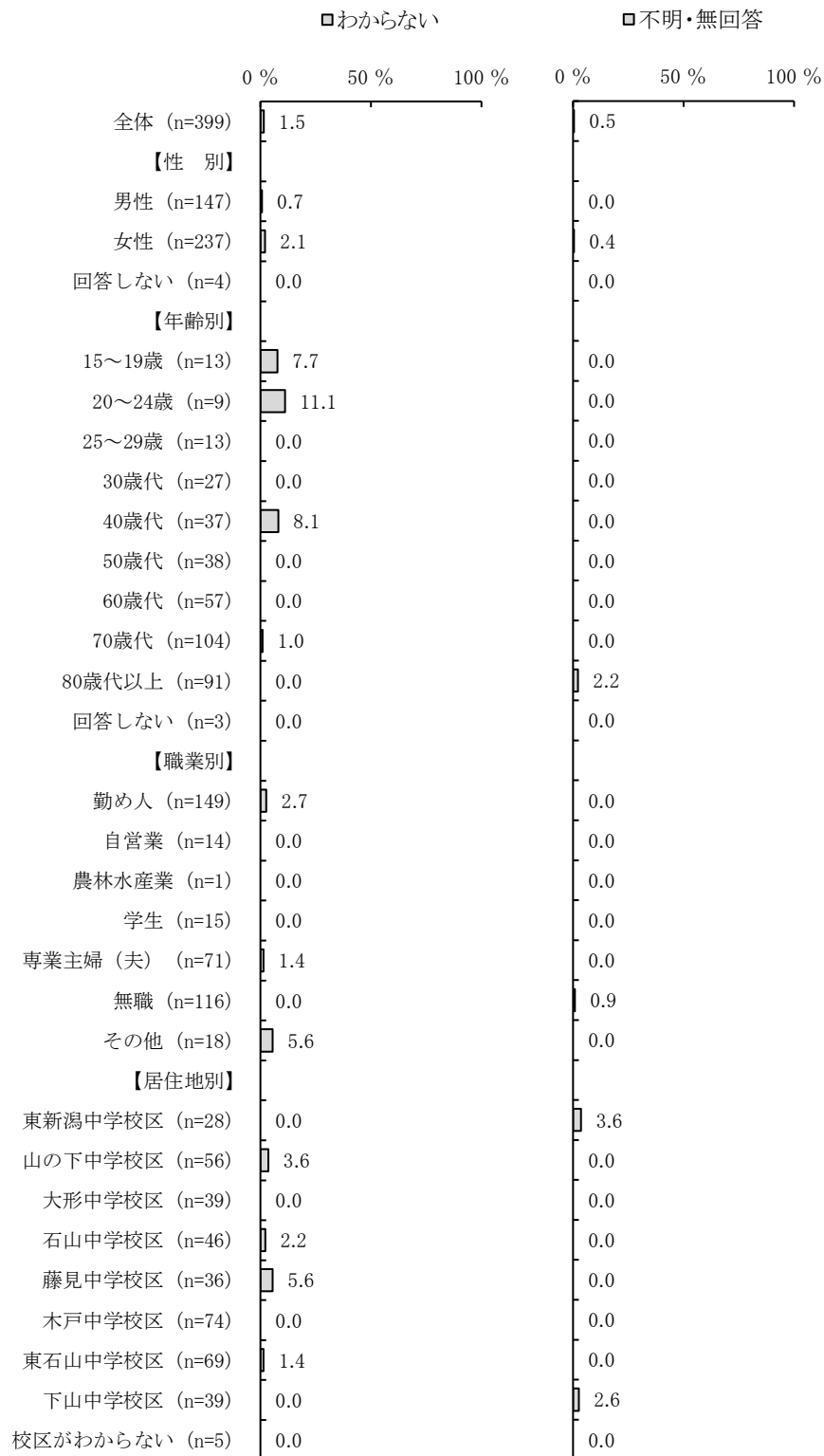
「身体的・体力的に難しいから」が高い順は、藤見中学校区が66.7%。次いで大形中学校区が64.1%。「助ける自信がないから」は東石山中学校区30.4%、東新潟中学校区28.6%と続いている。

II 調査結果



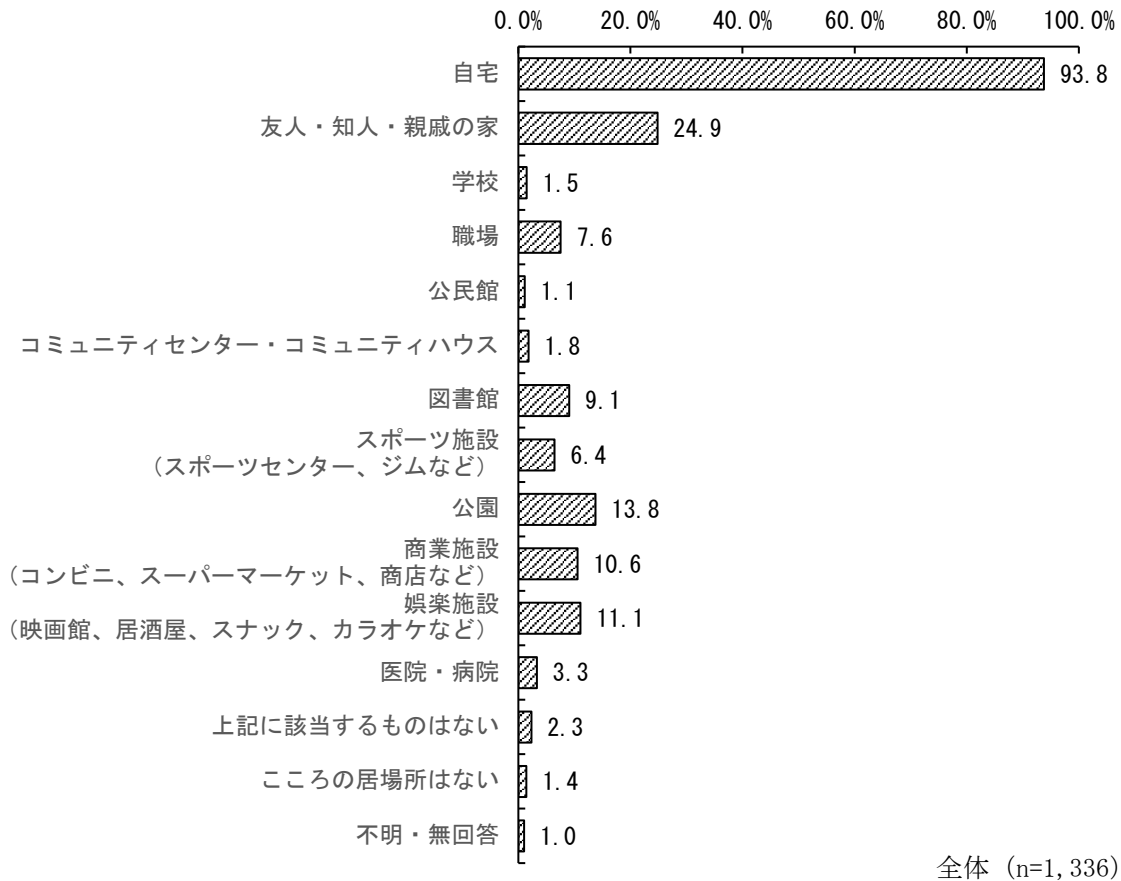


II 調査結果



4. 『あなたの居場所』について

Q19：あなたのこころの居場所（ほっとする場所）はどこですか？
（主にあてはまるものに3つまで○を付けてください。）



【全体結果】

「自宅」が93.8%と9割以上を占めている。

【属性別結果】

① 性別

「自宅」は女性が94.4%、男性が93.4%とわずかではあるが、女性が高い。「友人・知人・親戚の家」でも女性31.6%、男性16.9%と女性が高い。

② 年齢別

「自宅」は30歳代で86.1%、他の年齢層では9割を超えている。

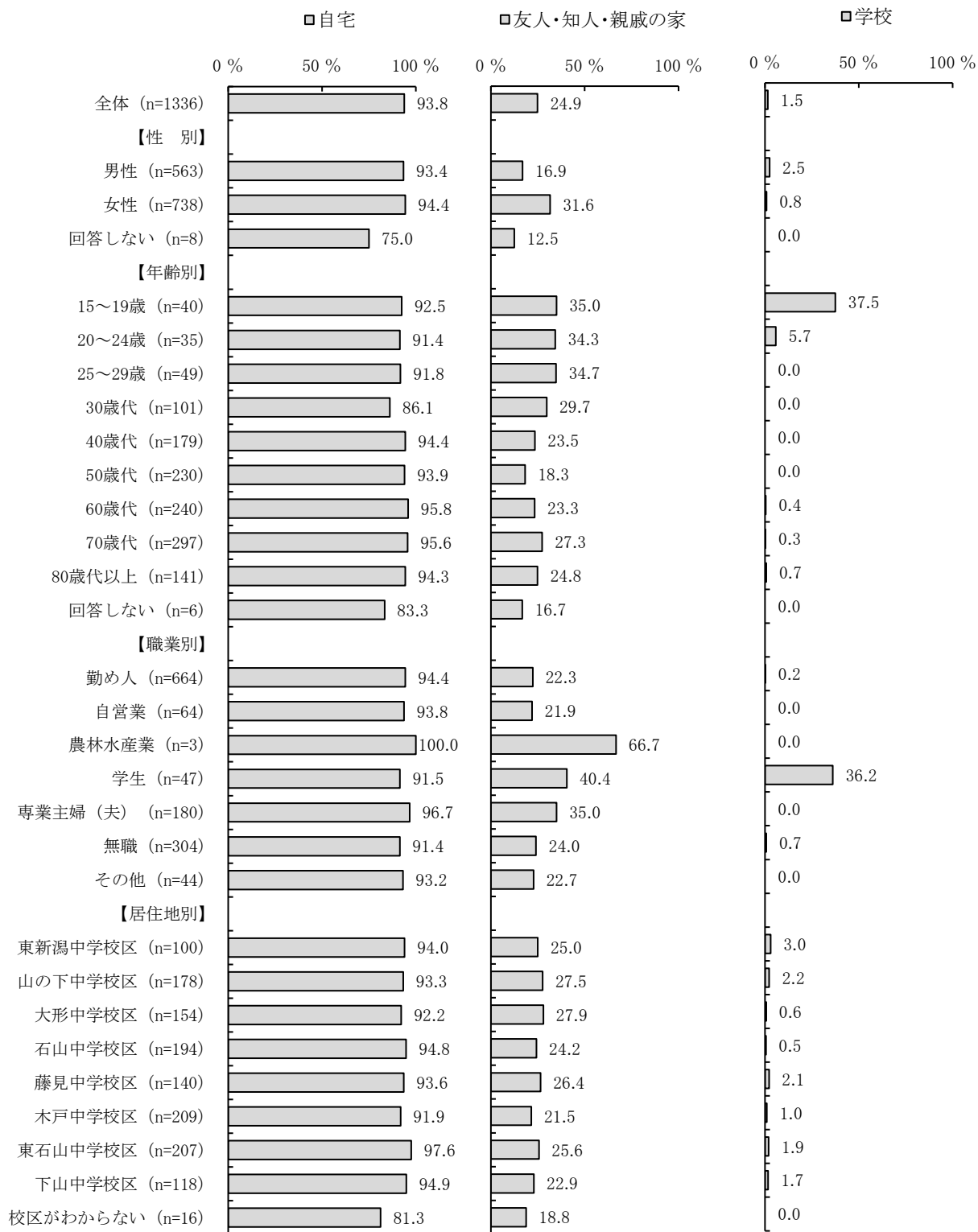
③ 職業別

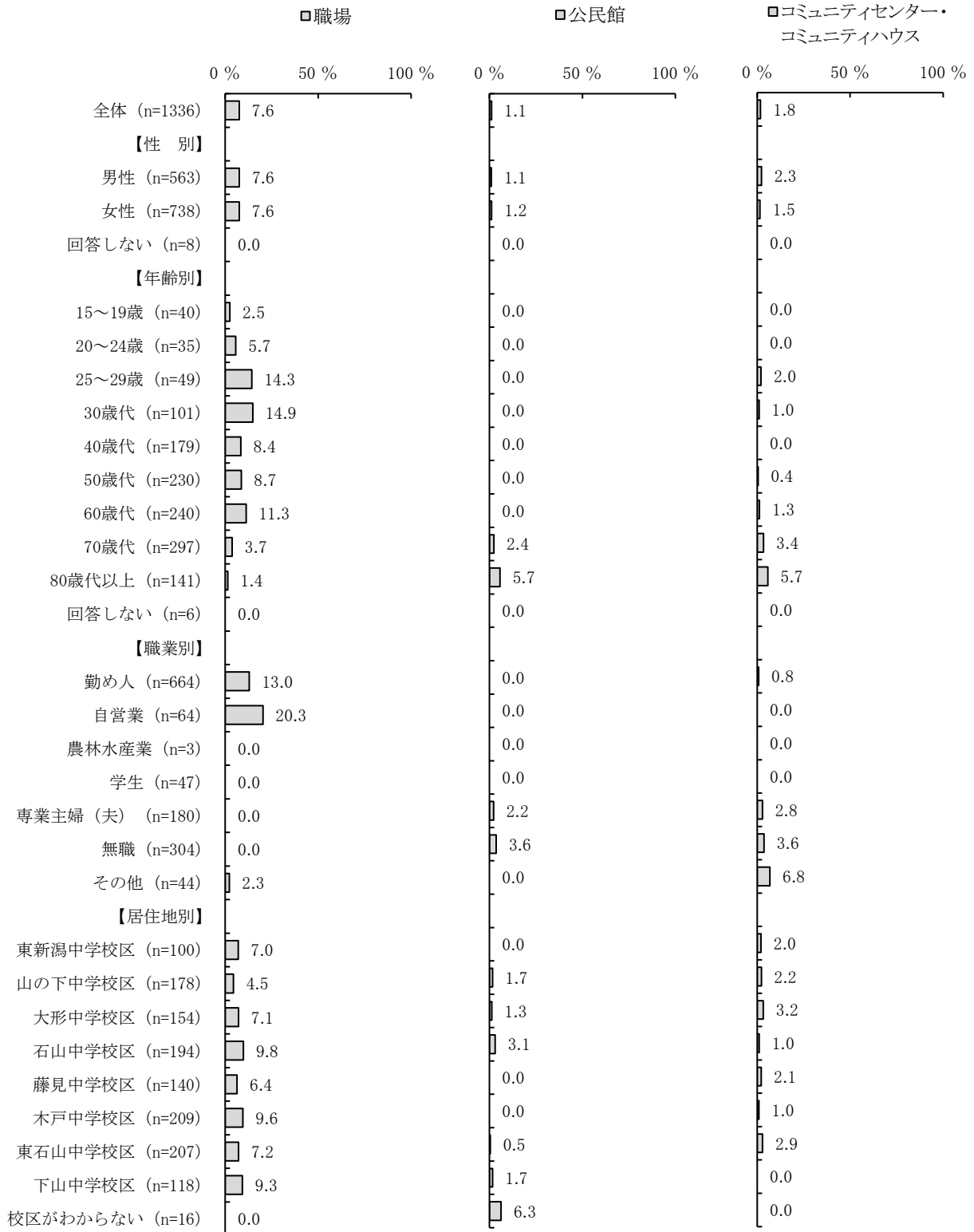
「自宅」は全職業で91.4%～96.7%と9割以上を占めている。

④ 居住地別

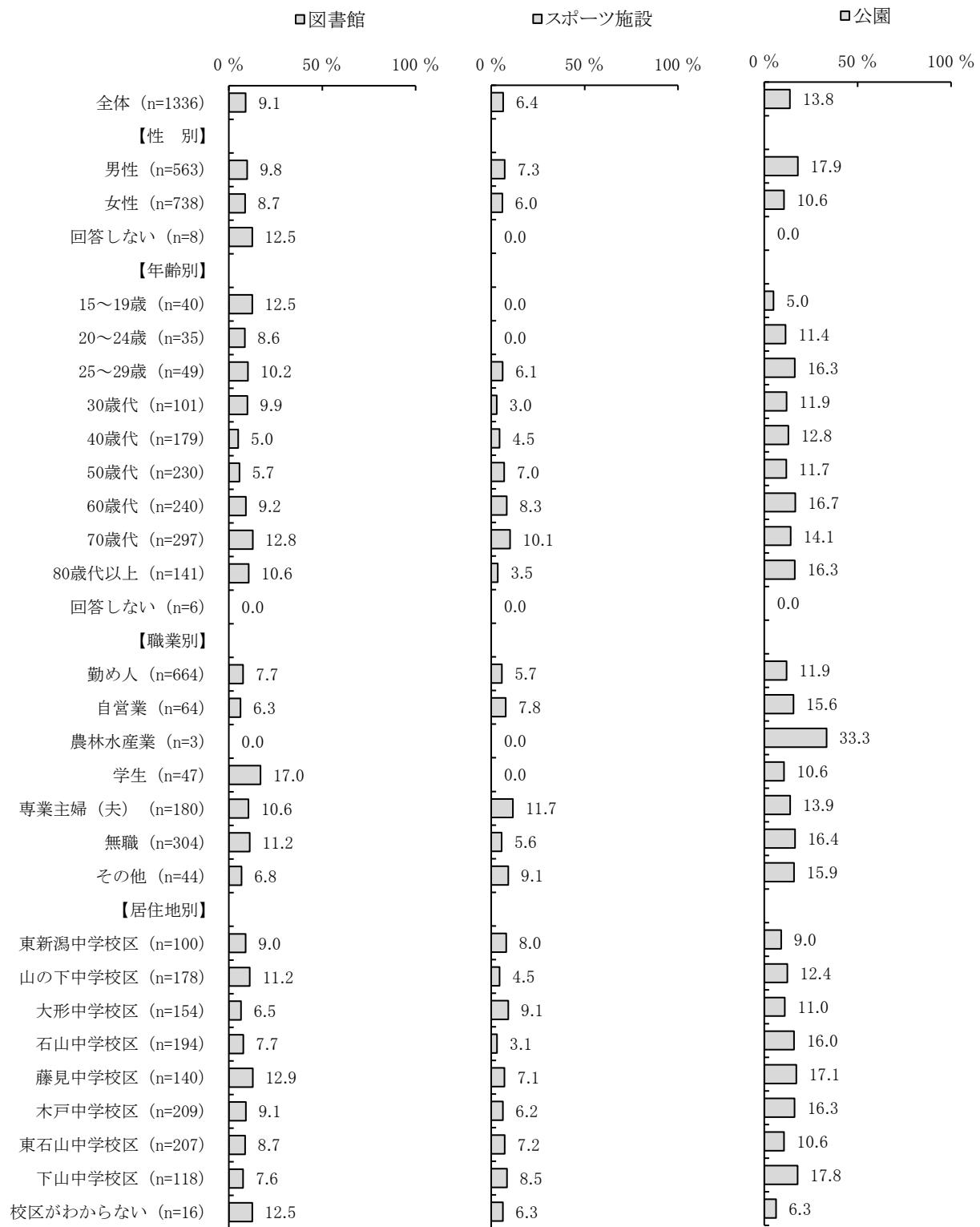
「自宅」は居住地別でも91.9%～97.6%と9割以上を占めている。

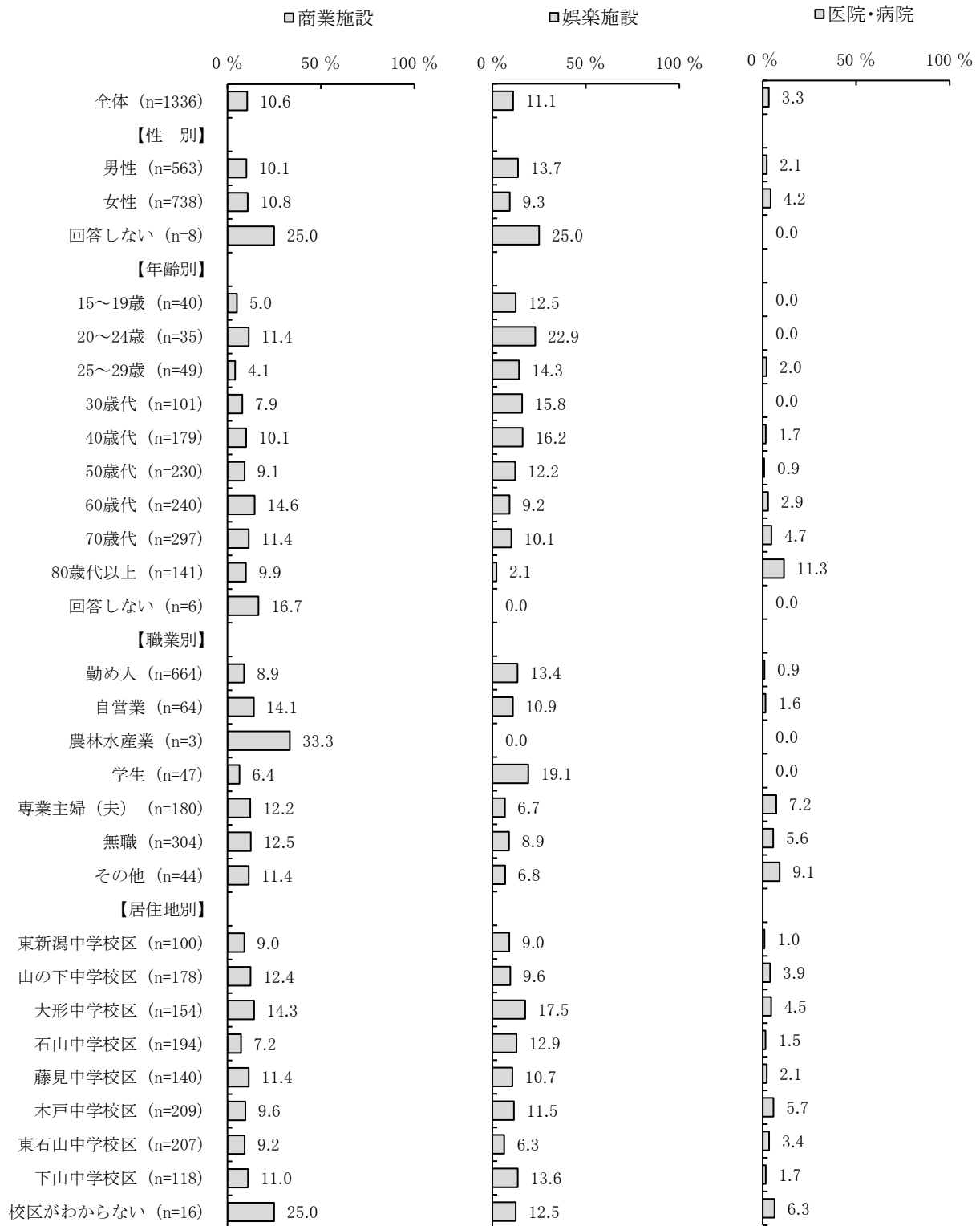
II 調査結果



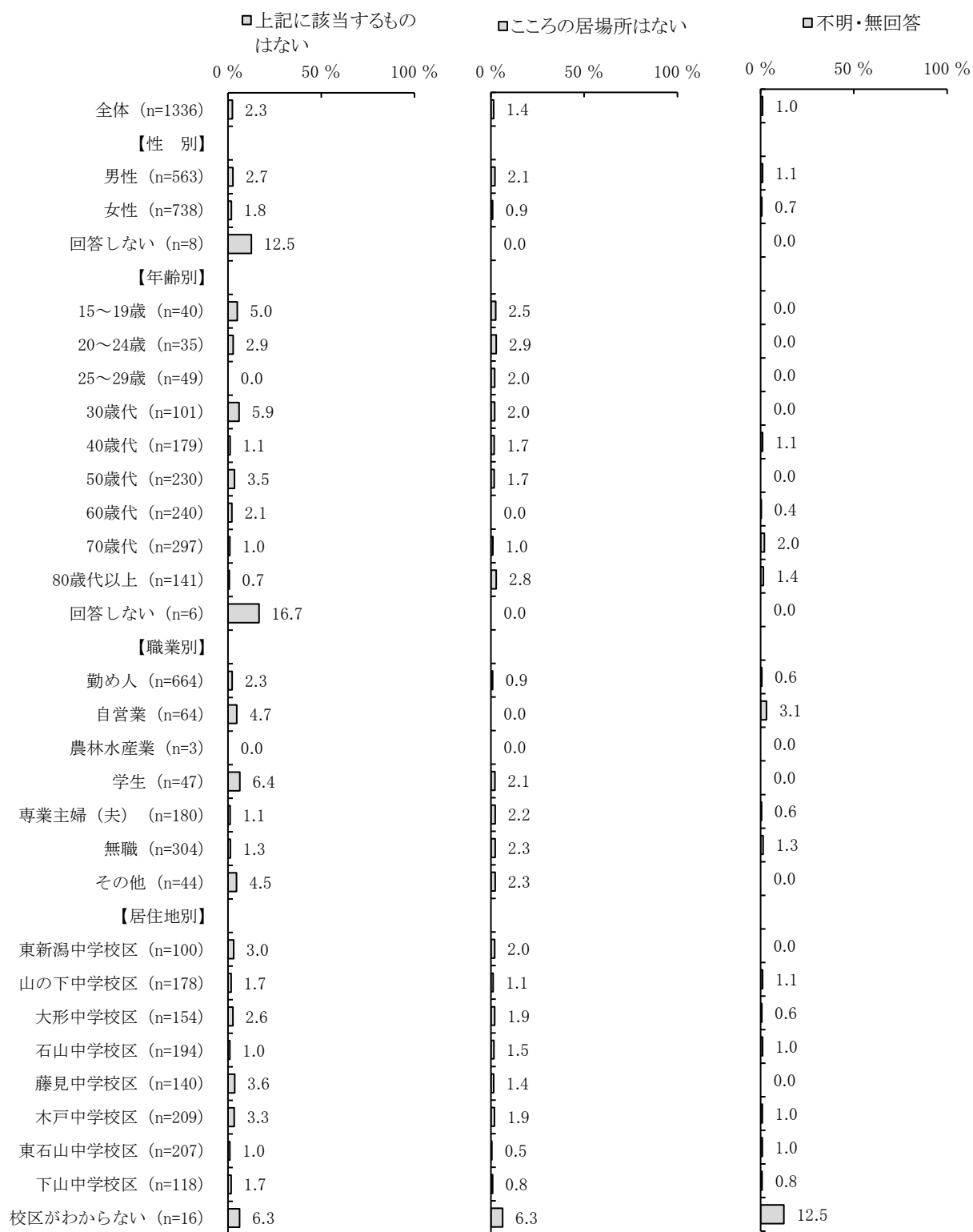


II 調査結果

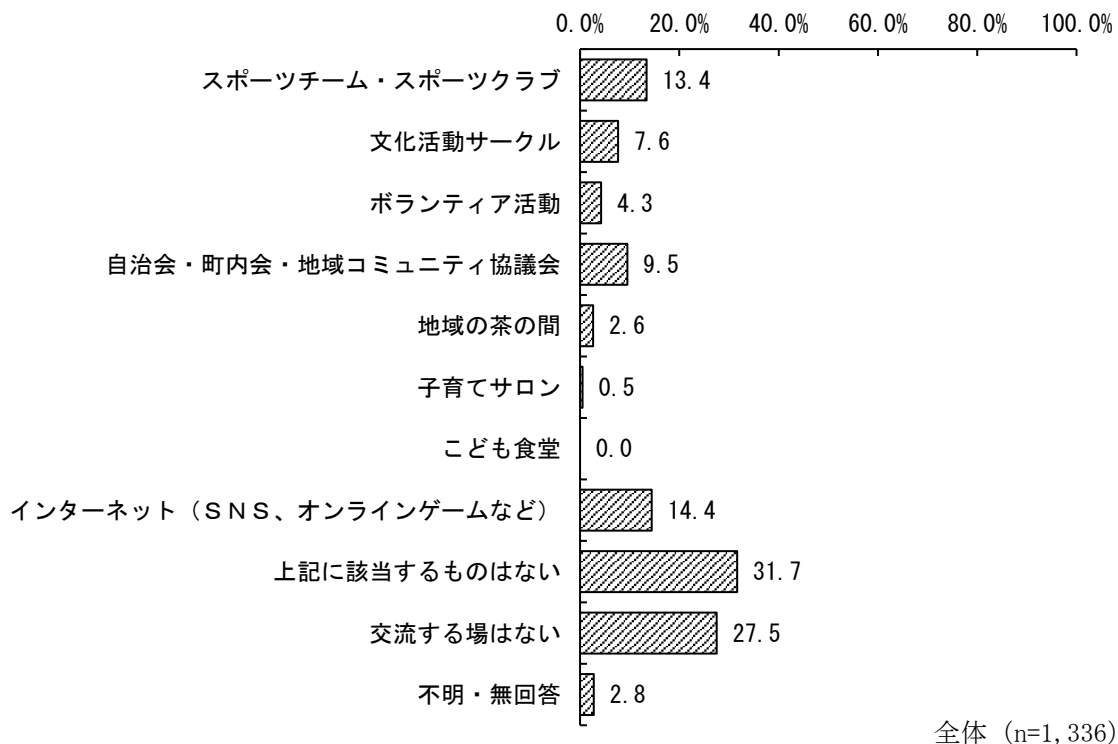




II 調査結果



Q20：あなたが学校や職場以外で家族以外の人と交流する場はどこですか？
 (主にあてはまるものに2つまで○を付けてください。)



【全体結果】

選択肢のなかでは「インターネット (SNS、オンラインゲームなど)」が14.4%、スポーツチーム・スポーツクラブ13.4%と続く。学校や職場以外で、「交流する場はない」は27.5%となった。

【属性別結果】

① 性別

「インターネット」では男性14.4%、女性14.5%とほぼ同割合。「スポーツチーム・スポーツクラブ」では男性14.2%、女性12.9%と男性がわずかに高い。また「交流する場がない」は男性29.7%、女性26.6%と男性が高い。

② 年齢別

「インターネット」では15～29歳が37.5%～40.8%、「スポーツチーム・スポーツクラブ」では15～19歳が27.5%と他の年齢層より高い。また「交流する場がない」は20歳～50歳代で各年齢層で29.1%～38.6%と3割～4割弱存在する。

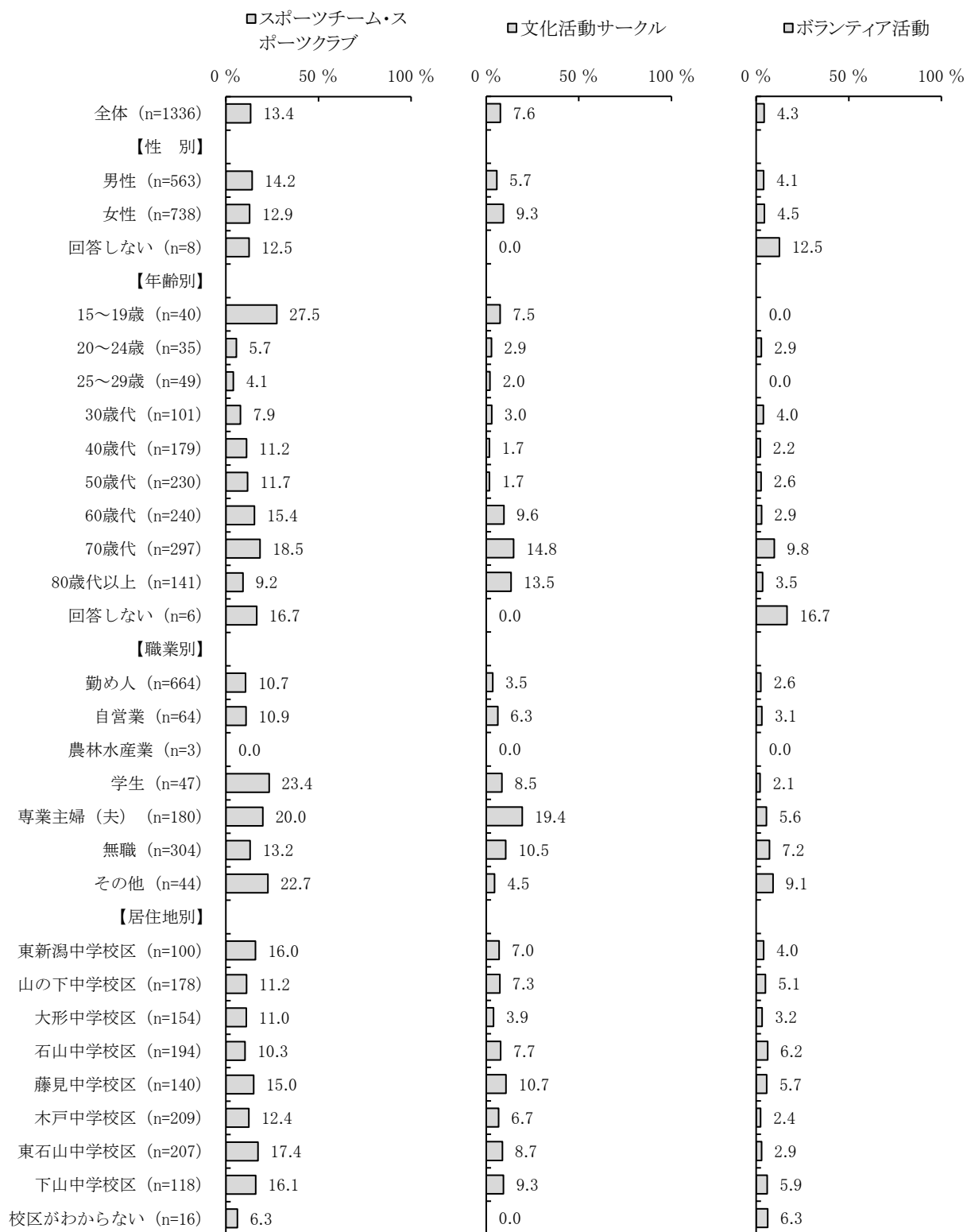
③ 職業別

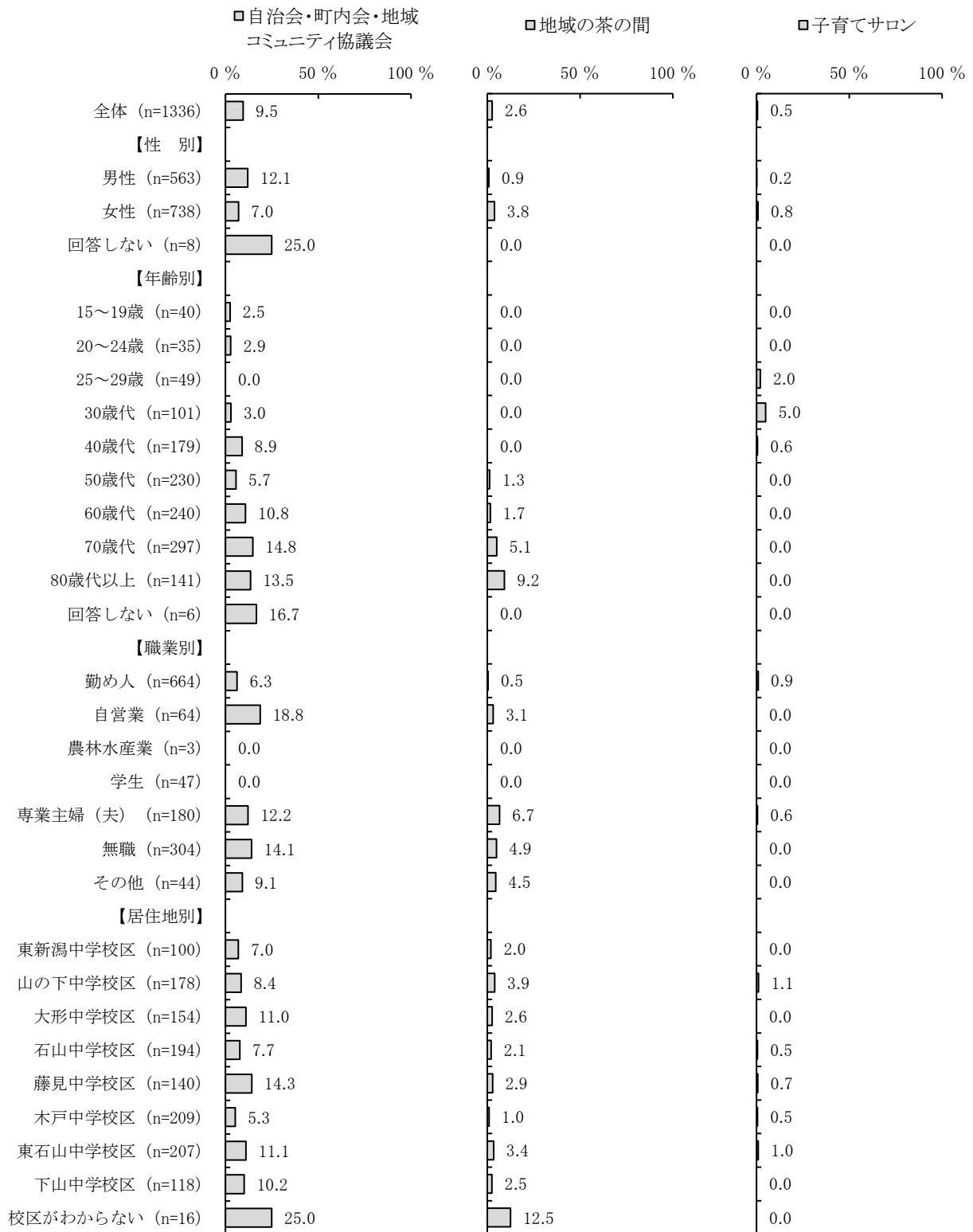
「インターネット」は学生が36.2%で最も高く、次いで勤め人の20.2%。「スポーツチーム・スポーツクラブ」では学生が23.4%、次いで専業主婦 (夫) 20.0%と続く。「交流する場がない」は勤め人33.1%、無職26.0%、学生25.5%の順となっている。

④ 居住地別

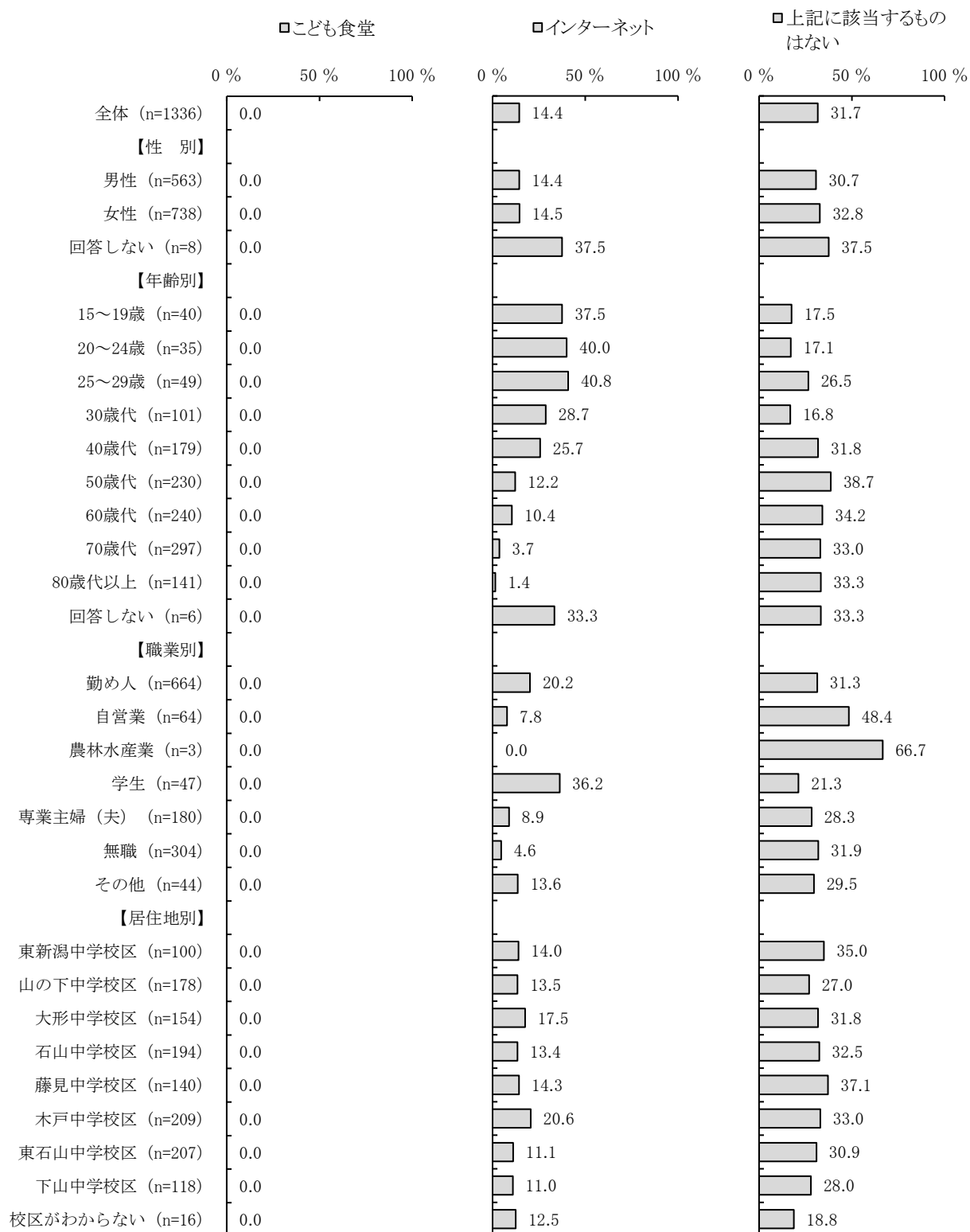
「インターネット」は木戸中学校区が20.6%、「スポーツチーム・スポーツクラブ」では東石山中学校区17.4%、「交流する場がない」は山の下中学校区33.7%が最も高い割合。

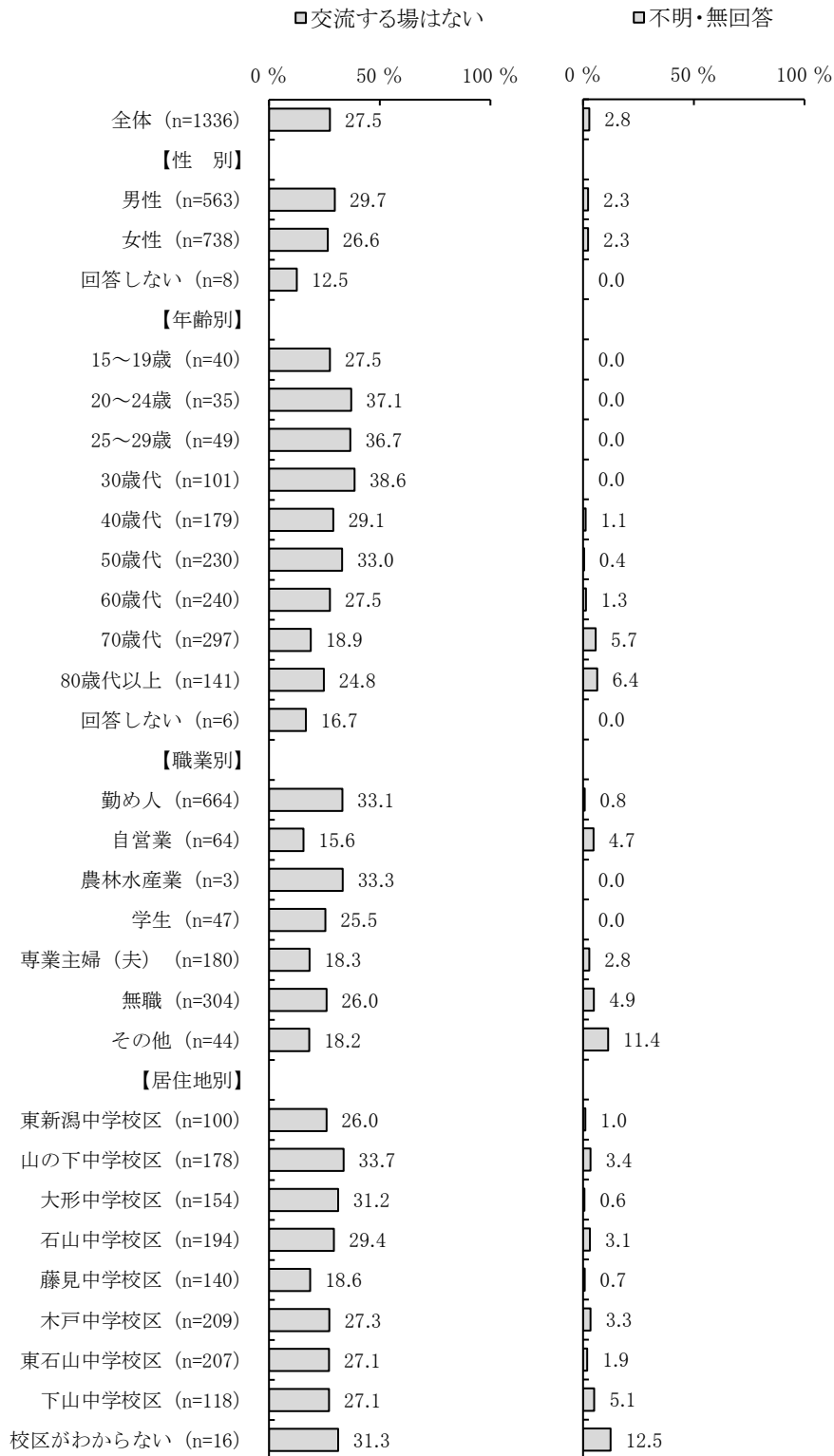
II 調査結果





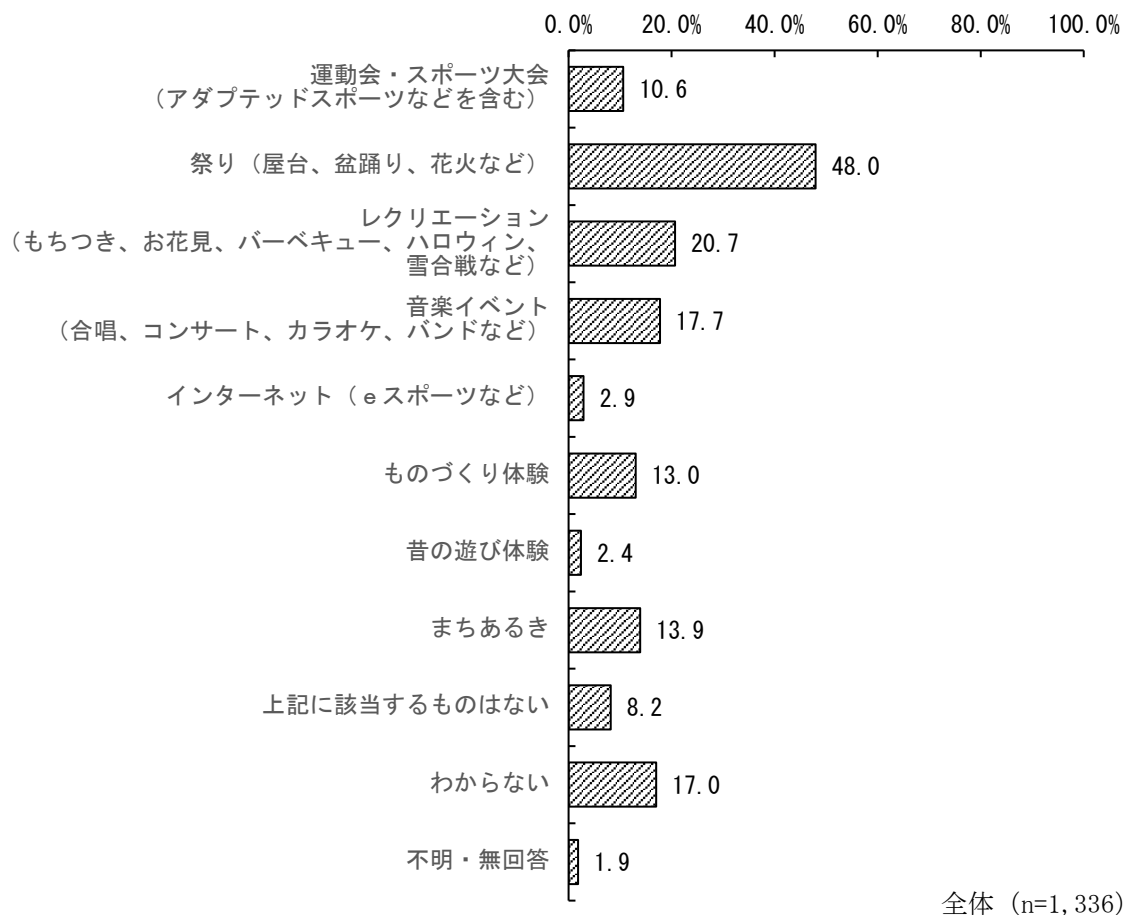
II 調査結果





5. 『多世代交流』について

Q21：あなたはどのような催しなら、多くの人が参加すると思いますか？また、どの催しに参加したいですか？（主にあてはまるものに2つまで○を付けてください。）



【全体結果】

「祭り」が48.0%と最も多い。次に「レクリエーション」が20.7%と続いている。

【属性別結果】

① 性別

「祭り」は男性48.7%、女性48.1%と大きな差はない。「レクリエーション」では男性22.6%、女性19.6%と男性がわずかに高い。

② 年齢別

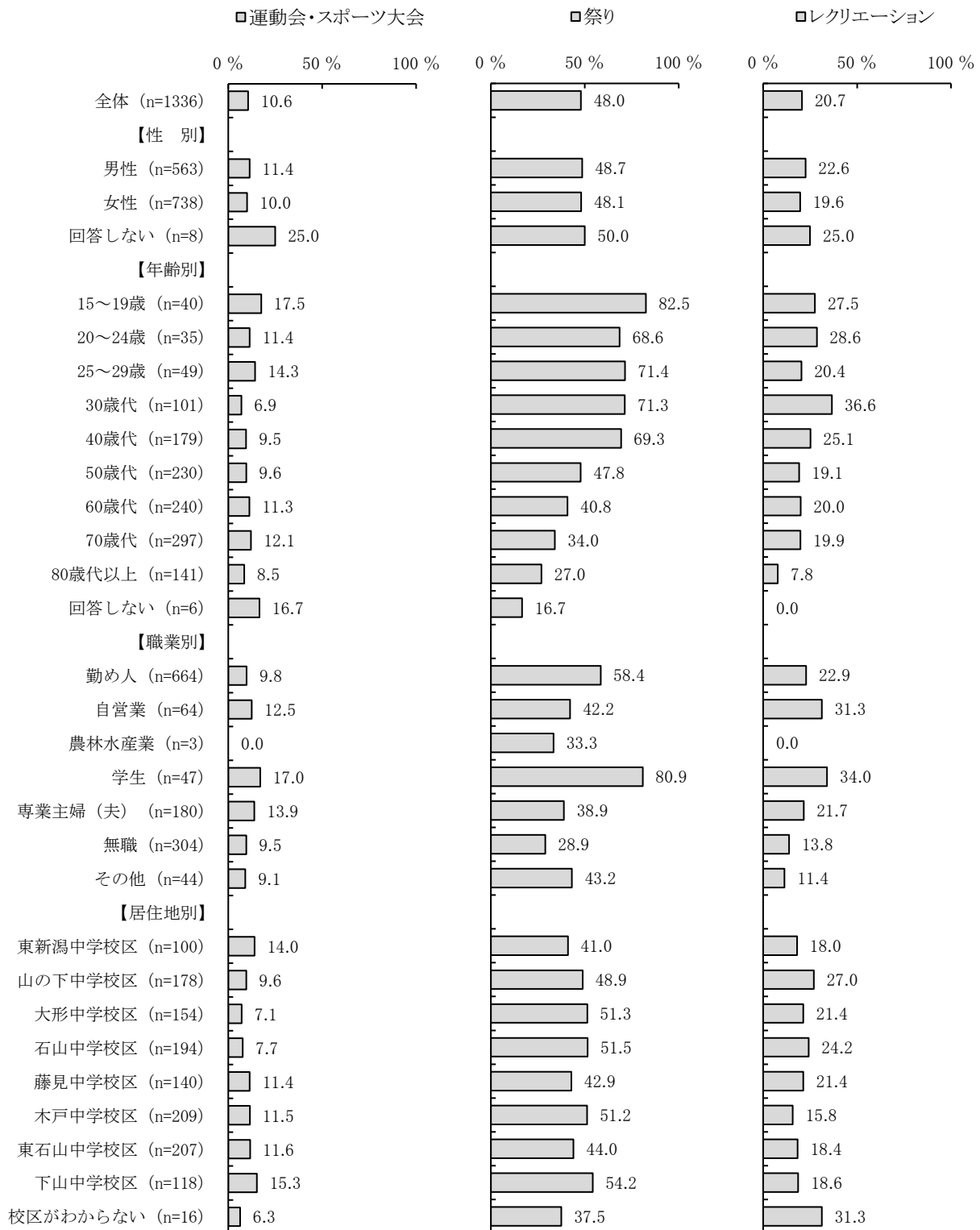
「祭り」については若年層～40歳代で68.6%～82.5%を示すが、50歳代から高齢に向かい低下している。「レクリエーション」は若年層～29歳で20.4%～28.6%であり、30歳代の36.6%をピークに高年齢層へ向けて低下している。

③ 職業別

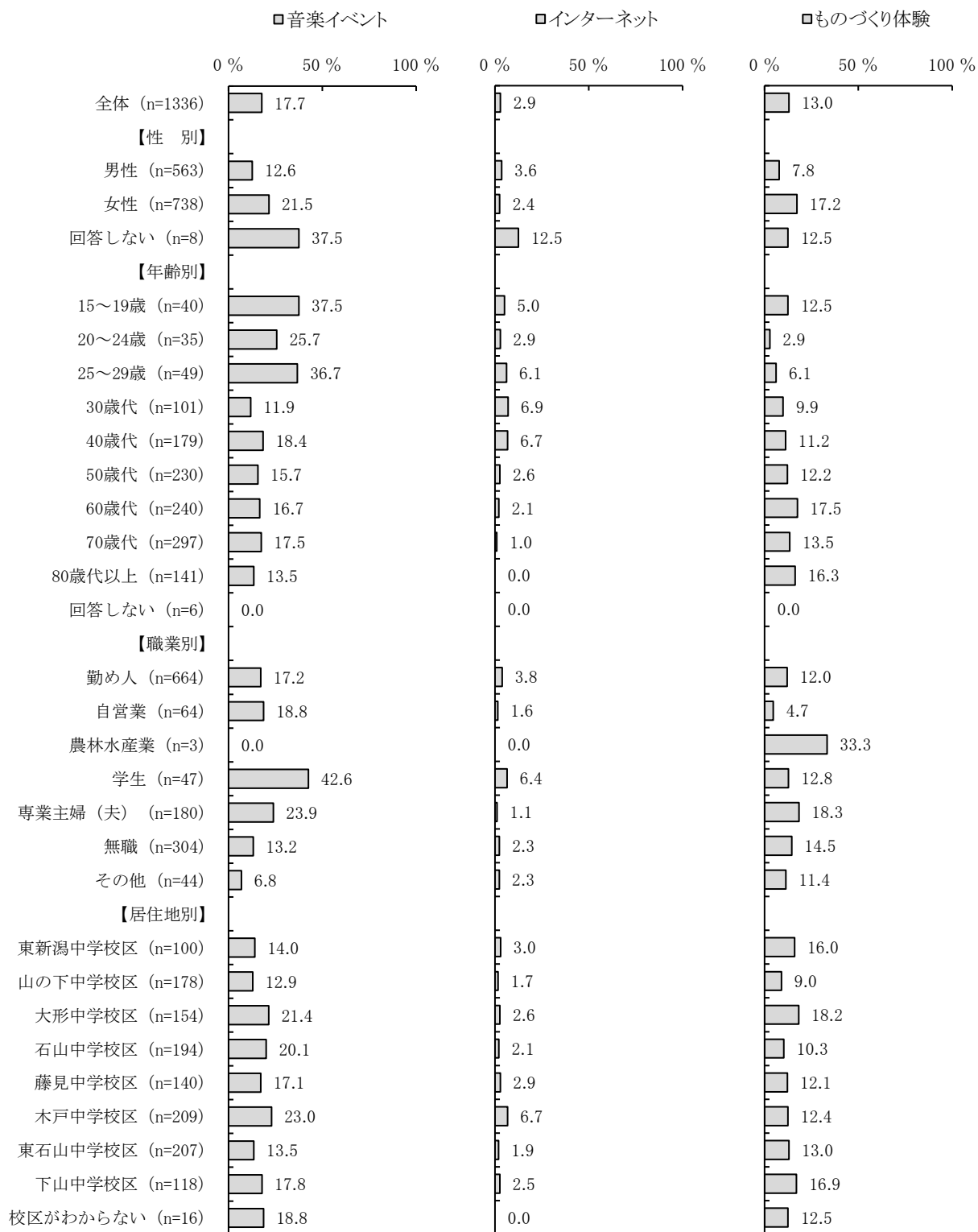
「祭り」は学生が80.9%と高く、続いて勤め人が58.4%。「レクリエーション」では、学生34.0%、自営業が31.3%、勤め人が22.9%と続く。

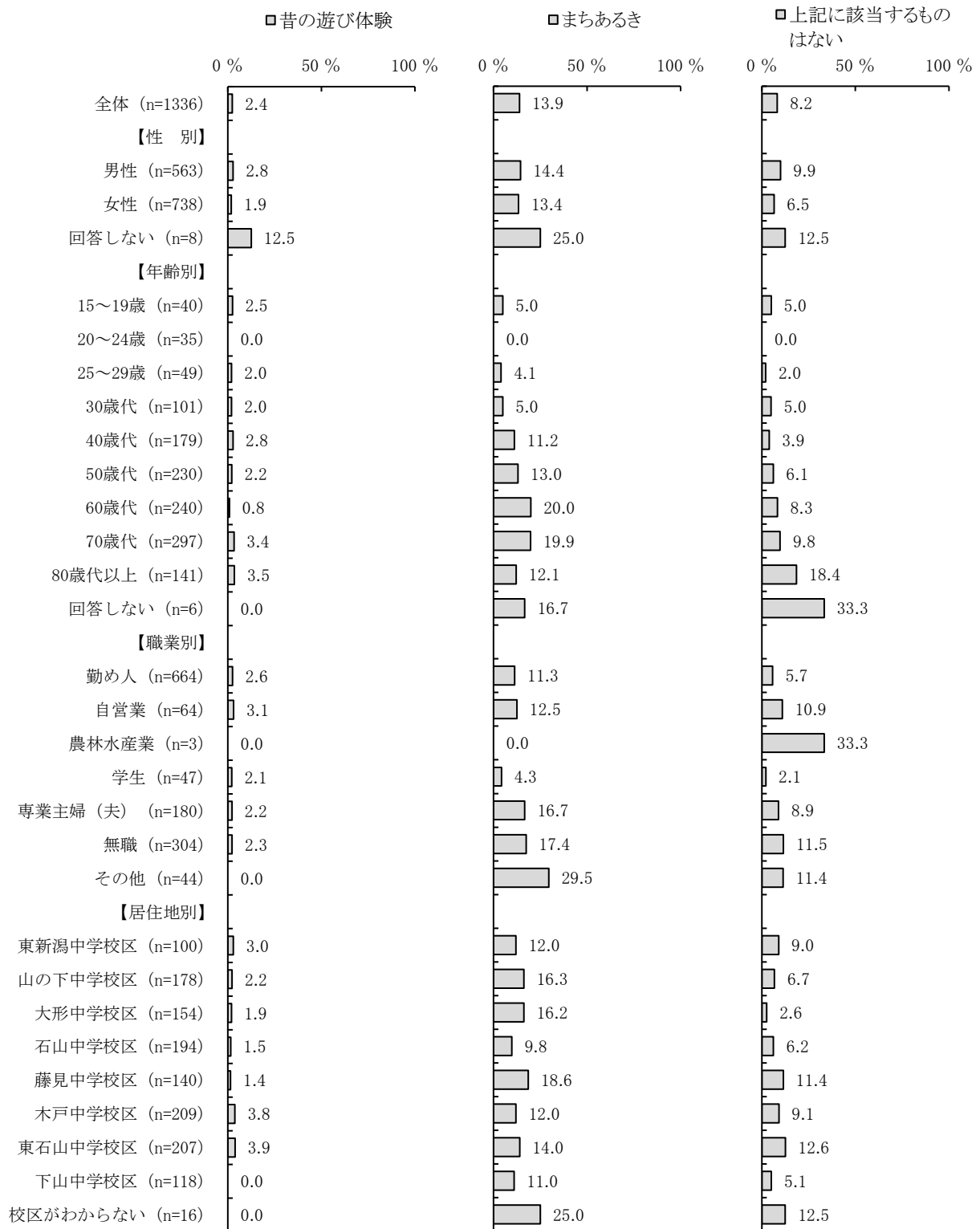
④ 居住地別

「祭り」は下山中学校区が54.2%と最も高く、東新潟中学校区が41.0%で最も低い。全居住地で4割から5割強の割合となった。「レクリエーション」は全居住地で15.8%~27.0%という結果となった。

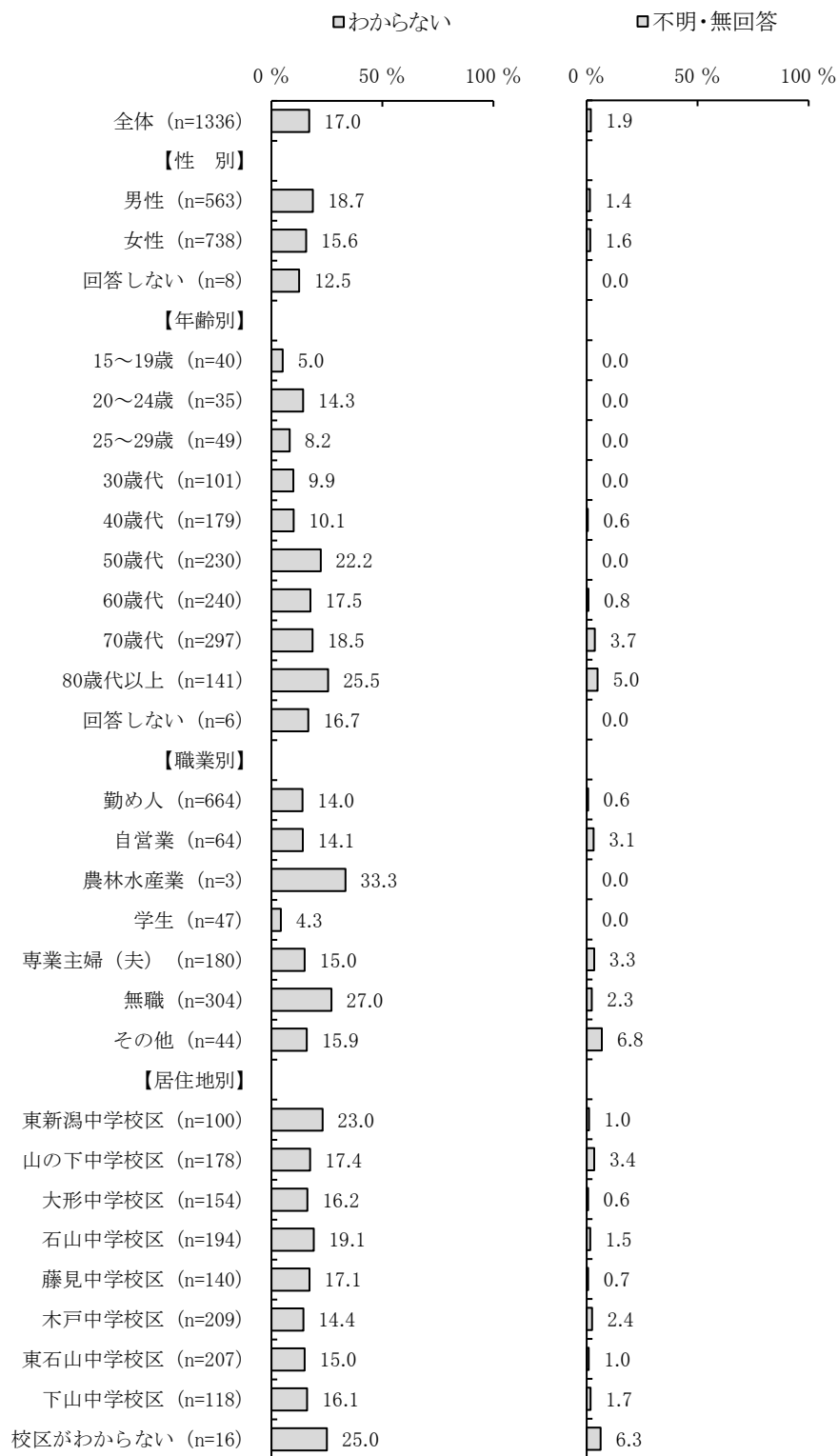


II 調査結果

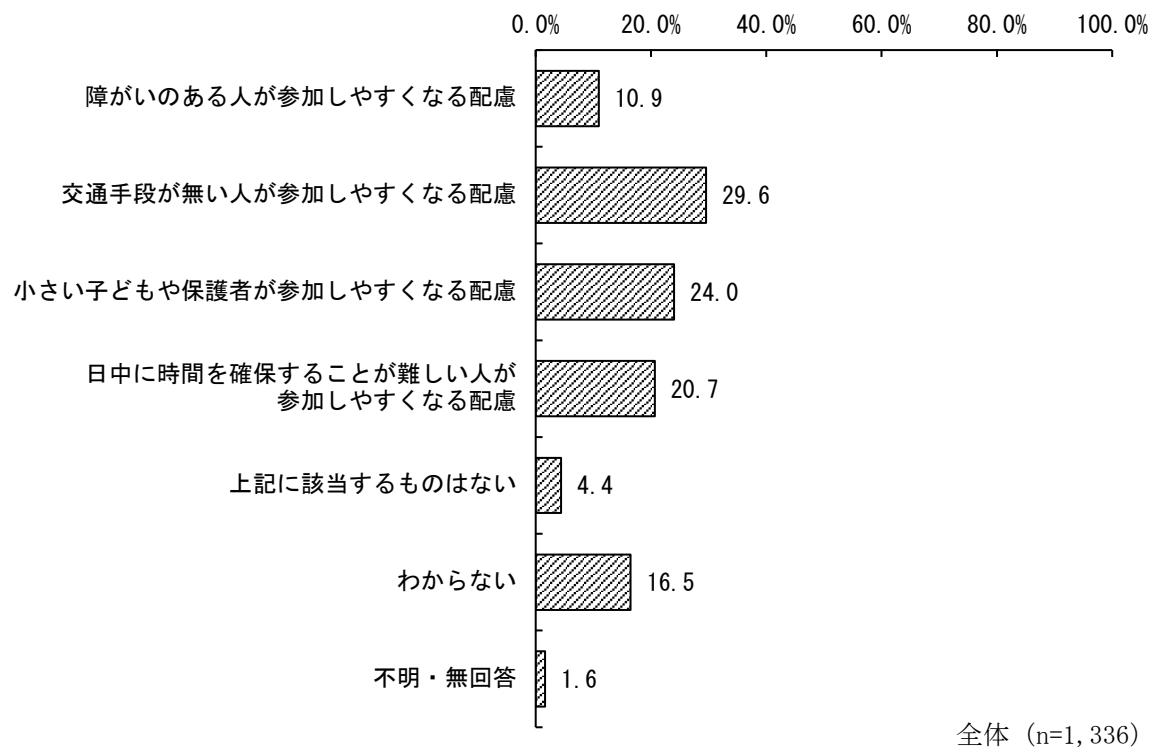




II 調査結果



Q22：あなたはより多くの人に参加するために、どのような配慮が必要だと思いますか？



【全体結果】

「交通手段が無い人が参加しやすくなる配慮」が29.6%と交通弱者への配慮が高かった。次に「小さい子どもや保護者が参加しやすくなる配慮」が24.0%と続く。

【属性別結果】

① 性別

「交通手段が無い人が参加しやすくなる配慮」は男性22.2%、女性34.8%と女性が男性を上回っている。「小さい子どもや保護者が参加しやすくなる配慮」の関しては男性28.2%、女性21.3%と男性が女性より高い割合。

② 年齢別

「交通手段が無い人が参加しやすくなる配慮」は60歳代34.2%、70歳代38.7%、80歳代以上40.4%と高年齢層が高い割合となっている。「小さい子どもや保護者が参加しやすくなる配慮」は25～29歳34.7%、30歳代44.6%、40歳代36.9%と子育て世代が高くなっている。

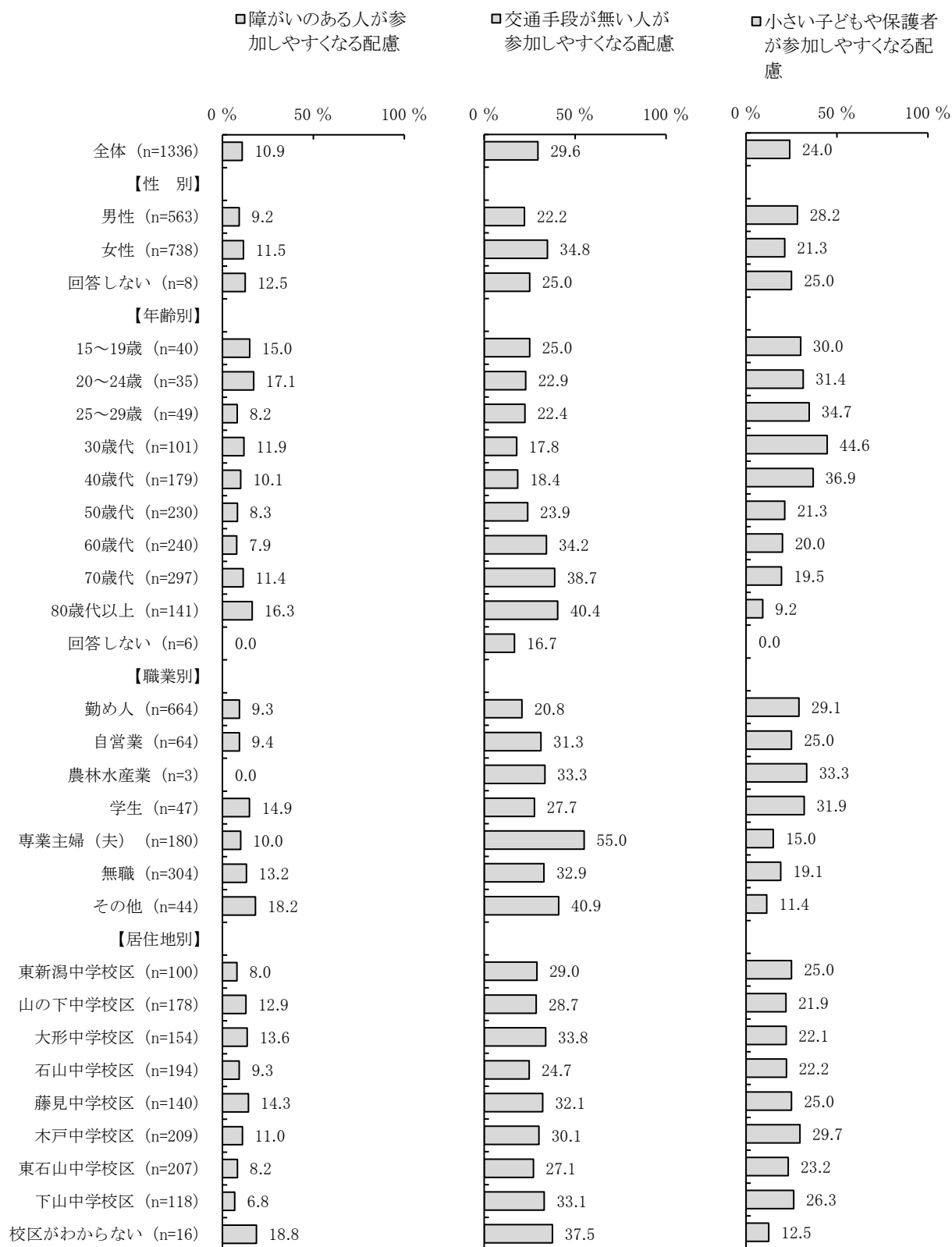
③ 職業別

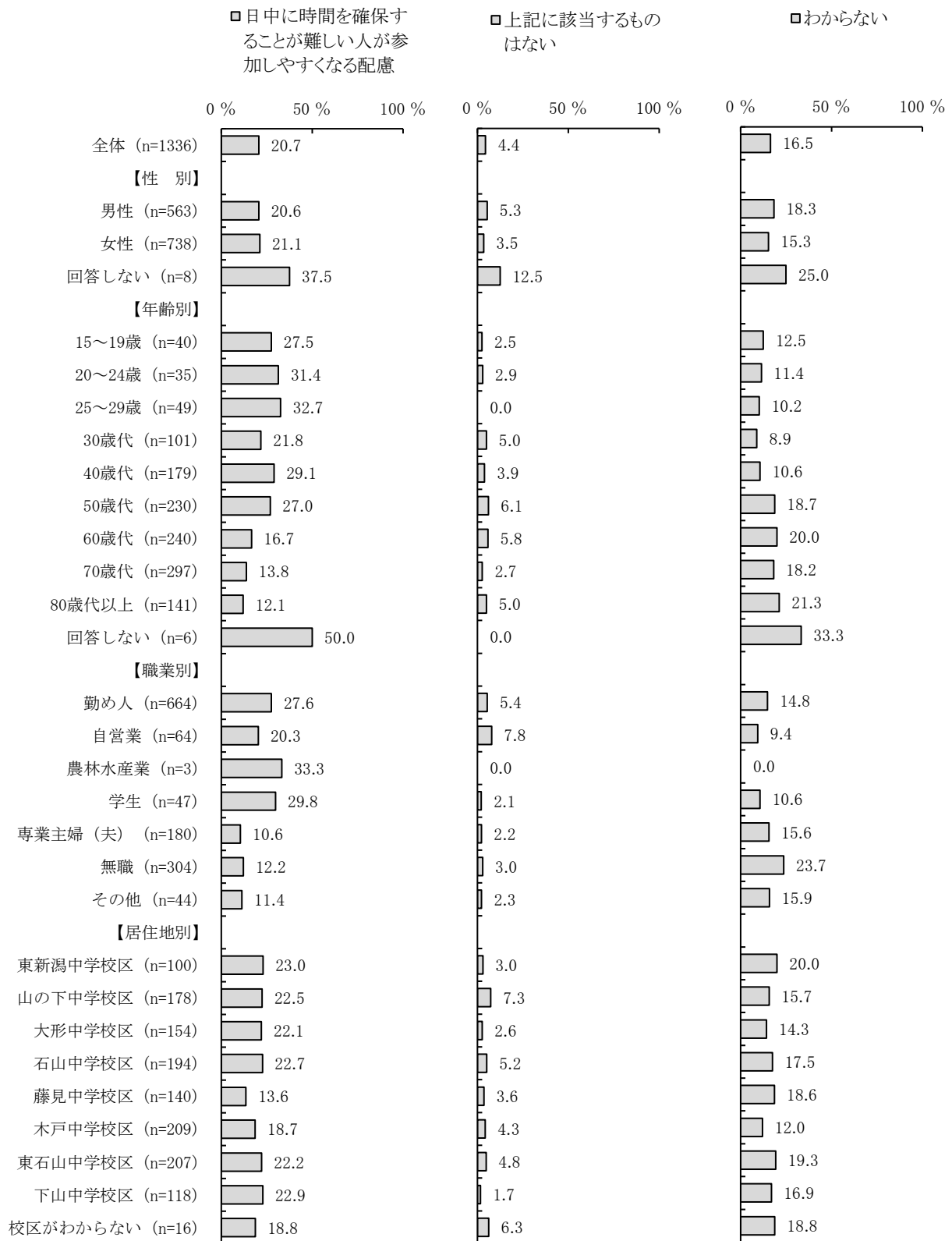
「交通手段が無い人が参加しやすくなる配慮」は専業主婦（夫）が55.0%と高い。「小さい子どもや保護者が参加しやすくなる配慮」は学生が31.9%となっている。

④ 居住地別

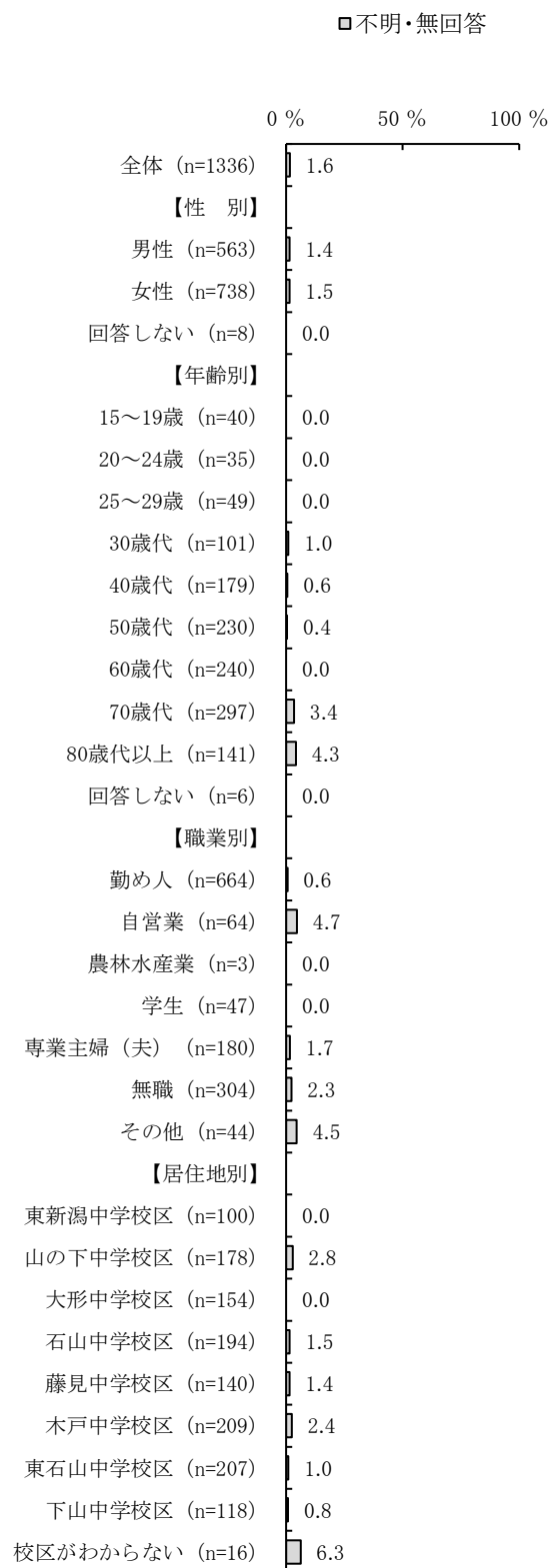
「交通手段が無い人が参加しやすくなる配慮」は、大形中学校区で33.8%と高い。「小さい子どもや保護者が参加しやすくなる配慮」は、木戸中学校区で29.7%と高い。

II 調査結果



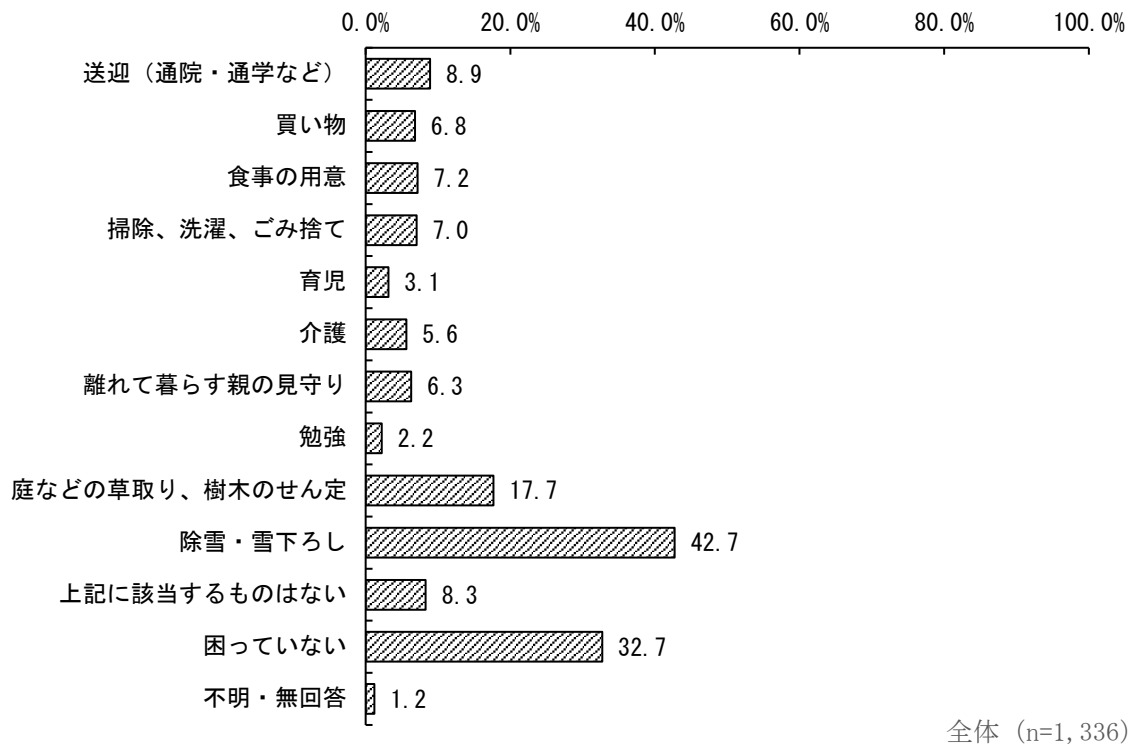


II 調査結果



6. 『日常の助け合い』について

Q23：あなたが困っていること（手伝ってもらいたいこと）は何ですか？
（主にあてはまるものに3つまで○を付けてください。）



【全体結果】

「除雪・雪下ろし」が42.7%で高いが、「困っていない」も32.7%存在する。

【属性別結果】

① 性別

「除雪・雪下ろし」は女性が45.3%、男性は39.1%と女性が高い。「困っていない」は男性35.9%、女性30.9%と男性が高い。

② 年齢別

「除雪・雪下ろし」は25歳～29歳で49.0%と割合が一番高い。「困っていない」は80歳以上を除く各年齢層で二番目に高い。15～19歳は「勉強」が最も高い結果となった。

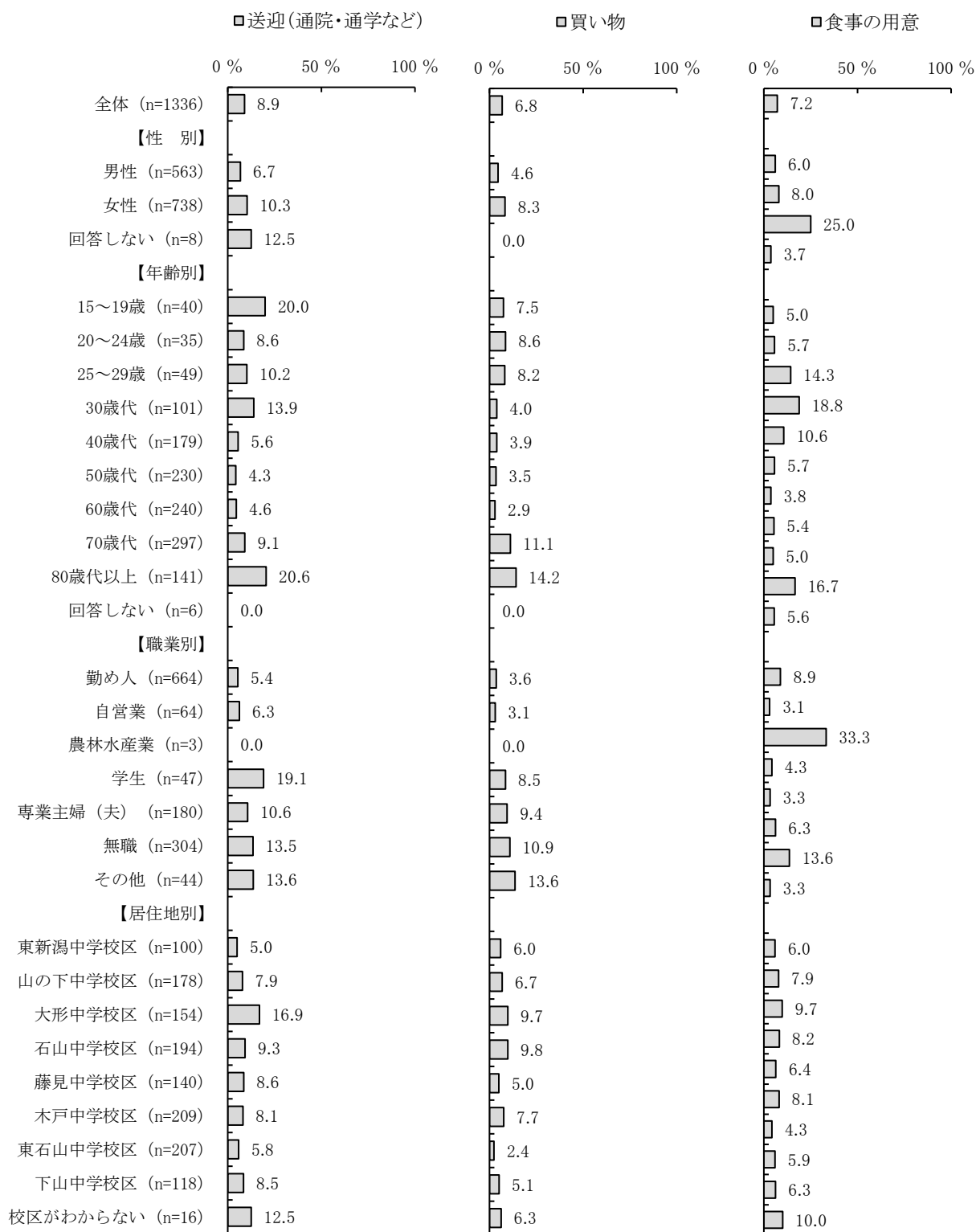
③ 職業別

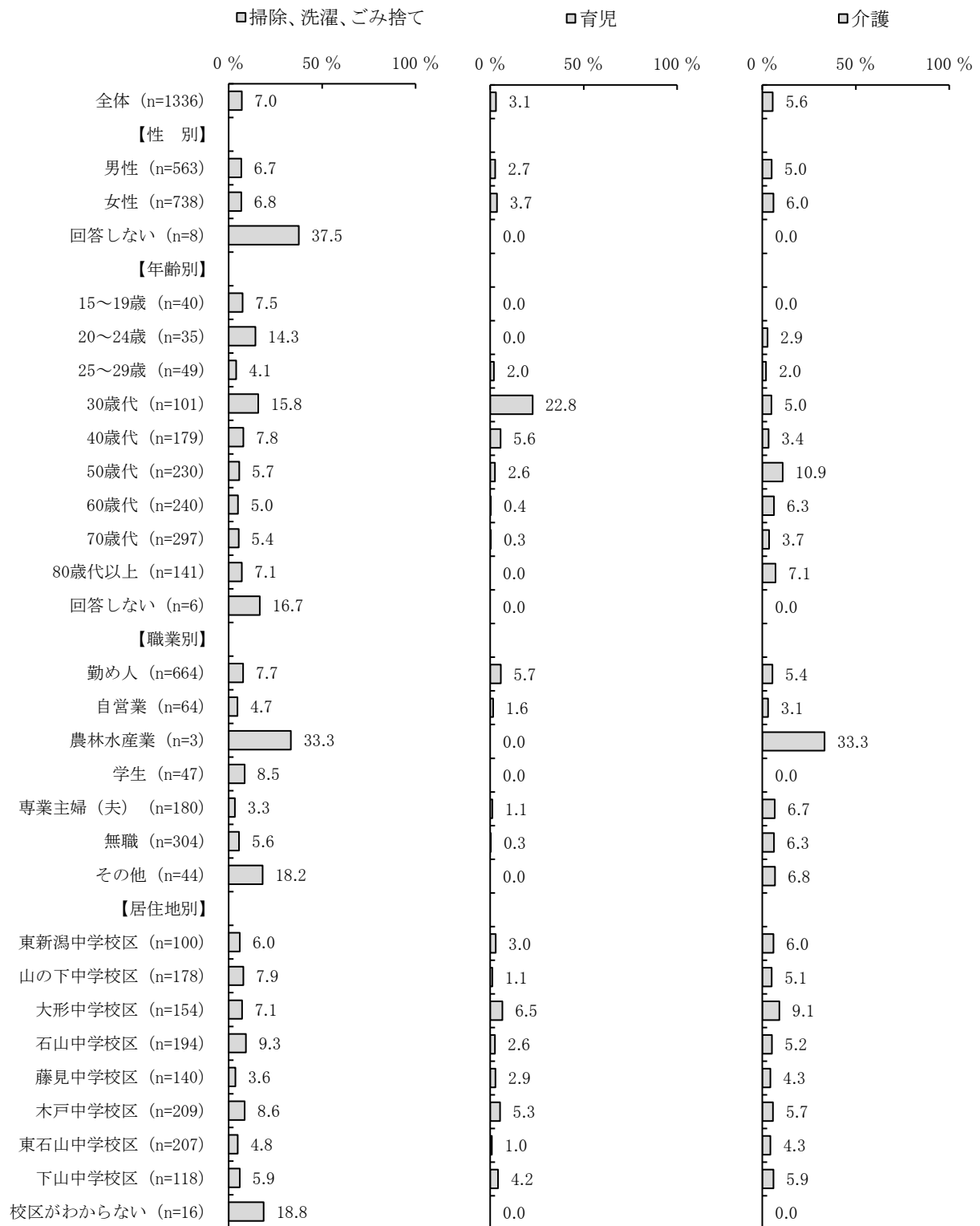
「除雪・雪下ろし」は専業主婦（夫）45.6%、勤め人44.1%、無職43.8%が4割を超える。「困っていない」は自営業が40.6%と4割を超え、学生36.2%、無職35.2%、勤め人32.7%、専業主婦（夫）31.1%が3割を超えている。学生については「勉強」が44.7%と最も高い。

④ 居住地別

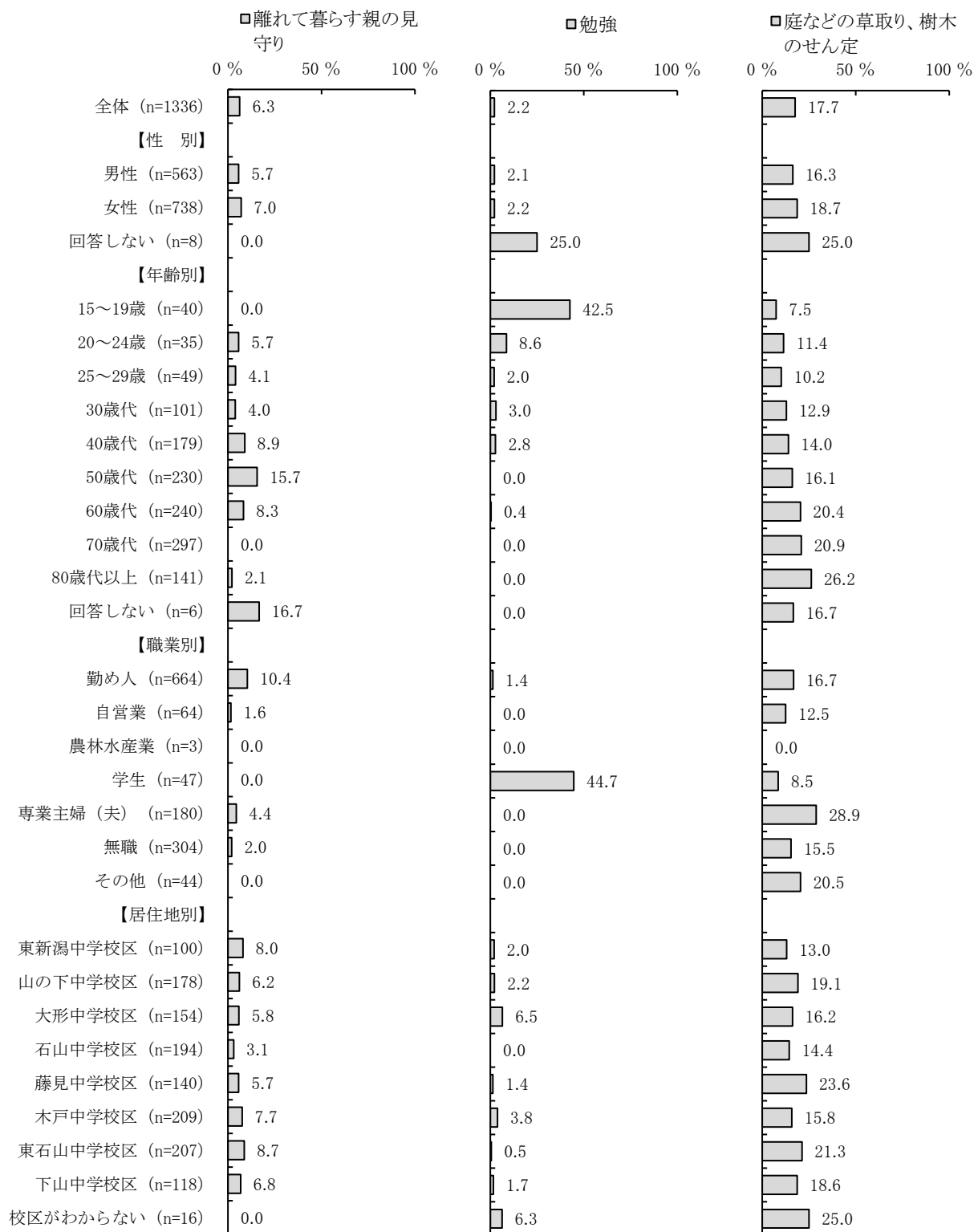
全居住地で「除雪・雪下ろし」が38.6%～48.3%。「困っていない」は29.7%～35.3%。

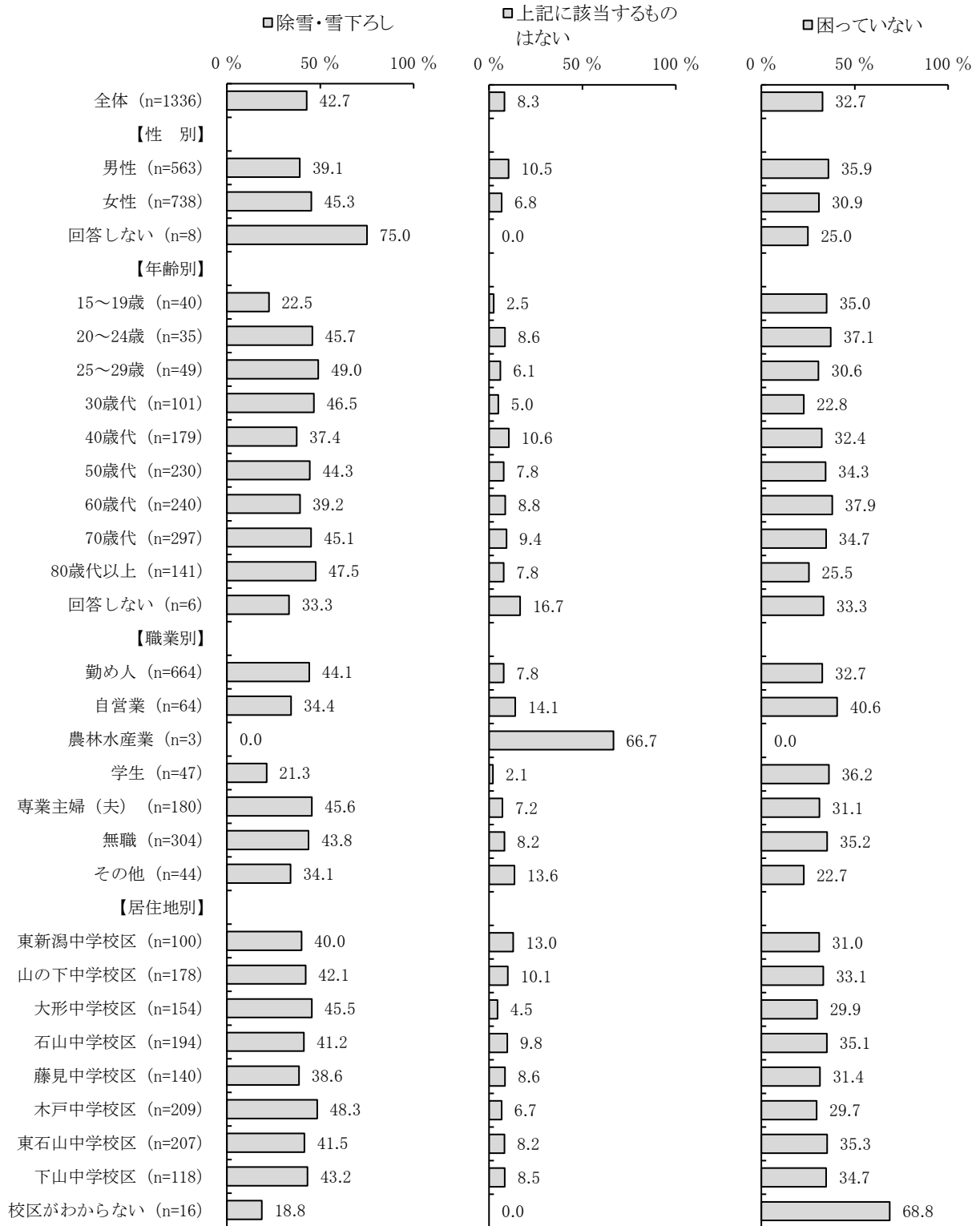
II 調査結果



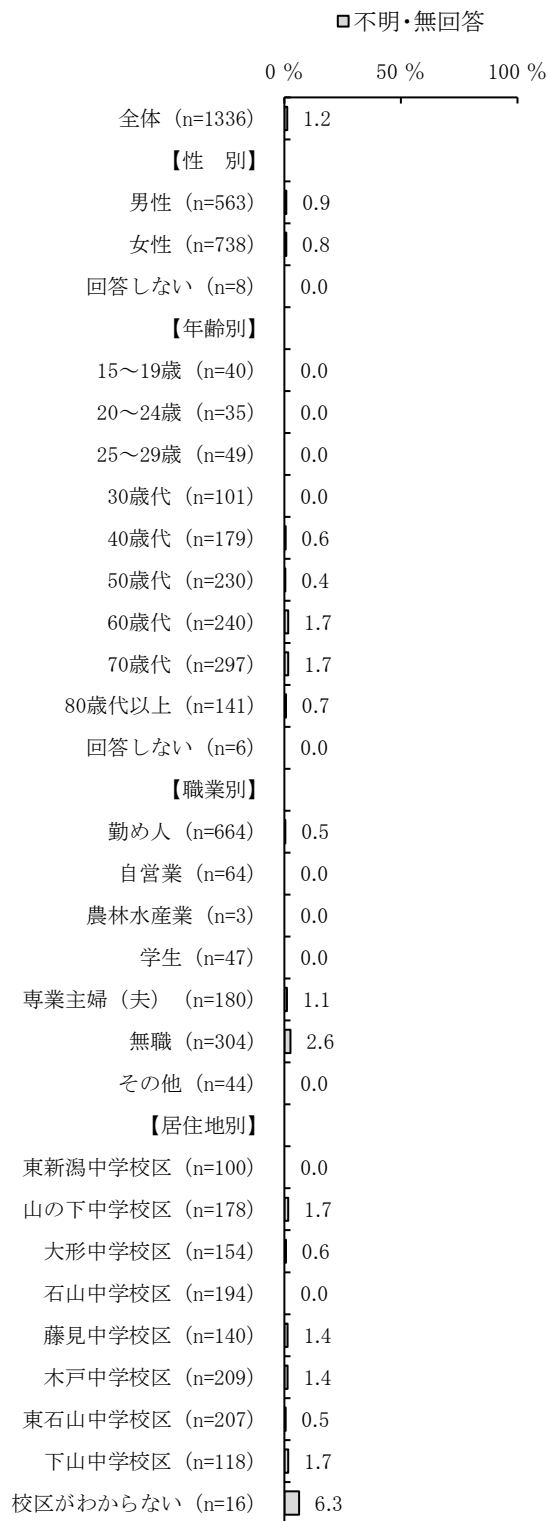


II 調査結果

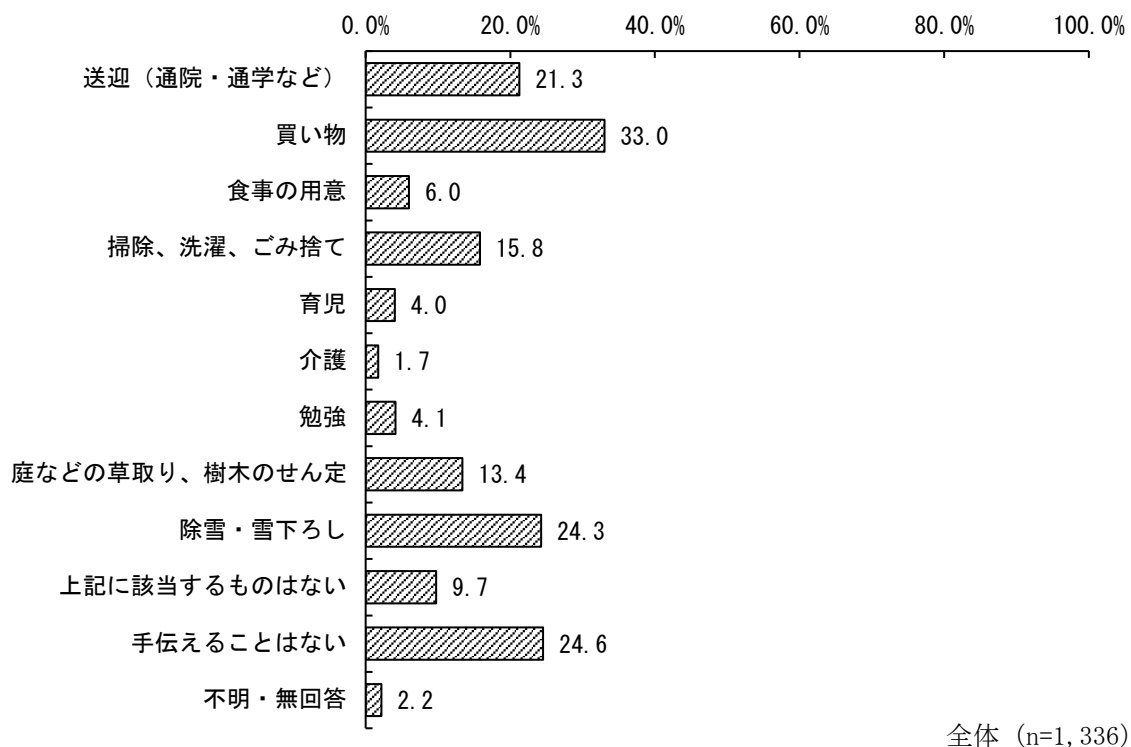




Ⅱ 調査結果



Q24：身近に困っている人がいたら、あなたが手伝えることは何ですか？
 (主にあてはまるものに3つまで○を付けてください。)



【全体結果】

「買い物」33.0%で最も高く、「手伝えることはない」24.6%、「除雪・雪下ろし」24.3%、「送迎 (通院・通学など)」21.3%の分布となっている。

【属性別結果】

① 性別

女性は「買い物」が41.6%と高く、男性21.8%を大きく上回る。「食事の用意」「掃除、洗濯、ごみ捨て」など日常生活に関わるお手伝いは女性が高い。「除雪・雪下ろし」は男性36.4%で、女性15.6%を大きく上回る。「庭などの草取り、樹木のせん定」「送迎 (通院・通学など)」体力を要するお手伝いは男性が高い。

② 年齢別

全体結果で最も高い「買い物」は15～19歳17.5%以外の年齢層で高い割合を示している。「除雪・雪下ろし」は若年層～40歳代までは32.7%～42.5%、50歳代から23.5%へ落ち込み、80歳代では6.4%と1割を割り込む。

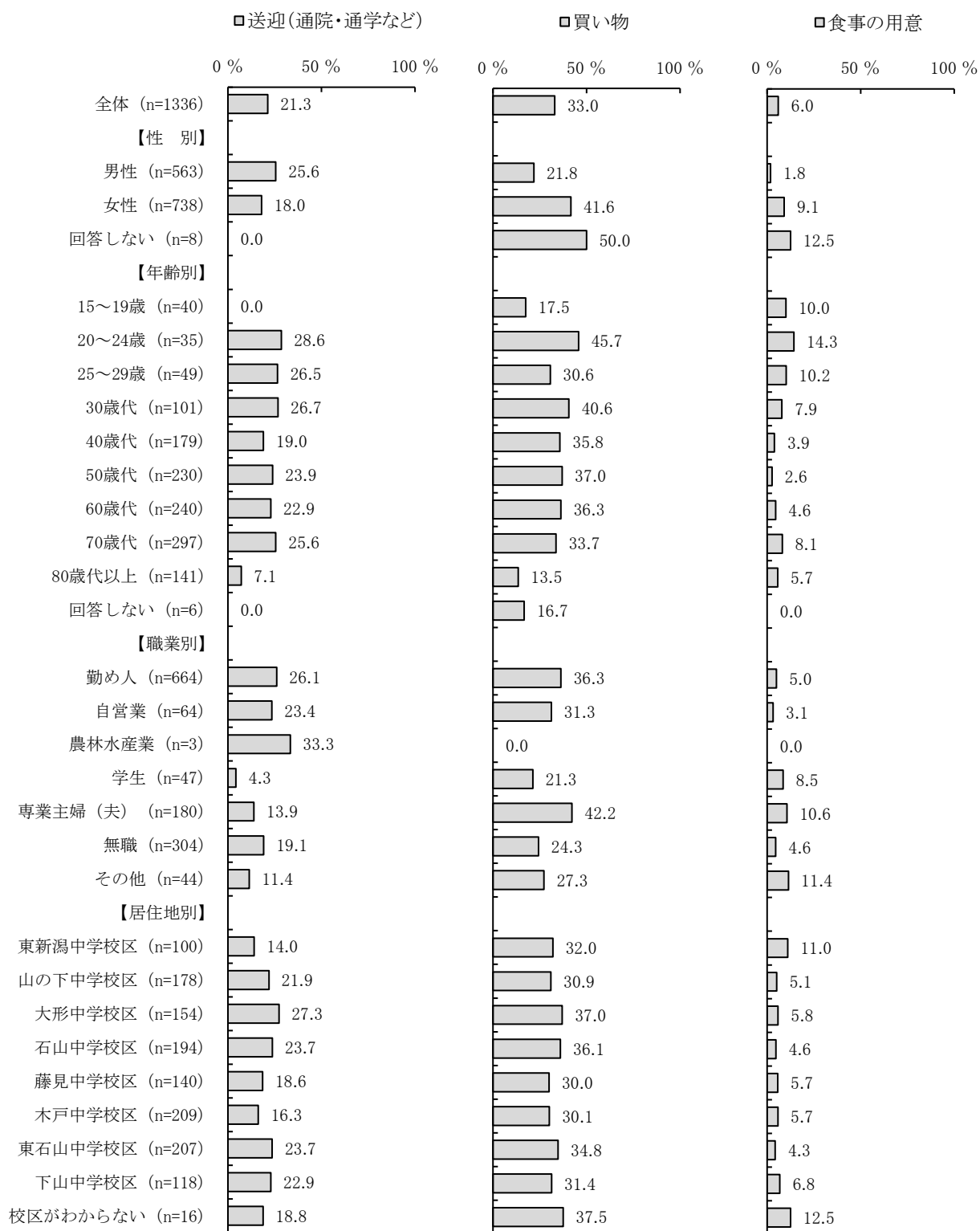
③ 職業別

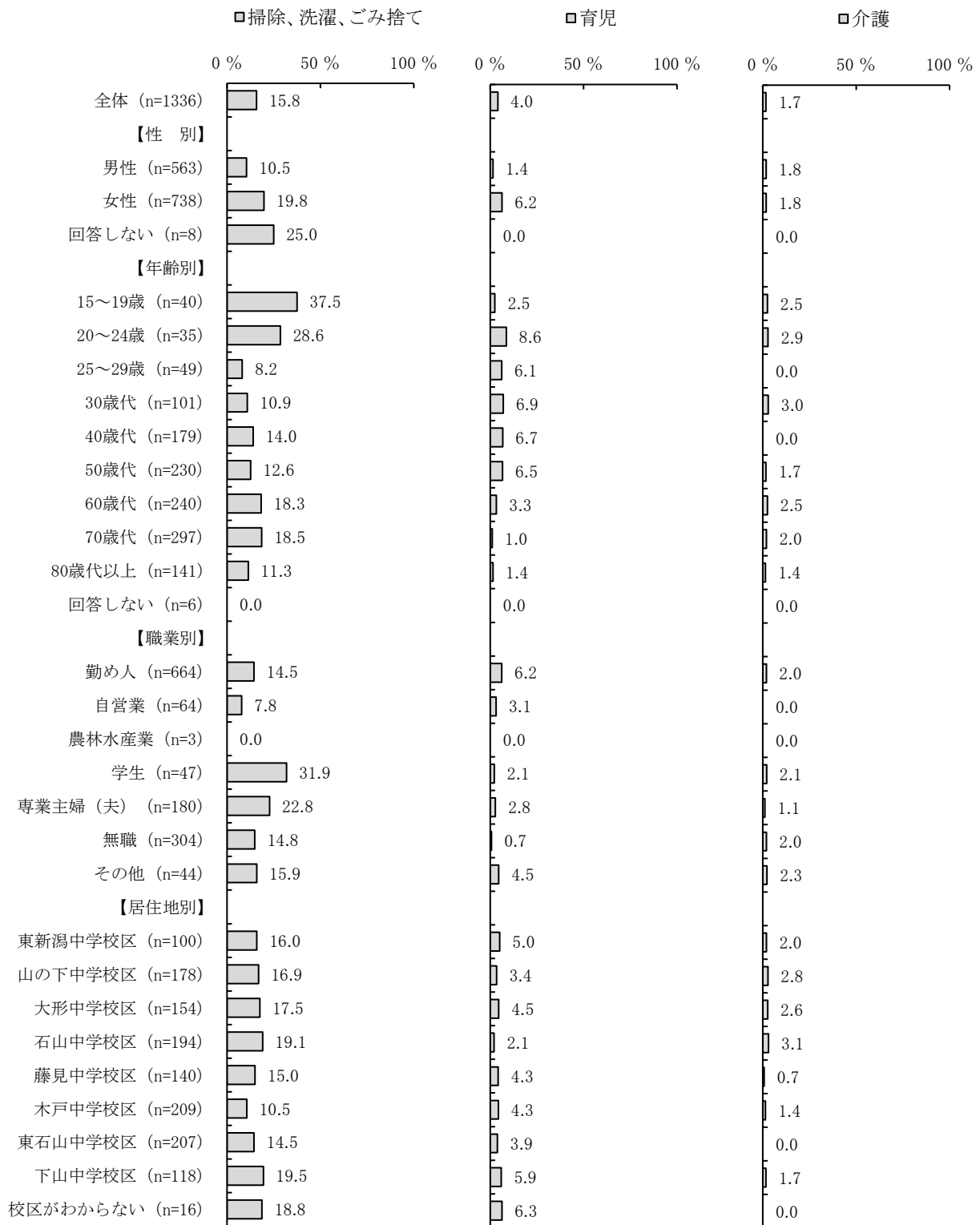
「除雪・雪下ろし」は勤め人31.9%、自営業21.9%、学生38.3%の割合が高くなっている。

④ 居住地別

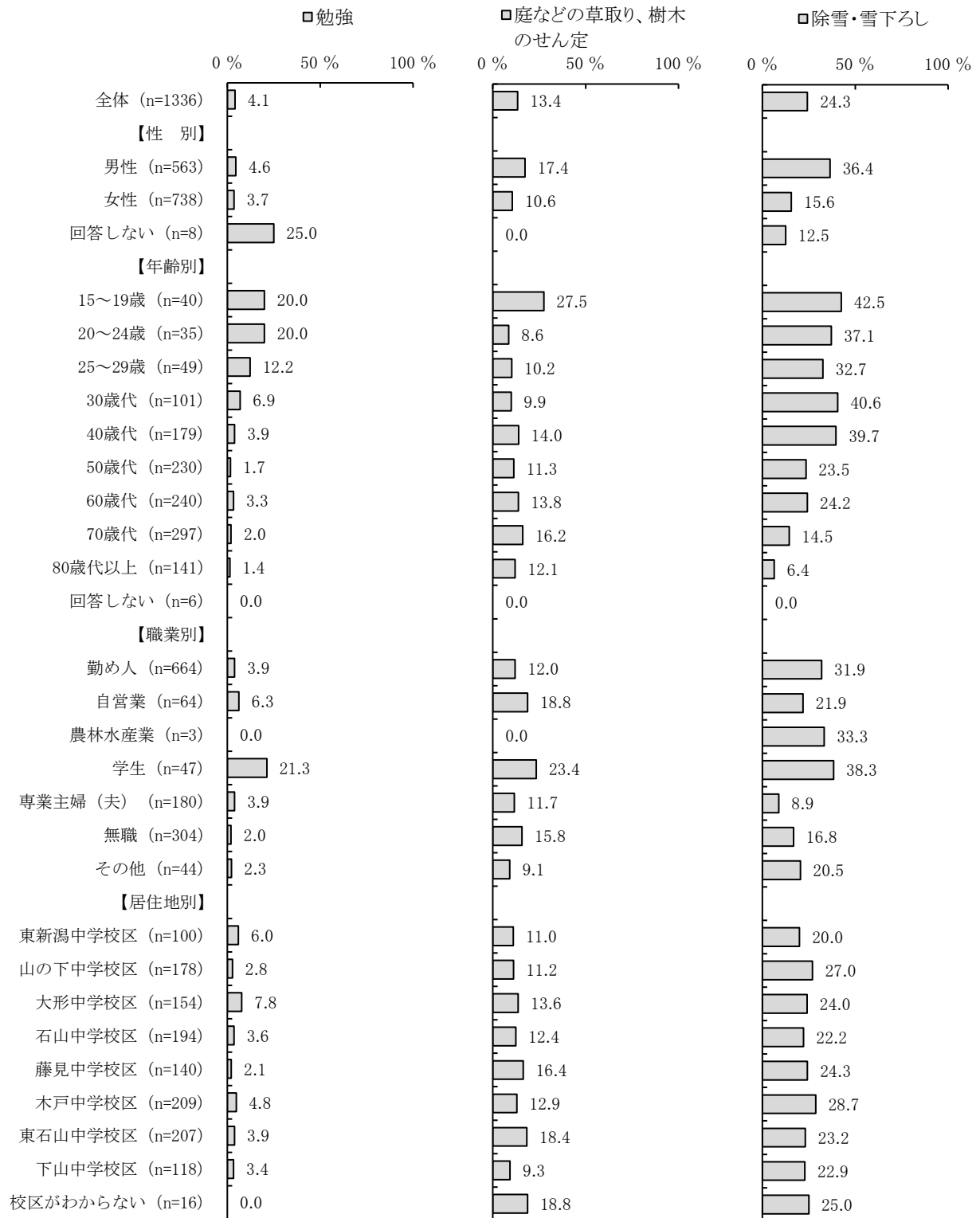
全体結果で最も高い「買い物」は、全居住地で30.0%～37.0%と選択肢の中で一番高く、次に「手伝えることはない」、「除雪・雪下ろし」が同率程度の割合である。

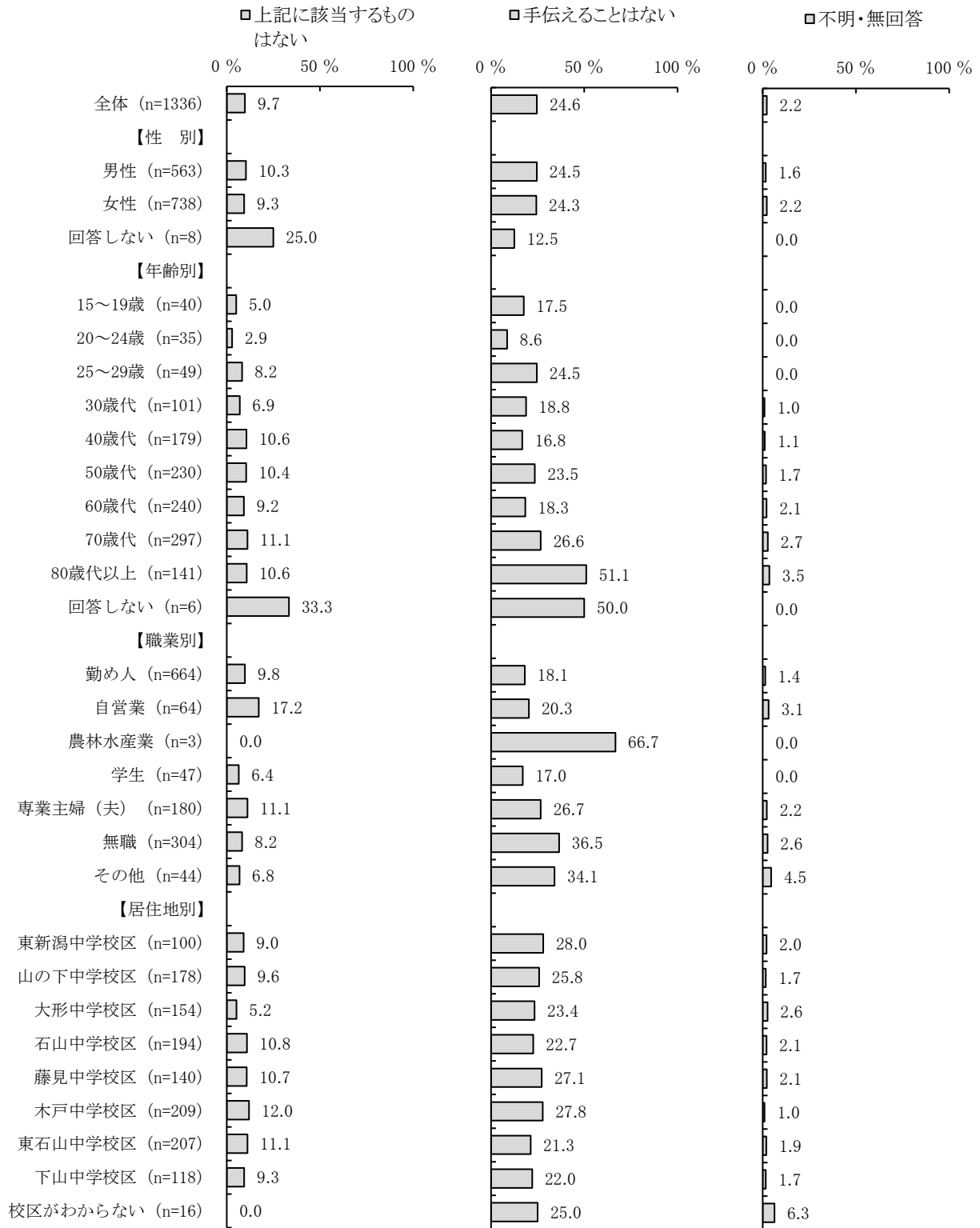
II 調査結果



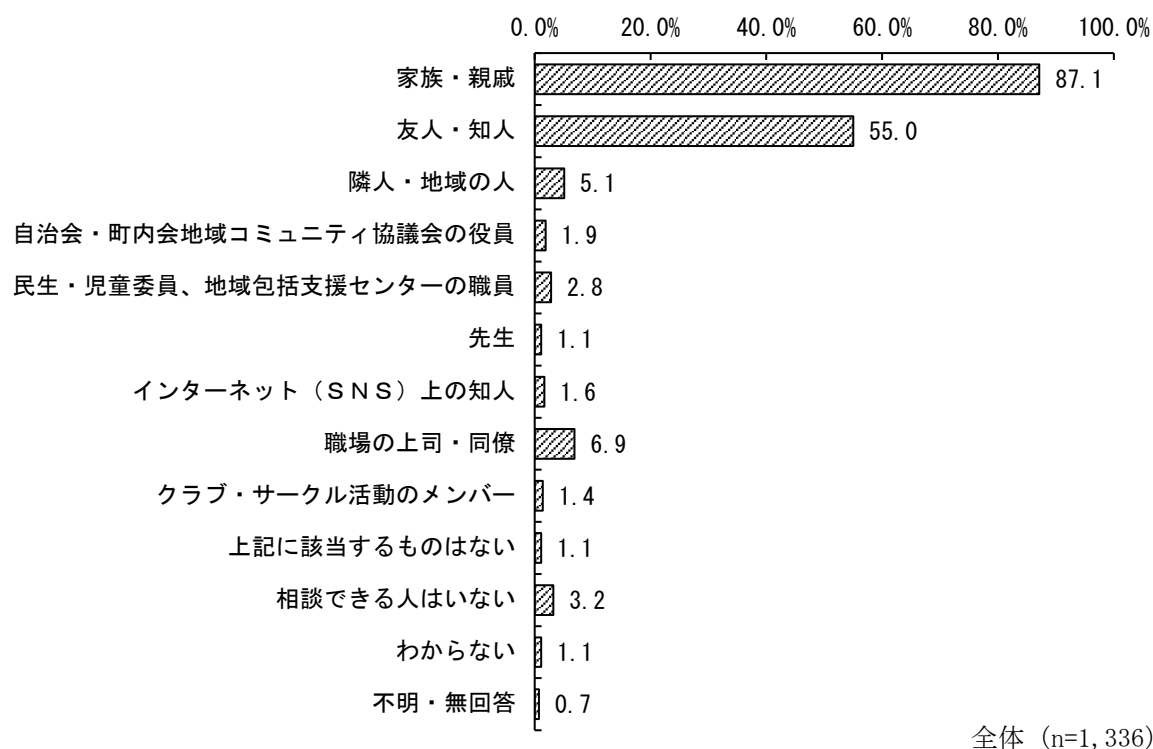


II 調査結果





Q25：あなたが困った時に相談できる人は誰ですか？
 (主にあてはまるものに2つまで○を付けてください。)



【全体結果】

「家族・親戚」が87.1%と9割弱を占め、次に「友人・知人」の55.0%と続く。

【属性別結果】

① 性別

「家族・親戚」「友人・知人」共に女性の割合が高い。

② 年齢別

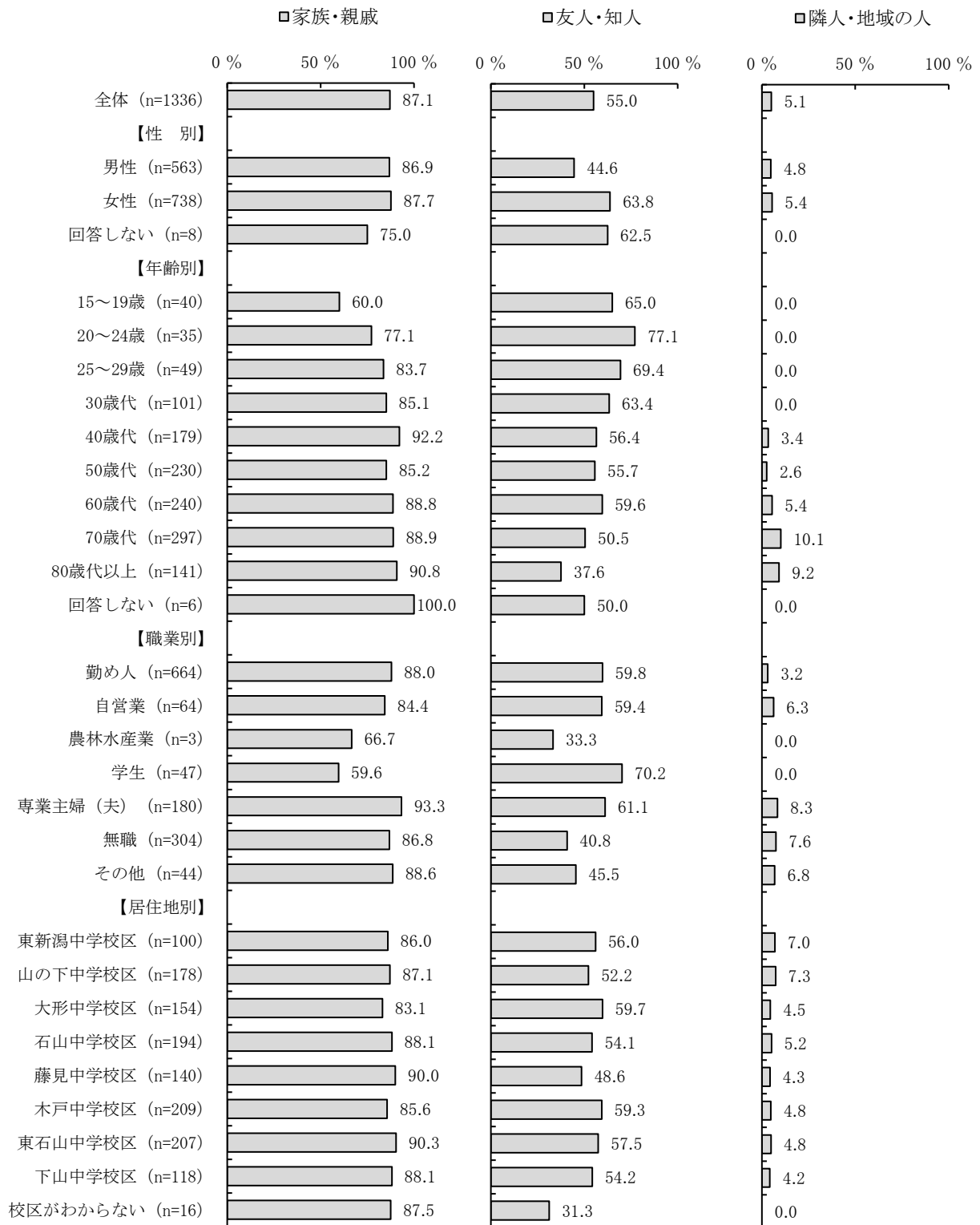
全年齢で、全体結果の傾向のまま「家族・親戚」「友人・知人」で高い割合。15～19歳については、「友人・知人」へ相談の依存度が「家族・親戚」と比べ高くなっている。

③ 職業別

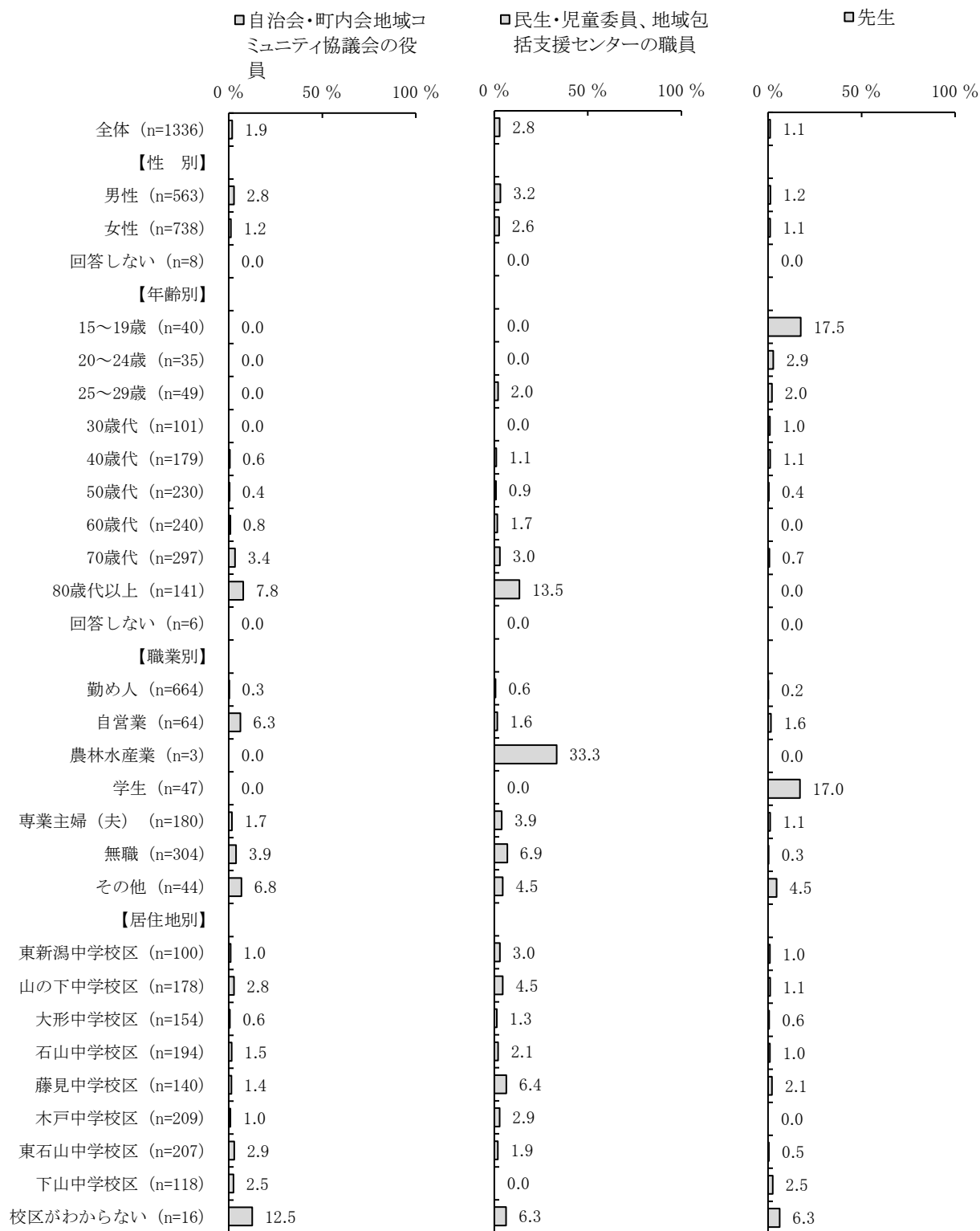
全職業で、全体結果の傾向のまま「家族・親戚」「友人・知人」で高い割合。学生に関しては、「友人・知人」へ相談の依存度が「家族・親戚」と比べ高くなっている。

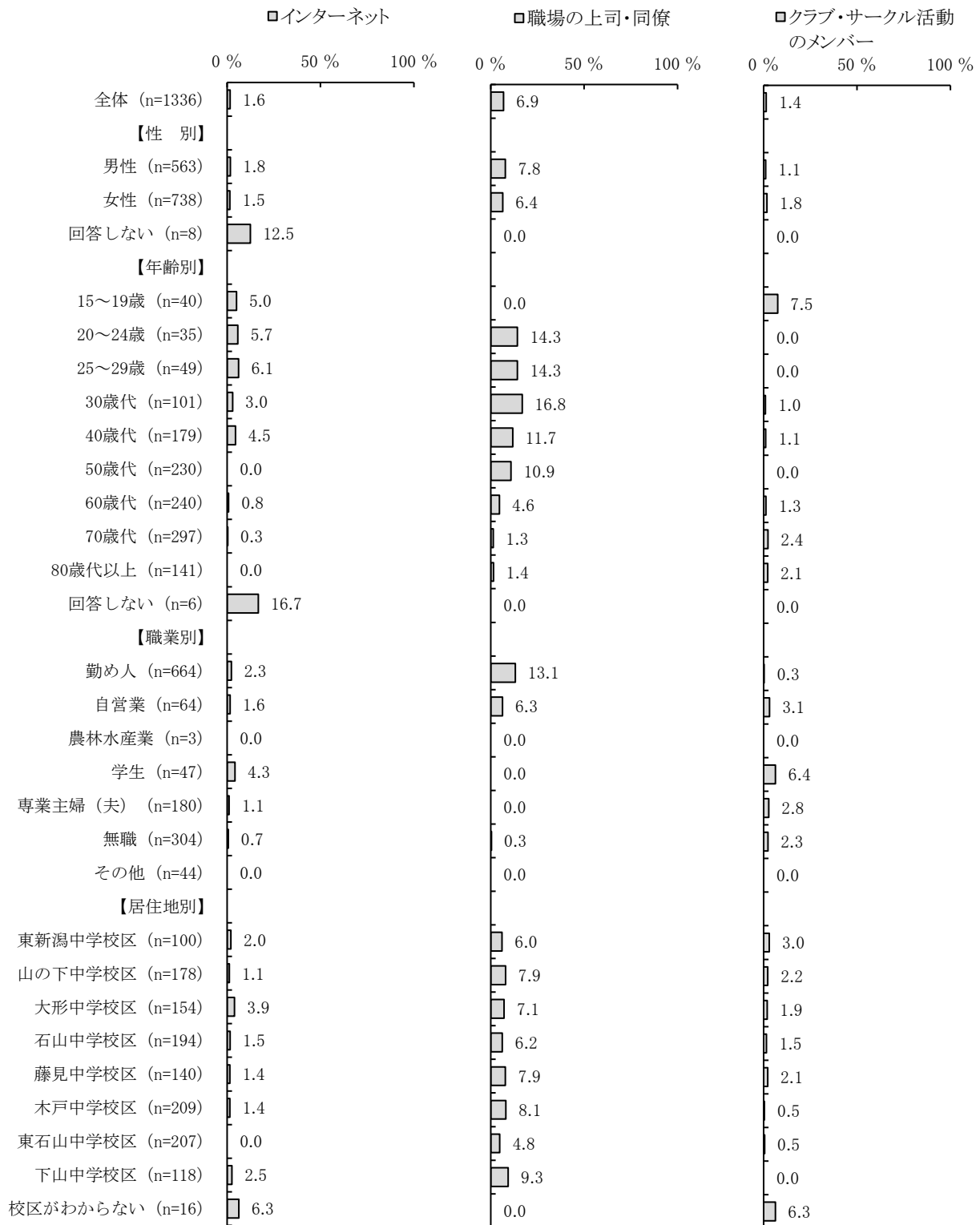
④ 居住地別

全居住地で、全体結果の傾向のまま「家族・親戚」「友人・知人」で高い割合。

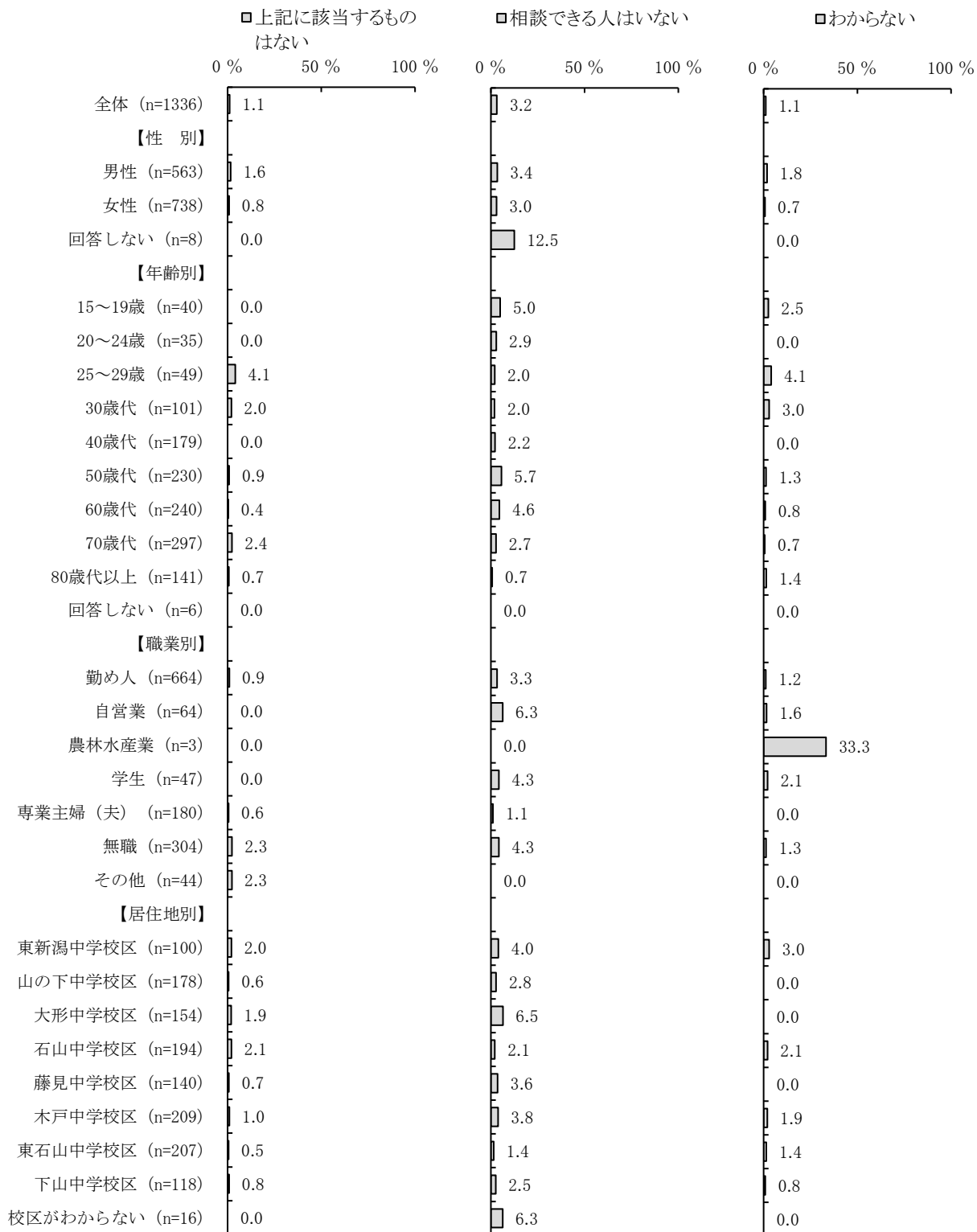


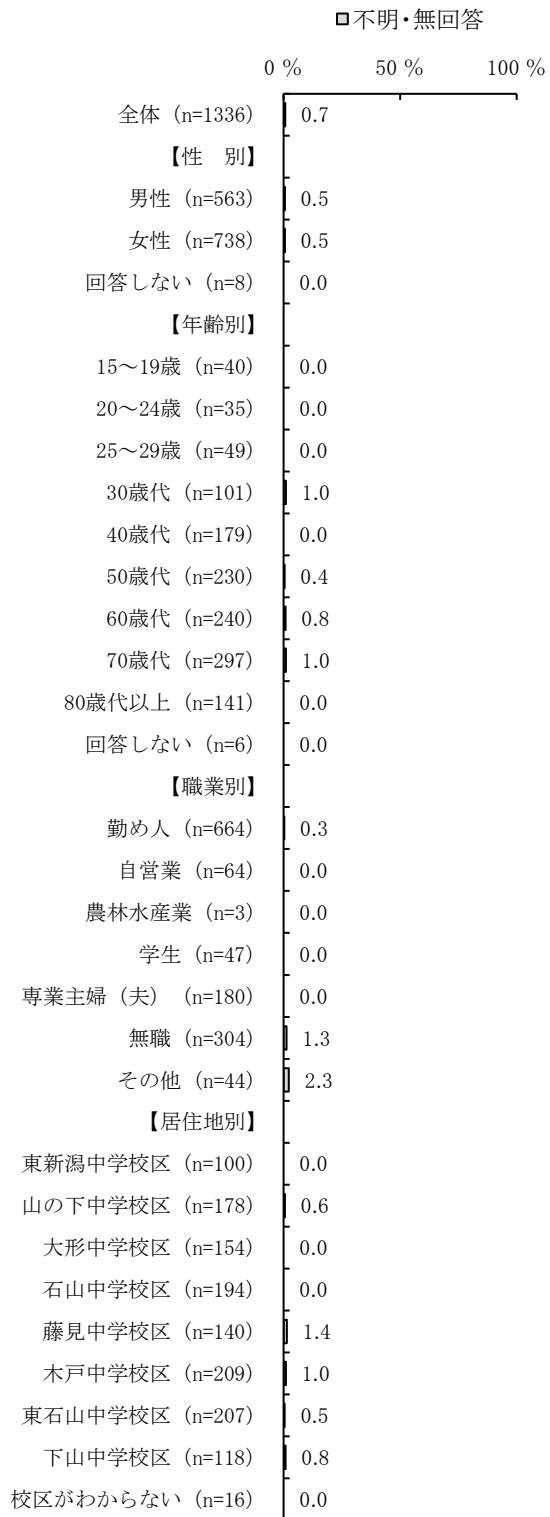
II 調査結果





II 調査結果



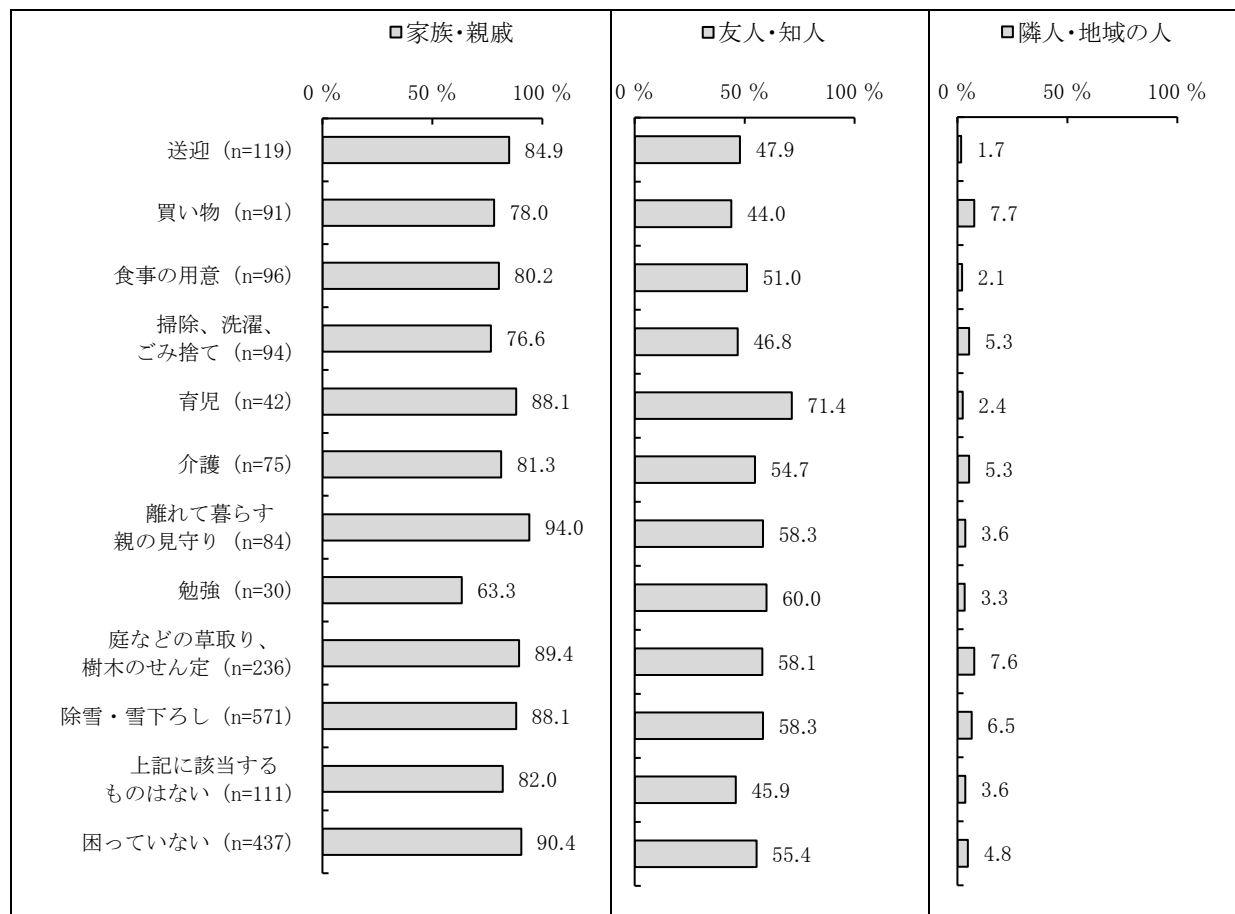


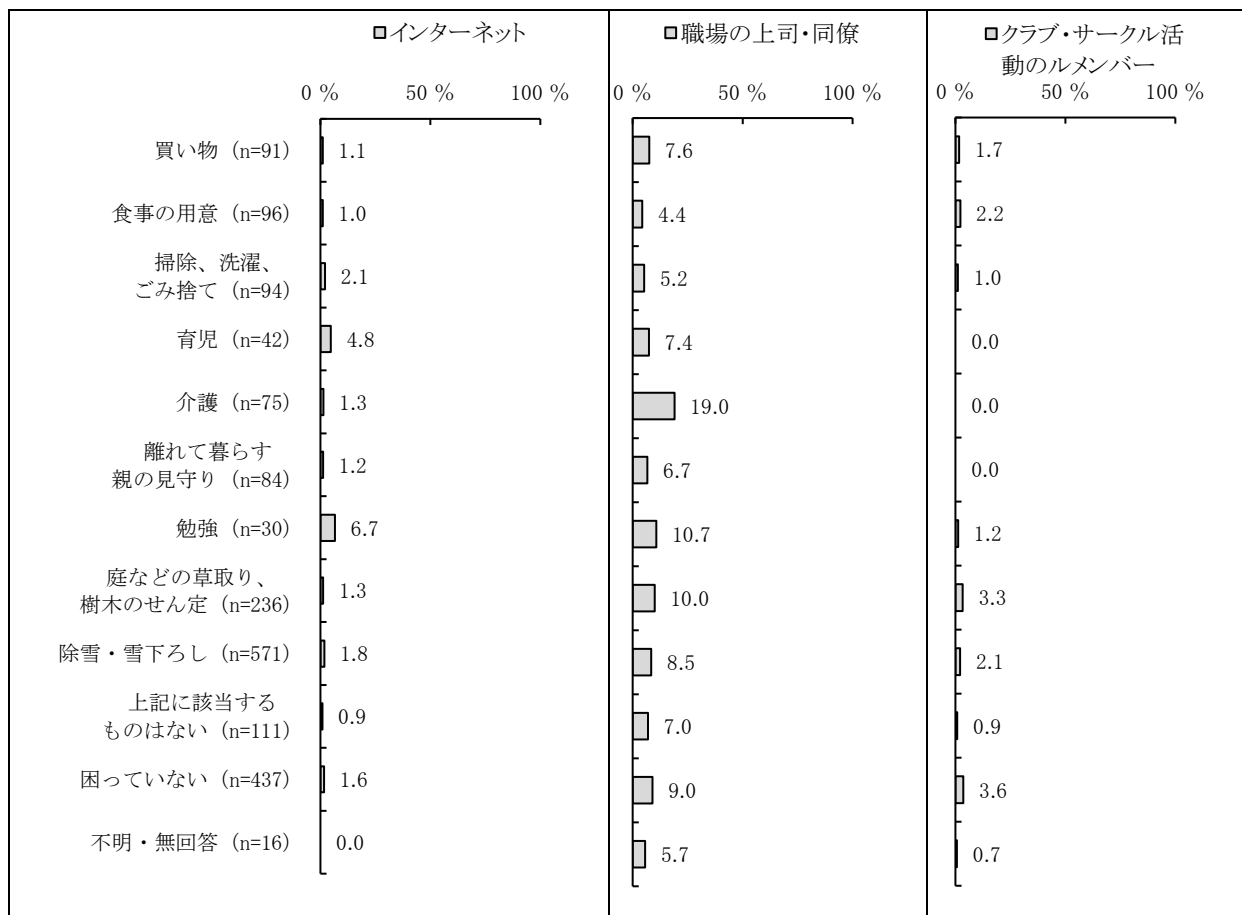
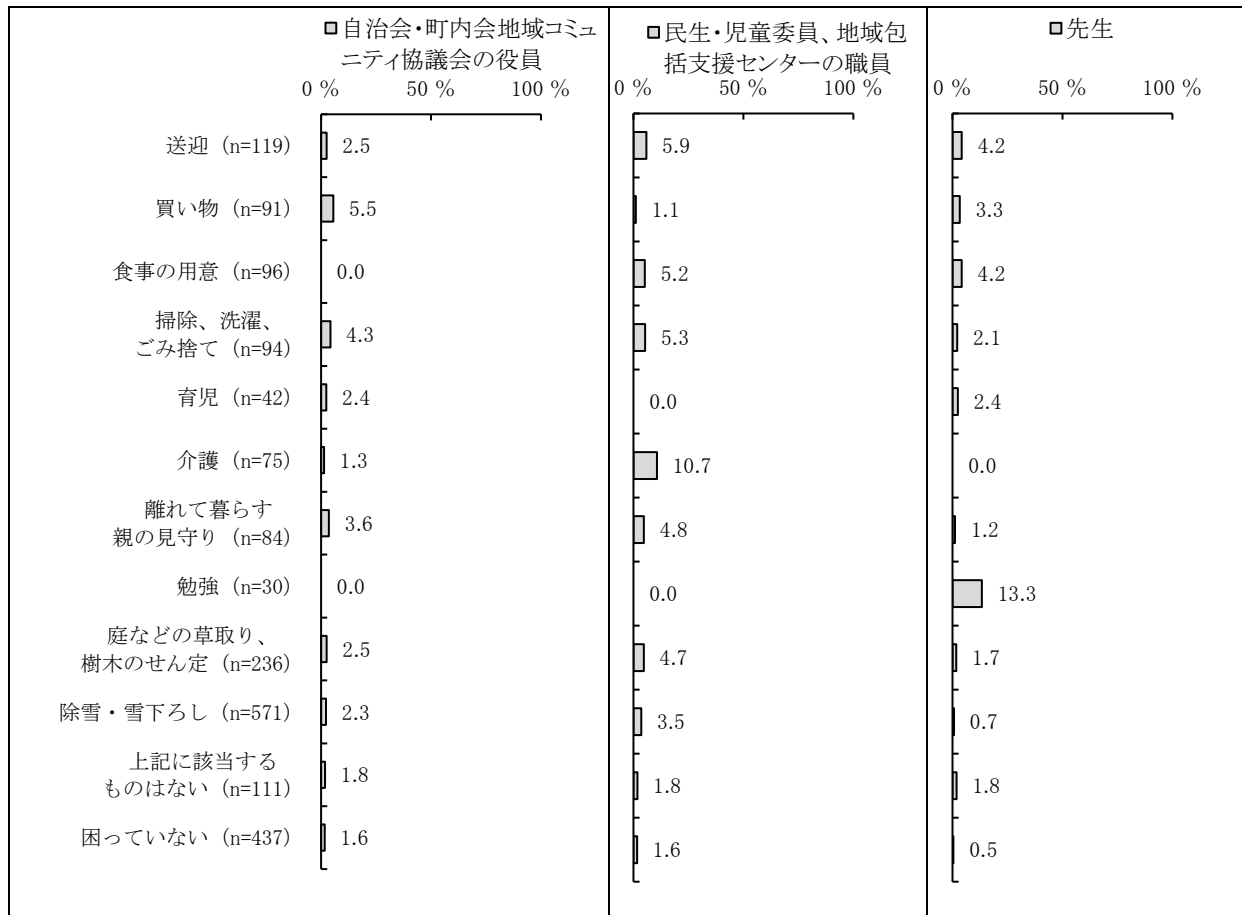
II 調査結果

○困りごとの相談相手

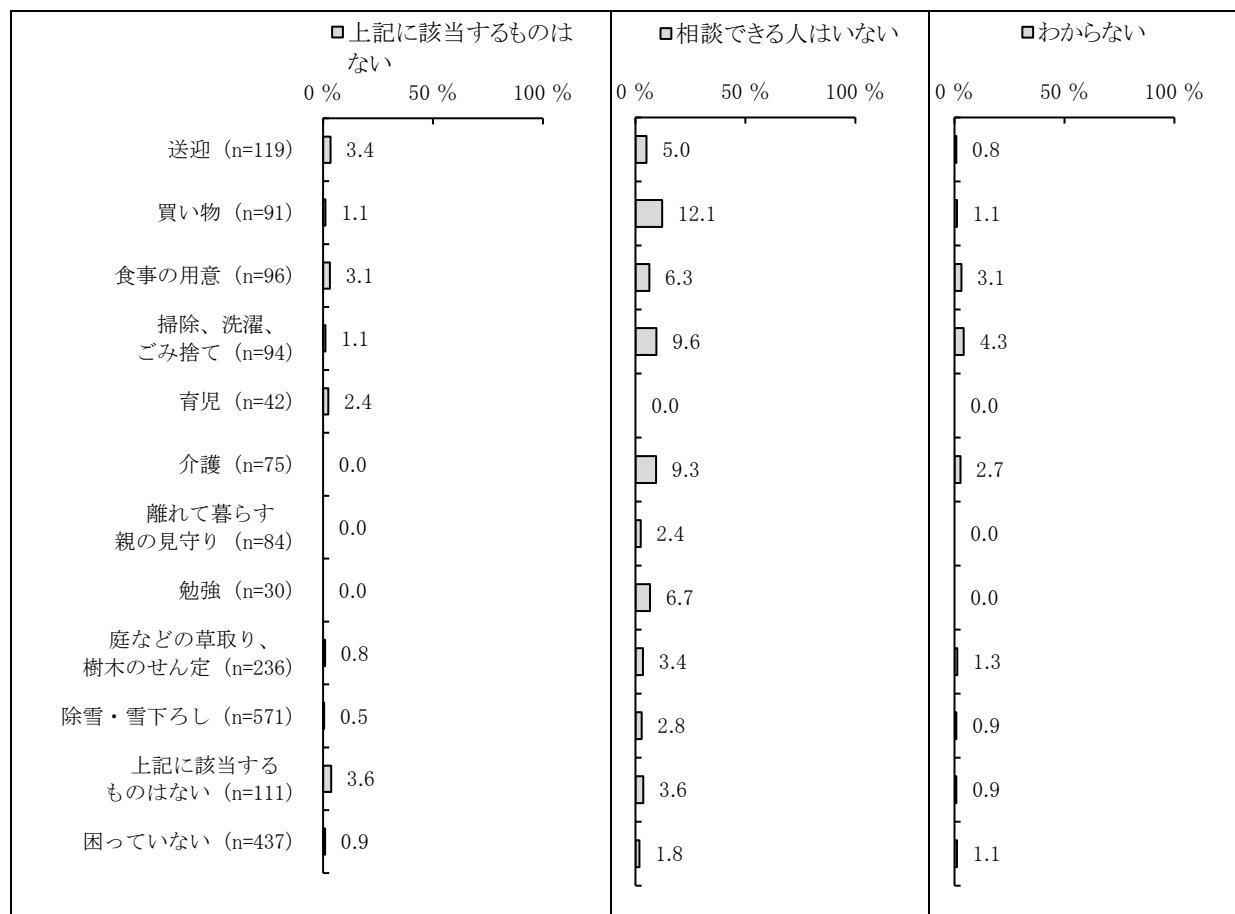
「Q23：あなたが困っていること（手伝ってもらいたいこと）は何ですか？」の選択肢別にみる「Q25：あなたが困った時に相談できる人は誰ですか？」の相談相手を比較。

困りごとの相談相手は、相談内容のいずれも「家族・親戚」が高く、次に「友人・知人」と続く全体結果通りの分布である。



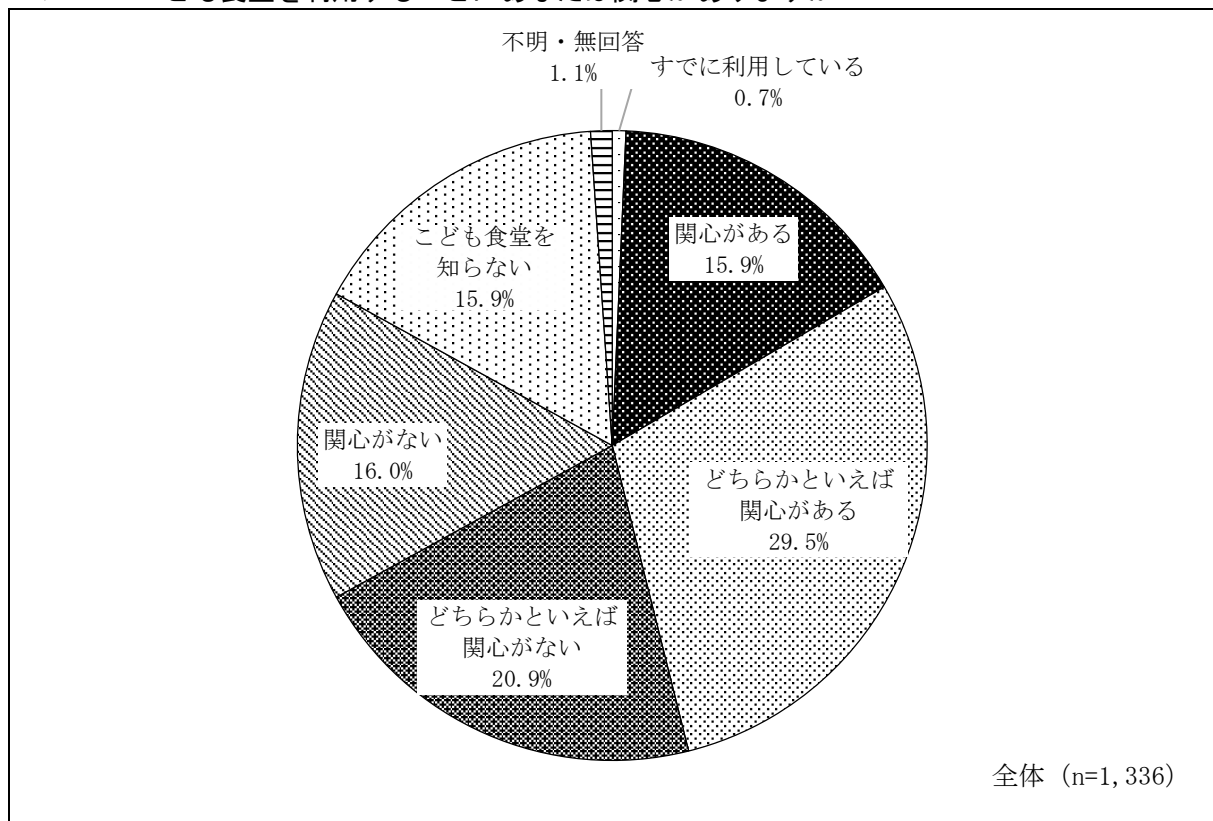


II 調査結果



7. 『こども食堂』について

Q26：こども食堂を利用することにはあなたは関心がありますか？



【全体結果】

「関心がある」が15.9%、「どちらかといえば関心がある」が29.5%、それらを合わせた“関心がある割合”は45.4%。「関心がない」16.0%、「どちらかといえば関心がない」20.9%を合わせた“関心がない割合”は36.9%。“関心がある割合”が8.5%上回っている結果となった。

【属性別結果】

① 性別

女性の“関心がある割合”は48.3%で、男性の合計41.9%より高い。“関心がない割合”では、男性37.5%、女性36.8%と男性がわずかに高い。

② 年齢別

全年齢で“関心がある割合”は“関心がない割合”より高いが、15～29歳、80歳以上の年齢層で「子ども食堂を知らない」割合が27.0%～35.0%と3割弱～3割半ば程度存在する。

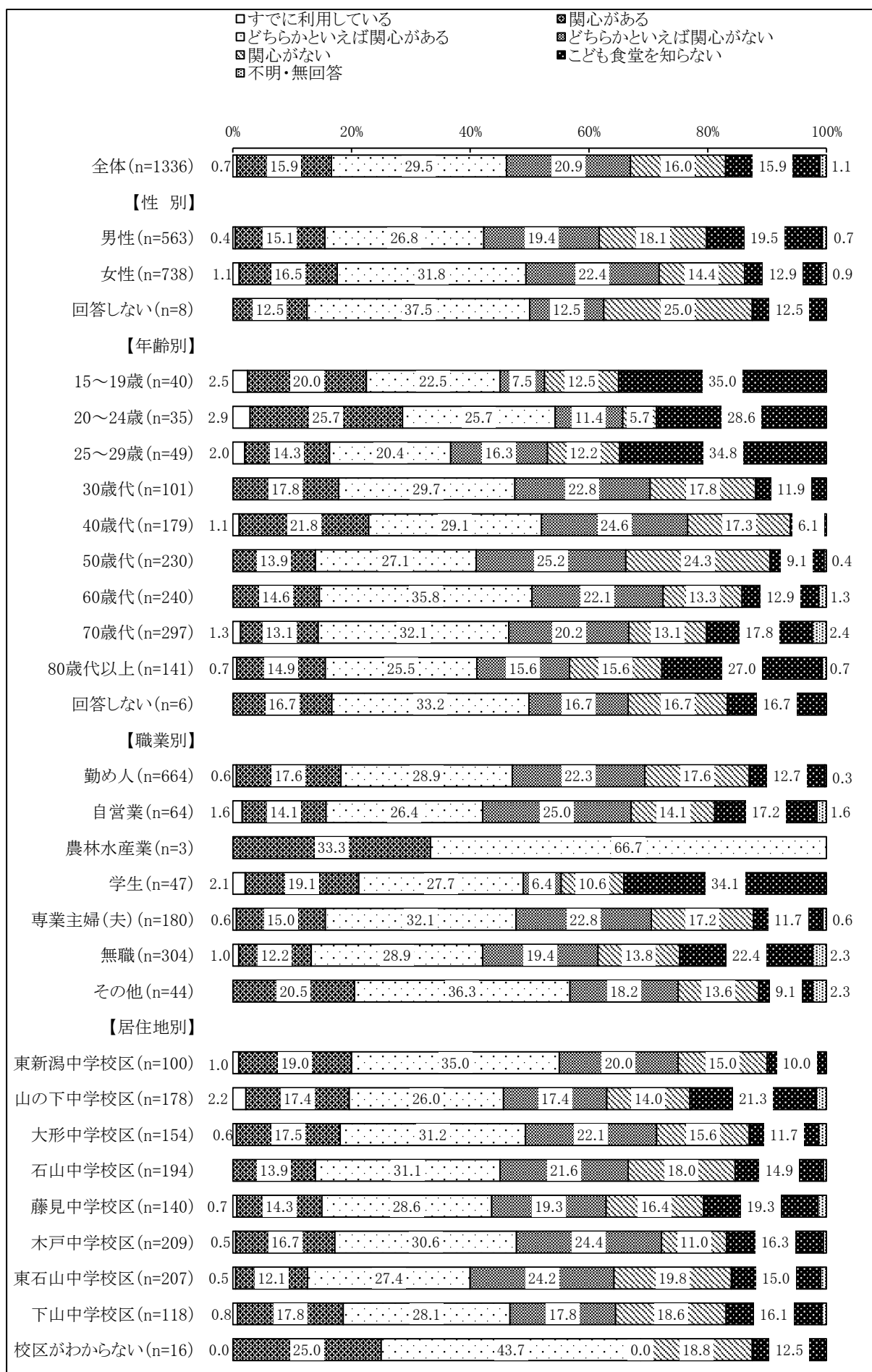
③ 職業別

全職業で“関心がある割合”は、“関心がない割合”より高いが、学生で「子ども食堂を知らない」割合が34.1%存在する。

④ 居住地別

全居住地で“関心がある割合”は、“関心がない割合”より高いが、「子ども食堂を知らない」割合が10.0%～21.3%存在する。

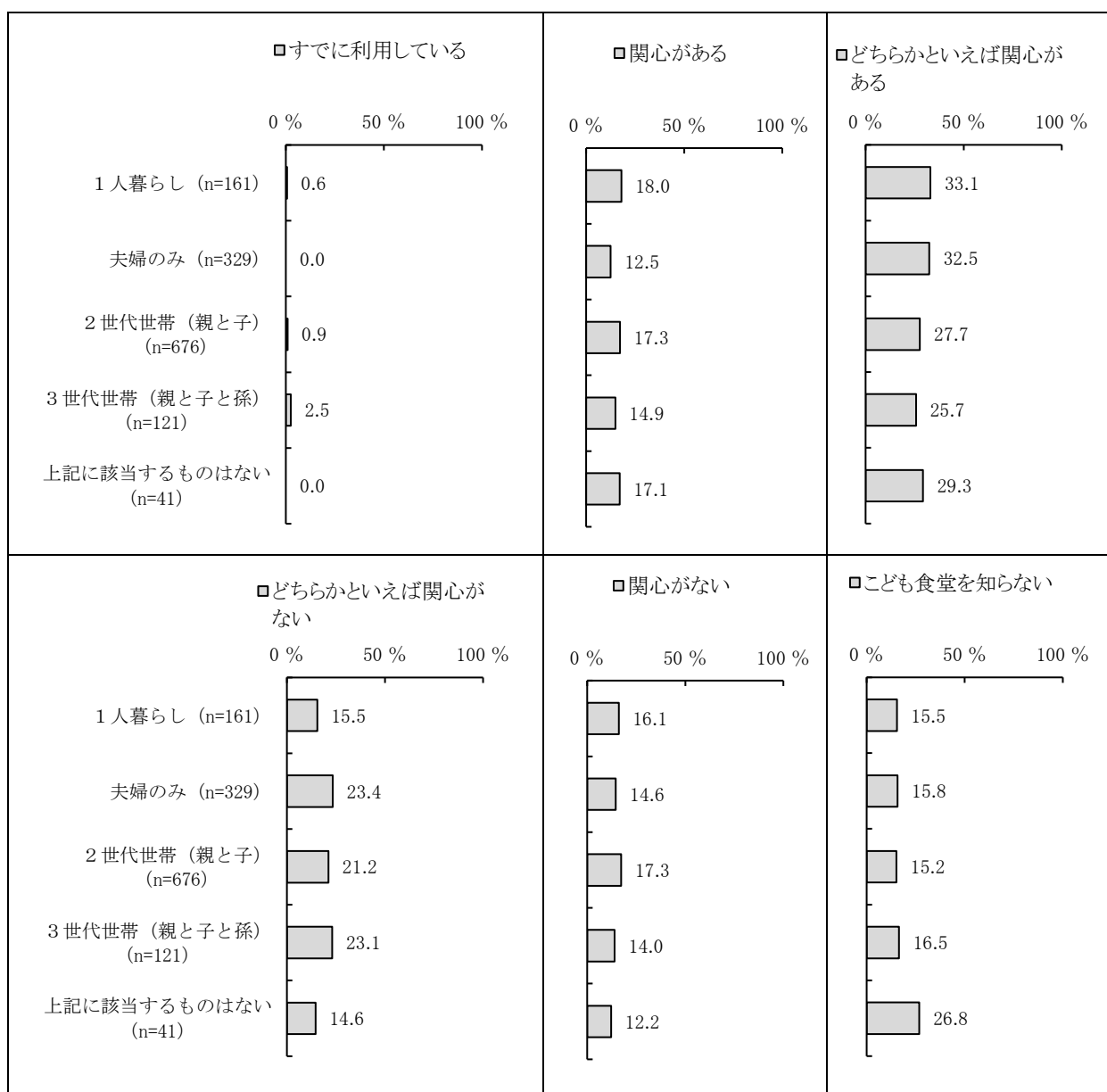
II 調査結果



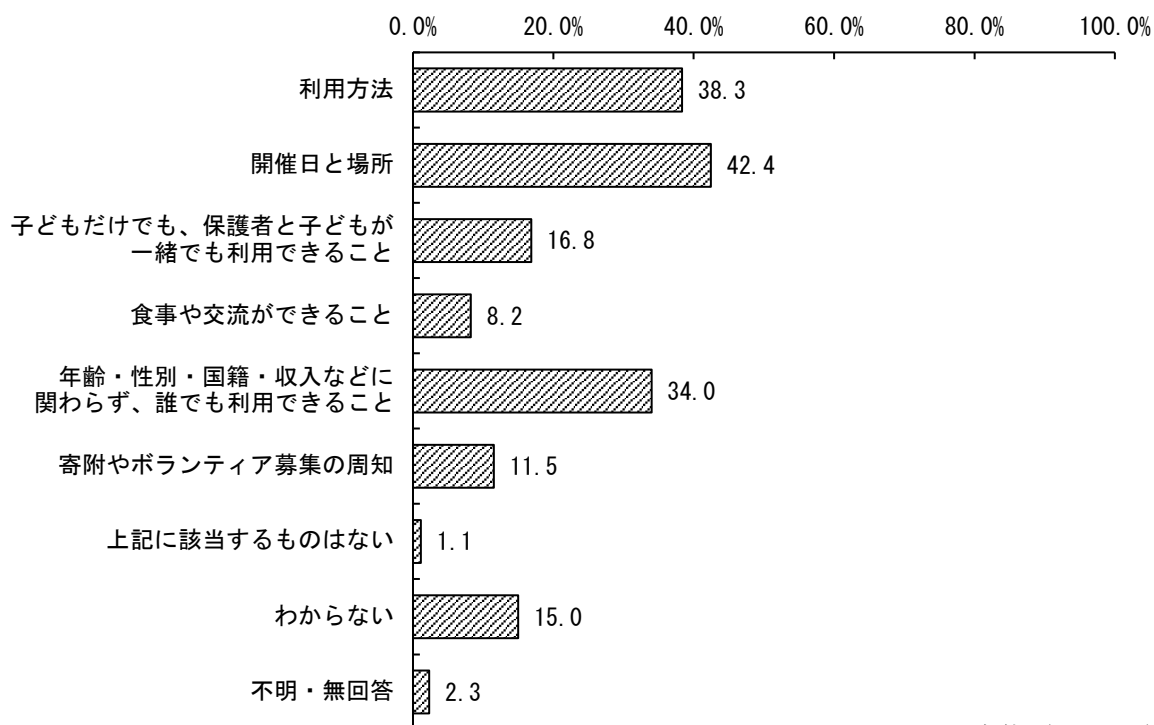
○世帯構成別にみる関心度

「Q6：世帯構成別」にみる「Q26：子ども食堂を利用することにあなたは関心がありますか？」の子ども食堂への関心度を計る。

子ども食堂を利用する関心度を世帯構成別に見てみると、全世帯で「どちらかといえば関心がある」が最も高く25.7%～33.1%。「どちらかといえば関心がない」は15.5%～23.4%の分布。「関心がある」「関心がない」は1割強から2割弱で、全体では“関心がある”世帯が多い。又、「子ども食堂を知らない」は全世帯で15.2%～16.5%存在し、「すでに利用している」は夫婦のみでの利用者は皆無で、他の世帯でも3世代世帯が最大2.5%と僅かしかない。



Q27：こども食堂が幅広い世代の交流の場としてより利用しやすくなるために、あなたはどのような周知が必要だと思いますか？
 （主にあてはまるものに2つまで○を付けてください。）



【全体結果】

「開催日と場所」42.4%、「利用方法」38.3%、「年齢・性別・国籍・収入などに関わらず、誰でも利用できること」34.0%と続く。

【属性別結果】

①性別

「利用方法」「わからない」を除く他の選択肢では、女性の割合が高い。

②年齢別

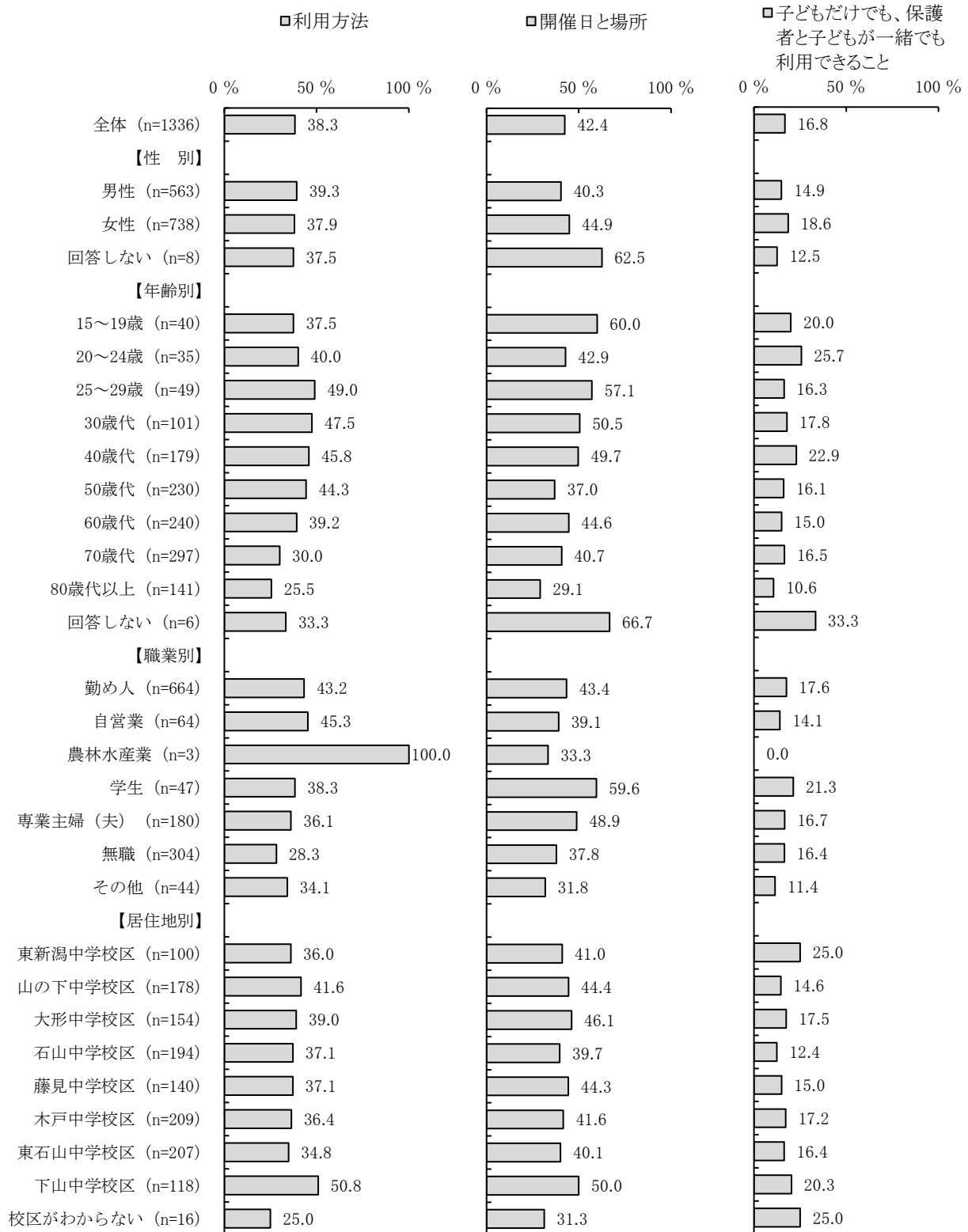
全体結果で1番多い「開催日と場所」について15～19歳で60.0%、25～29歳で57.1%、他の年齢層でも4割強から5割の割合がある。

③職業別

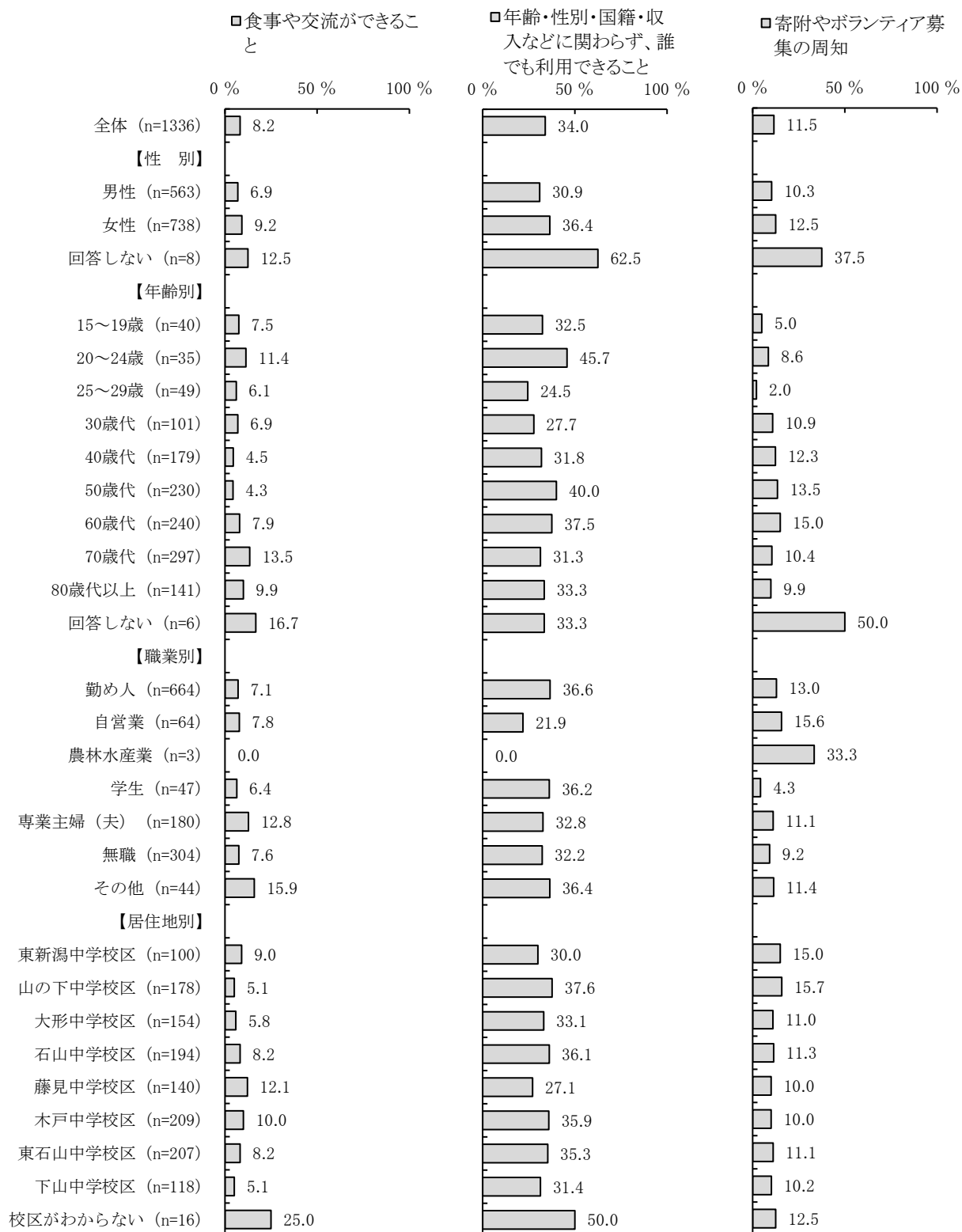
全職業で「利用方法」、「開催日と場所」、「年齢・性別・国籍・収入などに関わらず、誰でも利用できること」の割合は高い。

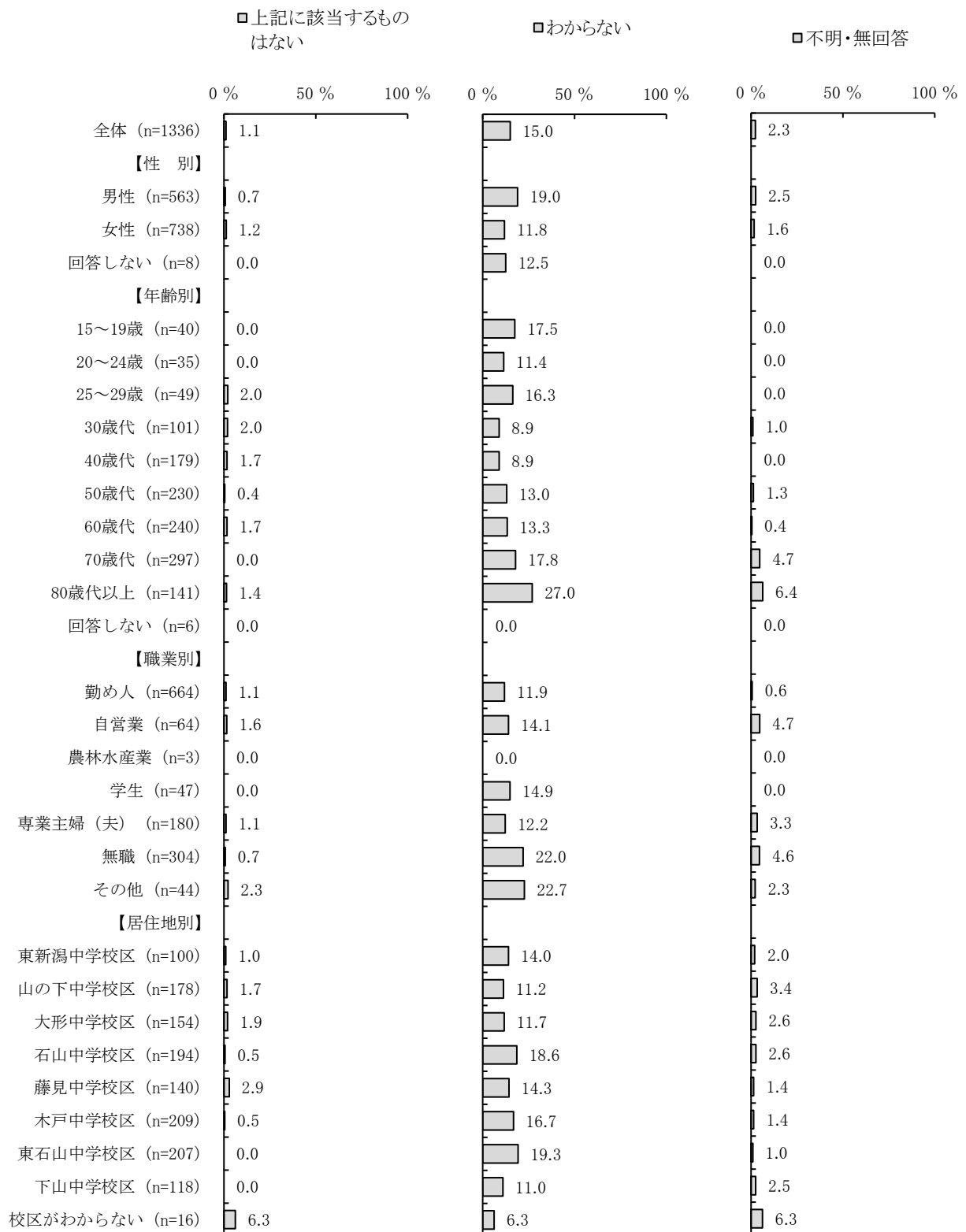
④居住地別

東石山中学校区、下山中学校区を除く居住地で、全体結果と同様に「開催日と場所」、「利用方法」、「年齢・性別・国籍・収入などに関わらず、誰でも利用できること」の順番で続く。



II 調査結果





II 調査結果

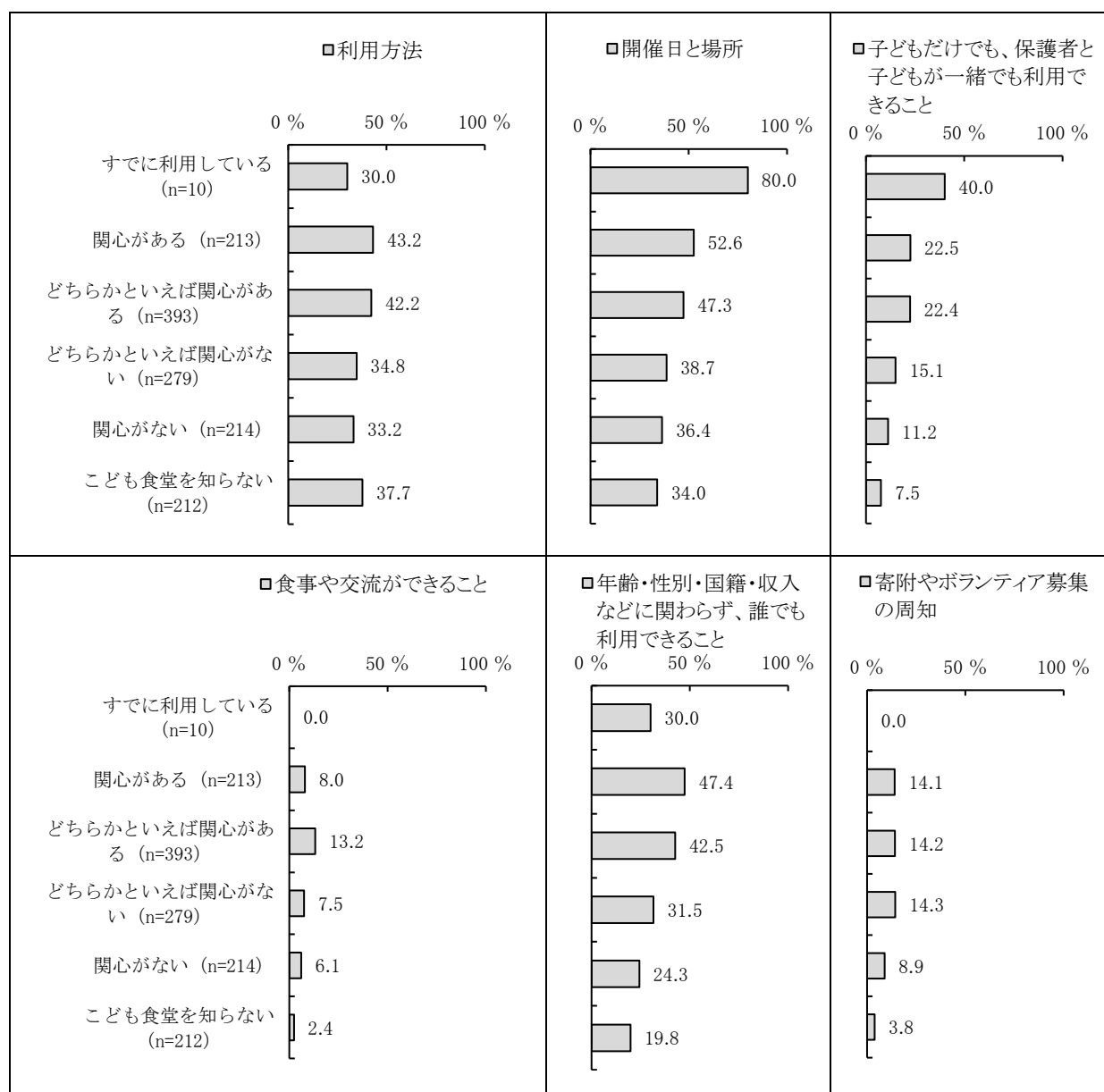
○こども食堂の関心度と利用のための周知事項

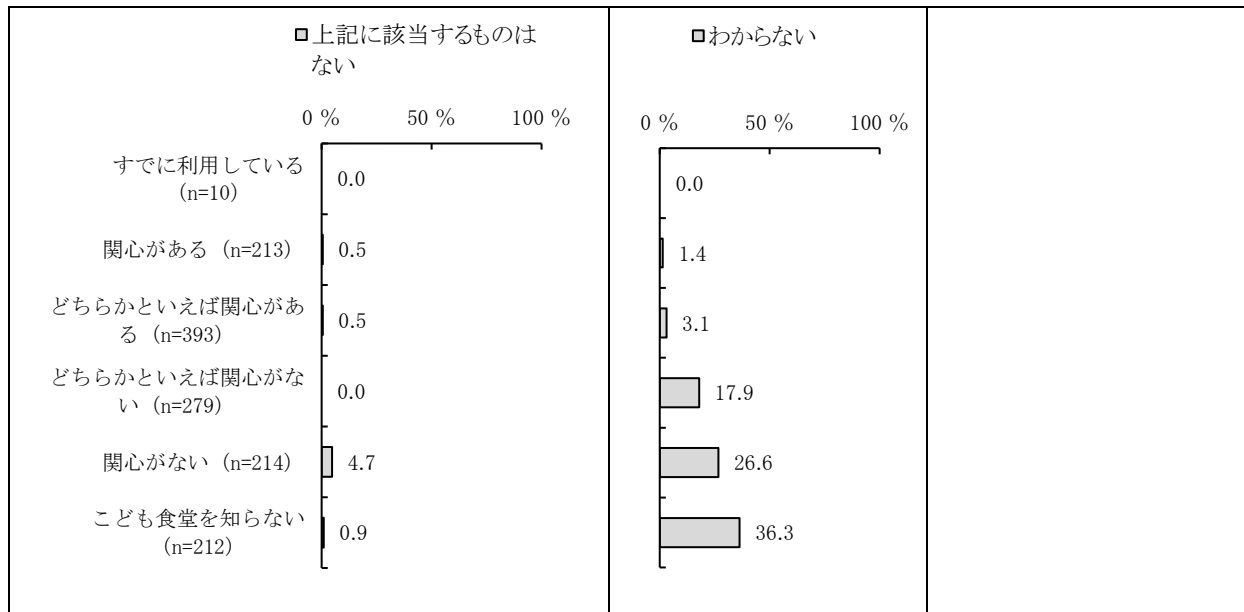
「Q26：こども食堂を利用することにあなたは関心がありますか？」と「Q27：こども食堂が幅広い世代の交流の場としてより利用しやすくなるために、あなたはどのような周知が必要だと思いますか？」の設問の掛け合わせにより、こども食堂への利用関心度と利用促進につながる周知の必要項目を計る。

「開催日と場所」の周知が必要と答えた割合が、「すでに利用している」～「関心がない」を選択した回答者に支持されている。「こども食堂を知らない」と答えた回答者も、「利用方法」の次に「開催日と場所」を支持している。

「すでに利用している」回答者は、「子どもだけでも、保護者と子どもが一緒でも利用できること」の周知を40.0%支持している。

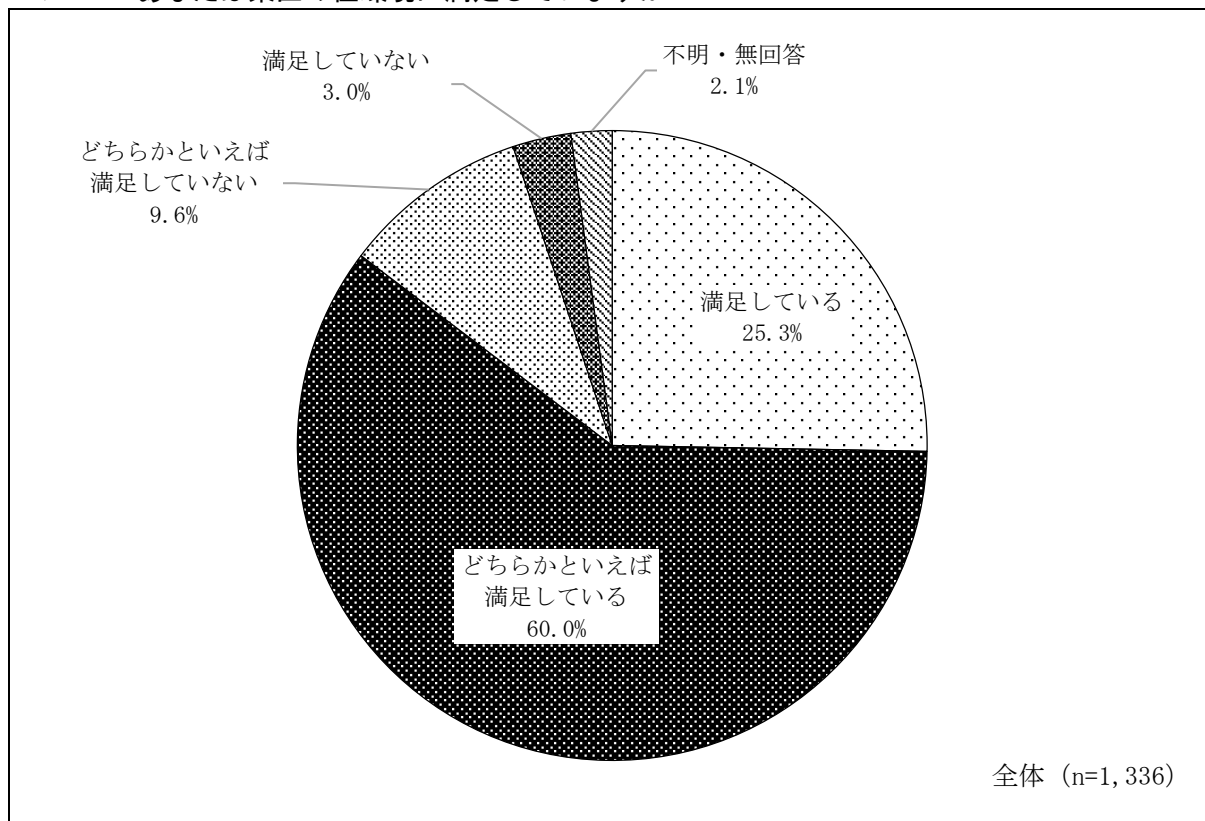
「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」の回答者は「年齢・性別・国籍・収入などに関わらず、誰でも利用できること」の割合が42.5%～47.4%と高い。





8. 『住みやすさ（住環境）』について

Q28：あなたは東区の住環境に満足していますか？



【全体結果】

「満足している」25.3%、「どちらかといえば満足している」60.0%を合わせた“満足している割合”が85.3%。“満足していない割合”12.6%と比べて大差となった。

【属性別結果】

① 性別

全体結果の分布どおり、“満足している割合”が、“満足していない割合”をはるかに上回る。僅差で女性の割合が高い。

② 年齢別

全体結果の分布どおり、“満足している割合”が、“満足していない割合”をはるかに上回る。低年齢層から上昇して20～24歳でピークの91.4%を迎え、高齢に進むほど満足度は下降する傾向がある。(80歳代以上で80.1%)。

③ 職業別

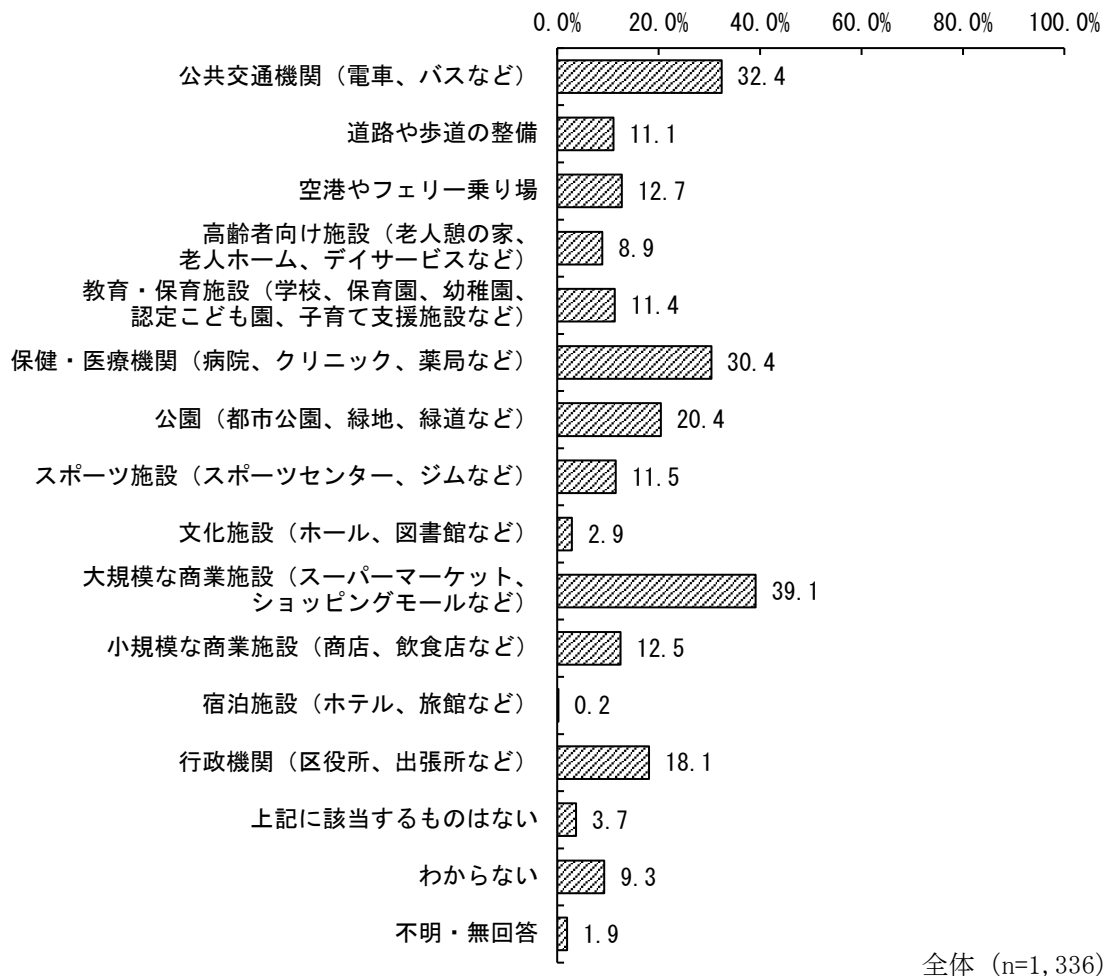
全体結果の分布どおり、“満足している割合”が、“満足していない割合”を上回る。

④ 居住地別

全体結果の分布どおり、“満足している割合”が、“満足していない割合”を上回る。



Q29：あなたが思う東区の住環境の良いところは何ですか？
 (主にあてはまるものに3つまで○を付けてください。)



【全体結果】

「大規模な商業施設 (スーパーマーケット、ショッピングモール)」39.1%、「公共交通機関 (電車、バスなど)」32.4%、「保健・医療機関 (病院、クリニック、薬局)」30.4%と続く。

【属性別結果】

① 性別

全体結果と同じ傾向。「大規模な商業施設 (スーパーマーケット、ショッピングモール)」では女性38.1%、男性41.7%と男性の割合が高く、「公共交通機関 (電車、バスなど)」、「保健・医療機関 (病院、クリニック、薬局)」では女性の割合が高い。

② 年齢別

15～29歳では「公共交通機関 (電車、バスなど)」の割合が高く、「保健・医療機関 (病院、クリニック、薬局)」は60歳代から80歳代まで34.2%～46.8%。「大規模な商業施設 (スーパーマーケット、ショッピングモール)」は20歳以降は30.6%～43.1%となる。

③ 職業別

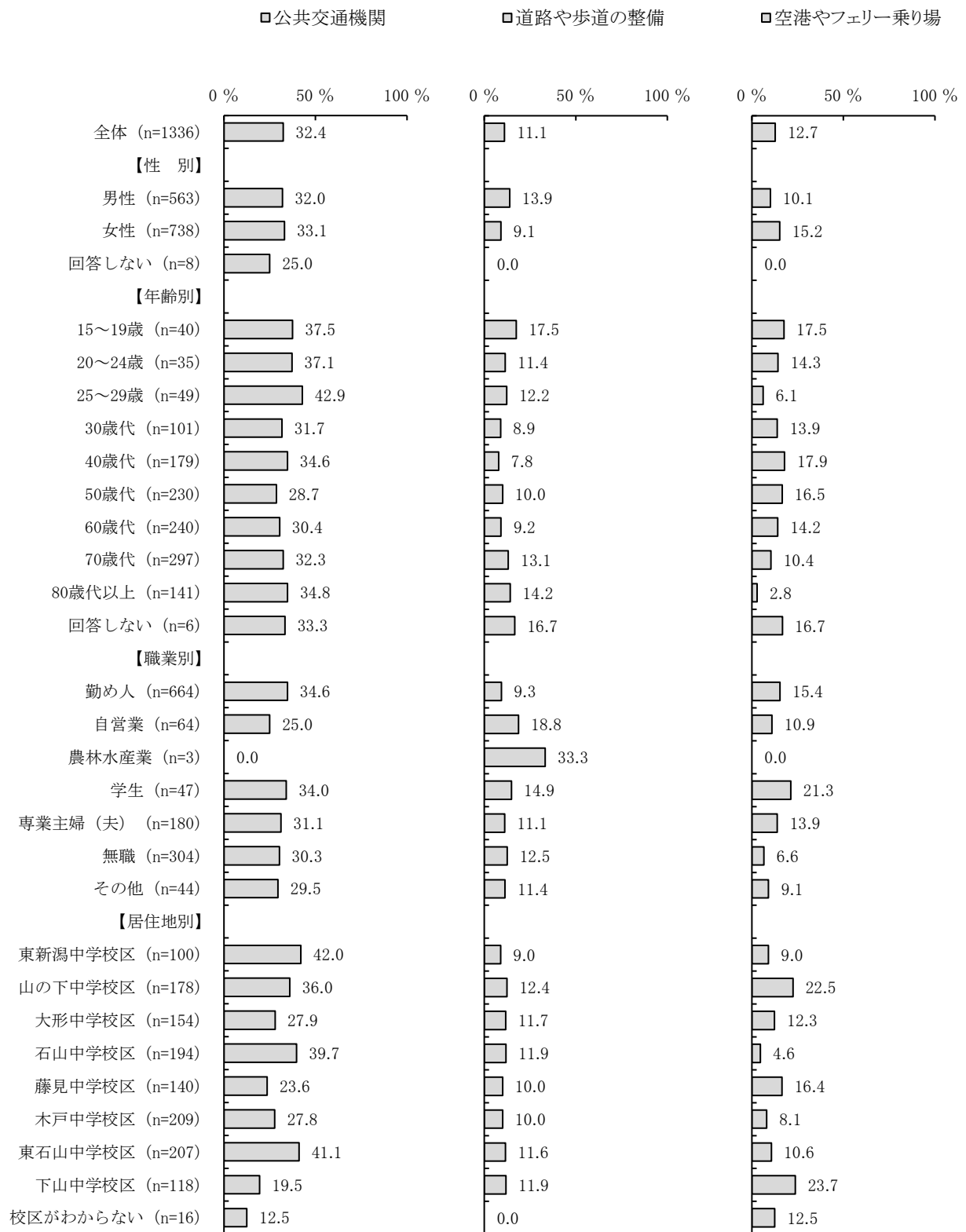
職業に応じて利用する機会が多いものが住環境の良さとして回答されていると考えられる。学生に着目すると「公共交通機関（電車、バスなど）」の割合が34.0%と最も高い。次いで「公園」27.7%、「大規模な商業施設」25.5%。

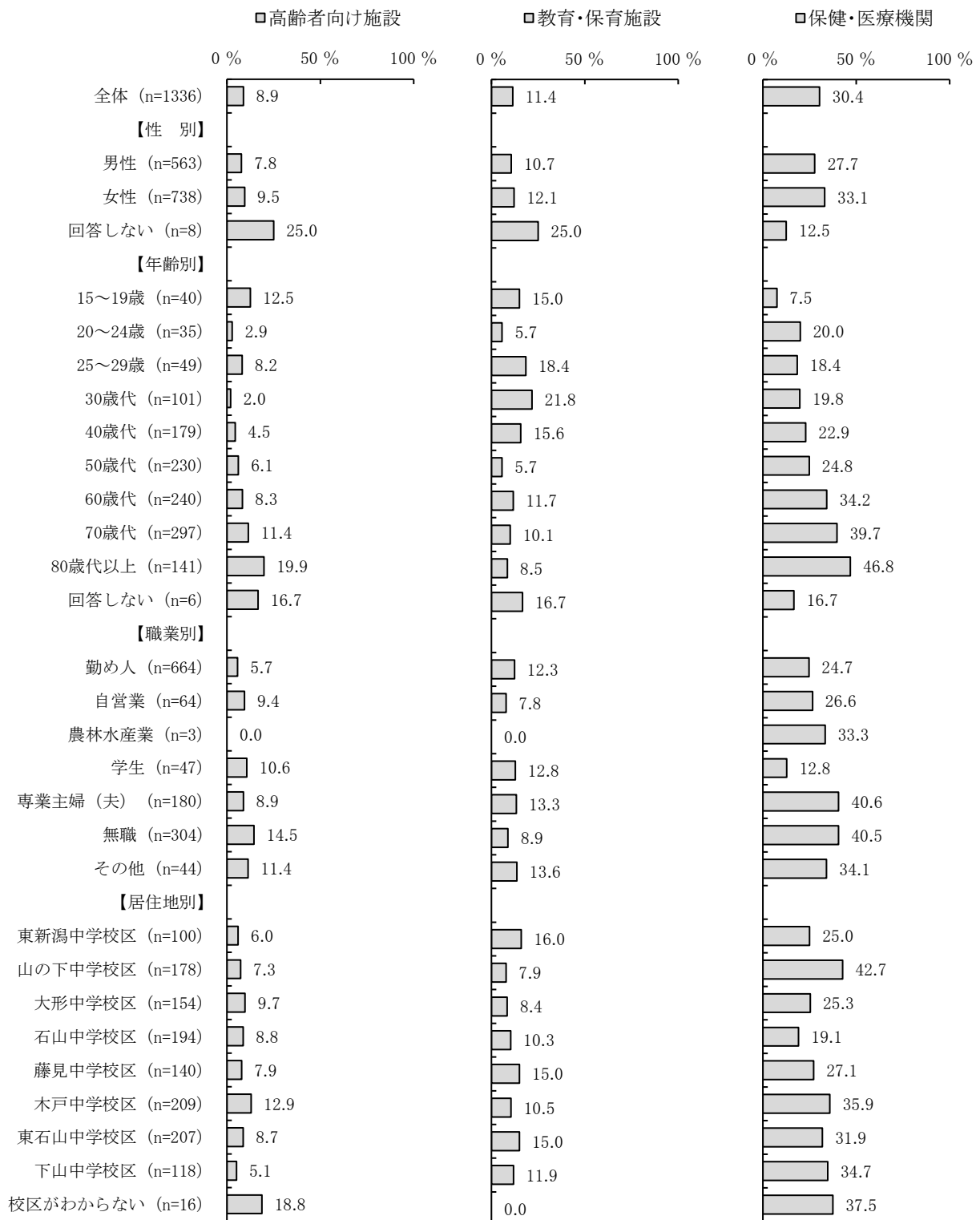
専業主婦（夫）と無職は「保健医療機関（病院、クリニック、薬局）」の割合が高く、専業主婦（夫）40.6%と無職40.5%。勤め人、自営業、専業主婦（夫）、無職は「大規模な商業施設（スーパーマーケット、ショッピングモール）」の割合が高くなっている。

④ 居住地別

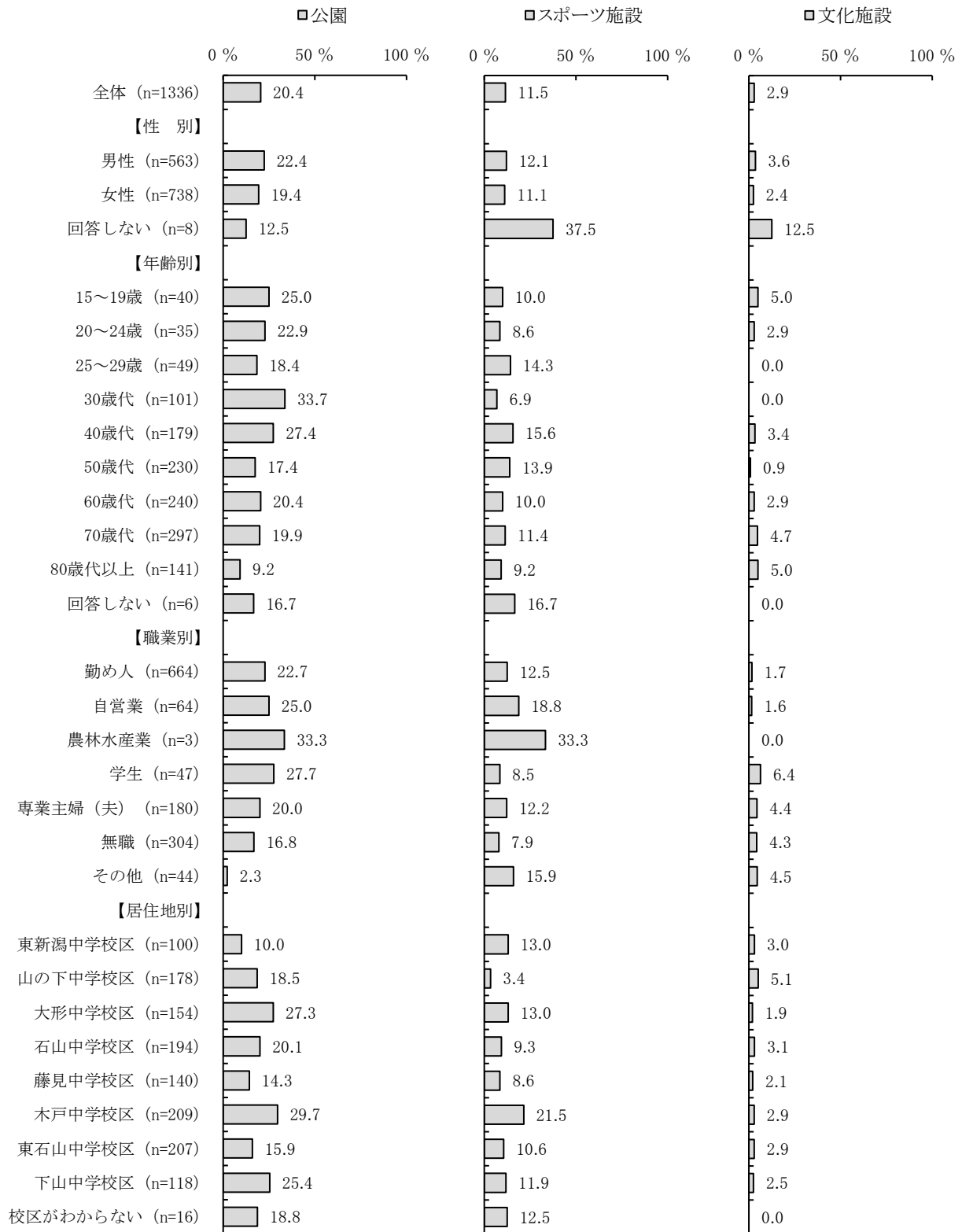
全体結果で1位の「大規模な商業施設（スーパーマーケット、ショッピングモール）」は、藤見中学校区62.1%、大形中学校区53.2%、下山中学校区52.5%が上位となり、他の居住地については23.7%～36.5%の分布となっている。

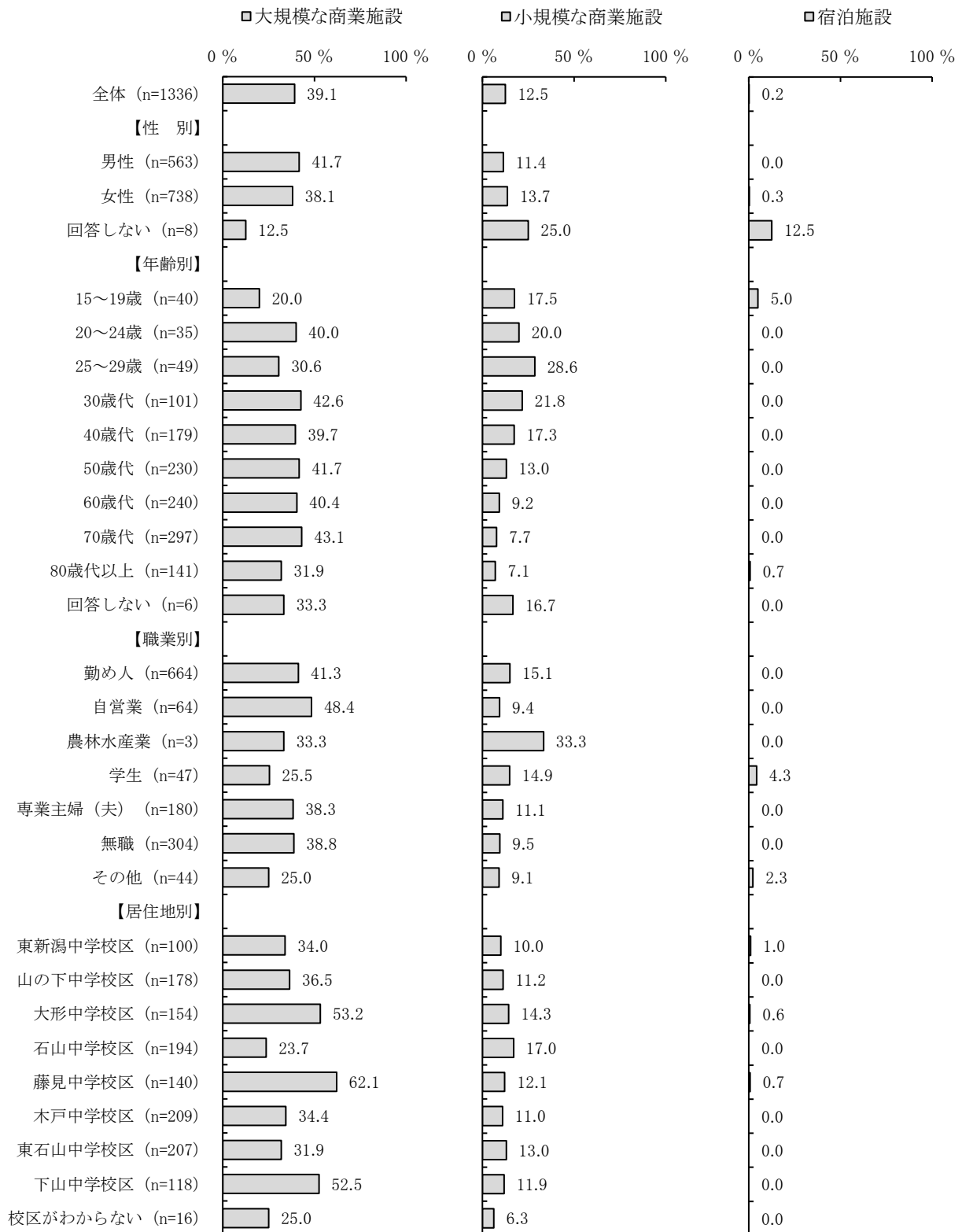
II 調査結果



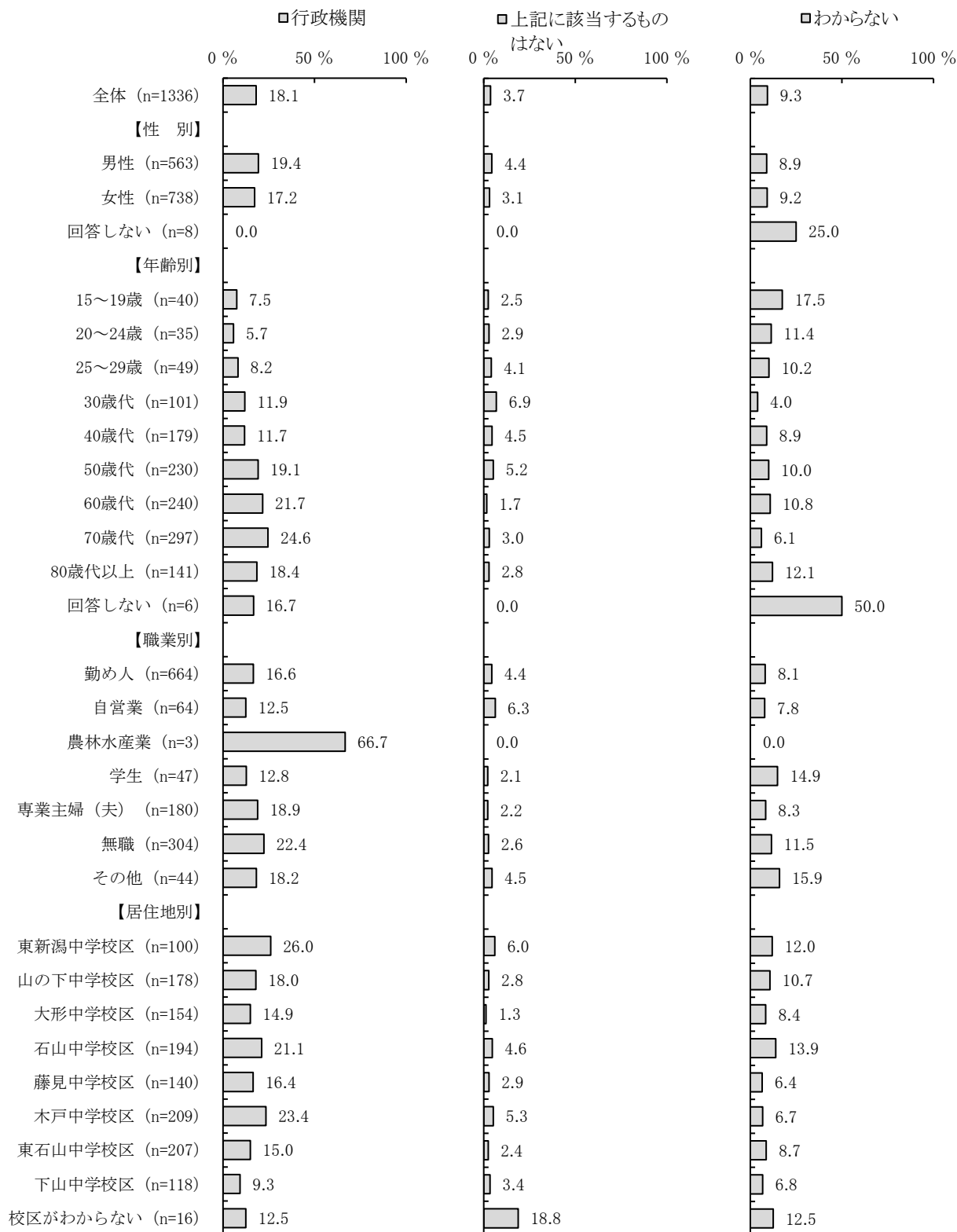


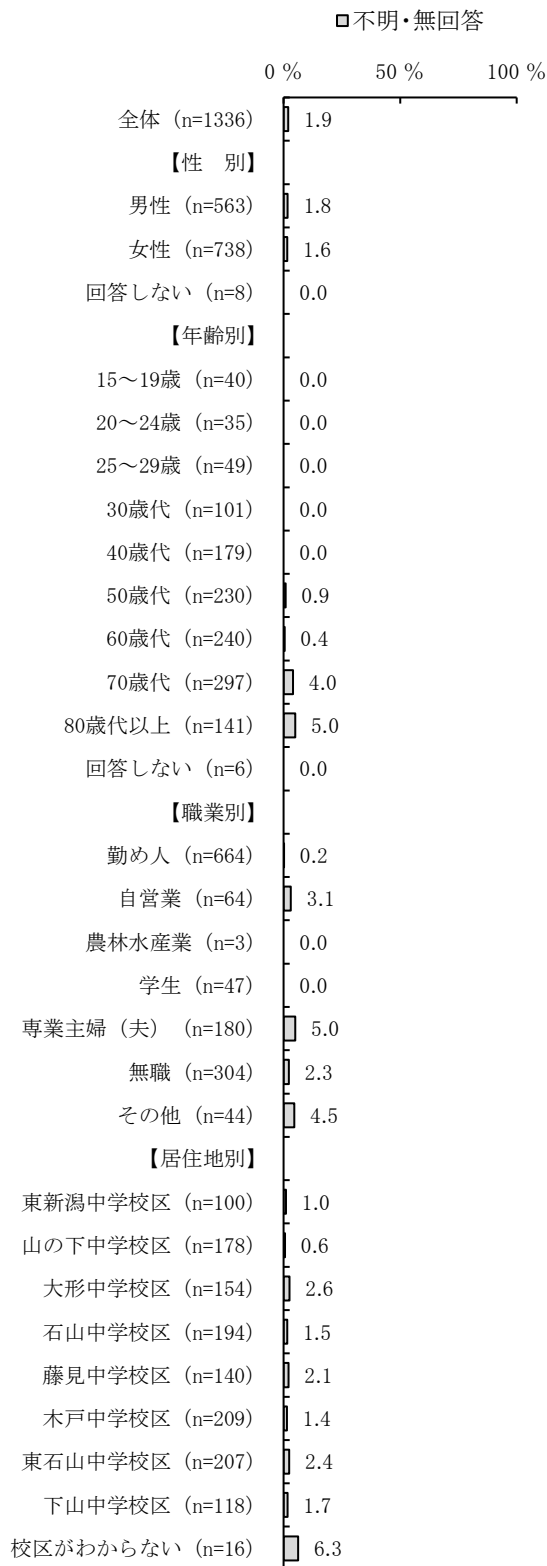
II 調査結果



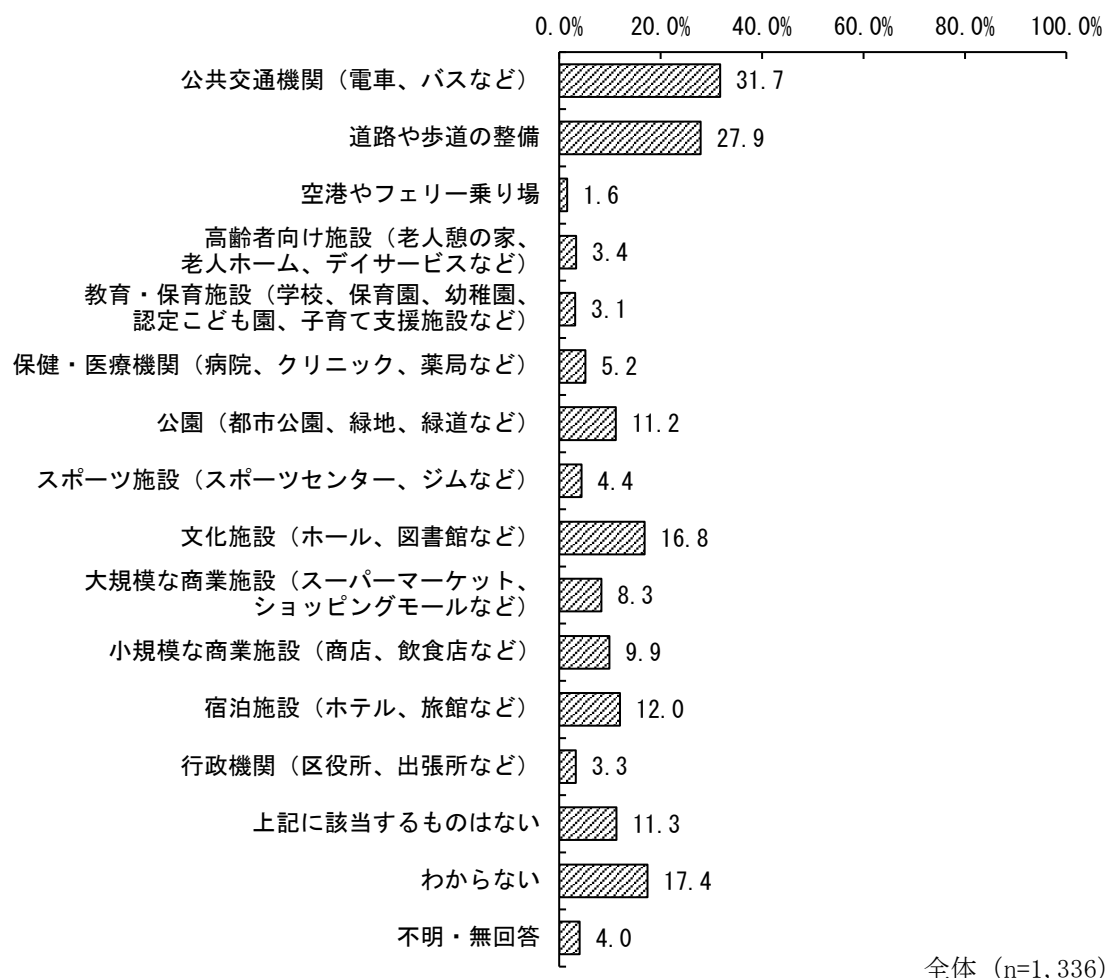


II 調査結果





Q30：あなたが思う東区の住環境の良くないところは何ですか？
 (主にあてはまるものに3つまで○を付けてください。)



【全体結果】

「公共交通機関（電車、バスなど）」31.7%、「道路や歩道の整備」27.9%と続き、普段使用する交通機関や、道路や歩道への不満が高い。

【属性別結果】

① 性別

全体結果と同じ傾向にある。「公共交通機関（電車、バスなど）」では女性の割合が高く、「道路や歩道の整備」では男性が高い割合である。Q8で「通勤・通学の交通手段」のバス利用者が男性11.2%、女性16.8%と女性が上回る結果、自動車利用者が男性73.0%、女性71.0%と男性が上回る結果から、利用している交通機関の頻度により性別の違いが出ているものと考えられる。

② 年齢別

全体結果と同じ傾向にある。各年齢層で利用頻度による違いが出ているものと考えられる。15～24歳まで「公共交通機関（電車、バスなど）」、25～29歳と30歳代、40歳代で「道路や歩

道の整備」、50歳代から70歳代まで「公共交通機関（電車、バスなど）」の割合が高くなる。

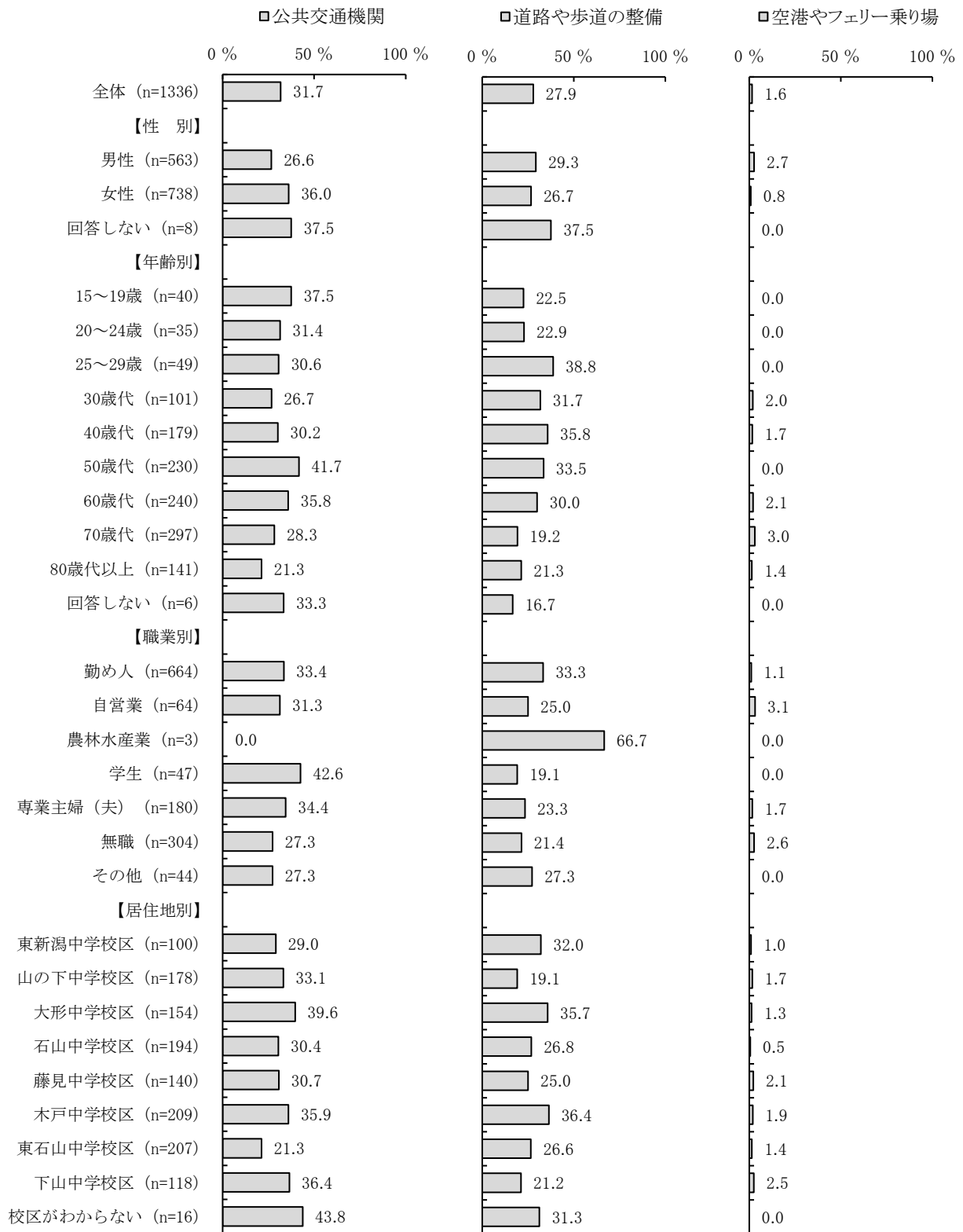
③職業別

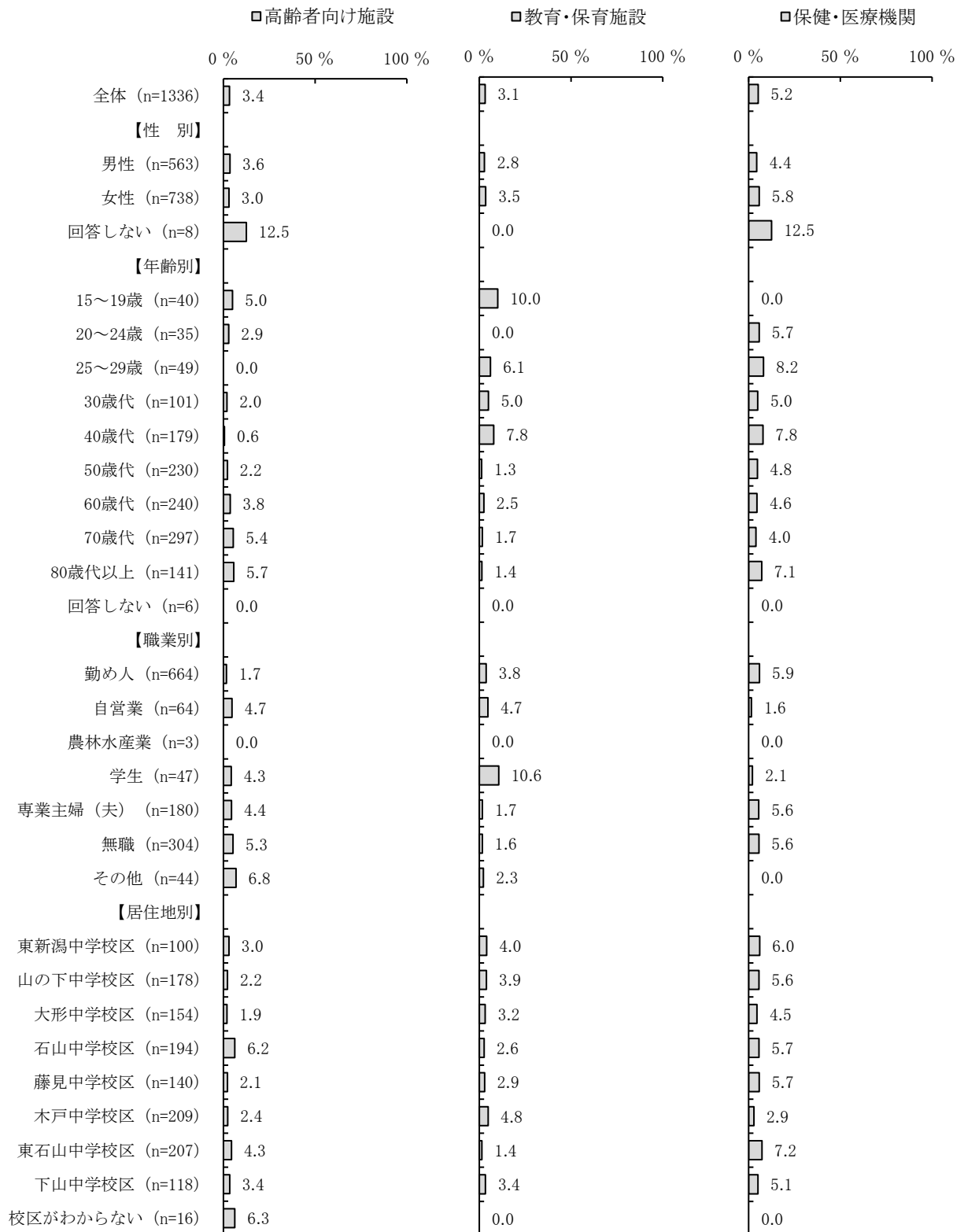
学生に関しては「公共交通機関（電車、バスなど）」の割合が高い。勤め人は「公共交通機関（電車、バスなど）」33.4%、「道路や歩道の整備」33.3%と同程度の割合。

④居住地別

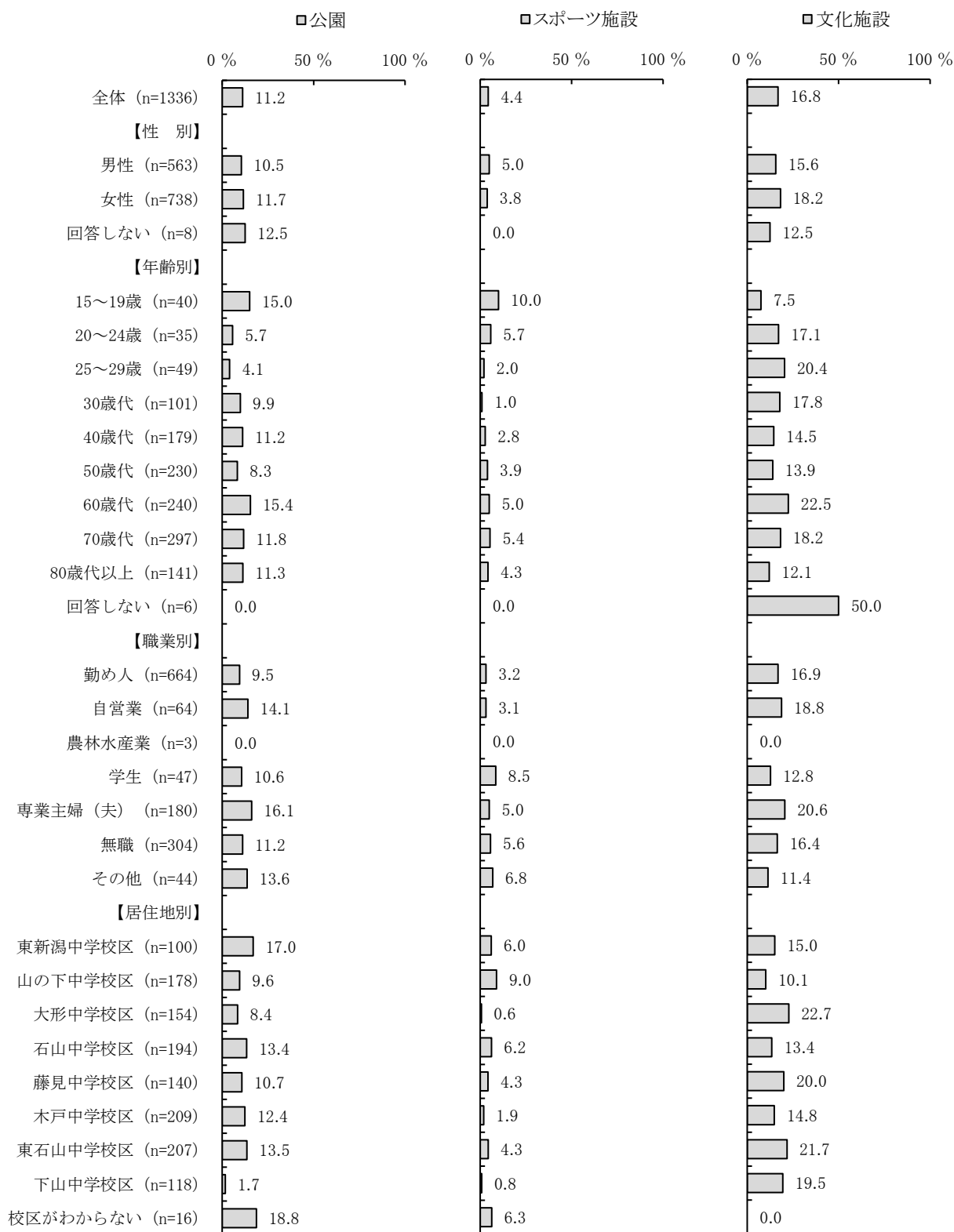
居住地の環境に応じて不満の割合は変化する。「公共交通機関（電車、バスなど）」、「道路や歩道の整備」のいずれも割合が高い地域は大形中学校区で、「公共交通機関」39.6%、「道路や歩道の整備」35.7%。次に高いのは木戸中学校区で「公共交通機関」35.9%、「道路や歩道の整備」36.4%。

II 調査結果



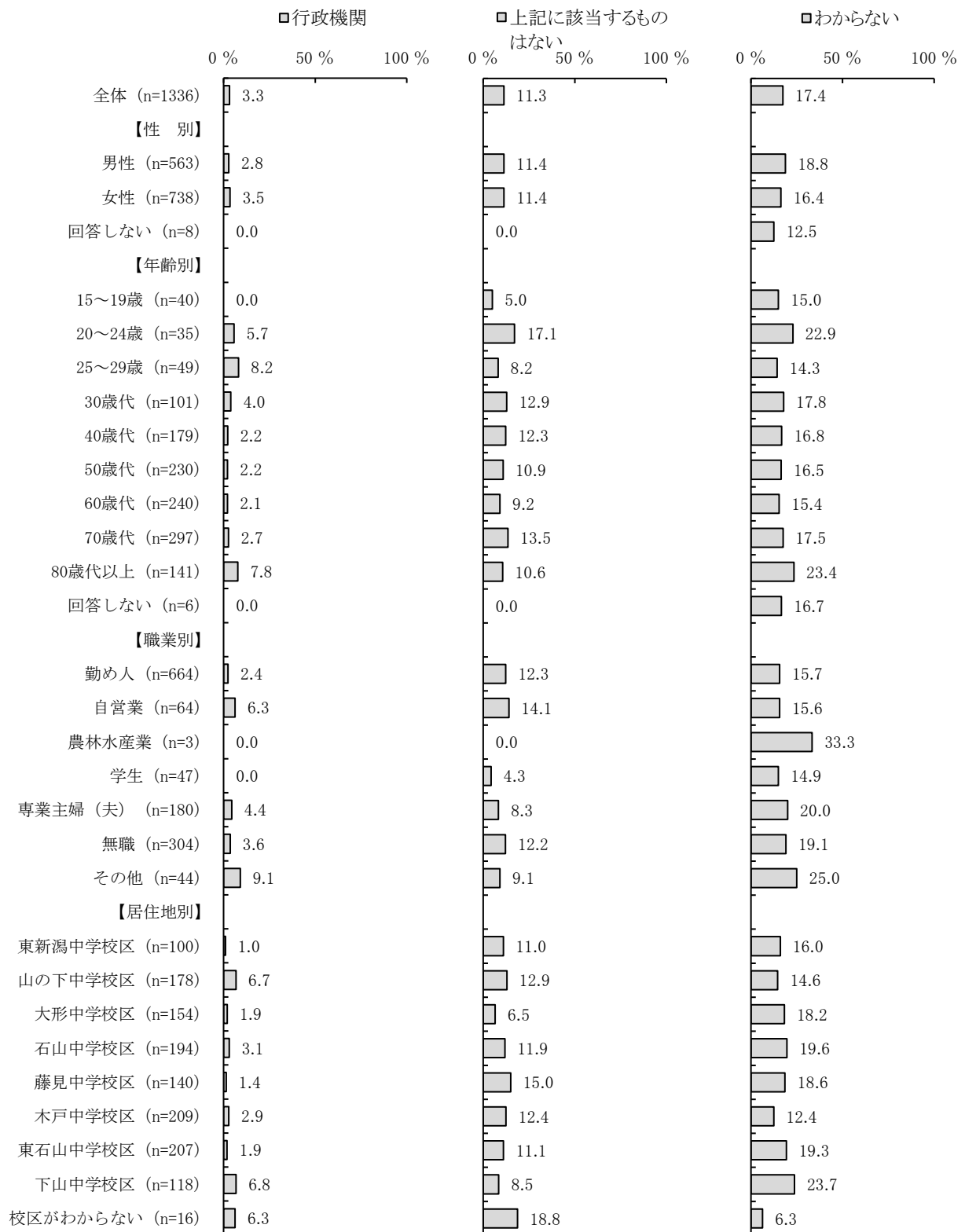


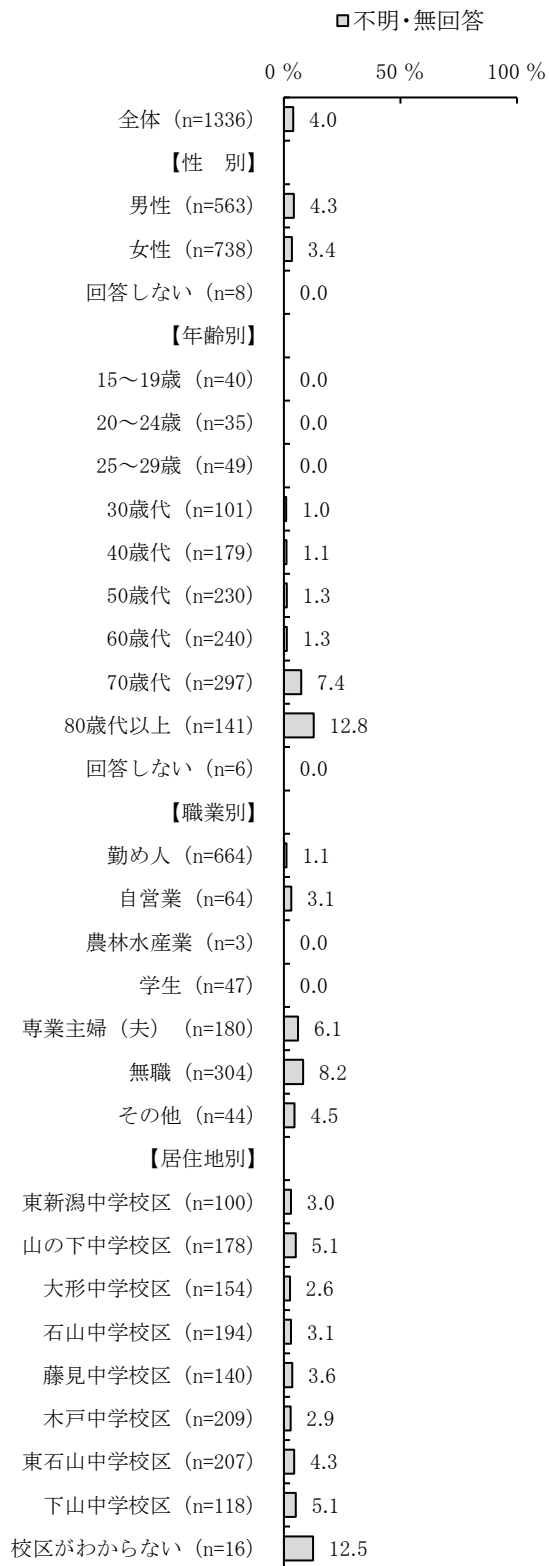
II 調査結果





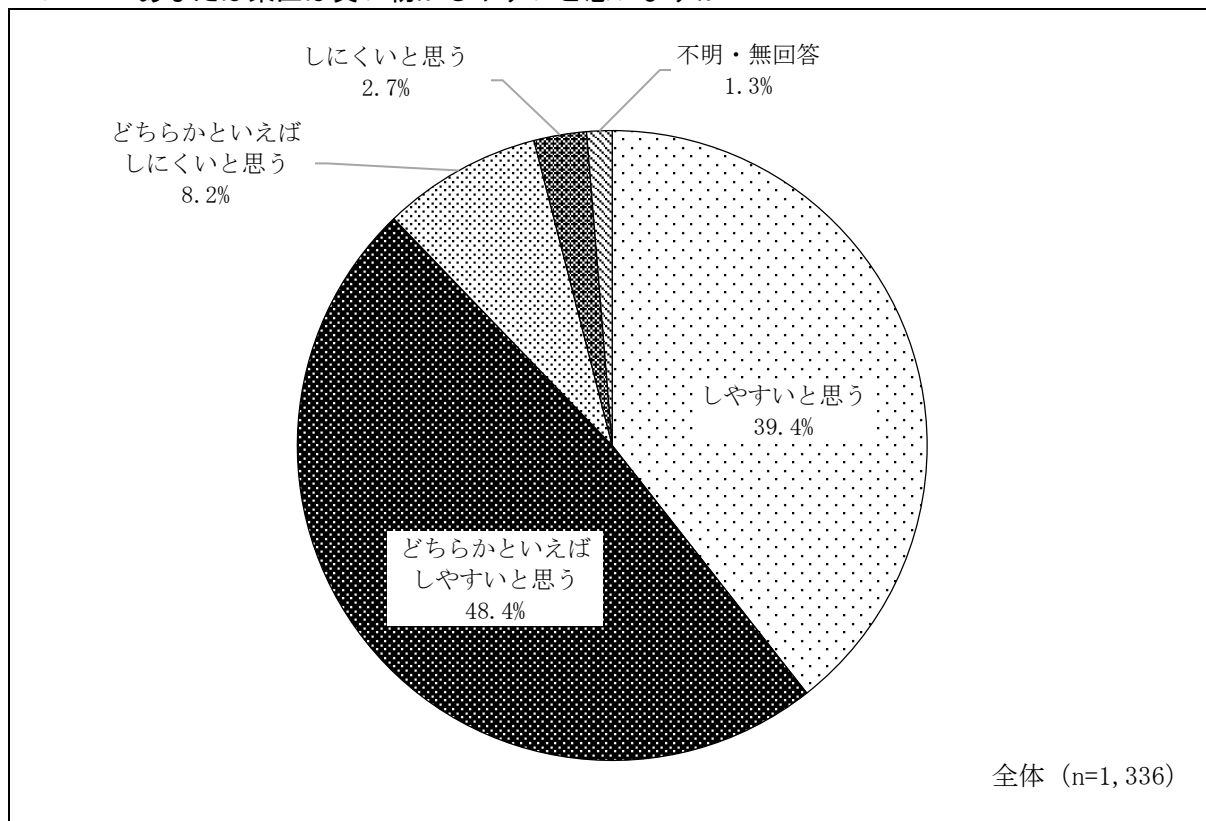
II 調査結果





9. 『買い物のしやすさ』について

Q31：あなたは東区は買い物がしやすいと思いますか？



【全体結果】

「しやすと思う」39.4%、「どちらかといえばしやすいと思う」48.4%を合わせた“しやすいと思う割合”は87.8%。「しにくいと思う」2.7%、「どちらかといえばしにくいと思う」8.2%を合わせた“しにくいと思う割合”は10.9%。“しやすいと思う割合”が、“しにくいと思う割合”を大きく上回っている結果となった。

【属性別結果】

① 性別

全体結果の傾向と同様。“しやすいと思う割合”は男性が高い。

② 年齢別

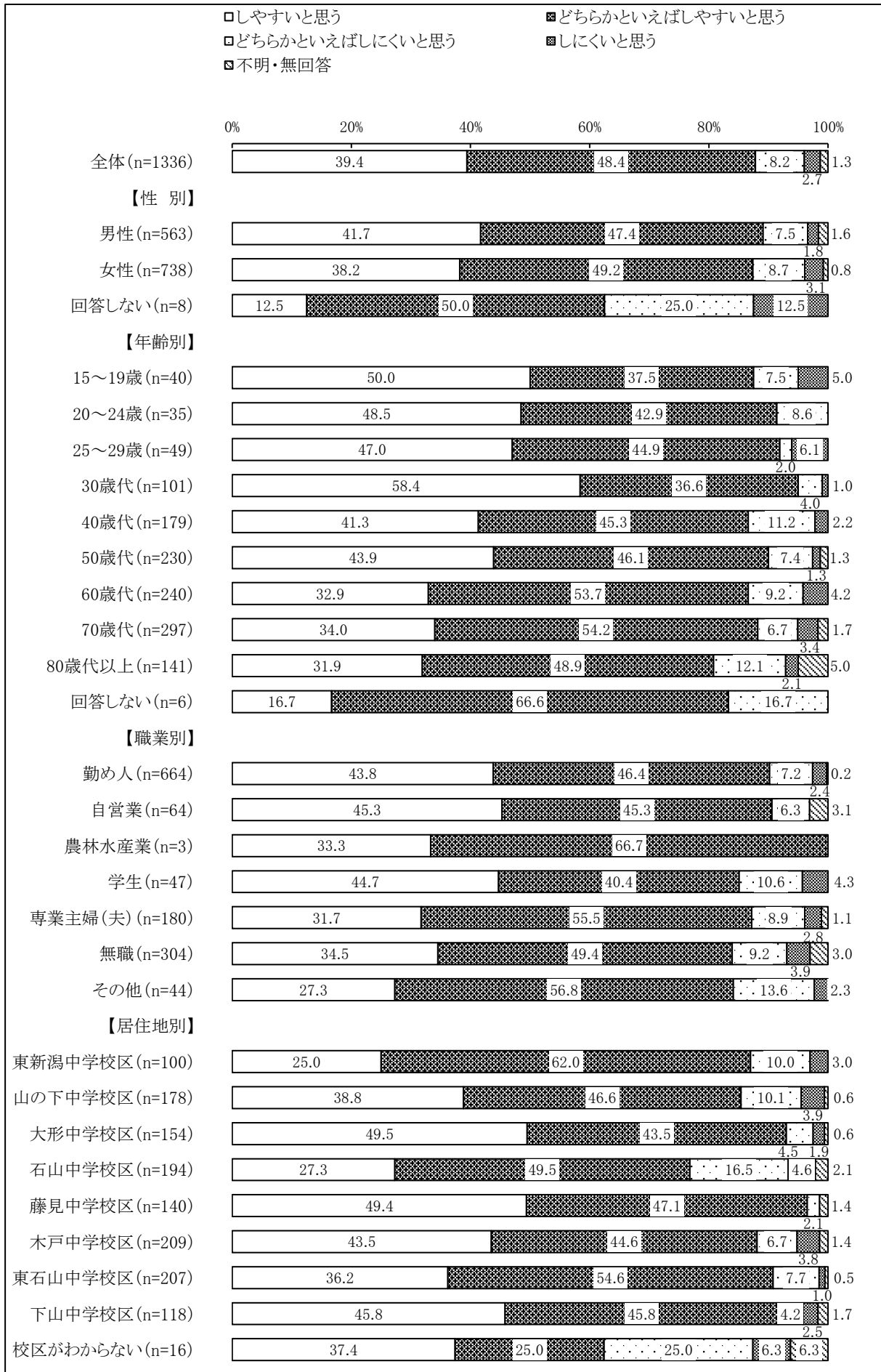
全ての年齢層で、全体結果の傾向と同様。30歳代に関しては“しやすいと思う割合”は95.0%。

③ 職業別

全ての職業で、全体結果の傾向と同様。

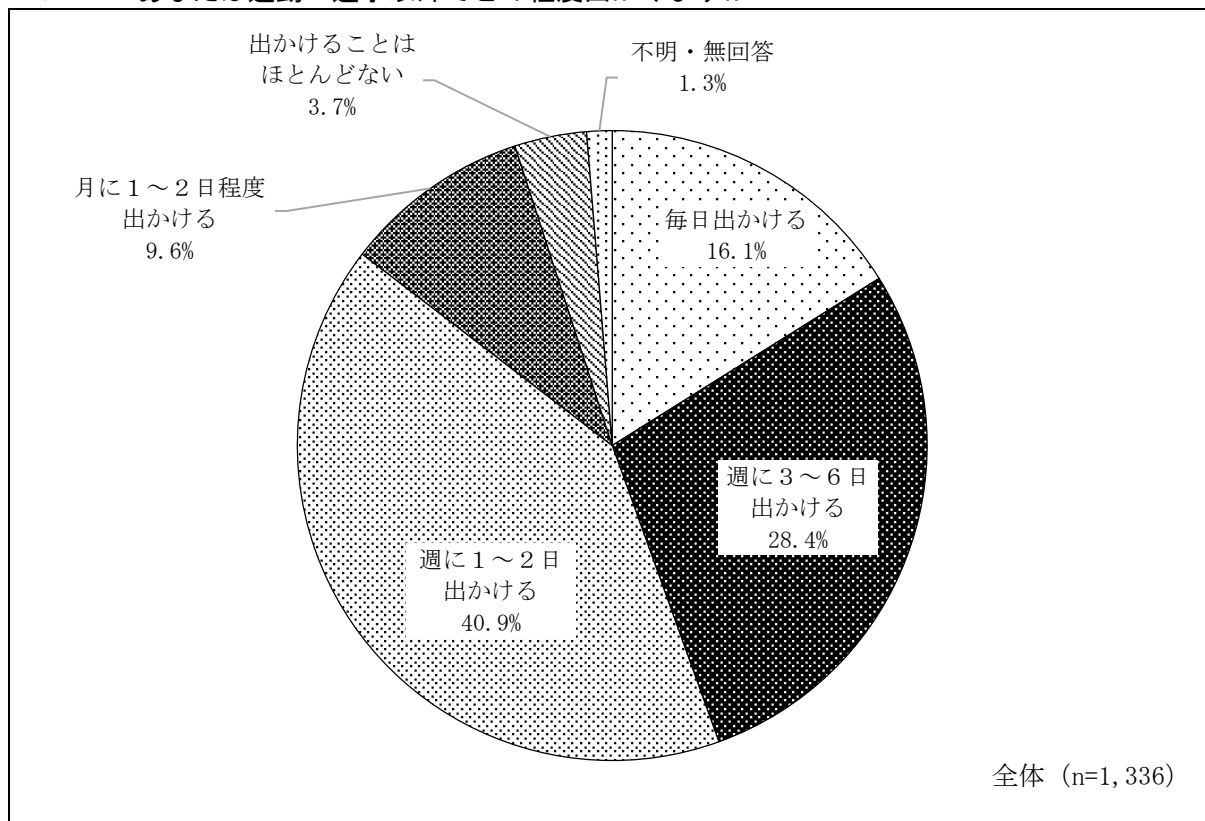
④ 居住地別

全ての居住地で、全体結果の傾向と同様。石山中学校区の“しやすいと思う割合”は76.8%と他の居住地と比べて低い。



10. 『お出かけ』について

Q32：あなたは通勤・通学以外でどの程度出かけますか？



【全体結果】

通勤・通学以外ででかける頻度は「週に1～2日出かける」が40.9%となった。

【属性別結果】

① 性別

全体結果のとおり「週に1～2日出かける」が男女ともに多く、男性の割合が高い。女性に関しては「週に3～6日出かける」も「週に1～2日出かける」に近い割合である。

② 年齢別

年齢別では70歳代が「週に3～6日出かける」が多いが、それ以外の年齢層では「週に1～2日出かける」の割合が一番多い。

③ 職業別

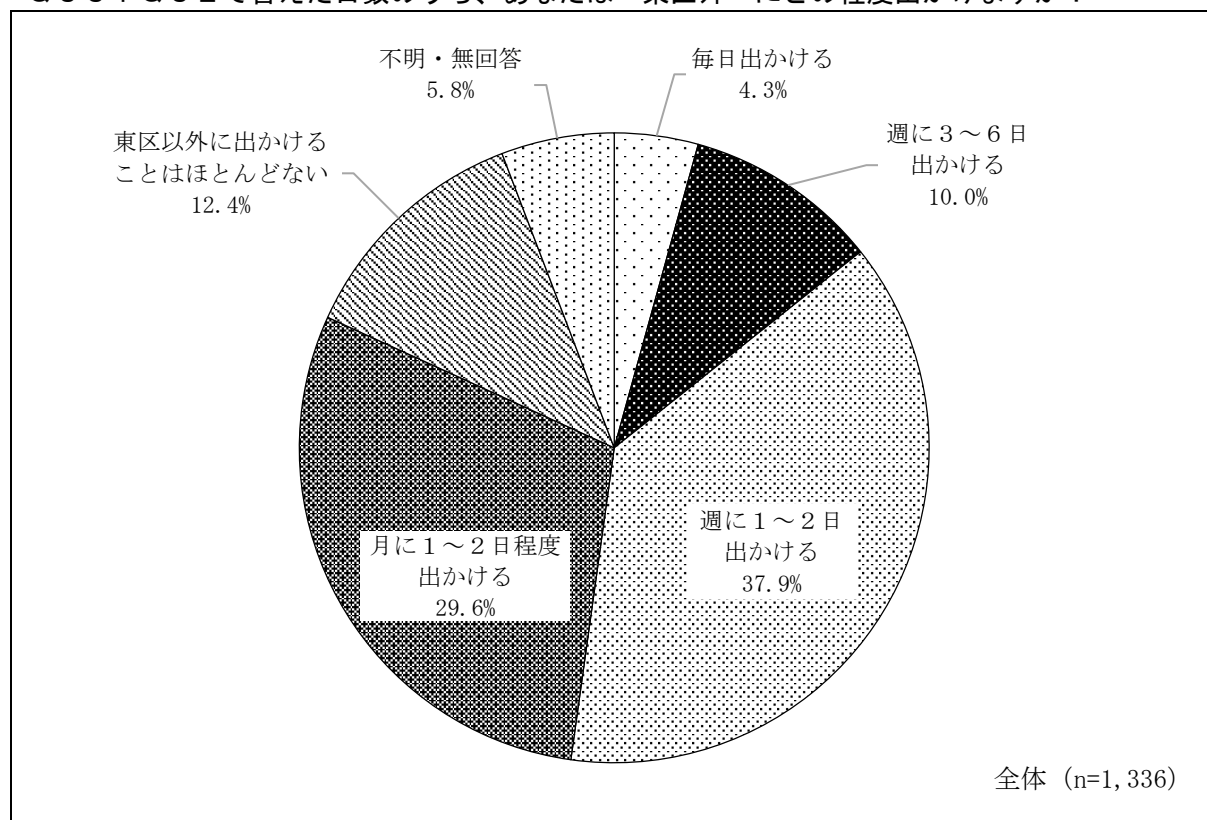
「週に1～2日出かける」が4割を超えるのは、勤め人50.9%、自営業40.7%、学生53.2%となっている。専業主婦（夫）と無職では「週に3～6日出かける」が「週に1～2日出かける」を上回る。

④ 居住地別

多くの居住地で全体結果と同じ傾向にある。



Q33：Q32で答えた日数のうち、あなたは“東区外”にどの程度出かけますか？



【全体結果】

「週に1～2日程度出かける」37.9%が最も多く、次いで「月に1～2日出かける」29.6%が多い。

【属性別結果】

① 性別

全体結果と同様の傾向で、「週に1～2日出かける」の割合が最も高い。男女の割合は、女性の方が0.5%高い。

② 年齢別

60歳代以下では、「週に1～2日出かける」が最も高く、70歳代、80歳代以上になると「月に1～2日程度出かける」の割合が高くなり、年齢が上がると外出頻度が低くなる傾向にある。

③ 職業別

「週に1～2日出かける」を選んだ人が多い中、専業主婦（夫）については、「月に1～2日程度出かける」の回答割合が「週に1～2日出かける」よりもわずかに多い。

④ 居住地別

全体結果同様に「週に1～2日出かける」が多かったが、「月に1～2日程度出かける」と回答した人が、大形中学校区35.5%、藤見中学校区34.8%、下山中学校区37.8%は、「週に1～2日出かける」よりもわずかに多かった。山の下中学校区はいずれも32.8%と同率となった。



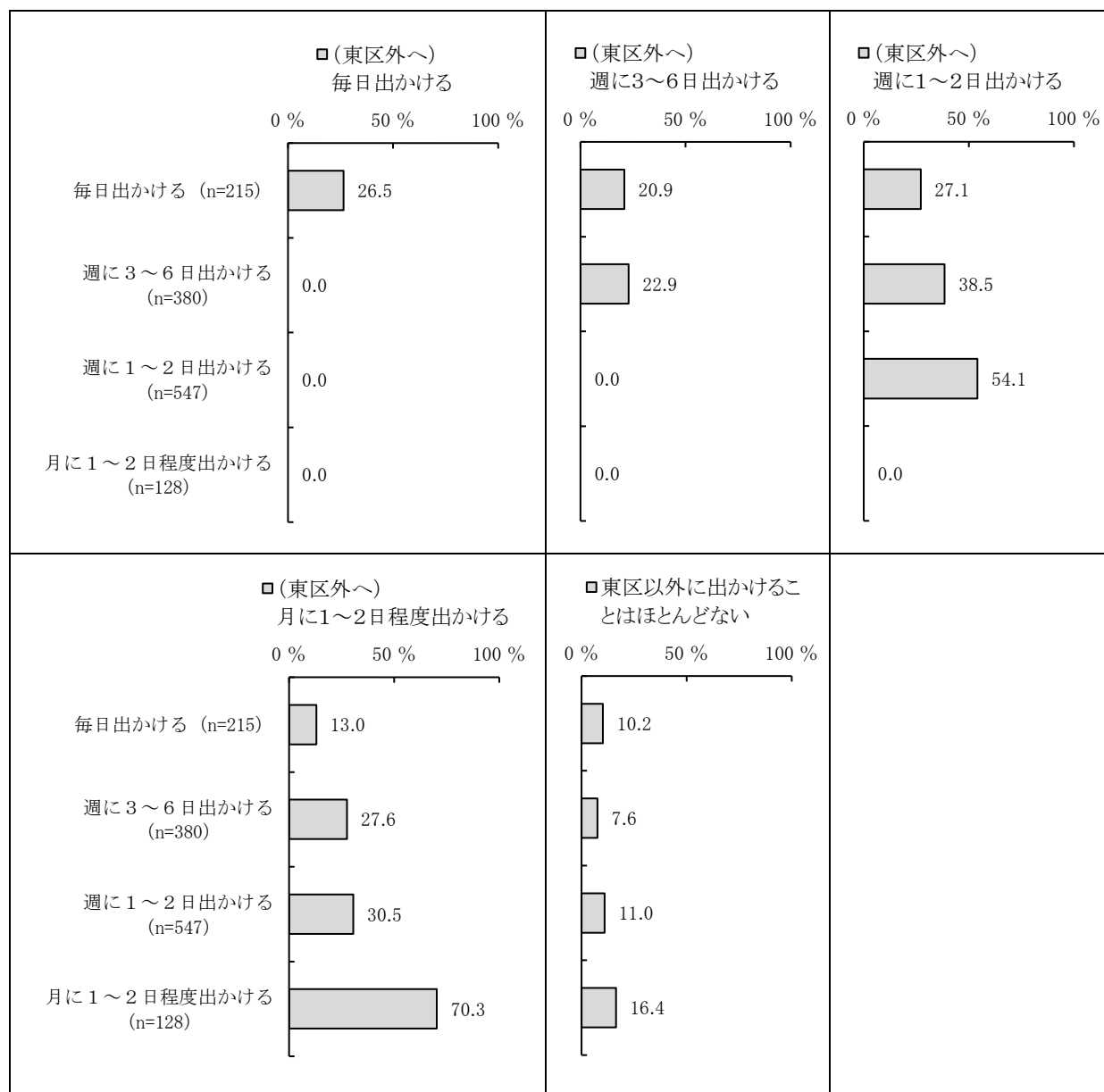
II 調査結果

○お出かけ頻度（通勤通学以外でのお出かけ頻度のうち、東区外へのお出かけ頻度の割合）

「Q32：あなたは通勤・通学以外でどの程度出かけますか？」の回答のうち、「～出かける」と回答した方のうち、「Q33：Q32で答えた日数のうち、あなたは“東区外”にどの程度出かけますか？」で回答した区外への外出頻度を比較。

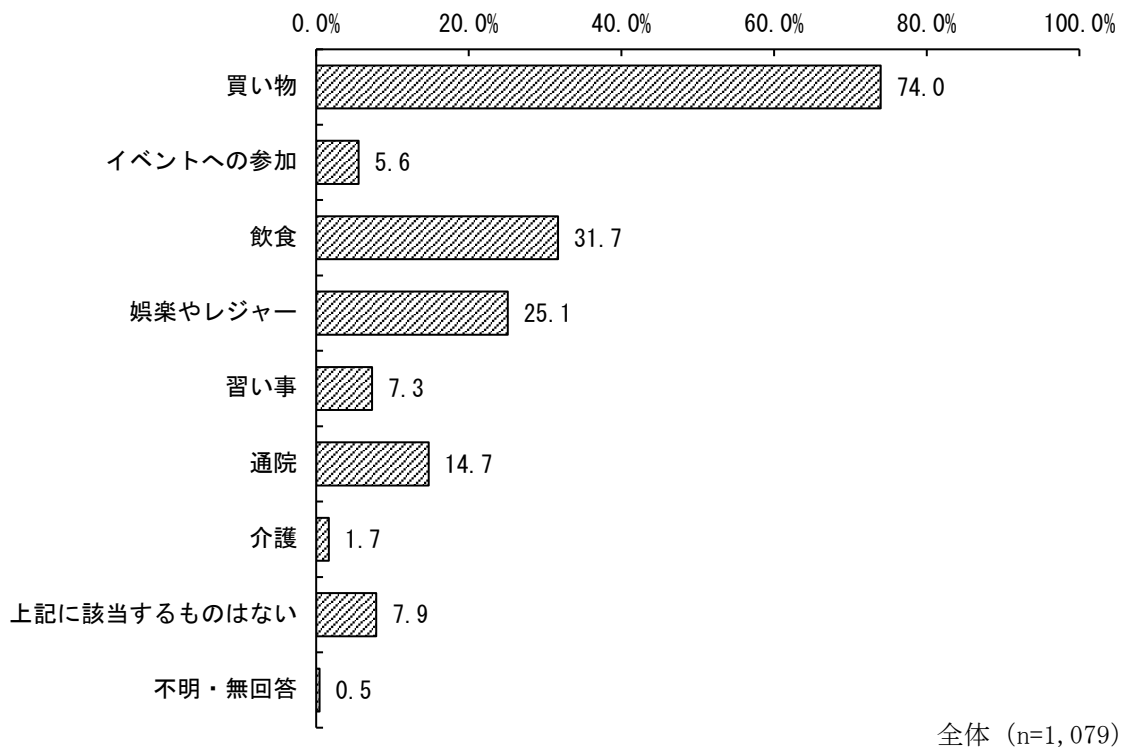
通勤・通学以外でのお出かけ頻度が、「毎日出かける」「週に3～6日出かける」「週に1～2日出かける」と答えた人は、いずれも東区外への外出頻度が「週に1～2日出かける」を選んだ割合が最も高い。「毎日出かける」が27.1%、「週に3～6日出かける」は38.5%、「週に1～2日出かける」は54.1%という結果だった。

「月に1～2日程度出かける」を選んだ人は、区外へのお出かけも「月に1～2日程度」が70.3%と高かった。



Q34 : (Q33で「1」～「4」と回答した方にお聞きします)

出かける用事は何ですか？（主にあてはまるものに2つまで○を付けてください。）



【全体結果】

東区外への外出目的は「買い物」が74.0%と群を抜いて高い。次いで「飲食」31.7%、「娯楽やレジャー」25.1%と続く。

【属性別結果】

① 性別

全体結果と同様の傾向で「買い物」が最も高く、「飲食」「娯楽やレジャー」と続く。「買い物」は男性67.9%、女性78.0%と女性が10.1%多い。逆に「娯楽やレジャー」では、男性が30.3%、女性が21.5%で男性が8.8%多かった。

② 年齢別

いずれの年代でも「買い物」が最も高い。各年代での「買い物」を選んだ方の割合を見ると、20～24歳が86.7%、40歳代が81.9%と続く。15～19歳では62.1%と最も低かった。

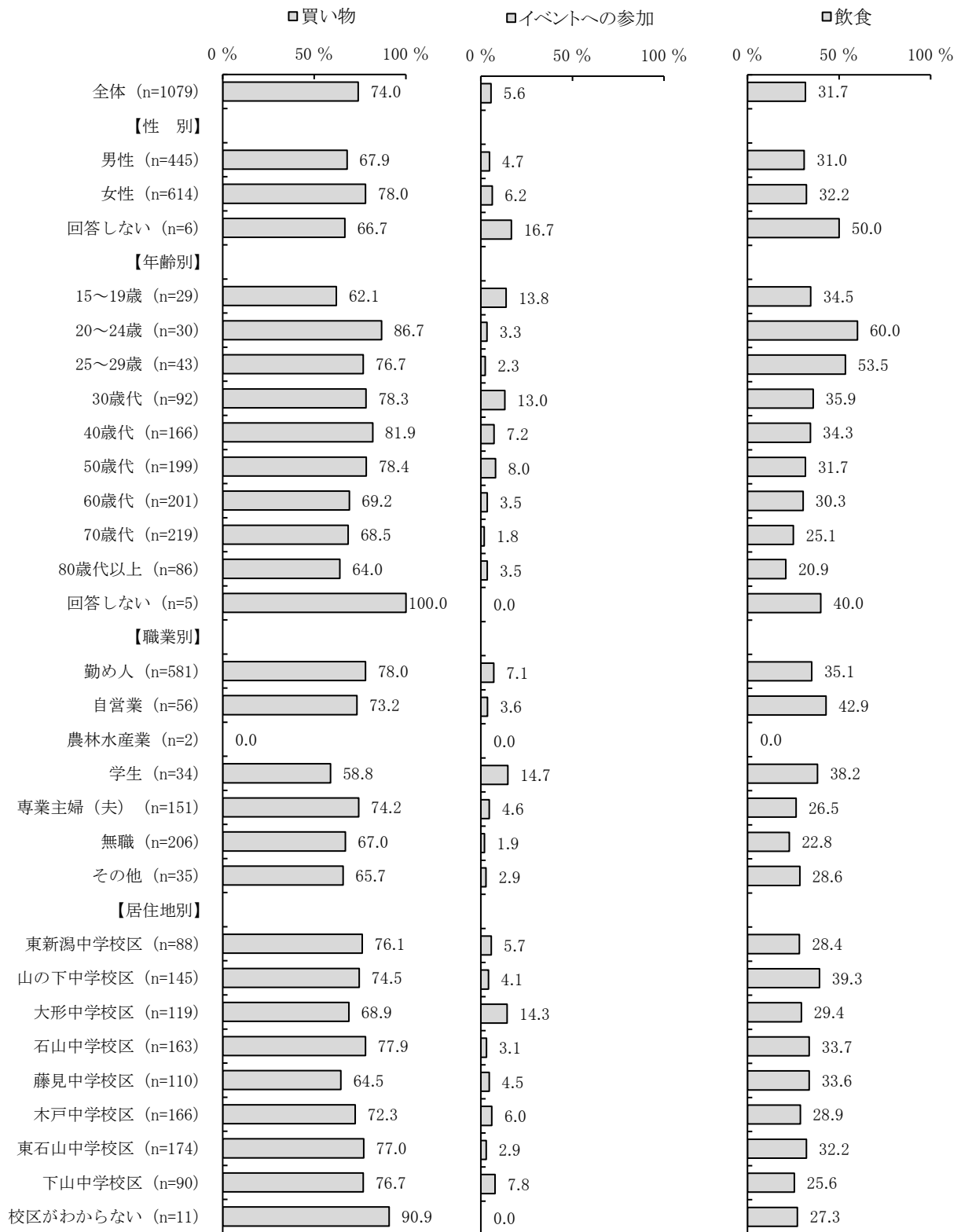
③ 職業別

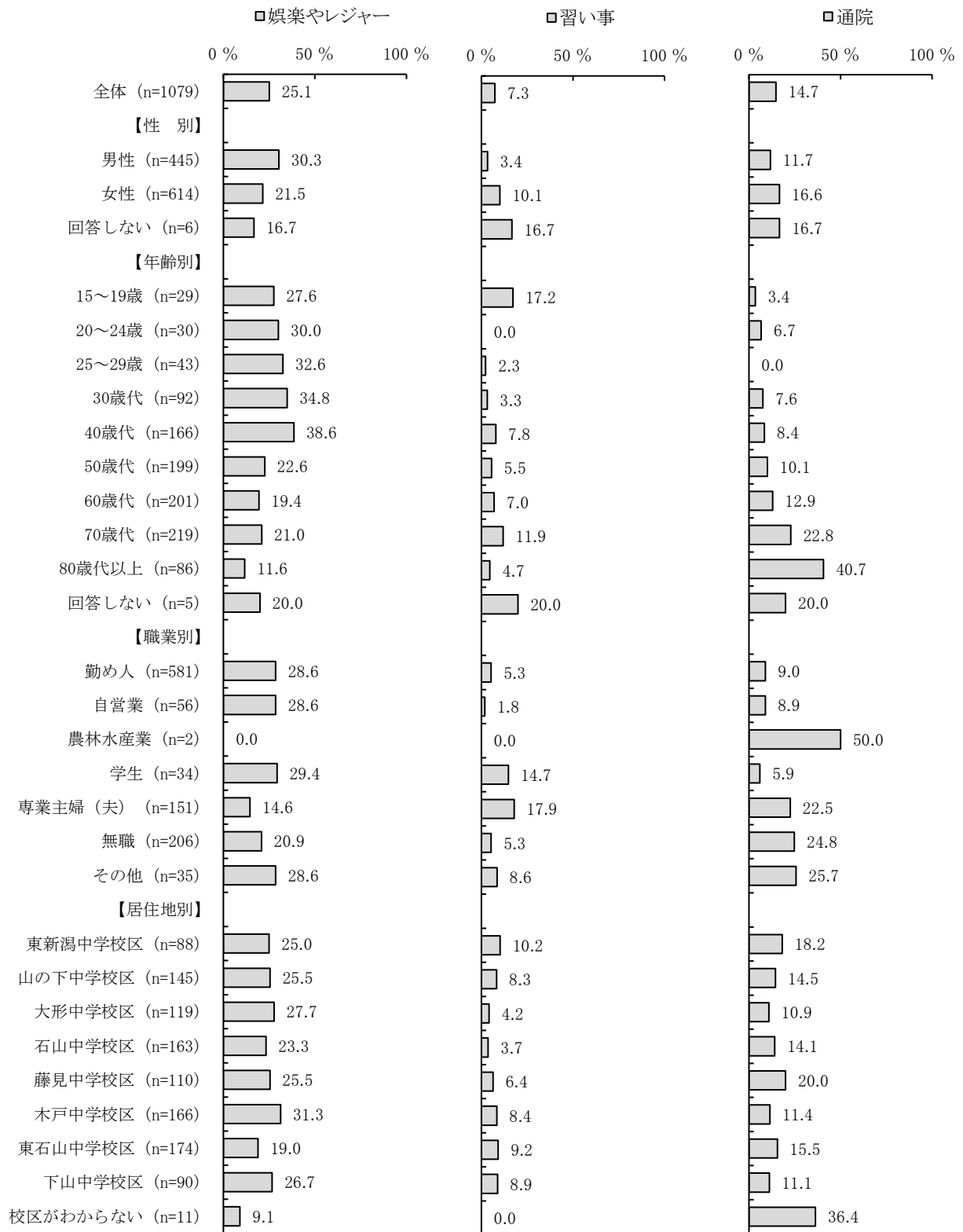
「買い物」が最も高い割合だが、全体結果を上回った職業は、「勤め人」78.0%、専業主婦（夫）74.2%のみだった。「学生」については、58.8%と他職業よりも低い結果となった。年齢別で15～19歳が低い割合だったことに通じる結果となった。

④ 居住地別

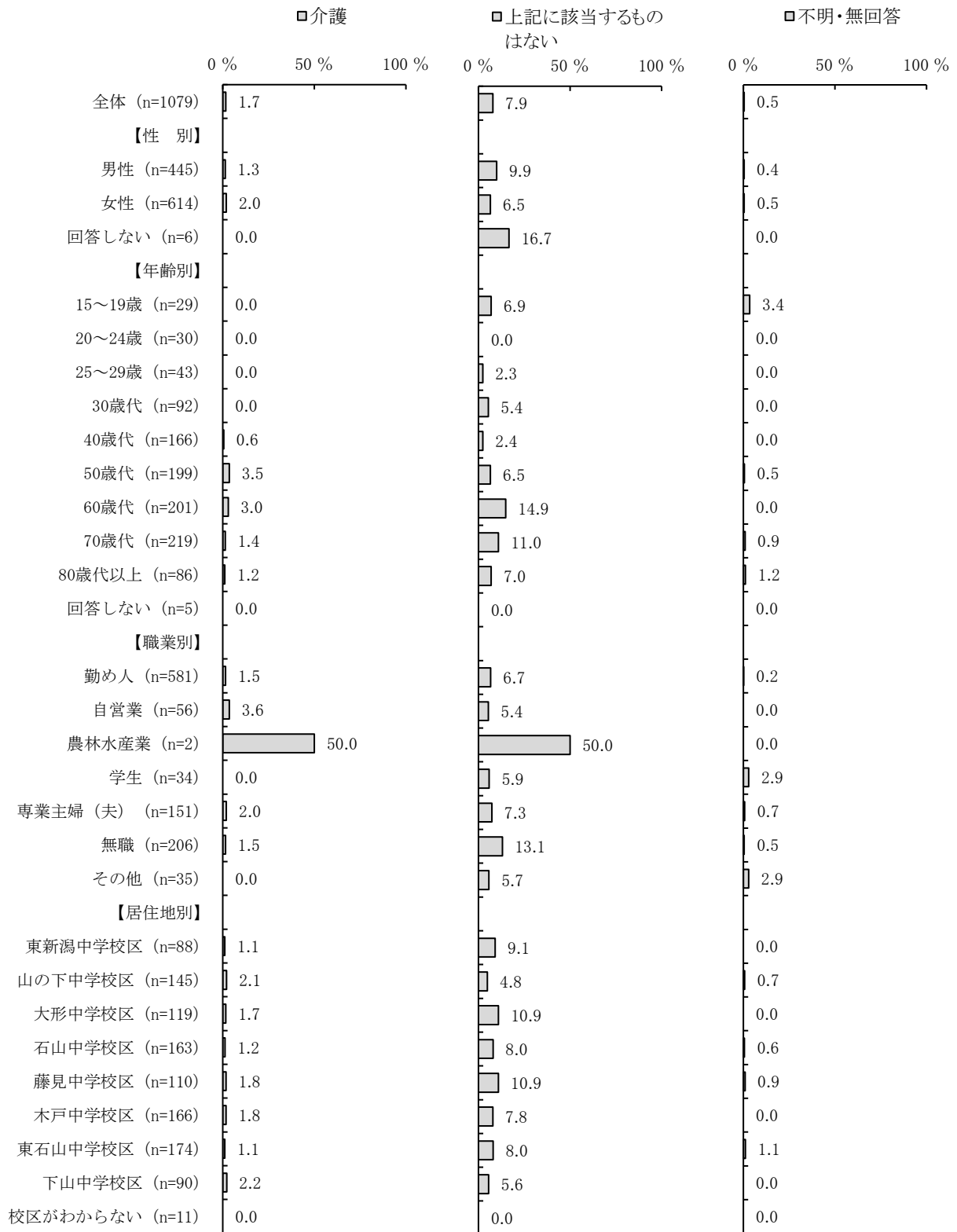
全居住地で「買い物」が最も高く、全体結果を下回ったところは、大形中学校区68.8%、藤見中学校区64.5%、木戸中学校区72.3%の3つの居住地だった。

II 調査結果

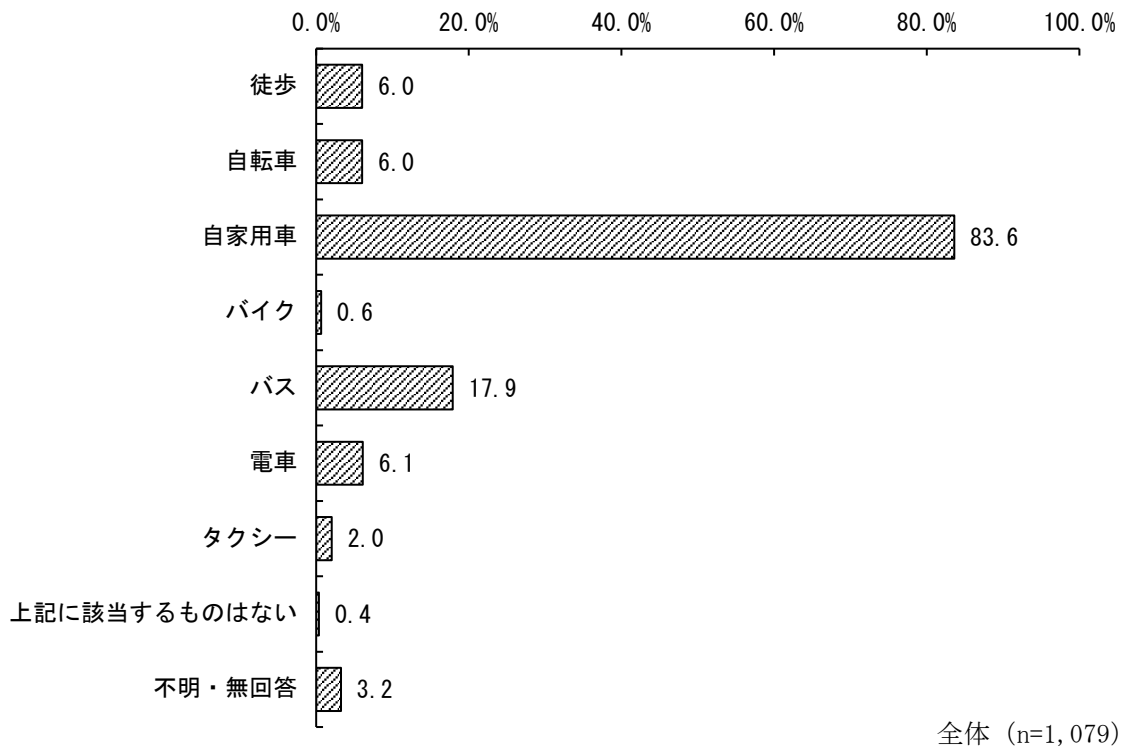




II 調査結果



Q35：(Q33で「1」～「4」と回答した方にお聞きします)
 出かける時の交通手段は何ですか？
 (主にあてはまるものに2つまで○を付けてください。)



【全体結果】

「自家用車」が83.6%と8割以上を占めている。

【属性別結果】

① 性別

全体結果と同様の分布で、「自家用車」は男性87.0%、女性80.9%で男性の割合が高い。

② 年齢別

15～19歳は、運転免許の取得前でもあることが考えられ、「自家用車」37.9%よりも「バス」58.6%の利用率が上回った。

その他の年代では「自家用車」が他の交通手段より群を抜いて高い結果となった。

③ 職業別

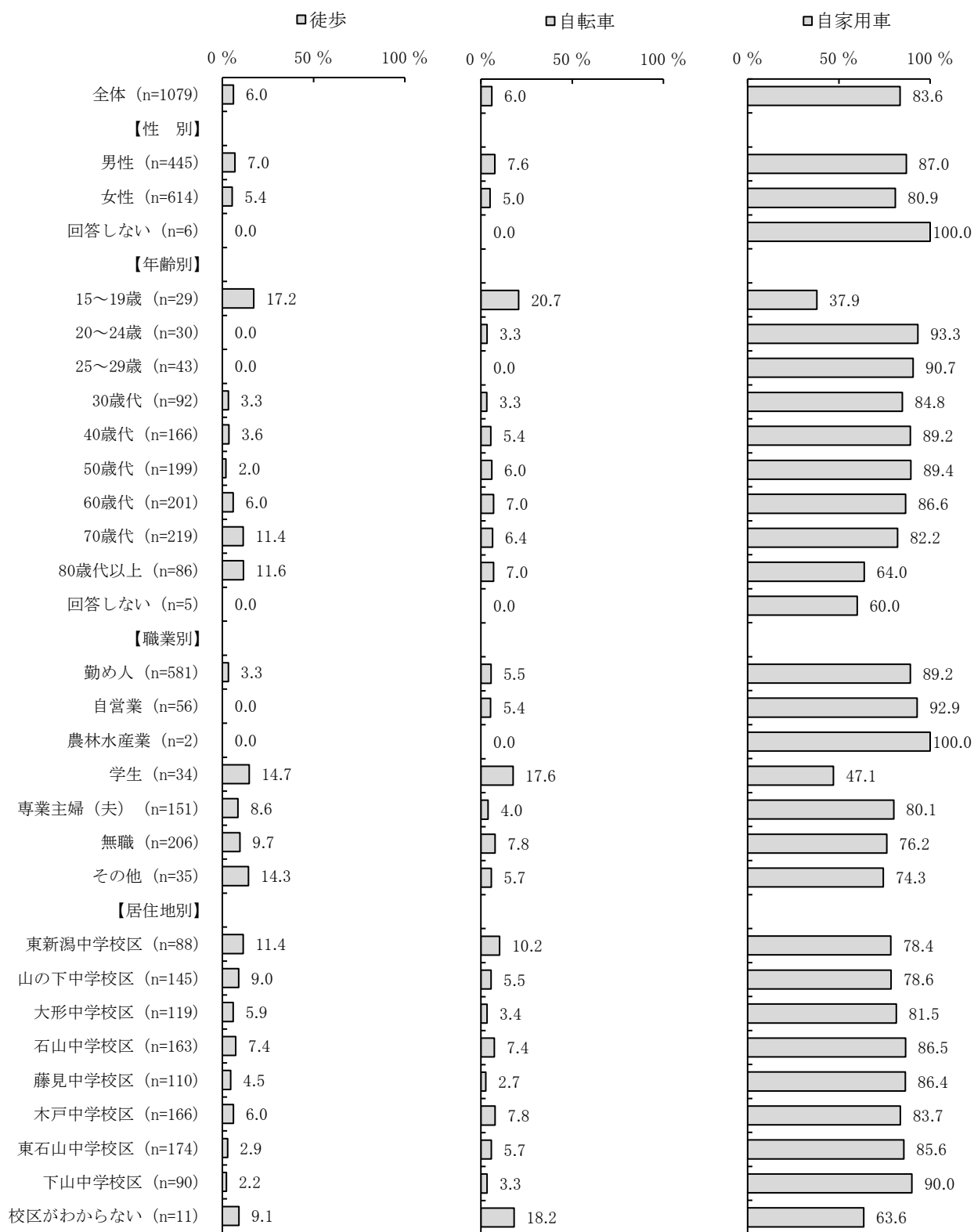
年齢別の15～19歳と同様に、学生に関しては「自家用車」47.1%より「バス」52.9%を選んだ人が多かった。その他の職業ではすべて「自家用車」が群を抜いて高い。

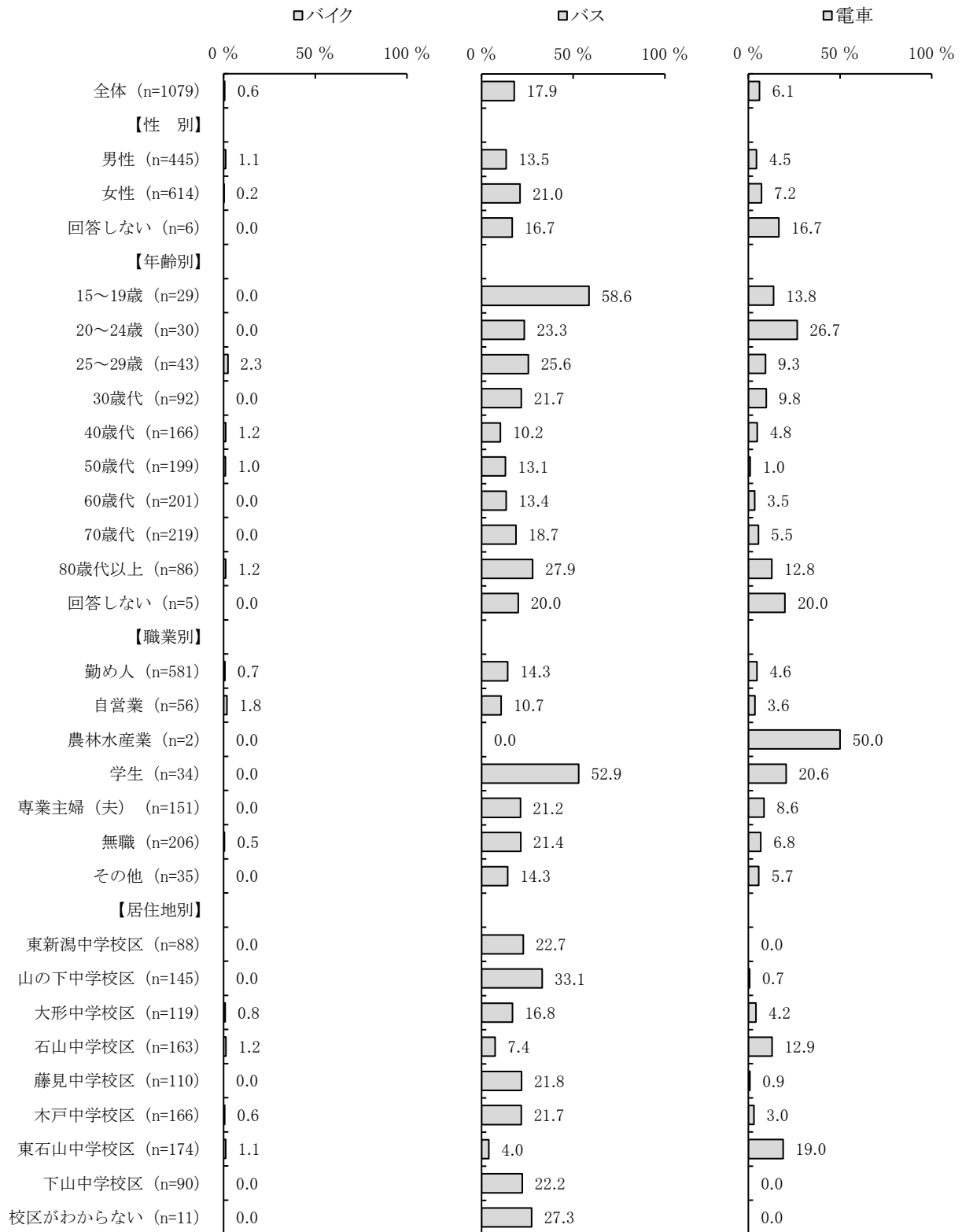
④ 居住地別

全居住地で「自家用車」の割合が群を抜いて高い。下山中学校区では「自家用車」が90.0%で他の居住地よりも高かった。

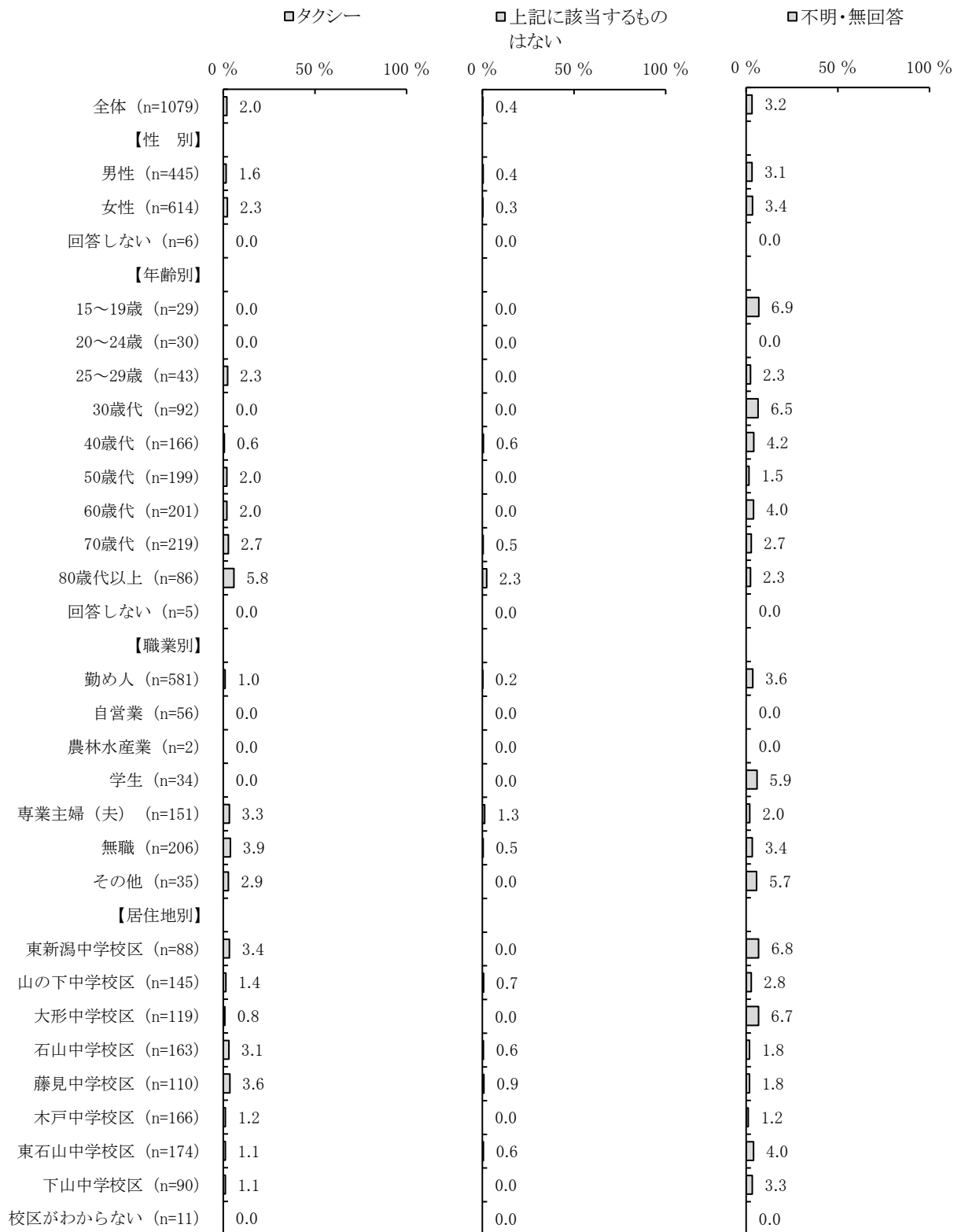
「自家用車」に次いで「バス」を交通手段として選んだ方がほとんどだが、石山中学校区や東石山中学校区のようにJRの駅が近くにある居住地では、「バス」より「電車」の利用が上回った。

II 調査結果





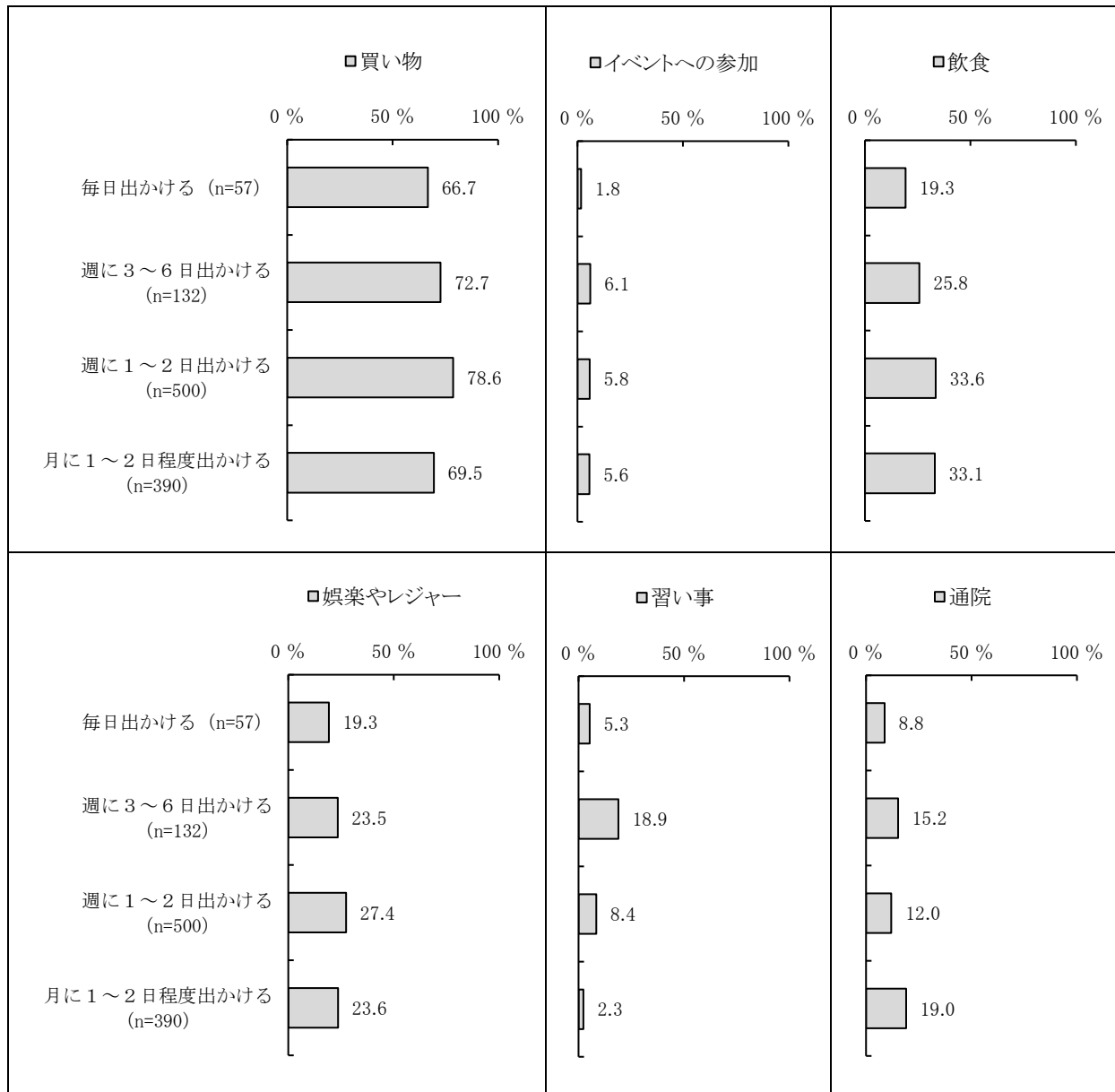
II 調査結果



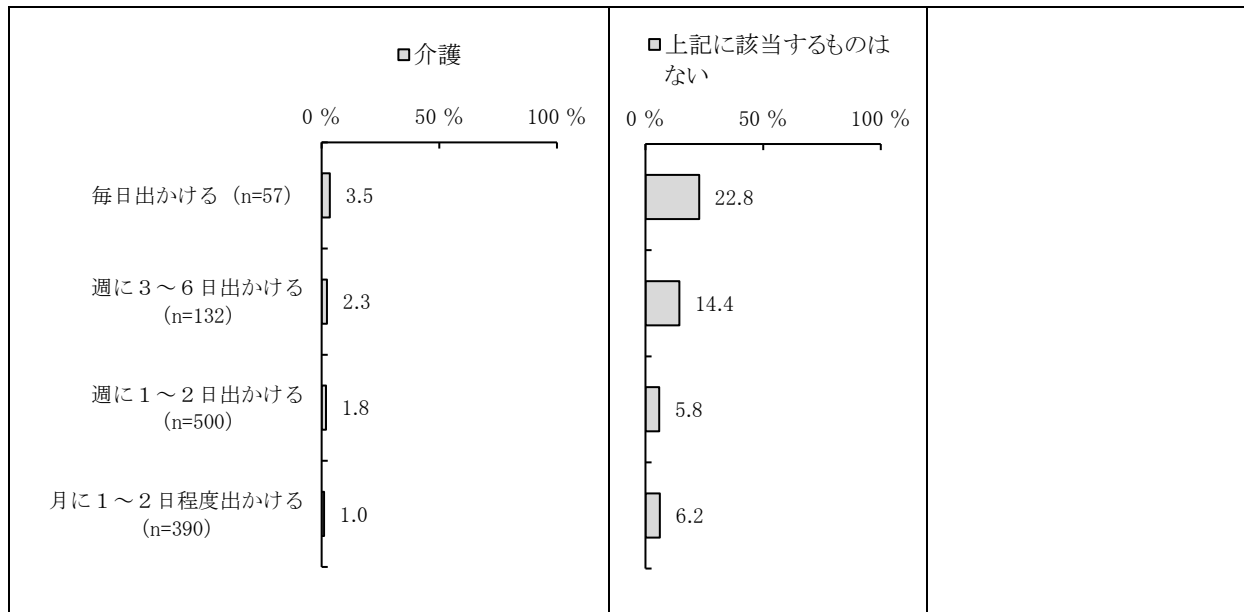
○東区外へのお出かけ頻度と目的

「Q33：Q32で答えた日数のうち、あなたは“東区外”にどの程度出かけますか？」の設問において、「～出かける」と回答した方について、「Q34：出かける用事は何ですか？」の外出目的を目的別に分類。

東区外へのお出かけ頻度を問わず、約3分の2が「買い物」という結果となった。



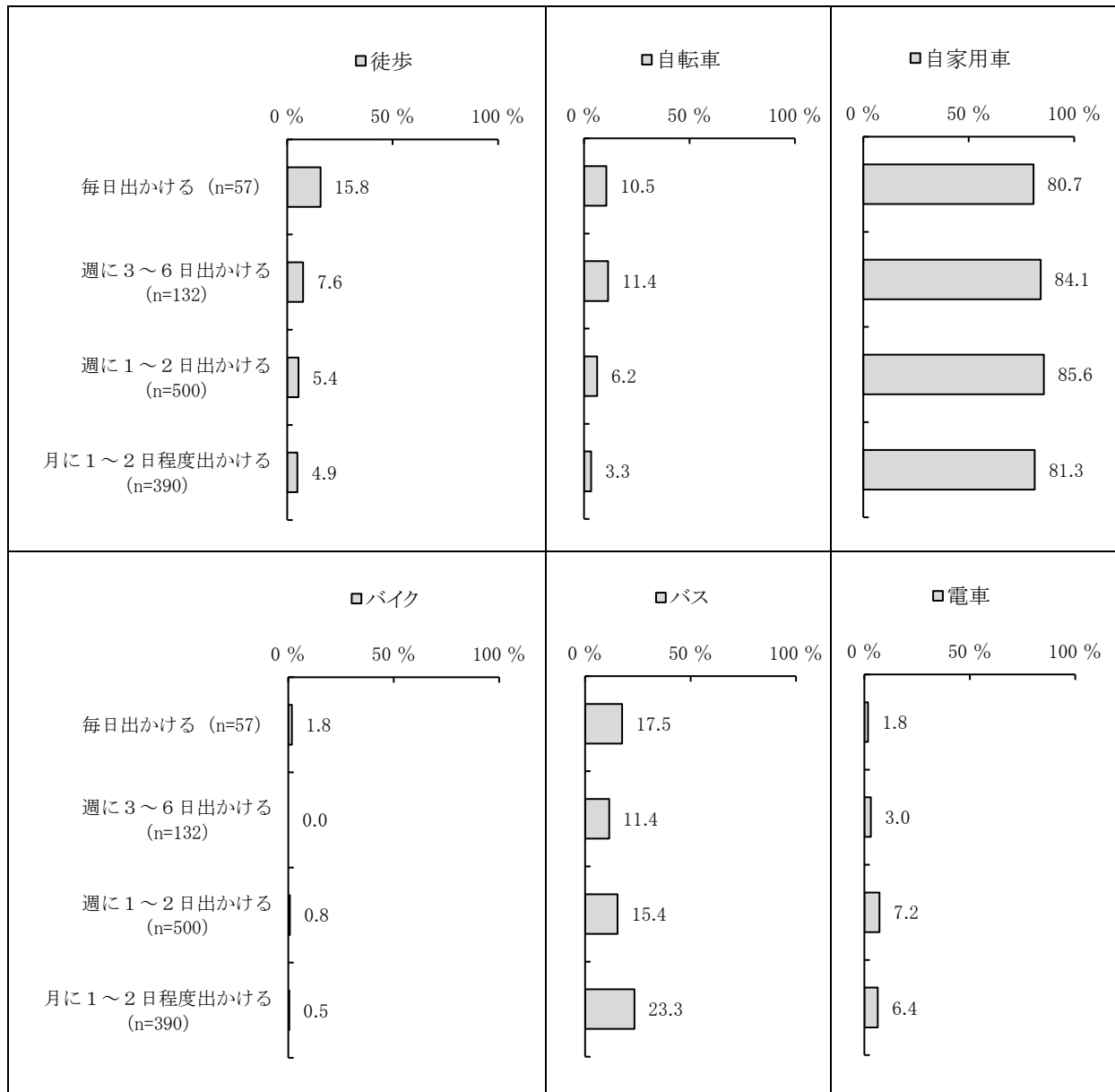
II 調査結果



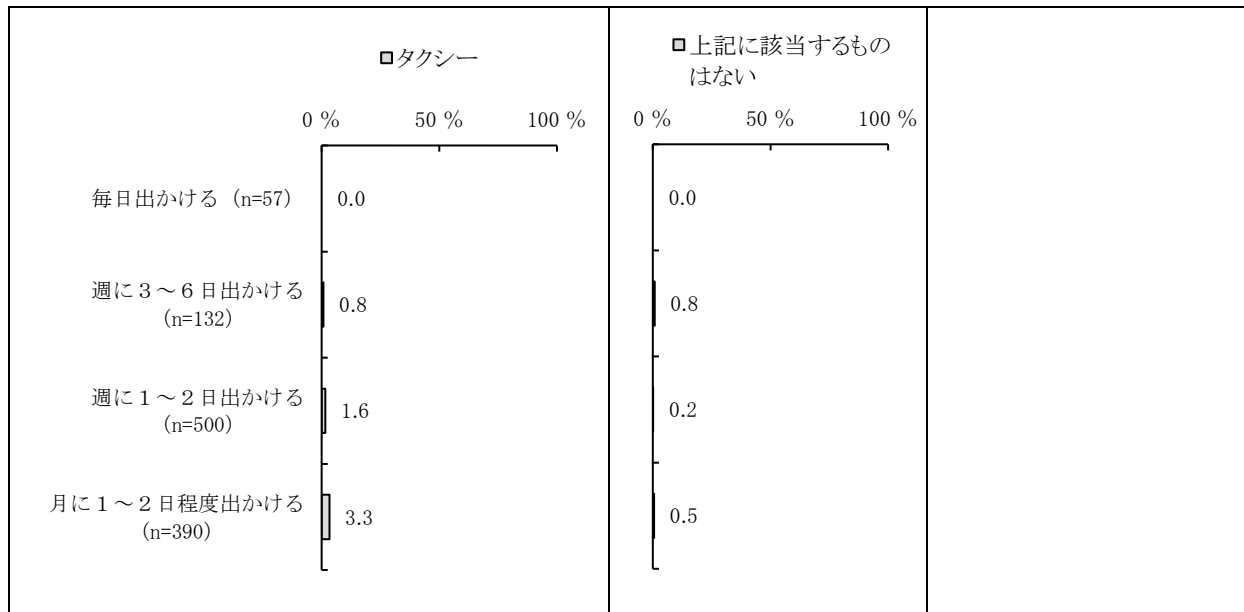
○東区外へのお出かけ頻度と交通手段

「Q33：Q32で答えた日数のうち、あなたは“東区外”にどの程度出かけますか？」の設問で、「～出かける」と回答した方の、「Q35：出かける時の交通手段は何ですか？」の交通手段の割合を計る。

東区外へ出かける際の交通手段として、ほとんどの人が「自家用車」を利用している。次いで「バス」利用だが、この2つには大きな開きがある。

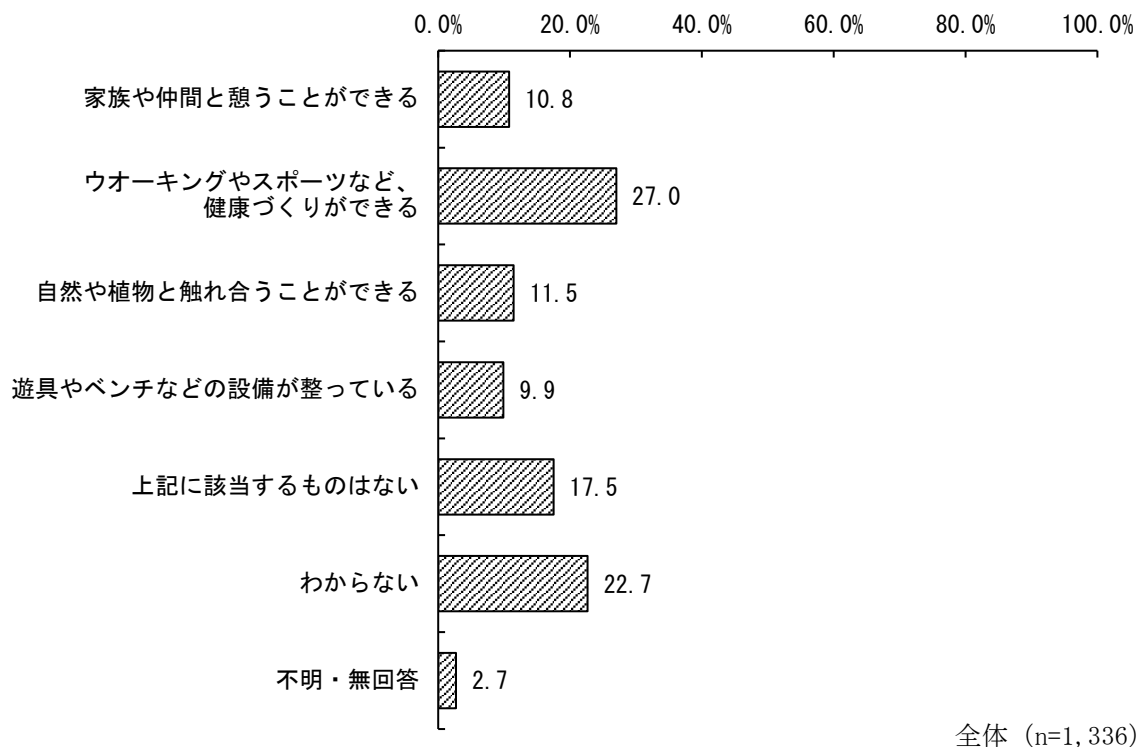


II 調査結果



1.1. 『公園』について

Q36：東区内にある公園について、あなたはどのように感じていますか？



【全体結果】

「ウォーキングやスポーツなど、健康づくりができる」が27.0%となっている。

【属性別結果】

① 性別

全体結果と同様の分布で、「ウォーキングやスポーツなど、健康づくりができる」で男性28.8%、女性が26.2%で男性の割合が高い。

② 年齢別

20～24歳、30歳代以外の年齢で、全体結果と同様の分布となっている。20～24歳、30歳代は「家族や仲間と憩うことができる」と回答した割合が高くなっている。

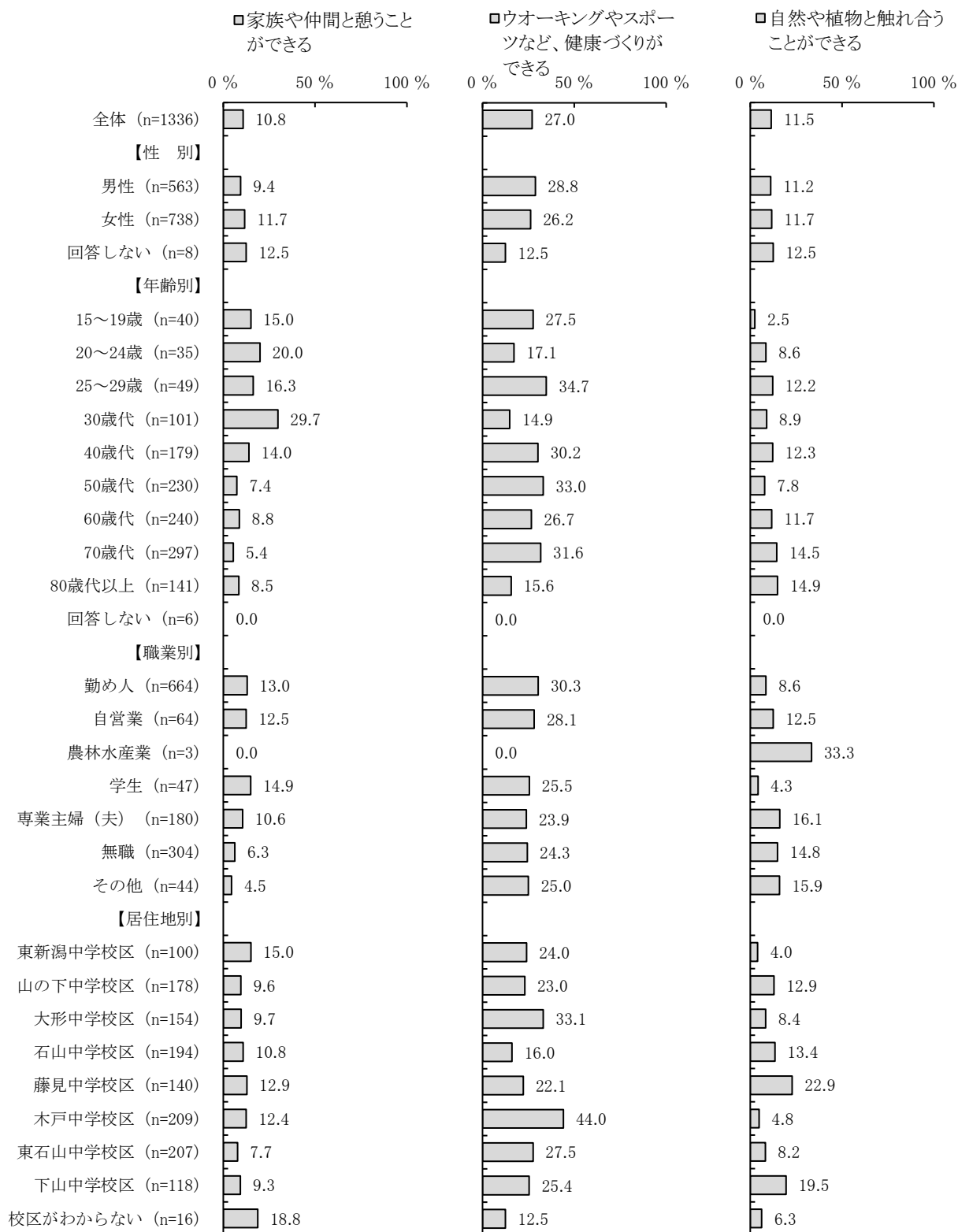
③ 職業別

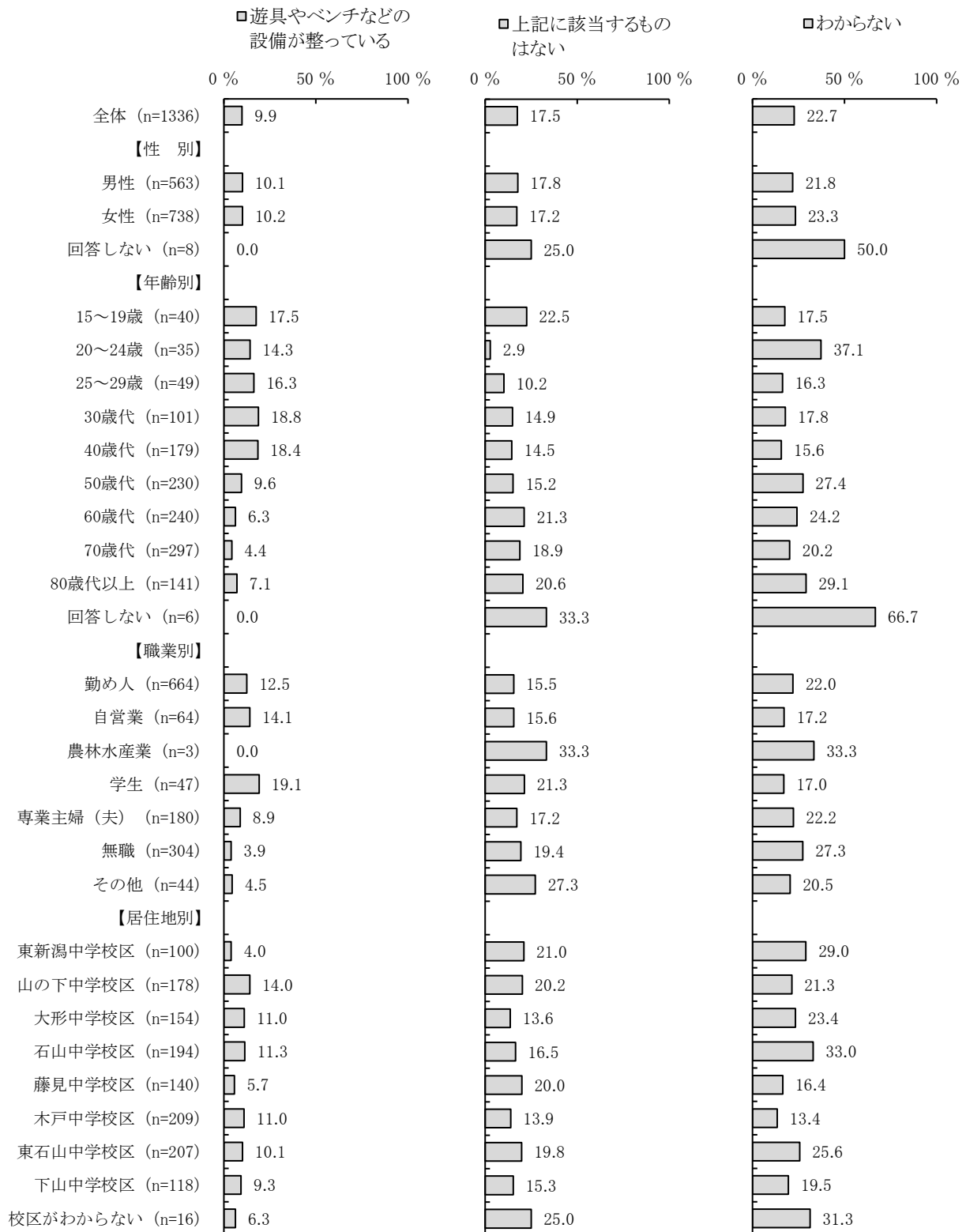
全体結果と同様の分布となっている。各職業とも「ウォーキングやスポーツなど、健康づくりができる」が23.9%～30.3%、「自然や植物と触れ合うことができる」が4.3%～16.1%、「家族や仲間と憩うことができる」は6.3%～14.9%となっている。

④ 居住地別

居住地によって割合の大小があるが、藤見中学校区以外は、概ね全体結果と同様の分布となっている。藤見中学校区は「自然や植物と触れ合うことができる」22.9%が「ウォーキングやスポーツなど、健康づくりができる」22.1%よりわずかに高い。

II 調査結果



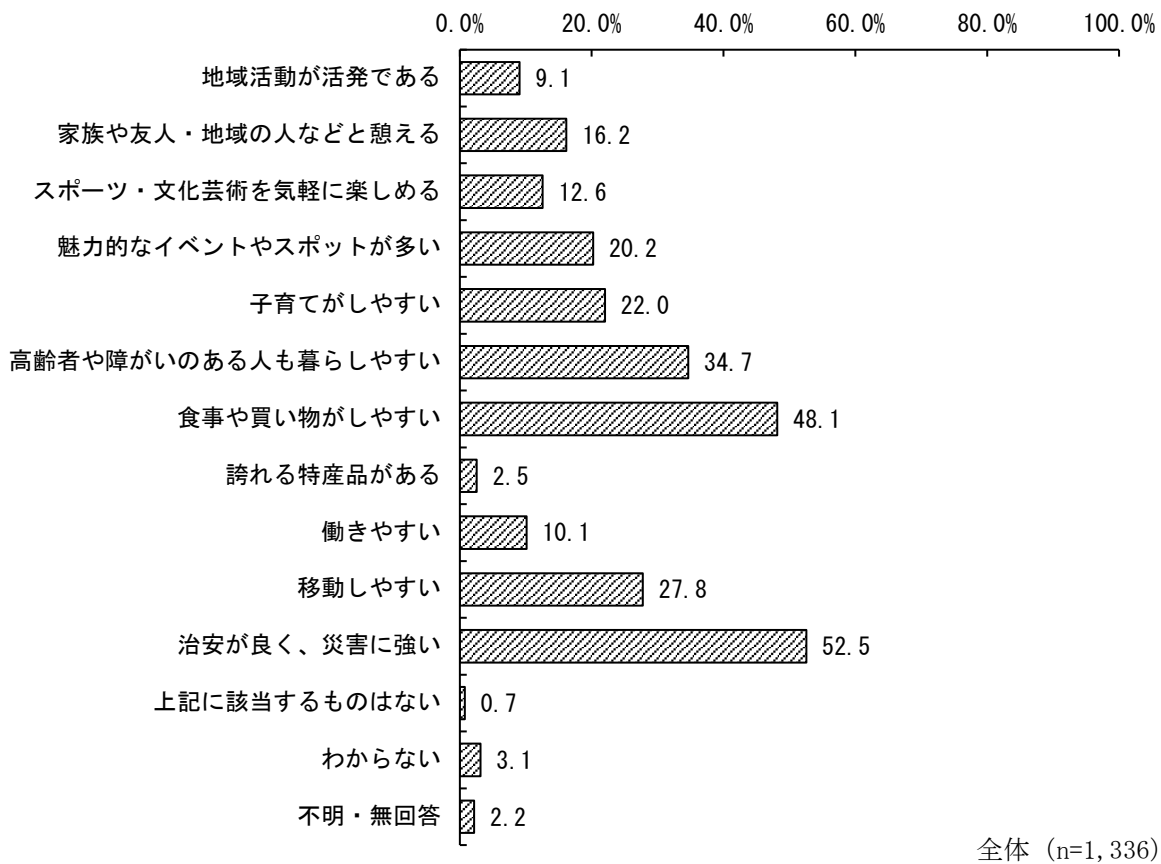


Ⅱ 調査結果



1.2. 『未来の東区』について

Q37：幸せに住み続けるために、あなたは東区がどのようなまちになると良いですか？



【全体結果】

「治安が良く、災害に強い」が52.5%、次に「食事や買い物がしやすい」が48.1%と続いている。

【属性別結果】

① 性別

全体結果と同様の分布で、「治安が良く、災害に強い」は男性53.5%、女性52.0%で男性の割合が高い。

② 年齢別

「治安が良く、災害に強い」は全年齢で42.9%～59.6%であるが、年齢により志向が変わるため、全体結果の分布とは異なっている。例えば、25～29歳では、「食事や買い物がしやすい」57.1%が、「治安が良く、災害に強い」46.9%より高い。30歳代では「子育てがしやすい」61.1%が「治安が良く、災害に強い」52.5%より高くなっている。

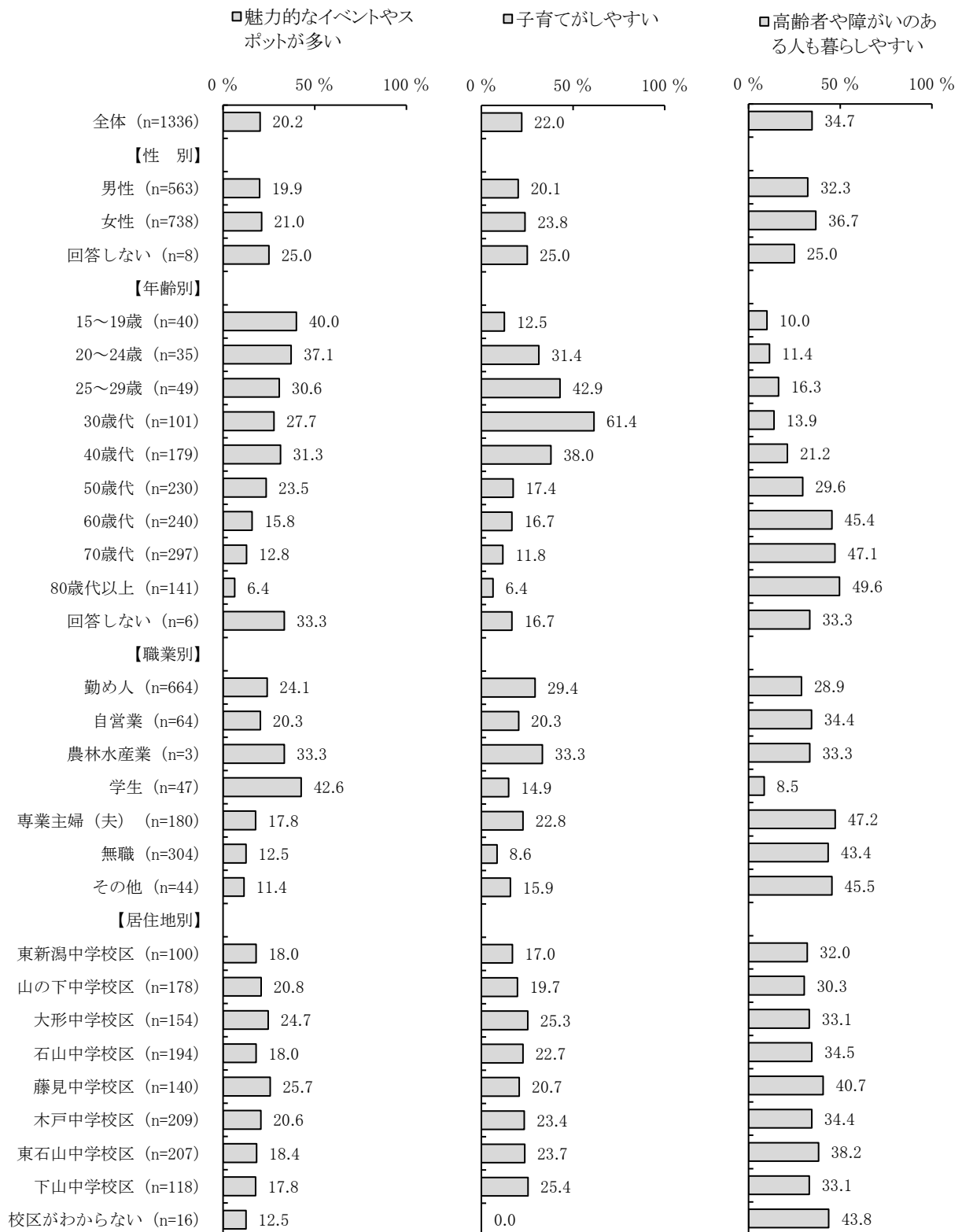
③ 職業別

学生については「食事や買い物がしやすい」は51.1%、「治安が良く、災害に強い」48.9%と僅かであるが全体結果とは異なる分布となっている。

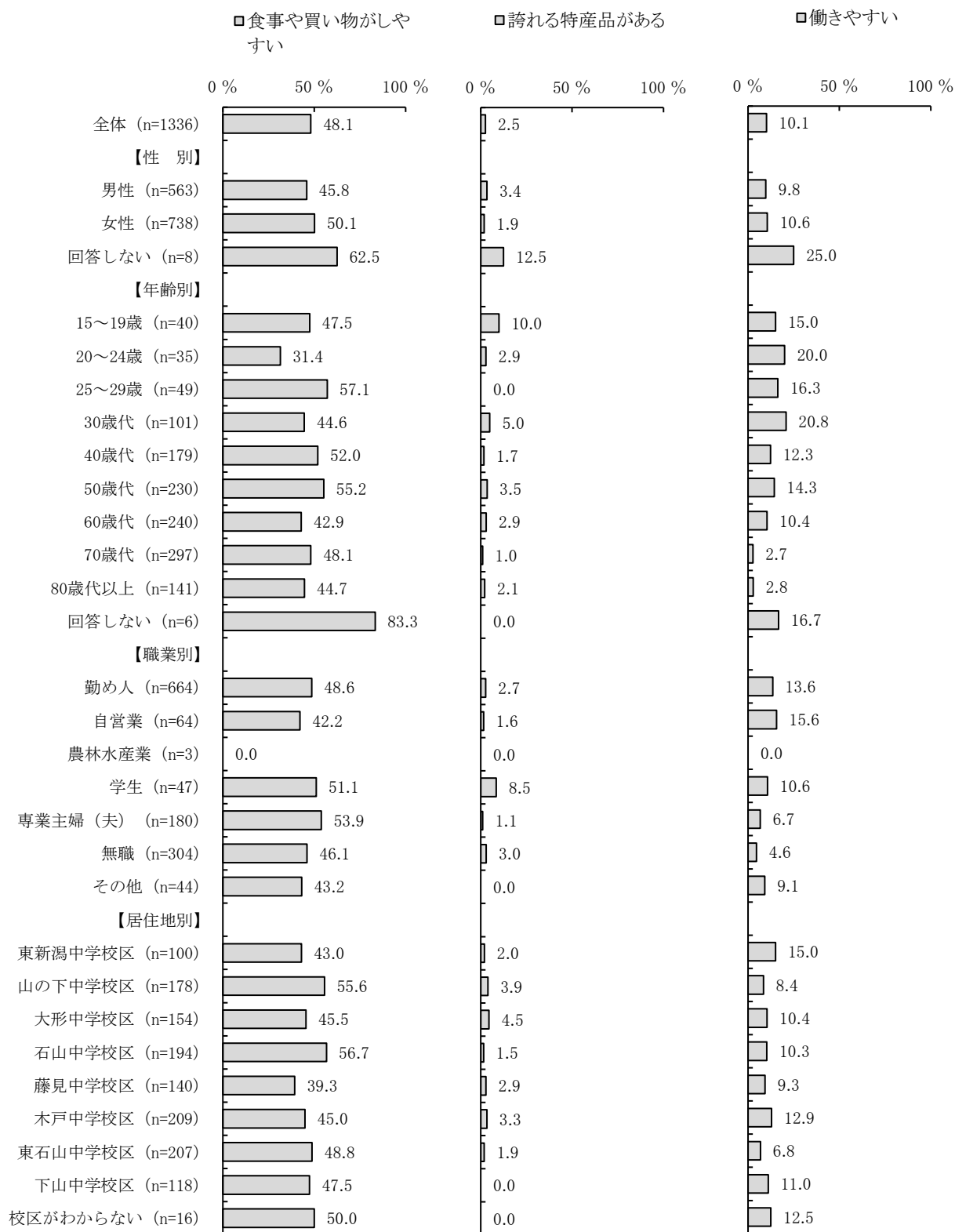
④ 居住地別

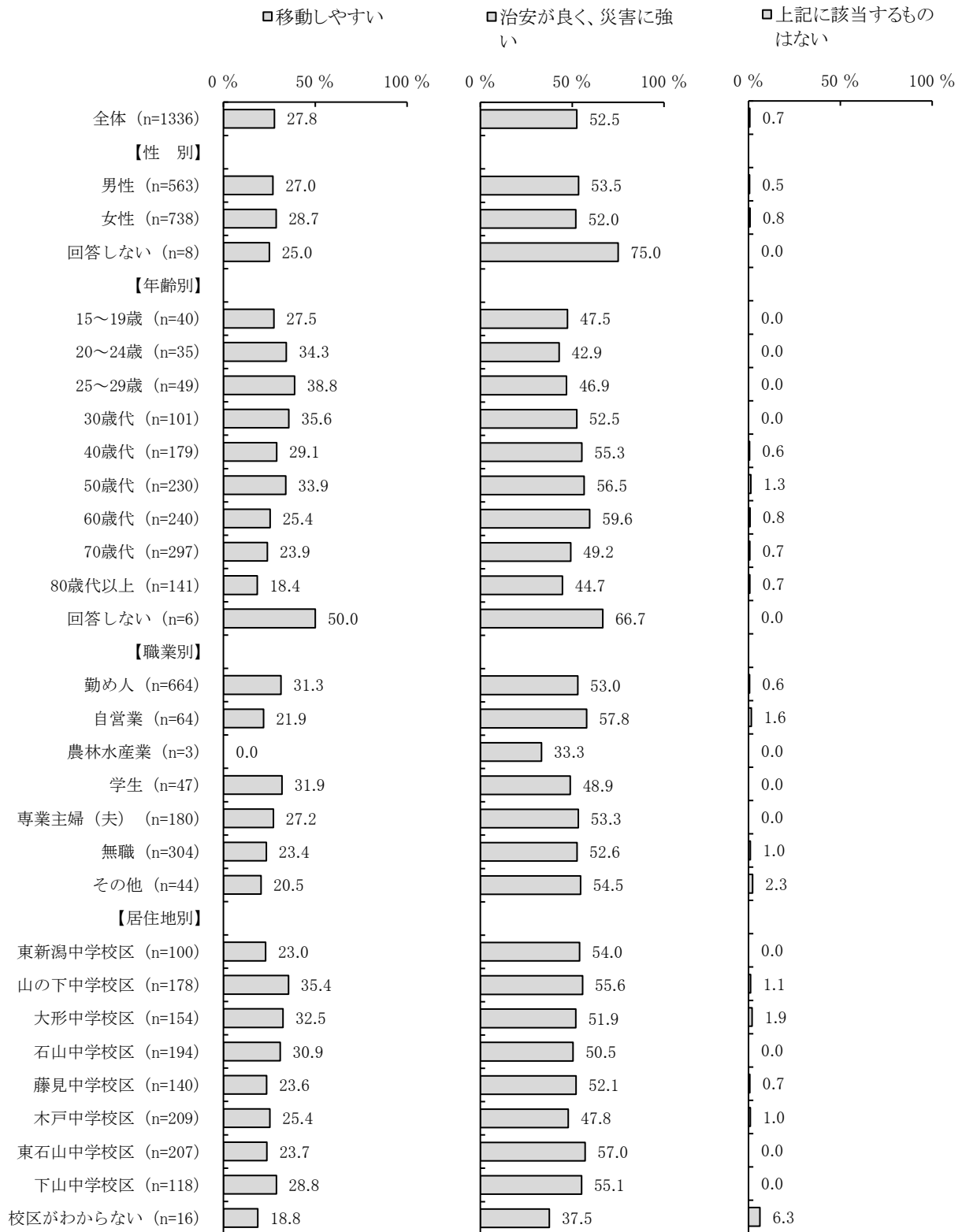
全居住地で「治安が良く、災害に強い」が47.8%~57.0%、「食事や買い物がしやすい」は39.3%~56.7%と高く、全体結果と同様の分布となっている。



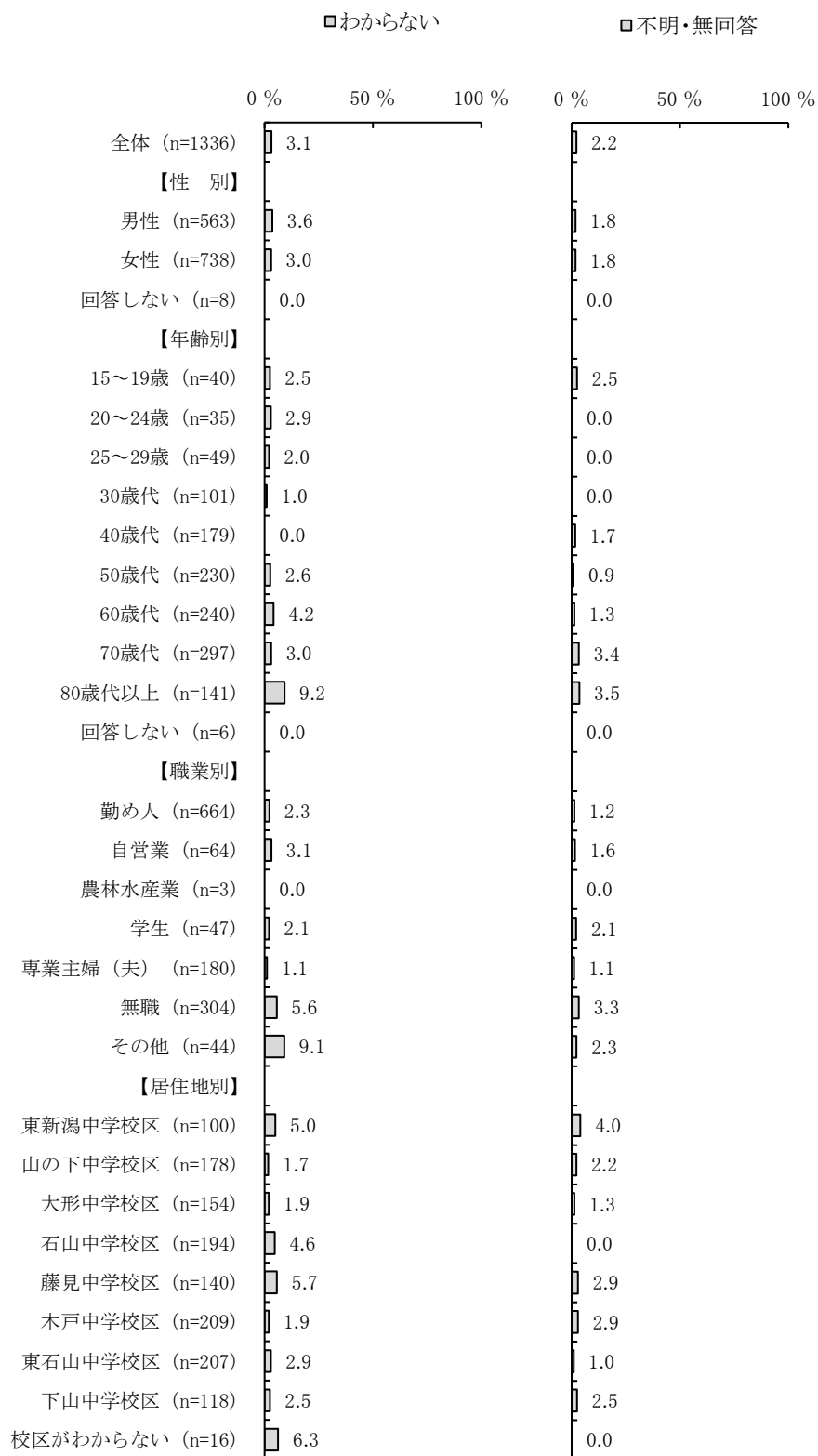


II 調査結果





II 調査結果



Ⅲ 調査票様式

『あなたご自身』について伺います。

Q 1 :

性別 (あてはまるもの1つに○を付けてください。)

1 : 男性 2 : 女性 3 : 回答しない

Q 2 :

年齢 (あてはまるもの1つに○を付けてください。)

1 : 15～19 歳 2 : 20～24 歳 3 : 25～29 歳 4 : 30～34 歳
5 : 35～39 歳 6 : 40～44 歳 7 : 45～49 歳 8 : 50～54 歳
9 : 55～59 歳 10 : 60～64 歳 11 : 65～69 歳 12 : 70～74 歳
13 : 75～79 歳 14 : 80～84 歳 15 : 85 歳以上 16 : 回答しない

Q 3 :

職業 (あてはまるもの1つに○を付けてください。)

(複数のお仕事を持っている方は、主なものを1つだけお選びください。)

1 : 勤め人 (パートも含む) 2 : 自営業
3 : 農林水産業 4 : 学生
5 : 専業主婦 (夫) 6 : 無職 (学生、専業主婦(夫)を除く)
7 : その他

Q 4 :

居住地区 (あてはまるもの1つに○を付けてください。)

1 : 東新潟中学校区 2 : 山の下中学校区 3 : 大形中学校区
4 : 石山中学校区 5 : 藤見中学校区 6 : 木戸中学校区
7 : 東石山中学校区 8 : 下山中学校区
9 : 校区がわからない→町名をお書きください。()

Q 5 :

東区内での居住年数 (あてはまるもの1つに○を付けてください。)

(東区外に出たことがある方は区内での居住年数の合計でお答えください。)

1 : 3年未満 2 : 3年以上～10年未満 3 : 10年以上～20年未満
4 : 20年以上～30年未満 5 : 30年以上



Q 6 : 世帯構成 (あてはまるもの1つに○を付けてください。)		
1 : 1人暮らし	2 : 夫婦のみ	3 : 2世代世帯(親と子)
4 : 3世代世帯(親と子と孫) 5 : 上記に該当するものはない		

Q 7 : 通勤・通学先 (あてはまるもの1つに○を付けてください。)
1 : 東区内 (→Q 8へ)
2 : 東区以外の新潟市内 (→Q 8へ)
3 : 新潟市外(県内) (→Q 8へ)
4 : 県外 (→Q 8へ)
5 : なし (→Q 8は回答不要です。Q 9へ)

Q 8 : (Q 7で「1」～「4」と回答した方にお聞きします) 通勤・通学の交通手段 (あてはまるもの全てに○を付けてください。)			
1 : 徒歩	2 : 自転車	3 : 自家用車	4 : バイク
5 : バス	6 : 電車	7 : タクシー	
8 : 上記に該当するものはない			

『自治会・町内会活動』について伺います。

Q 9 : あなたが知っている自治会・町内会活動は何ですか？ (あてはまるもの全てに○を付けてください。)
1 : 防犯灯の維持管理
2 : 子どもの見守り活動
3 : 防災活動 (避難訓練など)
4 : 公園の草刈り・清掃
5 : 側溝清掃
6 : ゴミステーションの管理
7 : 福祉活動 (地域の茶の間の運営など)
8 : 各種催し (夏祭りや運動会など)
9 : 各種会議への出席
10 : 上記に該当するものはない
11 : わからない



Q10 :

あなたはどの立場で自治会・町内会活動に関わったことがありますか？

(あてはまるもの全てに○を付けてください。)

- 1 : 役員として関わった (→Q11へ)
- 2 : 運営ボランティアとして関わった (→Q11へ)
- 3 : 参加したが運営には関わっていない (→Q11は回答不要です。Q12へ)
- 4 : 関わったことはない (→Q11は回答不要です。Q12へ)

Q11 :

(**Q10で「1」「2」と回答した方にお聞きします**)

あなたが関わった理由は何ですか？ (→Q12は回答不要です。Q13へ)

(主にあてはまるものに3つまで○を付けてください。)

- 1 : 地域や社会のために役立ちたいから
- 2 : 興味があり、楽しそうだから
- 3 : 健康や体力を高めたいから
- 4 : 親しく付き合える人を作りたいから
- 5 : 地域のために必要な活動であると思うから
- 6 : 人から勧められたから
- 7 : 時間に余裕があるから
- 8 : 順番が回ってくるから
- 9 : 自治会・町内会の役員だから
- 10 : 上記に該当するものはない

Q12 :

(**Q10で「3」「4」と回答した方にお聞きします**)

あなたが関わったことがない理由は何ですか？

(主にあてはまるものに2つまで○を付けてください。)

- 1 : 都合が合わないから
- 2 : 体力的に難しいから
- 3 : 家事や仕事が忙しいから
- 4 : 活動の情報がわからないから
- 5 : 知り合いがいないから
- 6 : 興味がないから
- 7 : 役員に勧誘されると困るから
- 8 : 地域との関わりが面倒だから
- 9 : 上記に該当するものはない



Q 1 3 :

あなたが役員や運営ボランティアとして協力できる自治会・町内会活動は何ですか？

(あてはまるもの全てに○を付けてください。)

- 1 : 防犯灯の維持管理
- 2 : 子どもの見守り活動
- 3 : 防災活動 (避難訓練など)
- 4 : 公園の草刈り・清掃
- 5 : 側溝清掃
- 6 : ゴミステーションの管理
- 7 : 福祉活動 (地域の茶の間の運営など)
- 8 : 各種催し (夏祭りや運動会など)
- 9 : 各種会議への出席
- 10 : 上記に該当するものはない
- 11 : わからない

『防犯・防災』について伺います。

Q 1 4 :

あなたはお住まいの地域で安心して暮らすことができますか？

(最もあてはまるもの1つに○を付けてください。)

- 1 : できている
- 2 : どちらかといえばできている
- 3 : どちらかといえばできていない
- 4 : できていない

Q 1 5 :

あなたはお住まいの地域に関してどのようなところに危険や不安を感じますか？

(主にあてはまるものに2つまで○を付けてください。)

- 1 : 交通量の多い交差点
- 2 : 信号のない横断歩道・交差点
- 3 : 道幅の狭い歩道
- 4 : 防犯灯のない道
- 5 : 蓋のない側溝
- 6 : 空き家・空き地
- 7 : 川や海等の水辺
- 8 : 治安が悪い
- 9 : 上記に該当するものはない
- 10 : 特に危険や不安だと感じる場所はない



Q 1 6 :

災害に備え、あなたが防災や減災に取り組んでいることは何ですか？

(主にあてはまるものに2つまで○を付けてください。)

- 1 : 防災用品の確保
- 2 : 食糧の備蓄
- 3 : 家具の固定
- 4 : 緊急連絡先の把握
- 5 : 避難手段・場所・経路の把握
- 6 : ハザードマップの把握
- 7 : 防災訓練への参加
- 8 : 上記に該当するものはない
- 9 : 特に取り組んでいることはない

Q 1 7 :

災害が起こった際に、あなたはご近所の方を助けるための行動ができますか？

(最もあてはまるもの1つに○を付けてください。)

- 1 : できる (→Q 1 8は回答不要です。Q 1 9へ)
- 2 : どちらかといえばできる (→Q 1 8は回答不要です。Q 1 9へ)
- 3 : どちらかといえばできない (→Q 1 8へ)
- 4 : できない (→Q 1 8へ)
- 5 : わからない (→Q 1 8は回答不要です。Q 1 9へ)

Q 1 8 :

(Q 1 7で「3」「4」と回答した方にお聞きします)

あなたが助けるための行動ができない理由は何ですか？

(最もあてはまるもの1つに○を付けてください。)

- 1 : ご近所の方を知らないから
- 2 : 関わりを持ちたくないから
- 3 : トラブルにつながりそうだから
- 4 : 身体的・体力的に難しいから
- 5 : 助ける自信がないから
- 6 : 上記に該当するものはない
- 7 : わからない



『あなたの居場所』について伺います

Q19：

あなたのこころの居場所（ほっとする場所）はどこですか？

（主にあてはまるものに3つまで○を付けてください。）

- 1：自宅
- 2：友人・知人・親戚の家
- 3：学校
- 4：職場
- 5：公民館
- 6：コミュニティセンター・コミュニティハウス
- 7：図書館
- 8：スポーツ施設（スポーツセンター、ジムなど）
- 9：公園
- 10：商業施設（コンビニ、スーパーマーケット、商店など）
- 11：娯楽施設（映画館、居酒屋、スナック、カラオケなど）
- 12：医院・病院
- 13：上記に該当するものはない
- 14：こころの居場所はない

Q20：

あなたが学校や職場以外で家族以外の人と交流する場はどこですか？

（主にあてはまるものに2つまで○を付けてください。）

- 1：スポーツチーム・スポーツクラブ
- 2：文化活動サークル
- 3：ボランティア活動
- 4：自治会・町内会・地域コミュニティ協議会
- 5：地域の茶の間
- 6：子育てサロン
- 7：こども食堂
- 8：インターネット（SNS、オンラインゲームなど）
- 9：上記に該当するものはない
- 10：交流する場はない



『多世代交流』について伺います

Q 2 1 :

あなたはどのような催しなら、多くの人に参加すると思いますか？また、どの催しに参加したいですか？

(主にあてはまるものに2つまで○を付けてください。)

- 1 : 運動会・スポーツ大会 (アダプテッドスポーツなどを含む)
- 2 : 祭り (屋台、盆踊り、花火など)
- 3 : レクリエーション (もちつき、お花見、バーベキュー、ハロウィン、雪合戦など)
- 4 : 音楽イベント (合唱、コンサート、カラオケ、バンドなど)
- 5 : インターネット (e スポーツなど)
- 6 : ものづくり体験
- 7 : 昔の遊び体験
- 8 : まちあるき
- 9 : 上記に該当するものはない
- 10 : わからない

※アダプテッドスポーツ：障がいの有無や年齢に関わらず誰でもが楽しむことができるスポーツ

Q 2 2 :

あなたはより多くの人に参加するために、どのような配慮が必要だと思いますか？

(最もあてはまるもの1つに○を付けてください。)

- 1 : 障がいのある人が参加しやすくなる配慮
- 2 : 交通手段が無い人が参加しやすくなる配慮
- 3 : 小さい子どもや保護者が参加しやすくなる配慮
- 4 : 日中に時間を確保することが難しい人が参加しやすくなる配慮
- 5 : 上記に該当するものはない
- 6 : わからない



『日常の助け合い』について伺います

Q 2 3 :

あなたが困っていること（手伝ってもらいたいこと）は何ですか？

（主にあてはまるものに3つまで○を付けてください。）

- 1：送迎（通院・通学など）
- 2：買い物
- 3：食事の用意
- 4：掃除、洗濯、ごみ捨て
- 5：育児
- 6：介護
- 7：離れて暮らす親の見守り
- 8：勉強
- 9：庭などの草取り、樹木のせん定
- 10：除雪・雪下ろし
- 11：上記に該当するものはない
- 12：困っていない

Q 2 4 :

身近に困っている人がいたら、あなたが手伝えることは何ですか？

（主にあてはまるものに3つまで○を付けてください。）

- 1：送迎（通院・通学など）
- 2：買い物
- 3：食事の用意
- 4：掃除、洗濯、ごみ捨て
- 5：育児
- 6：介護
- 7：勉強
- 8：庭などの草取り、樹木のせん定
- 9：除雪・雪下ろし
- 10：上記に該当するものはない
- 11：手伝えることはない



Q 2 5 :**あなたが困った時に相談できる人は誰ですか？**

(主にあてはまるものに2つまで○を付けてください。)

- 1 : 家族・親戚
- 2 : 友人・知人
- 3 : 隣人・地域の人
- 4 : 自治会・町内会・地域コミュニティ協議会の役員
- 5 : 民生・児童委員、地域包括支援センターの職員
- 6 : 先生
- 7 : インターネット（SNS）上の知人
- 8 : 職場の上司・同僚
- 9 : クラブ・サークル活動のメンバー
- 10 : 上記に該当するものはない
- 11 : 相談できる人はいない
- 12 : わからない

『こども食堂』について伺います

こども食堂とは：

名称にかかわらずこどもが1人でも安心していける無料または低額の食堂といわれており、発足した当初は、親が働いているために1人で食事をするこどもや、食事が十分にとれないこどもなどが利用することが多くありました。しかし、今は『地域食堂』として、こどもだけでなく幅広い世代の交流の場となっています。

Q 2 6 :**こども食堂を利用することにあなたは関心がありますか？**

(最もあてはまるもの1つに○を付けてください。)

- 1 : すでに利用している
- 2 : 関心がある
- 3 : どちらかといえば関心がある
- 4 : どちらかといえば関心がない
- 5 : 関心がない
- 6 : こども食堂を知らない



Q 2 7 :

子ども食堂が幅広い世代の交流の場としてより利用しやすくなるために、あなたはどのような周知が必要だと思いますか？

(主にあてはまるものに2つまで○を付けてください。)

- 1 : 利用方法
- 2 : 開催日と場所
- 3 : 子どもだけでも、保護者と子どもが一緒でも利用できること
- 4 : 食事や交流ができること
- 5 : 年齢・性別・国籍・収入などに関わらず、誰でも利用できること
- 6 : 寄付やボランティア募集の周知
- 7 : 上記に該当するものはない
- 8 : わからない

『住みやすさ（住環境）』について伺います。

Q 2 8 :

あなたは東区の住環境に満足していますか？

(最もあてはまるもの1つに○を付けてください。)

- 1 : 満足している
- 2 : どちらかといえば満足している
- 3 : どちらかといえば満足していない
- 4 : 満足していない

Q 2 9 :

あなたが思う東区の住環境の良いところは何ですか？

(主にあてはまるものに3つまで○を付けてください。)

- 1 : 公共交通機関（電車、バスなど）
- 2 : 道路や歩道の整備
- 3 : 空港やフェリー乗り場
- 4 : 高齢者向け施設（老人憩の家、老人ホーム、デイサービスなど）
- 5 : 教育・保育施設（学校、保育園、幼稚園、認定こども園、子育て支援施設など）
- 6 : 保健・医療機関（病院、クリニック、薬局など）
- 7 : 公園（都市公園、緑地、緑道など）
- 8 : スポーツ施設（スポーツセンター、ジムなど）
- 9 : 文化施設（ホール、図書館など）
- 10 : 大規模な商業施設（スーパーマーケット、ショッピングモールなど）
- 11 : 小規模な商業施設（商店、飲食店など）
- 12 : 宿泊施設（ホテル、旅館など）
- 13 : 行政機関（区役所、出張所など）
- 14 : 上記に該当するものはない
- 15 : わからない

Q30 :

あなたが思う東区の住環境の良くないところは何ですか？

(主にあてはまるものに3つまで○を付けてください。)

- 1 : 公共交通機関 (電車、バスなど)
- 2 : 道路や歩道の整備
- 3 : 空港やフェリー乗り場
- 4 : 高齢者向け施設 (老人憩の家、老人ホーム、デイサービスなど)
- 5 : 教育・保育施設 (学校、保育園、幼稚園、認定こども園、子育て支援施設など)
- 6 : 保健・医療機関 (病院、クリニック、薬局など)
- 7 : 公園 (都市公園、緑地、緑道など)
- 8 : スポーツ施設 (スポーツセンター、ジムなど)
- 9 : 文化施設 (ホール、図書館など)
- 10 : 大規模な商業施設 (スーパーマーケット、ショッピングモールなど)
- 11 : 小規模な商業施設 (商店、飲食店など)
- 12 : 宿泊施設 (ホテル、旅館など)
- 13 : 行政機関 (区役所、出張所など)
- 14 : 上記に該当するものはない
- 15 : わからない

『買い物のしやすさ』について伺います。

Q31 :

あなたは東区は買い物がしやすいと思いますか？

(最もあてはまるもの1つに○を付けてください。)

- 1 : しやすいと思う
- 2 : どちらかといえばしやすいと思う
- 3 : どちらかといえばにくいと思う
- 4 : にくいと思う

『お出かけ』について伺います。

Q32 :

あなたは通勤・通学以外でどの程度出かけますか？

(最もあてはまるもの1つに○を付けてください。)

- 1 : 毎日出かける
- 2 : 週に3～6日出かける
- 3 : 週に1～2日出かける
- 4 : 月に1～2日程度出かける
- 5 : 出かけることはほとんどない



Q 3 3 :

Q 3 2 で答えた日数のうち、あなたは“東区外”にどの程度出かけますか？

(最もあてはまるもの1つに○を付けてください。)

- 1 : 毎日出かける (→Q 3 4へ)
- 2 : 週に3～6日出かける (→Q 3 4へ)
- 3 : 週に1～2日出かける (→Q 3 4へ)
- 4 : 月に1～2日程度出かける (→Q 3 4へ)
- 5 : 東区外に出かけることはほとんどない (→Q 3 4・3 5は回答不要です。Q 3 6へ)

Q 3 4 :

(Q 3 3 で「1」～「4」と回答した方にお聞きします)

出かける用事は何ですか？

(主にあてはまるものに2つまで○を付けてください。)

- 1 : 買い物
- 2 : イベントへの参加 (スポーツ観戦含む)
- 3 : 飲食
- 4 : 娯楽やレジャー
- 5 : 習い事
- 6 : 通院
- 7 : 介護
- 8 : 上記に該当するものはない

Q 3 5 :

(Q 3 3 で「1」～「4」と回答した方にお聞きします)

出かける時の交通手段は何ですか？

(主にあてはまるものに2つまで○を付けてください。)

- 1 : 徒歩
- 2 : 自転車
- 3 : 自家用車
- 4 : バイク
- 5 : バス
- 6 : 電車
- 7 : タクシー
- 8 : 上記に該当するものはない



『公園』について伺います。

Q36 :

東区内にある公園について、あなたはどのように感じていますか？

(最もあてはまるもの1つに○を付けてください。)

- 1 : 家族や仲間と憩うことができる
- 2 : ウォーキングやスポーツなど、健康づくりができる
- 3 : 自然や植物と触れ合うことができる
- 4 : 遊具やベンチなどの設備が整っている
- 5 : 上記に該当するものはない
- 6 : わからない

ここまでご回答いただきありがとうございました。それでは最後に伺います。

Q37 :

幸せに住み続けるために、あなたは東区がどのようなまちになると良いですか？

(主にあてはまるものに3つまで○を付けてください。)

- 1 : 地域活動が活発である
- 2 : 家族や友人、地域の人などと憩える
- 3 : スポーツ・文化芸術を気軽に楽しめる
- 4 : 魅力的なイベントやスポットが多い
- 5 : 子育てがしやすい
- 6 : 高齢者や障がいのある人も暮らしやすい
- 7 : 食事や買い物がしやすい
- 8 : 誇れる特産品がある
- 9 : 働きやすい
- 10 : 移動しやすい
- 11 : 治安が良く、災害に強い
- 12 : 上記に該当するものはない
- 13 : わからない

調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて令和5年11月30日(木)までに、郵便ポストへご投函ください。切手は不要です。また、お名前を記入する必要はありません。ご協力をお願いいたします。



「東区民意識調査」

発行 令和6年2月
調査主体 東区自治協議会／東区役所